

ファミ通

鄭問之
三國志
公式兵略列解



ファミ通
責任編集

鄭問之



三才圖會

公式兵略列解

勢利使人爭

爾還自矜

淮南集初

刻書正北

卷中

乃始以死

百骨露十

千里年鷄鳴

中民有遠

念之新人賜

鄭問画廊





呂布

水滴上画紙／水彩





孫策

水滴上画紙／水彩



馬騰

水滴上画紙 水彩



馬超

水滴上画紙・水彩



劉表

水滴上画紙／水彩



公孫瓚

水滴上画紙 / 水彩



獻帝

水滴上画紙／水彩



關羽

水滴上画紙 / 水彩



張飛

水滴上画紙／水彩



趙雲
水滸上画紙／水彩



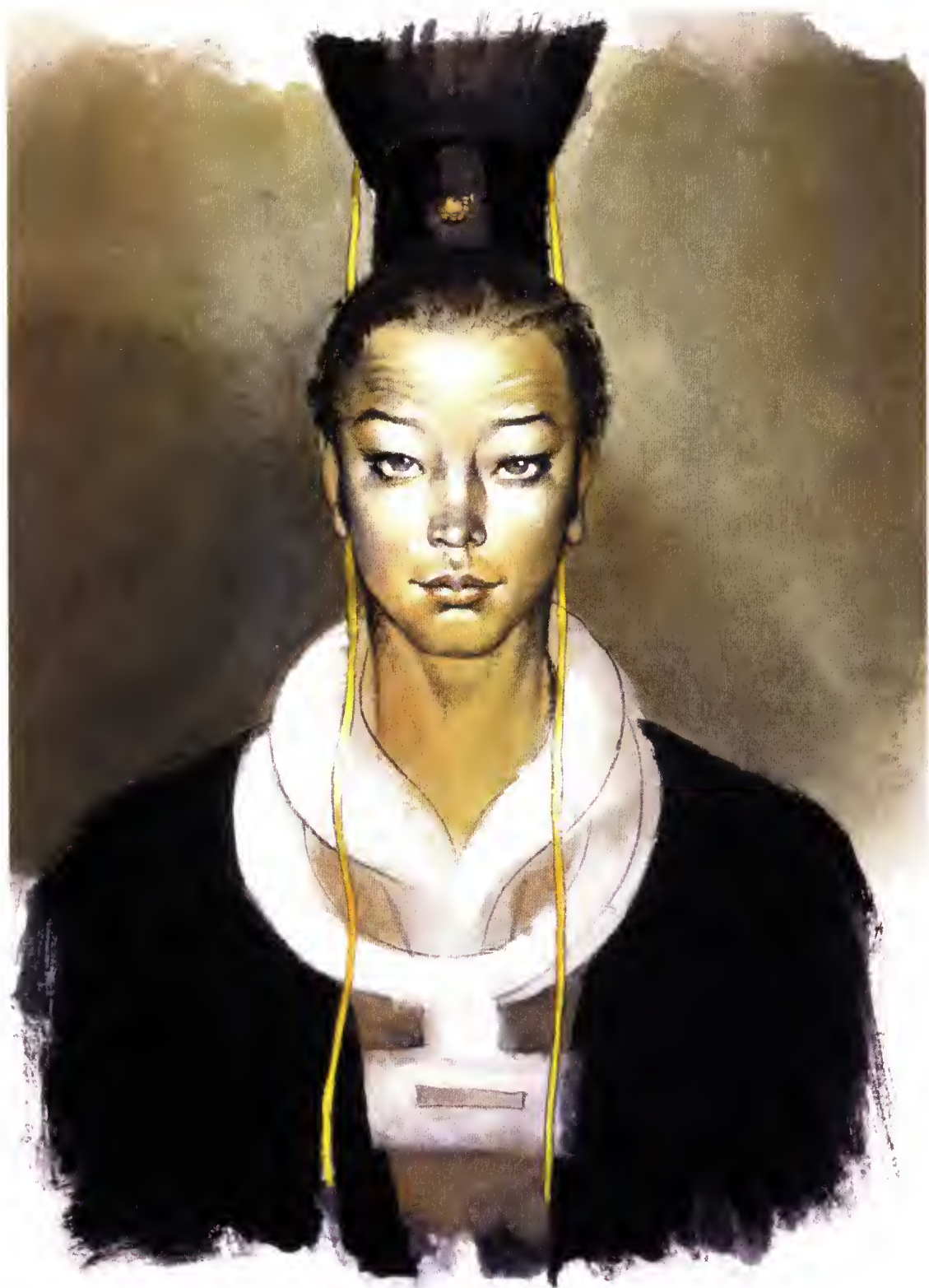
姜維

水滴上画紙・水彩



魏延

水滴上画紙 / 水彩



劉禪

水滴上画紙 水彩



夏侯惇

水滴上画紙／水彩





司馬懿

水滴上画紙 水彩



曹仁

水滴上面紙／水彩



曹洪

水滴上画紙／水彩



徐晃

水滴上画紙 / 水彩



苟攸

水滴上面紙 / 水彩



太史慈

水滴上画纸 水彩



周泰

水滴上画紙 水彩





左慈

水滴上画紙 水彩



華佗

水滴上画紙 水彩



曹操

水滴上画紙 / 水彩・Photoshop作画



孫權

水滴上西紙／水彩／Photoshop作画



劉備(放浪)

水滴上画紙 / 水彩 · Photoshop作画



劉備(皇帝)

水滴土画紙 / 水彩 / Photoshop作画



鄭問かく語る

今回、機会にも恵まれ『鄭問之三國誌』のキャラクターデザインを担当することになったわけですが、依頼があった時、私の頭の中には、それはもう何百人の三国志の英雄たちの顔が浮かびあがったことを思い出します。「これはやりがいのある仕事だ!」って思いましたね。私がどんな三国志の英雄を描くのか、自分で自分にわくわくドキドキしたのです。私は絵を描く場合、いつも頭の中でしっかりと構図を考え、方向性が決まらなと描きません。しかし三国志はかなり好きな物語なので、実はすでに三度も読んでいたのです。念のためもう一度読み返しましたが、イメージはすでに出来上がっていました。

それと、私は日本人の持っている三国志観も大事にしたいと思いました。日本人は曹操や孫権、それと劉備というリーダーのタイプについて、客観的に見比べたりするのが好きだし良し悪しで区別しませんよね。関羽や張飛、呂布などの英雄たちに対してのロマンや憧れが強いこともわかりました。日本で有名な、吉川英治さんの本も読みました。この本は本当によく書かれている本だと思いました。

台湾や中国の人たちの三国志観も日本人に似ています。ただ、少し違うのは、こちらでは包容力があつたり高潔な心を持つ、ある意味上品な英雄たちに人気があります。絵を描くイメージは、もちろん私の持つイメージが基本ですが、日本人の三国志観も知っておいてためになったのは言うまでもありません。

さて、実際に絵を描きはじめると、私の中でさまざまなイメージの交錯が起きました。例えば「夏侯惇」ですが、作品として仕上がったのは実は3作目のものなんです。何度も原稿を催促されましたが、自分がこれだと思ふまで原稿を渡しませんでした(笑)。

また、「曹操」や「呂布」を描く時、筆を走らせるのは本当に苦勞しました。彼らはこちらでは悪役的なイメージが強いのです。私自身も彼らの能力こそ認めるも

の、どこか畏怖や遠慮を感じたりしていました。この障害を克服するために、私は自分自身のイメージだけを参考にして描くのをやめ、もう一度彼らを見直し、好きな部分のイメージを大きく影らせて描きました。「呂布」を描くにあたっては、筆だけでは表現できないと感じたので「歯ブラシ」や指も使いました。ただ、そういう技法は私にとって特別というわけではありません。これまでにも感情や心情を表すにあたって、何度も繰り返してきたものです。

逆にイメージどおり素直に描けたのは「関羽」や「張飛」です。彼らは台湾や中国でもとても人気のある人物です。日本人の皆さんのイメージともびったり合っているのではないのでしょうか。それと、私にとって三国志のイメージをより深めてくれる人物は、描いてみてとてもためになりました。例えば「于吉」や「左慈」ですが、彼らは実在の人物ではないので想像力を豊かにさせてくれました。

私は自分が一生懸命に仕事をしている時、三国志の人物に自分をたとえて考えることもありました。イメージに悩んだ時は「諸葛亮」が戦場に心労を尽した時のように感じ、いい作品を描き終わって自信満々の時は、天下の覇権を握った「曹操」の気分を味わい、また時には憂愁な「孫権」の気分も感じました。ちなみに私が一番好きな武將は「趙雲」です。彼は日本人の皆さんにも大変人気のある武將だと伺っていますが、十分納得できますね。三国志に登場する人物の中で、もし「諸葛亮」が文官の花形スターだとするならば、私にとって「趙雲」は武將の花形スターなのです。

今回、「鄭問之三國誌」の制作に参加できたことは、本当に光榮なことです。私自身、このゲームはすごく面白いゲームだと思っています。皆様も是非このゲームの魅力を楽しんでください。私の描いた人物たちをとおして、より一層三国志の世界に深い興味を感じていただけたのなら、私はとても幸せです。



鄭問 (チェンウェン)

1958年、台湾に生まれる。デビュー作は『戦士黒豹』(『時事週刊』連載)。1990年『東周英雄伝』(『週刊モーニング』連載)で日本でデビューし、日本漫画家協会賞・特別賞を受賞する。現在、台湾に在住しながら日本をはじめ、世界でも幅広く活躍中。



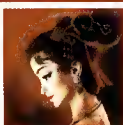
鄭

留之



公式兵略例解

目次



第1章 戦略戦術之章

- ゲームの概要36～37
- 更新フェイズ38
- 命令フェイズ39～45
- 戦略フェイズ46～47
- 作戦フェイズ48～52

第2章 戦史英雄之章

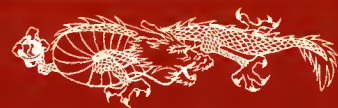
- 戦史別攻略54～63
 - 洛陽炎上54
 - 官渡之戦56
 - 赤壁之戦58
 - 漢中王劉備60
 - 出師上表62
- 君主別攻略64～71
 - 曹操～曹叡64
 - 孫堅～孫策～孫權65
 - 劉備～劉禪66
 - 劉焉～劉璋67
 - 馬騰～馬超68
 - 袁紹～劉表69
 - 董卓、陶謙70
 - 袁術、公孫瓚71
- サンプルプレイ72

第3章 三國世界之章

- 三国志の世界76～89
 - 幽州77
 - 冀州78
 - 并州79
 - 青州80
 - 徐州81
 - 兗州82
 - 豫州83
 - 司隸84
 - 雍州85
 - 涼州86
 - 揚州87
 - 荊州88
 - 益州89
- 州別都市一覧90～95
- 後漢洛陽城96

第4章 文武人物之章

- 登場武将一覧98～138
- 親族武将一覧139
- 登場年別武将一覧140～141
- 都市別登場武将一覧142～143



戰略戰術之章



概要

ゲームの概要

古代中国、後漢末期から三国時代までをシミュレートした『鄭問之三国誌』。
プレイヤーは君主のひとりとなり、配下の武将を率いて戦乱の世の覇権を競う。
覇道をつき進むためには、まず己の目的を知らなければならない。



目的と終了



登場する君主は、関以外の支配都市をすべて失うか、君主が死亡し後継者がいない場合、滅亡となる。つまりプレイヤーは、君主のひとりとして勢力を伸ばし、プレイヤー以外の君主をすべて滅亡させ、最後まで生き残れば勝利となるのだ。ただし時間制限として、250年春のターンまでに勝利することができなかった場合はゲームオーバーとなる。



戦史と君主の選択



『鄭問之三国誌』には、後漢末から三国時代の史実にもとづき、開始年が異なる5つの戦史が用意されている。登場する君主とその勢力範囲、配下の武将は戦史ごとに異なっており、ゲームを開始する際に君主を選択するときは、あらかじめその君主の勢力や武将数を知っておくといいたいだろう。

なお、プレイ中にはさまざまなアドバイスをしてくれる武将が君主ごとにひとりつくが、このアドバイス武将は君主や戦史ごとに違う。詳細は以下の表を参照のこと。

戦史と選択できる君主

戦史	開始年	選択できる君主
1.洛陽炎上	190	董卓、公孫瓚、袁紹、袁術、曹操、劉備、陶謙、孫堅、劉表、劉焉、馬騰
2.官渡之戦	200	袁紹、曹操、劉備、劉表、孫策、劉璋、馬騰
3.赤壁之戦	208	曹操、劉備、孫権、劉璋、馬超
4.漢中王劉備	219	曹操、劉備、孫権
5.出師上表	228	曹操、劉璋、孫権

アドバイス武将

君主	洛陽炎上	官渡之戦	赤壁之戦	漢中王劉備	出師上表
董卓	李儒	—	—	—	—
公孫瓚	盧植	—	—	—	—
袁紹	田豊	田豊	—	—	—
袁術	袁胤	—	—	—	—
曹操	陳宮	郭嘉	荀武	賈詡	司馬懿
劉備	簡雍	孫乾	諸葛亮	諸葛亮	諸葛亮
陶謙	糜竺	—	—	—	—
孫堅	程普	周瑜	魯肅	呂蒙	陸遜
劉表	蒯越	蒯越	—	—	—
劉焉	黃權	黃權	黃權	—	—
馬騰	韓遂	韓遂	韓遂	—	—



ゲームの流れ



『鄭問之三国誌』では、一連の行動を繰り返してゲームを進行させる。この行動の一区切りをターンと呼ぶ。1つのターンは時間経過として春夏秋冬のひとつの季節に相当しており、4ターンが経過するとちょうど1年が経過したことになる。

また1つのターンはさらに更新、命令、戦闘、作戦、記録の5つのフェイズに細分され、それぞれ発生することやできることが異なる。各フェイズの内容は以下の表を参照して欲しい。

ちなみに各フェイズにおける君主の行動の順番は、フェイズごとに異なっている。命令フェイズや作戦フェイズでは、プレイヤーの君主に順番が回ってくれば、コマンドを入力することが可能となるのだ。

各フェイズの内容

更新フェイズ	ターンを更新し、民衆からの税収を得るフェイズ。災害の発生などのイベントが起こる。また、春のターンのみ、各武将の年齢が1つ増加し、武将の寿命チェックが行なわれる
命令フェイズ	プレイヤーが支配している都市や、配下の武将に対して命令を下し、実行させるフェイズ。農業や商業などの内政のほか、徴兵や兵の配分、移動、また武将の登用や昇進などが可能
戦略フェイズ	他の君主への攻撃計画を立案するフェイズ。直後の作戦フェイズでは、このフェイズで立案した計画に従って配下の武将を敵の領土に進軍させる。計画は5つまで立てることが可能
作戦フェイズ	配下の武将を敵都市に侵襲させるフェイズ。敵武将による反撃がある場合は野戦もしくは水軍戦になる。これに勝つか反撃がないと攻城戦に移行。勝利すると敵都市を占領できる
記録フェイズ	現時点の状況をメモリーカードに保存する。記録したデータから再開すると、次のターンの更新フェイズからはじまる



パラメータ

武将の能力や君主の勢力、都市の規模や生産力などはすべてパラメータで表わされている。ゲームを進めるにあたってまずは武将、君主、都市の各パラメータを知っておく必要がある、ここで簡単に説明をしよう。

まず武将のパラメータだが、そもそも武将とは内政と戦闘をする際の手駒であり、すべての命令は配下の武将を通じて実行される。もちろんその成果は、武将の持つ各能力のパラメータによって変化するわけだ。

つぎに君主のパラメータだが、これはおもに国力を表すパラメータである。かなり大まかではあるが、君主ごとの国力を比較する際に参考になるはずだ。

最後に都市のパラメータ。一般的に都市を多く支配していれば、大きな勢力を持っているといえる。しかし、都市がいくら多くても内政をしなければ、国力にはつながらない。占領はしてもパラメータが低すぎではあまり意味がないのである。

武将パラメータ

武将名	武将の名前
君主	仕えている君主の名
種類	武官(軍事担当)、文官(内政担当)のどちらであるか
官位	現在の官位
武勇	勇敢さ。おもに戦闘時の攻撃力と一騎討ちの攻撃力に影響する
統率	兵士の統率力。おもに戦闘時の防御力に影響する
知謀	計略の能力。計略コマンドと戦闘時の計略に影響する
政治	内政の能力。内政関連のコマンドすべてに影響する
忠誠	君主への忠誠心
段	武将の経験の度合い。武勇、統率、知謀、政治の数値より段が高い場合は、段の数値が使用される。最大は15
経験	武将の経験の度合い。100になると段が1上昇する
最大兵数	率いことができる最大の兵数。官位によって変化
指揮兵数	戦闘時に実際に指揮できる兵数。統率値によって変化
現在兵数	現在率いている兵数
練度	率いている兵士の訓練の度合い。総大将の場合は戦意に影響
総合戦力	戦闘力を総合的に評価した数値
美人	美人が与えられている場合は、その美人の肖像と能力の修正値を表示

君主パラメータ

称号	現在の称号。支配している都市の数によって放浪(劉備のみ)、群雄、諸侯、皇帝の順に変化
国名	その君主の国の号名。諸侯以上の場合のみ
首府	首府が置かれている都市名
支配都市	支配している都市の数
武将数	配下の武将の数
総兵数	配下の武将が率いている兵と都市の守備兵の総数
総公金	現在保有している公金の額
総水軍力	保有している水軍力を数値化したもの
後宮	後宮に入れている美人の肖像と能力修正値
支配領域	右側のマップに表示。赤は完全支配している州、茶は一部を支配している州を示す



君主パラメータ画面

都市パラメータ

都市名	都市の名前
州名、郡名	都市がある州および郡
支配君主	都市を支配している君主
太守	太守として置かれている武将
規模	都市の規模をイラストで表示。小都市、中都市、大都市、関の4種類
農業	農民の数。税収と秋の収穫、徴兵時の動員力に影響する
商業	商家の数。税収に影響する
治安	都市の治安状況。騒乱や敵の計略の成否確率に影響する
城壁	城壁の防御力。籠城時の守備力に影響する
兵糧	備蓄兵糧の量。籠城時の兵糧数に影響する
武将	都市にいる配下の武将の人数
兵数	都市の守備兵。籠城時の守備兵力に影響する



都市パラメータ画面



武将パラメータ画面

更新

更新フェイズ

ターンの最初にあるフェイズが更新フェイズ。
このフェイズで重要なことは、イベントの発生と公金の収支である。
また、武将の登場と死亡の判定も行なわれる。

☆ イベントの発生 ☆

更新フェイズの最初に行なわれるのが、イベントが発生するかどうかのチェックである。イベントには災害イベントと好事イベントの2種類があり、発生の判定がされると自動的に影響がパラメータに反映される。なお、災害イベントが発生した場合、発生地域の税収は必ず低下する。

災害イベント

洪水	秋に黄河流域で発生。発生した都市の農業値、商業値、治安値、城壁防御力、備蓄兵糧、総公金が低下する
日照り	夏に州単位で発生。降雨量が激減し、渇水状態となる。発生した州内すべての都市の農業値が低下する
飢饉	冬に郡単位で発生。餓死者がでる。発生した郡内すべての都市の農業、商業、治安、備蓄兵糧の数値が下がる
疫病	夏に郡単位で発生。疫病が蔓延する。発生した郡内すべての都市の農業、商業、治安、兵数の値と滞在している武将の寿命が下がる。ただし、名医華佗がいれば、その都市だけは被害を免れる。ちなみに華佗の在位の判定はランダム
蝗	秋に郡単位で発生。イナゴが大発生し、穀物を食い荒らす。発生した郡内すべての都市の農業値、備蓄兵糧が下がる
騒乱	すべての季節、治安度49以下の都市で発生する。黄巾賊、異民族、山賊により都市の農業、商業、治安、城壁、兵糧の値が下がる。ちなみに賊の種類による影響の違いはない
反乱	すべての季節、首府と関内以外の武将のいる都市で発生する。忠誠値のもっとも低い武将が裏切り、その都市は中立勢力となる

好事イベント

好天	春、夏に州単位で発生。天候に恵まれ豊作となる。発生した州にある都市の公金の収入が増加する
学問	すべての季節で都市単位に発生。武将が学問を修める。発生した都市にいる配下の武将全員の経験が上昇する
隊商	すべての季節で発生。隊商との交易で収益をあげる。司隸、雍州、涼州内の都市に首府があると公金収入額が増加する
武将発見	すべての季節で発生。配下武将が在野の武将を発見し、配下に加わるよう説得することができる
美人発見	すべての季節で発生。美人を発見する。後宮に入れるか、配下の武将に下賜するか、もしくは解放するかを選択する

☆ 季節による違い ☆

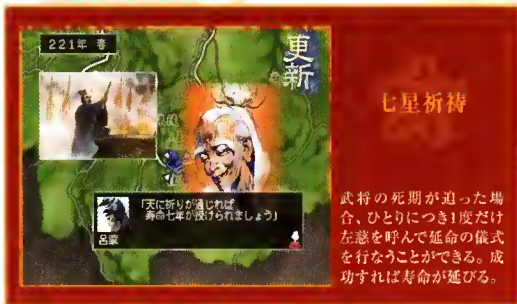
更新フェイズに発生するイベントは季節によって違うが、春と秋の更新フェイズでは、特別にほかの季節にないイベント処理がある。春は武将の年齢の増加とそれに伴う武将の死亡の判定、秋は農作物の収穫である。

武将の年齢増加と死亡

春の更新フェイズのみ発生。その時点で登場している全武将の年齢が1つ上昇する。また、年齢増加時に、高齢の武将や健康状態の悪い武将は死亡する可能性がある。

君主死亡と後継者

もし君主が死亡した場合は、後継者を立てなくてはならない。この場合、死亡した君主と血縁のある武将の中から、自動的にもっとも継承権が高い者が選ばれ後継となる。もし対象となる武将がいなかった場合は滅亡となり、領内の都市は中立都市になる。



武将の仕官

春の更新フェイズにのみ発生。登場年齢に達した君主の親族武将が、自動的に配下に加わる。また、配下の武将の親族が登場年齢に達した場合も、同様に自動的に配下に加わる。

税収

商業による税収は毎ターン行なわれる。しかし、農業による税収は作物が収穫される秋の更新フェイズのみである。収穫された作物は売却され、税は公金として納められる。



命令フェイズ

農業や商業といったおもに領内の内政を行なうのが命令フェイズである。
ただそのほかにも、軍の編成や人材の登用、そして他国との外交など
国家の維持、発展のために、あらゆる策を計画し実行しなければならない。



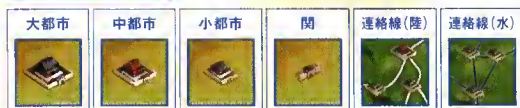
首府と連絡線



都市にはその規模別に大中小、それに関の4種類があり、各都市間は必ず陸路か水路の連絡線で結ばれている。都市のなかでも行政の中心地となる都市は特別に首府といい、各君主は必ずひとつの首府を持っている。首府は固定されるものではなく、君主の支配都市が増加すると、より大きな都市に遷都をするように配下の武将から進言がされることがある。また、敵の攻撃によって首府を奪われてしまった場合、支配下の別の都市に首府が自動的に移ることになる。

さて、都市に対してコマンドを実行する場合、その都市は君主の首府からの連絡線が通じていなくてはならない。連絡線が通じていない都市は孤立状態となり、その都市に配下の武将がいても「脱出」以外のコマンドの実行が不可能となる。

マップ上での表示



首府に置かれるもの

君主が美人、献帝、玉璽のいずれかを保有している場合、それらは首府に置かれる。美人、献帝、玉璽を保有している君主の首府が他の君主に奪われると、これらは首府を奪った君主のものになり、その君主の首府へ移送される。なお、美人については41ページ、献帝については41、42ページを参照してほしい。



命令フェイズでのコマンド



命令フェイズでコマンドを実行する際に覚えておきたいことは、コマンドを実行するには命令点を消費するということ、君主によって命令点の持ち点が違い、その命令点を越える命令はできないということだ。つまり持ち点の少ない君主はそれだけ行動が制約され、ゲームのクリアが難しいといえる。

命令フェイズでのコマンドは都市、人事、外交、計略、軍備、移動、情報の7つに分類される。またさらに各項目にはいくつかの細分化されたコマンドがあるが、ここでは7つのコマンドの種類について述べ、詳しくは40ページ以降で説明する。

君主の命令持ち点算出法

$$\left(\frac{\text{君主の政治能力} \times A}{2} \times \frac{B+C}{2} \right) + \left(\frac{\text{君主の政治能力}}{2} \right)$$

A=群雄なら2、諸侯なら3、皇帝なら4
B=大將軍がいる場合は2、いない場合は1
C=丞相がいる場合は2、いない場合は1

※君主の段のほうが政治能力より高い場合は段を使用

命令コマンドの種類

都市	都市の生産力アップのための開発と、防衛のための整備を行なう。農業、商業、治安、城壁、兵糧の5種類がある
人事	在野武将の登用と、武将の官位の設定や太守の任命を行なう。登用、下級、上級、太守の4種類がある
外交	他君主との和平や不戦交渉などの外交を行なう。友好、和平、不戦、破棄、出兵、帝の計8種類がある
計略	他君主の都市や武将に対しての計略を行なう。偽書、調略、招降、駆逐、流言、破壊の6種類がある
軍備	支配都市からの徴兵や武将に預ける兵の整理、訓練を行なう。徴兵、配分、練兵、水軍の4種類がある
移動	支配都市間、または連絡線が切れた都市での武将や兵の移動を行なう。武将、兵士、脱出の3種類がある
情報	パラメータ情報を見る。都市一覧、武将一覧、君主一覧、全都市一覧、全武将一覧の5種類がある
終了	命令フェイズを終了し、作戦フェイズへ移る際に選択する。ちなみに消費命令点は0である



都市コマンド



内政コマンドの核となるのが、都市パラメータを上昇させる都市コマンドである。国力を上昇させるためには、支配下の都市を整備し、開発することが重要だ。

都市コマンドを実行する際には、開発を担当する武将をひとり指名するのだが、開発に携わった武将は、そのターンはほかのコマンドを実行できなくなる。コマンドの効果はおもに担当武将の政治能力によって変わるので、都市コマンドを実行する武将はできる限り政治が高い者にさせたい。また、太守に指名している武将が開発を行なうと、プラス効果がある。

都市コマンドを使用する場合、特に優先して開発を進めたいのは規模が大きい都市である。大都市は農業、商業の最大値が高く、守備兵力の自然増加数も大きい。小規模の都市を開発するよりも大きなメリットを短期間で得ることができるのだ。ただし、都市開発の効果は後述する景気と流民人口に左右される。ただ闇雲にコマンドを実行するのではなく、これらのパラメータにも注意して効率のよい開発をこころがけたい。

都市コマンドの種類

農業	農業△ 商業▼ 治安△ 公金▼ 消費命令点:3 必要能力:政治 増加経験点:3
----	--

農家に援助を行ない、農業を奨励する。農業値が上昇するほか、流民が減るため治安値が若干増加する。農業を優先させるため、商業値が若干低下する。

商業	商業△ 農業▼ 治安▼ 公金▼ 消費命令点:3 必要能力:政治 増加経験点:3
----	--

商家に援助を行ない、商業を奨励する。商業値が上昇するため、毎ターンの収入が若干増加する。商業を優先させるため、農業値が若干低下する。

治安	治安△ 農業△ 兵糧▼ 消費命令点:5 必要能力:政治 増加経験点:5
----	--

守備兵を使って都市を巡察し、犯罪を減らすので治安がよくなる。ただし、軍勢を動かすため、備蓄兵糧が若干低下する。

城壁	城壁△ 公金▼ 消費命令点:5 必要能力:政治、知謀 増加経験点:5
----	---------------------------------------

都市の城壁を工事し、強化して敵の攻撃に備える。工事前の城壁守備力が低ければ低いほど上昇率が高くなる。

兵糧	兵糧△ 治安▼ 商業▼ 公金▼ 消費命令点:5 必要能力:政治、知謀 増加経験点:5
----	---

都市内の兵糧を民間から買いあげて備蓄兵糧を増加させる。買い集める前の備蓄兵糧数が低ければ低いほど上昇率が多くなる。

都市規模とパラメータ最大値

都市には大都市、中都市、小都市と関の4種類があることは39ページで紹介したが、それぞれパラメータの最大値が決まっている。なお、関は生産能力がなく、農業と商業が実行できない。

都市のパラメータ最大値

規模	農業値	商業値	備蓄兵糧数	城壁防衛力	守備兵力
小都市	2000	100	80	80	10000
中都市	5000	300	170	170	20000
大都市	9999	600	250	250	40000
関	—	—	150	150	15000

農業値と商業値の増加について

都市には戦史別に流民人口と景気がそれぞれ設定されている。流民人口の多い都市は農業の上昇率が高く、景気がいい都市では商業の上昇率が高くなる。各都市の流民人口と景気についてのパラメータは、90ページからの「都市データ一覧」で紹介しているので、これを参考に効率のいい開発をしてほしい。

守備兵数の自然増加

都市では、守備兵が毎ターン少しずつ自然増加する。自然増加数は、都市の治安が高く人口が高いほどより多くなる。1ターンあたりの自然増加のおおよその兵数と自然増加で増える限界兵数は以下の表のとおりである。

守備兵の自然増加数と限界値

規模	1ターンの増加数	自然増加限界
小都市	60	1000
中都市	120	2000
大都市	280	4000
関	100	1500



守備兵を集める

都市の守備兵数は自然増加する。もしも限界まで達したら、移動コマンドで前線の都市へ移動させるといいだろう。

効果的な開発のために

都市コマンドの中で、コマンドを実行する武将が実際に開発する都市にいる必要があるのは治安のみである。ほかのコマンドは、首府にいる武将でも実行することが可能なのだ。したがって、政治能力や知謀が高い武将を首府に集めておけば、移動での命令点を消費しないですむので効率よく都市の開発を行なうことが可能となる。ただし、コマンドを実行できる回数は君主の命令点の持ち点によるので、コマンド実行可能回数以上の人数の武将を首府に置いておいた方がいい。



首府こそ行政の中心

首府に置いた武将は都市開発に参加できる。経験値を積ませる目的で、高い官位を与えたい武将を置くのも手だ。

人事コマンド

在野の武將を登用して配下に加えたり、すでに配下になっている武將の官位を変更するのが人事コマンドである。

人事コマンドのうち、在野の武將を配下に加える登用はコマンドを実行する武將が必要になる。また、仕官させたい武將のいる都市には配下の武將がいる必要があるが、コマンドを実行する武將は首府の者でも構わない。

下級、上級は配下の武將に段に応じた官位を与えるコマンドだ。上級は君主が諸侯の称号を得ると命令可能となり、さらに上級の官位のうち征北將軍以上の位を授けるには皇帝の称号が必要となる。高い官位を与えると、武將は率いることができる兵の数が増加する。

太守コマンドは武將に都市を治める権利を与えるもので、太守は自身が治めている都市で開発をすると効果が大きくなる。なおひとりの武將が複数の都市の太守になることはできないが解任してもデメリットはない。

人事コマンドの種類

登用	— 消費命令点:3 必要能力:政治 増加経験点:3
----	------------------------------

支配都市にいる在野の武將を説得し、配下に加える。実行武將の政治値が高ければ高いほど成功する確率が高くなる

下級	忠誠△ 消費命令点:1 必要能力:— 増加経験点:—
----	-------------------------------

配下の武將に下級の官位を与える。官位を与えた武將は忠誠値が上昇する。すでに与えた官位より低い位は授けることができない

上級	忠誠△ 消費命令点:2 必要能力:— 増加経験点:—
----	-------------------------------

配下の武將に上級の官位を与える。官位を与えた武將は忠誠値が上昇する。ひとつの官位にはひとりの武將しかつづけることができない

太守	忠誠△ 消費命令点:2 必要能力:— 増加経験点:—
----	-------------------------------

配下の武將を、そのとき武將が滞在している都市の太守に任命する。太守が自分の治めている都市にいる場合は、開発の効果などに特典がある

官位についての注意点

丞相と大將軍は、その官位についている者がいるだけで君主の持つ命令点が増える。皇帝の称号を得るか献帝を擁しているなら、このふたつの官位は即座に配下の武將に与えておきたい。

また、武將に官位を与える場合、武勇値や統率値が低い武將には高い官位を与えないほうがいい。それは軍を派遣する際、官位が高い者が総大將になり戦闘でなにかと不利になるためだ。

太守コマンドの有効な使い方

太守を任命すると、治める都市に滞在しているだけで守備兵の自然増加数を上昇させたり、開発コマンドの効果を高めたりする効果がある。開発したい都市に政治値が高い武將を派遣して太守にすればかなり効果的だろう。また、太守に任命すると忠誠値が上がるので、ひとりの武將を移動させながら各地で太守にすれば何度も忠誠値を増加させられる。

官位表

コマンド	官位	最大兵数	必要段	定員	必要君主称号
上級	丞相	9999	10	1	皇帝
上級	大將軍	9999	10	1	皇帝
上級	驍騎將軍	9000	9	1	皇帝
上級	車騎將軍	9000	9	1	皇帝
上級	衛將軍	9000	9	1	皇帝
上級	征東將軍	8500	9	1	皇帝
上級	征南將軍	8500	9	1	皇帝
上級	征西將軍	8500	9	1	皇帝
上級	征北將軍	8500	9	1	皇帝
上級	鎮東將軍	8000	8	1	諸侯
上級	鎮南將軍	8000	8	1	諸侯
上級	鎮西將軍	8000	8	1	諸侯
上級	鎮北將軍	8000	8	1	諸侯
上級	前將軍	7500	8	1	諸侯
上級	後將軍	7500	8	1	諸侯
上級	左將軍	7500	8	1	諸侯
上級	右將軍	7500	8	1	諸侯
上級	安東將軍	7000	7	1	諸侯
上級	安南將軍	7000	7	1	諸侯
上級	安西將軍	7000	7	1	諸侯
上級	安北將軍	7000	7	1	諸侯
上級	平東將軍	6500	7	1	諸侯
上級	平南將軍	6500	7	1	諸侯
上級	平西將軍	6500	7	1	諸侯
上級	平北將軍	6500	7	1	諸侯
下級	將軍	5000	6	—	—
下級	偏將軍	4500	5	—	—
下級	校尉	4000	4	—	—
下級	中郎將	3500	3	—	—
下級	都尉	3000	2	—	—
—	無官	2000	—	—	—

献帝について

後漢最後の皇帝、献帝を持つ君主は、その時点での称号が何であれ、すべての官位を配下の武將に与えることができるようになる。また、外交において帝コマンドの実行が可能となる(42ページ参照)。

美人について

美人は、与えた武將の寿命を短くしてしまうが武將の能力を変化させる効果がある。また、配下に下賜した場合はさらに忠誠値を最大にする効果もある。なお、君主の後宮には何人でも美人を入れることができ、能力値も累積される。ただし、ひとりの配下武將にはひとりの美人しか下賜できないうえ、1度武將に与えた美人は、取り上げることもほかの武將に与え直すこともできない。

美人の能力修正値

美人名	武勇修正	統率修正	知謀修正	政治修正
貂蟬	+2	—	—1	—
大喬	+3	+2	+1	+1
小喬	+1	+2	+2	+1
樂氏	+1	+1	—	—
甘氏	+2	+1	—	—
孫氏	+2	+1	+2	+1
離氏	+1	+1	—1	—
甄氏	+1	+1	+1	+1
董氏	—	+1	+2	+2
伏氏	—	—	+1	+1



外交コマンド



外交コマンドは、うまく使えば自国の状況を有利にできる。特に内政に専念したい場合などは、周囲の君主との緊張を緩和することが重要となってくるだろう。

ただし、注意したいのは領土が隣接する他君主との外交のしかただ。領土が隣接した君主とは、どうしても交戦状態になりやすい。たとえ一時的に停戦が成功して交戦状態が解消されたとしても、ひとりの君主には1ターンの間に1度しか交渉できないため、直後の作戦フェイズでまたすぐに攻め込まれてしまうことがあるのだ。もしも和平を結んだのちに交戦状態にならないければ不戦条約を結ぶことも可能になるが、相手がすぐに攻めてくるようなら、以後その君主に対して外交交渉を行なうことは無駄といえる。

なお、不戦条約の期間中でも、条約を結んでいる君主の領地に攻め込むことは可能だ。ただし、配下の武将の忠誠値が大きくなってしまふので、攻める前に破棄のコマンドを実行したほうが賢明といえる。

外交コマンドの種類

友好	外交値△ 公金▼ 消費命令点:4 必要能力:政治 増加経験点:4
----	-------------------------------------

他君主と友好関係を結び、外交値を上昇させる。ただし、交戦状態にある君主に対してこのコマンドを実行することはできない

和平	外交値△ 公金▼ 消費命令点:5 必要能力:政治 増加経験点:5
----	-------------------------------------

交戦中の他君主に停戦交渉を行ない、和平を結ぶ。成功すると、外交値が若干上昇し、対象の君主との交戦状態が解消される

不戦	外交値△ 公金▼ 消費命令点:5 必要能力:政治 増加経験点:5
----	-------------------------------------

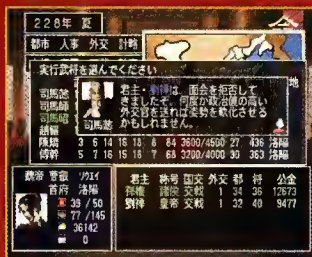
交戦状態でない君主と不戦条約を結ぶ。成功すると1年間、相手の君主はプレイヤーの都市に侵入しなくなる

破棄	— 消費命令点:1 必要能力:— 増加経験点:1
----	-----------------------------

すでに締結した不戦条約を破棄する。また、劉備が従属君主となっている場合はその従属関係を破棄する際にもこのコマンドを使用する。

出兵	— 消費命令点:2 必要能力:— 増加経験点:2
----	-----------------------------

劉備が自分の君主の従属君主となっている場合に使用可能。劉備に他君主の都市を攻撃させる。攻撃目標の都市は指定できる



外交官には政治家を

外交は首府にいる武将しかできない。外交に必要な能力は政治なので、政治値が高い武将を首府に置いておきたい。

献帝所有時の外交コマンド

君主が首府に献帝を擁している場合、外交で帝の3種類のコマンドが使用可能になる。これは献帝の勅命という形で他の君主に働きかけるといふもので、帝・和睦は外交コマンドの停戦、帝・不戦は外交コマンドの不戦とそれぞれ同じ効果だが、通常のコマンドよりも成功の確率が少しずつ高くなっている。

また、帝コマンドのみに存在しているのが征討である。これは他君主同士を争わせるというもので、使い所は難しいが、近隣の君主の眼を自分からそらせたいときなどに有効だろう。

献帝所有時に追加される外交コマンド

和睦	公金▼ 消費命令点:8 必要能力:政治、知謀 増加経験点:8
----	-----------------------------------

勅命により交戦中の他君主に対して停戦交渉を行ない、和睦する。成功すると、外交値が若干上昇し、対象の君主との交戦状態が解消される

不戦	公金▼ 消費命令点:8 必要能力:政治、知謀 増加経験点:8
----	-----------------------------------

勅命により交戦状態にない他君主と不戦条約を結ぶ。成功すると、1年間だけ相手から自国の都市への侵入がされなくなる

征討	公金▼ 消費命令点:8 必要能力:政治、知謀 増加経験点:8
----	-----------------------------------

勅命により、他君主同士を交戦状態にして争わせる。ただし、交戦状態にある君主に対してこのコマンドを実行することはできない

外交状態と外交値

他君主には、自分の君主との関係を示す外交値というパラメータがあり、数値の最低値は0、最高値は200である。これはその君主との友好状態を示すもので、外交値は停戦や友好を使うと上昇する。この数値が高い場合、君主との関係が良好であることを示し、高いほどその君主からの侵入がされにくくなる。

和平交渉がまとまった場合は、その君主との関係は停戦となり、外交値は以後1年間の間自動的に100になる。また、戦争をしている君主との関係は交戦となり、その君主に対して使用できる外交コマンドが和平と帝・和睦の2種類しかなくなる。

外交状態の種類

交戦	自分の君主とその君主が戦争状態であることを示す。都市が隣接していると、ほとんどの場合侵攻を受ける
不戦	自分の君主とその君主が不戦条約を結んでいることを示す。条約を破棄しないで攻めると配下の武将の忠誠値が下がる



外交値の確認

外交値や外交状態は情報コマンドの君主一覧で確認できる。外交コマンドの実行前には、必ずチェックしておきたい。



計略コマンド



他君主に対して密かに計略活動を行なうのが計略コマンドだ。計略は基本的に支配都市に隣接した敵都市や、その都市にいる武将に対して行なう。コマンドの実行には計略を担当する武将がひとり必要となり、実行する武将の知謀値が高いほど成功する確率は上がる。ただし、対象となっている都市の治安値が高い場合や、都市に知謀値が高い武将がいる場合は、成功の確率が極端に下がる。コマンド実行に必要な命令点も多く、また成否にかかわらず対象君主との外交値が下がるため、実行する機会はあまり多くないかもしれない。

なお計略コマンドは、対象都市に隣接している都市にいる武将と、首府にいる武将のどちらでも実行が可能だが、同じ計略を1ターンに2度こころみることはできない。

計略コマンドの種類

偽書	敵将の忠誠▼ 公金▼ 消費命令点:11 必要能力:知謀 増加経験点:11
----	---

他君主配下の武将の不正を捏造し忠誠値を低下させる。失敗すると逆に武将の忠誠値が上昇する。対象武将の君主の知謀値が高い場合は失敗しやすい

調略	敵将離反 公金▼ 消費命令点:13 必要能力:知謀 増加経験点:13
----	---------------------------------------

他君主配下の武将を離反させ、自分の配下の武将とする。忠誠値11以上の武将に対しては効果がない。また、国力が高い君主の武将に対しては失敗しやすい

招降	敵都市中立化 公金▼ 消費命令点:17 必要能力:知謀 増加経験点:17
----	---

他君主支配下の都市を離反させ、中立にする。都市の治安値が高い場合は失敗しやすい。治安値が10以下の都市の場合は自国支配都市になることがある

驅虎	敵二君主を交戦状態にする 公金▼ 消費命令点:21 必要能力:知謀 増加経験点:21
----	---

他君主と他君主の外交関係を悪化させ、互いに争わせる。自君主の領土に隣接している君主に対して実行可能

流言	敵都市治安▼ 公金▼ 消費命令点:15 必要能力:知謀 増加経験点:15
----	---

他君主の支配している都市に悪い噂を流し、治安を低下させる。都市の治安が高い場合は失敗しやすい。失敗すると治安値が若干上昇する

破壊	敵都市兵糧▼ 敵都市城壁▼ 公金▼ 消費命令点:17 必要能力:知謀 増加経験点:17
----	--

他君主の支配している都市に対して密かに破壊活動を行ない、城壁防御力と備蓄兵糧数を低下させる



計略のかけ方

計略は非常に成功率が低い。成功させるためには、実行する武将の知謀値は25以上が望ましく、さらに対象都市にいる武将の知謀値が低いことが絶対条件となる。それでも失敗することが多いので、命令点が残った場合以外は使わないほうが無難だ。

ただし、計略が成功したときに相手に与えるダメージは大きなものがある。知謀値が高い武将を擁し、さらに命令点にも余裕があるのならば、とりあえずかけてみよう。



敵の計略と防ぎ方

なかなかうまくいかない自陣営の計略に対し、他君主は不思議なほど計略を成功させてくる。もし敵からの計略を防ごうと思うのなら、守りたい都市に知謀値が高い武将を配置することが第一となる。また、都市の治安値を上げておくことも重要だろう。

敵の計略の対象となるのは、他君主との国境線ぞいにある都市だけである。しかし、すべての国境線上の都市に対して防御策を施すのは大変なので、敵の計略による被害はある程度は覚悟し、計略を受けたあとのリカバリーに力を傾けるようにしよう。

偽書

「配下武将の不正が発覚しました」というメッセージが出た場合は他君主が偽書を使ってきている。この計略に対しての対応策は、敵に隣接している都市から狙われている武将を移動させる以外にはない。もし忠誠値を下げられてしまったら、官位を上げるか太守に任命するなどして上昇させよう

調略

配下の武将が他君主のもとへ去ってしまった場合は、他君主が調略を使ってきている。この計略は忠誠値が10以下の武将にしか効果がないので、配下の武将の忠誠値には常に気を配っておこう。忠誠値が低い武将は、敵に隣接していない都市に移すか、人事コマンドを使って忠誠値を上げること

流言

「支配下都市に妙な噂が流れています」というメッセージが出た場合は、他君主が流言を使ってきている。この計略に対しては、知謀値の高い武将を配置しておくことが防御策となる。都市の治安値を上げておくことも重要だ。また、太守自身がその都市にいれば計略の成功確率が下がる

破壊

「支配都市の防御施設が破壊されました」というメッセージが出た場合は、他君主が破壊を使ってきている。破壊に対する防御策は流言と同じだ。もし破壊されてしまった場合、その都市が攻撃される証拠でもある。その後に自分の順番が来たなら、城壁の強化と兵糧の確保を必ずしておきたい



軍備コマンド



配下の武将が率いている兵や、支配下都市の守備兵の整理・増強を行なうコマンドが軍備である。

武将の率いる兵を増加させるには、都市の守備兵を武将に与えるほかはない。各都市の守備兵は毎ターンわずかに増加するが、それだけでは戦闘による消耗を補いきれなくなる。兵力増強の方法は後述しているので参考してほしい。

また、練兵の効果も無視できない。戦闘力が上昇するほか、その武将が総大将になった際の軍の戦意にも影響する。命令点が残ったら、総大将になる武将の兵の練度を優先して上げておきたい。

軍備コマンドの種類

徴兵	守備兵数△ 農業▼ 治安▼ 公金▼ 消費命令点:3 必要能力:政治 増加経験点:3
----	--

都市で徴兵し、守備兵力を増加させる。農民を兵として取り立てるため、農業値が低下する。また、治安値も若干低下する

配分	— 消費命令点:1 必要能力:— 増加経験点:—
----	-----------------------------

武将に兵を与える。守備兵は最低でも1000人は残しておかなくてはならない。兵を増加させた武将の練度が50以上だった場合は低下する

練兵	練度△ 消費命令点:1 必要能力:統率 増加経験点:1
----	--------------------------------

配下武将の兵を訓練し、練度を上昇させる。練度は総合戦力値を上昇させるほかに、武将が総大将になった際の全軍の戦意にも影響する

水軍	水軍力△ 公金▼ 消費命令点:10 必要能力:政治 増加経験点:10
----	---------------------------------------

長江沿いの都市で実行可能。艦船を建造し、水軍力を増強する。

総合戦力値の計算方法

野戦や攻城戦において、武将の戦闘能力は総合戦力値によって決められる。総合戦力値は、武将の武勇、統率力、指揮兵数、練度によって決定される。

総合戦力値の求め方

1 まず戦闘可能兵数を算出する。

$$\text{戦闘可能兵数} = \text{統率値} \times 200$$

算出した値より現在兵数が少ない場合、

戦闘可能兵数は現在兵数を使用する。

※ 統率より段の値のほうが高い場合、段を使用する。

2 文官修正を算出する

$$\text{文官の場合: } \frac{1}{3}$$

$$\text{武官の場合: } \frac{2}{5}$$

3 次に総合戦力を算出する。

$$\left(\frac{\text{武勇} + 5}{10} \right) \times \text{戦闘可能兵数} \times \left(\frac{50 + \frac{\text{練度}}{2}}{100} \right) \times \text{文官修正}$$

※ 武勇より段の値のほうが高い場合、段を使用する。

※ ゲーム中での練度は小数点以下切り上げとなっている

兵力の上手な増やし方と注意点

徴兵のコマンドを行なうと、都市の治安や農業の値が低下するため、できれば避けたい。自然増加する都市の守備兵がある程度まで増えたら、その余剰兵を任意の都市へ移動させ、武将に配分するのがもっとも理想的な方法である。なお守備兵の自然増加量は、治安値を上げたり太守を駐在させるとより多くなるので是非実行してほしい。

水軍の補強のしかた

水軍は、戦闘艦艇を建造して水軍力を増加させるコマンドである。長江沿いにある都市のみで実行可能で、コマンドを実行する武将はその都市にいないなければならない。

建造される艦艇は3種類で、大きいほうから閩艦(戦闘力150)、蒙衝(戦闘力100)、走舸(戦闘力50)となっている。閩艦は大都市、蒙衝は中都市以上、走舸は小都市以上で建造が可能だ。ただし、君主の称号、公金の量、コマンド実行武将の政治値などの関係により、大都市で水軍コマンドを使用しても必ず閩艦ができるというわけではない。なお、君主が保有している艦艇や建造された艦艇の艦種類を確認することはできないが、水軍コマンド実行時に増加した水軍力で、どの艦艇が建造されたのかを推測することは可能である。

水軍コマンドが実行可能な都市

州名	都市名
揚州	皖、曲阿、居巢、建業、呉、柴桑、濡須、朱城、鄱陽、富春、揚中
荊州	夷道、烏林、公安、江夏、江陵、信陵、西陵、巴丘、武昌、陸口、臨湘



移動コマンド



武将や守備兵を都市から都市へ動かすコマンドが移動である。移動コマンドで武将や兵を都市から都市へ動かす際は、距離や人数は関係なく移動させることができる。目標都市が1ヵ所なら、どこでも、何人動かしても命令点は1回ぶんだけ。なお、移動コマンドを使った武将は、そのターンはもう移動コマンドを使用することができなくなるが、その他のコマンドを実行することは可能である。

移動コマンドの種類

武将	消費命令点:1 必要能力:— 増加経験点:—
----	------------------------

武将を都市から都市へ移動させる。移動させた武将は、そのターンはもう移動コマンドを実行することができなくなる

兵士	消費命令点:1 必要能力:— 増加経験点:—
----	------------------------

守備兵を都市から都市へ移動させる。ただし、守備兵は最低でも1000人は残しておかなければならない

脱出	消費命令点:15 必要能力:— 増加経験点:—
----	-------------------------

孤立(39ページ参照)した都市にいる武将を全員首府へ脱出させる。脱出した武将は、そのターンはほかのコマンドを実行することができなくなる



情報コマンド



情報コマンドを使うと、都市や武将のパラメータを見ることが出来る。都市一覧、武将一覧、君主一覧、全都市一覧、全武将一覧の5つがあり、さらに各項目にカーソルを合わせて○ボタンを押せばパラメータの詳細をチェックすることが可能だ。なお、情報コマンドは何度見ても命令点を消費しない。



情報コマンドの種類

都市一覧	消費命令点:0 必要能力:— 増加経験点:—
------	------------------------

プレイヤー君主の支配下にある都市の一覧を表示する。カーソルを都市に合わせて○ボタンを押すと都市の詳細情報画面になる

武将一覧	消費命令点:0 必要能力:— 増加経験点:—
------	------------------------

プレイヤー君主の配下武将の一覧を表示する。カーソルを武将個人に合わせて○ボタンを押すと武将の詳細情報画面になる

君主一覧	消費命令点:0 必要能力:— 増加経験点:—
------	------------------------

現在の各君主の状態を表示する。カーソルを君主個人に合わせて○ボタンを押すと君主の詳細情報画面になる

全都市一覧	消費命令点:0 必要能力:— 増加経験点:—
-------	------------------------

全ての都市の一覧を表示する。カーソルを都市に合わせて○ボタンを押すと都市の詳細情報画面になる

全武将一覧	消費命令点:0 必要能力:— 増加経験点:—
-------	------------------------

現在登場している武将の一覧を表示する。カーソルを武将個人に合わせて○ボタンを押すと武将の詳細情報画面になる



劉備の放浪コマンド



戦史1の劉備は、最初から放浪状態ではじまる。この放浪とは戦史1~3の劉備のみが可能な特殊な状態で、放浪中は特別なコマンドを使用することになる。放浪状態の劉備は支配都市をひとつも持っていないが、他の君主支配下の都市に移動することが可能だ。放浪中のコマンドは移動、会見、挙兵、情報の4つで、このうち情報以外のコマンドを選択すると、そのターンはほかのコマンドを選ぶことができなくなる。

ちなみに、挙兵後に支配都市をすべて失ってしまうと、群雄だったならば放浪に戻るが、諸侯以上の場合は滅亡となる。

放浪中のコマンドの種類

移動	劉備とその配下の武将を、現在いる都市から隣接する都市に移動させる。3回まで移動可能
会見	他君主の首府でのみ可能。他君主に従属して領土をひとつ与えられる。失敗すると、その君主とは1年間会見できない
挙兵	現在滞っている都市で兵を挙げ、独立して君主となる。他君主の首府と関では挙兵できない
情報	情報を見る。通常の情報コマンドと同じで、何度見ても同じターンにほかのコマンドを実行可能



挙兵の方法

挙兵する都市に、他君主の武将や中立の武将がいると、挙兵が失敗する恐れがある。確実に挙兵したいのなら空白地や武将がいらない都市でするといい。ただし、中立武将を降して挙兵に成功すれば、その中立武将を捕虜にできるので、序盤の人材不足の状態では貴重な戦力になる。

また、挙兵する場所に関しても問題がある。大勢力に近い場所で挙兵しても、すぐに攻められてしまうだけだ。できる限り武将のいない中立都市が広がる場所を選びたい。

従属君主

他君主の従属君主になると、他君主の持つ都市をひとつ与えられ、とりあえず独立した格好にはなる。ただし、盟主(劉備を雇い入れた君主)との関係は不戦条約を結んでいるのと同じ状態になるため、盟主の領土に侵攻すると配下の武将の忠誠値が下がってしまう。盟主に敵対する場合は、攻め込む前に同盟関係を破棄しておくこと。

計 划

戦略フェイズ

他国へ侵攻する際の作戦計画を立案する戦略フェイズ。
作戦フェイズで失敗しないためにも、戦闘の実行順や参加する武将、
敵の戦力などを考慮して計画を立案しなければならない。



作戦計画の立案



戦略フェイズでは、直後の作戦フェイズで実行される作戦計画を立案する。作戦計画は5つまで立案可能で、1度決定した作戦計画は中止できないので注意すること。

敵都市に対する攻撃は、攻撃対象都市に隣接している都市を拠点として行なわれる。攻撃拠点となる自君主の支配都市を選択した際に、明るく表示されている都市に対して攻撃が可能だ。なお、攻撃拠点到隣接しているにも関わらず攻撃対象として選択できない都市は、計画立案に必要な条件のうちどれかを満たしていないということになる。

作戦計画を立案するにあたっては、気をつけなくてはいいけない点が5つある。要点を一覧にしたので参考にしてほしい。

攻撃拠点の存在

作戦計画を立案する際は、攻撃対象都市に隣接している自君主の支配都市を攻撃の拠点とする。攻撃拠点は首府と連絡線が通じている必要があり、さらに攻撃対象都市と陸路もしくは水路によってつながっていないといけない。攻撃拠点到に武将が存在していなくても作戦計画は立案できる

攻撃兵力の存在

作戦計画には、戦闘に参加する武将が必要になる。動員できるのは攻撃対象都市より陸路もしくは水路によってつながった3行程の範囲の都市にいる武将のみ。また、計画には最大8人の武将が参加可能であり、そのなかからもっとも官位が高い武将が自動的に選択されて総大将となる

水路を通過して攻撃する場合

水路沿いに敵都市を攻撃する場合は、水軍力が必要となる。水軍力は0でなければ参加兵力の大小に関係なく侵攻は可能だ。この場合、敵が水軍力を有しており、なおかつ作戦フェイズにおいて迎撃してきた場合は、国境で野戦のかわりに水軍戦が発生する(51ページ参照)

資金

作戦計画の実行には、動員する兵力に応じた公金が軍資金として必要となる。必要な公金が不足している場合、作戦計画は実行できない。また、敵の攻撃を受けた際に迎撃部隊を出撃させるためにも公金が必要となるため、他君主の攻撃が予想される場合は多少の公金を残しておくこと

攻撃実行の順番

攻撃計画は5つまで立案が可能である。同じ都市を複数の軍勢で攻撃することも可能だ。ただし、計画は作戦フェイズに立案した順に遂行されるため、攻撃計画の順番も考慮しなくてはならない。先の攻撃計画で攻撃が成功して目標の都市を占領した場合、同じ都市を目標としている他の攻撃計画は中止される



奇襲攻撃の提案



作戦計画を決定すると、まれに幕僚から奇襲攻撃が提案されることがある。奇襲攻撃は、作戦計画で目標となっている都市の背後の都市を攻撃するもので、攻撃拠点の都市と奇襲の目標となる都市が隣接していなくても実行できる。

奇襲攻撃の結果は戦略フェイズの直後、作戦フェイズの最初に、通常の作戦計画の実行にさきがけて解決される。敵の武将が攻撃目標の都市にいた場合は自動的に戦闘が行なわれ、勝利した場合は目標都市を占領することができる。



提案の採択

奇襲攻撃は却下もできる。奇襲が成功してもその後の作戦計画が失敗すると奇襲部隊が孤立するので、よく考えること。

奇襲攻撃の条件と狙い方

奇襲攻撃提案の発生には条件がある。まず、君主と同じ都市に攻撃計画や奇襲攻撃に参加していない知謀値が20以上の武将がいること。さらに、まだ攻撃計画に参加していない武将が目標都市に奇襲攻撃可能な都市にいること。奇襲に必要な公金が不足していないことである。

奇襲攻撃を確実に提案させる方法はないが、提案の確率を上げる方法はある。君主のいる都市に知謀値が20以上の武将を数人置き、この武将達を攻撃計画に参加させないのだ。

奇襲攻撃の注意

奇襲攻撃が成功したとしても、その奇襲と連動してたてた作戦計画が失敗してしまうと、奇襲で奪った都市との連絡線が切れた状態になって孤立してしまう可能性が高い。奇襲攻撃に相応した作戦計画が成功する自信がある場合か、失敗しても奇襲部隊が孤立しない場合のみ、奇襲を行なうようにしたい。

作戦計画の上手なたて方

作戦計画は、実行された際にすでに勝利が確約されているべきである。無意味に作戦計画を乱発しても攻撃は成功しない。特に敵が籠城し、攻城戦になった場合はそう簡単に勝つことはできないはずだ。

野戦と攻城戦の選択

敵は攻撃目標の都市にいる武将以外に、周辺の都市にいる武将も迎撃に参加させてくる(48ページ参照)。迎撃に動員できる兵力が攻撃軍より多いか同じくらいの場合は野戦、少ない場合は籠城を選択してくれるので、敵との野戦を希望するなら目標都市周辺の敵武将の兵力をあらかじめ調べておき、ほぼ同等の兵力で攻め込むといい。野戦に勝利すれば、敵の守備兵力を大きく削ぐことが可能で、この段階で大きな戦力差が生じた場合は敵を城を放棄して退却することもある。

しかし、野戦にならずに最初から敵に籠城されるとやっかいだ。城壁防御力が高い城の場合、1度の攻城戦で陥落させるのは困難だろう。強襲しても被害が大きくなるばかりなので、城壁防御力が低い場合以外は包囲による兵糧攻めとするのがいいだろう。1ターンにいくつかの部隊を使ってひとつの都市を攻撃させ、包囲を続けられ、兵糧をかなり減らすことができるはずだ。



陸路と水路

陸路を通じて敵都市を攻撃した場合、迎撃があれば野戦になる。同様に、水路を通じての攻撃に迎撃があると水軍戦が発生する。水軍戦は、敵より自分の水軍力が上回っている場合だけにすべきで、不安なら、攻撃計画は陸路からに絞るべきだ。



総大将の選び方

軍を編成する際、総大将は攻撃計画に参加する武將のなかでもっとも官位が高い武將が自動的に任命される。総大将には統率値、知謀値、兵の練度の3つが高い武將がいい。統率値は戦場で の守備力、知謀値は敵の計略を看破できるかどうか、練度は軍全体の戦意に関わるからだ。

さらに総大将を、武勇値の高い武官にすることは避けたい。なぜなら、一騎討ちに依じて負けてしまうと、軍が敗走してしまうことになるからだ。総大将より武勇値が高い武将を必ず攻撃に参加させるか、一騎討ちを行なわない文官を総大将に起用するようにしたい。(50ページ参照)

敵の攻撃にも注意

戦略フェイズのあとにある作戦フェイズでは、順番が回ってきた君主から作戦計画を遂行していく。自君主より先に順番が回ってきた他君主に攻め込まれてしまった際、攻撃されている都市が自分のたてた作戦計画の攻撃拠点になっていると、その計画は中止されてしまう。

計画の邪魔をされることを避けるためには、敵に攻撃される可能性が低いと思われる都市を拠点として計画をたてればよい。また、攻撃目標となる都市が複数の都市と接している場合は、作戦計画をいくつかたてて攻撃拠点を数か所に分散させておくというののひとつの手である。ただし、作戦フェイズでの順番は一定ではないので、隣接している君主が先になるか自分が先になるかは運の問題といってもいいだろう。

中立都市の攻略法

戦史によっては、どの君主にも属さない中立の勢力が存在する。中立勢力は他の都市に侵攻することがなく、攻撃を受けた際は必ず籠城する。これらの中立都市を攻撃する際は、大兵力で攻めるといい。相手が降伏し、無血占領できるのだ。兵力がない場合は1ターンに何回か攻め込み、包囲して兵糧を減らせば確実に勝利することができるはずだ。

迎撃にも兵力を割く

敵の侵攻を受けた際、迎撃できる武将は攻撃計画に参加していない者と、その都市にいる中止された攻撃計画の参加者のみである。敵の侵攻が予想される場合は、迎撃用の兵力をある程度残しておくことが重要だ。



戦斗

作戦フェイズ

戦略フェイズでたてた作戦計画を実行するのが作戦フェイズである。

あまたの武将が軍勢を率いてぶつかりあい、
一騎討ち、野戦、水軍戦、そして攻城戦が繰り返される。

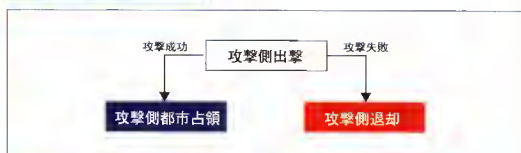


奇襲攻撃の解決



作戦計画の実行にさきがけて、各君主の奇襲攻撃が解決される。奇襲攻撃の攻撃対象都市に武将がいなかった場合、攻撃は自動的に成功。しかし、守備する武将がいた場合は戦闘になる。戦闘は自動的に解決され、攻撃軍が勝利すると都市を占領、失敗すると攻撃拠点となった都市に退却する。

奇襲攻撃の解決手順



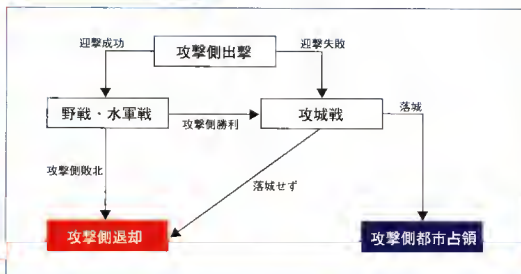
攻撃計画の解決



奇襲攻撃の解決が終わると、つぎに各君主の攻撃計画が実行される。まず計画を遂行する君主の順番が決定され、各君主は自分の攻撃順が回ってきた際に、戦略フェイズで立案した計画の順番に従って攻撃を行なう。

もし自君主の攻撃より先に他君主からの攻撃を受けた場合、プレイヤーはまず迎撃をするか籠城するかを選択しなくてはならない。また自分の攻撃計画の拠点となっている都市を攻撃された場合、その都市を拠点とする攻撃計画はすべて中止となる。そして自君主の手番がきたら、中止となっていない攻撃計画を計画した順に実行することになるのだ。

攻撃計画の解決手順



迎撃



敵の攻撃を受けた際、その攻撃に対して迎撃をすることができる。迎撃を行なう場所は敵国、国境、自国の3カ所があり、敵の攻撃を察知した位置で迎撃できる場所が変わる。攻撃の察知は自動的に判定され、攻撃される都市に知謀が高い武将がいる場合や、敵が大军だった場合などはより遠くの位置で察知できるようになる。自国で迎撃する場合は戦闘時に少し有利になるが、治安値が低下してしまうので注意すること。もしも敵の攻撃の察知が遅れた場合や、迎撃に必要な資金が足りない場合は籠城しかできない。

迎撃に参加できる武将は、敵の攻撃対象となっている都市にいる者のほか、その都市から最大で3行程以内にある都市にいる攻撃計画に参加していない武将で、最大で8人までである。離れた都市から武将を呼ぶ場合は、どこで迎撃するかによって、武将を呼べる距離が変わってくる。

迎撃時に選択できるコマンド

放棄	都市を放棄し、敵にあげわたす。都市に武将がいなかった場合はこのコマンドしか選択できない
退却	都市を放棄して隣接した味方支配都市に退却する。退却先の都市は自動的に決定される
籠城	都市に籠城して、敵攻撃軍を迎え討つ。都市の城壁か兵糧の値が0になると敗北してその都市は占領される
自国	自国領内で迎撃する。若干防御に有利になるが、自国都市のパラメータが下がる
国境	国境で迎撃する。防御修正などはない。水路からの敵を迎撃する場合は国境しか選択できない
敵国	敵国領内で迎撃する。防御修正などはない。敵国都市の農業が下がる

堅壁清野の計

敵の攻撃を早期に察知した場合、配下の武将から堅壁清野の計が提案されることがある。この計略は進撃路の村落に火を放って相手の補給路を断つというもので、実行すると戦闘は行なわれず敵軍は自動的に退却する。ただし、都市の農業値と商業値が大幅に低下してしまうので、敵戦力が大きく、迎撃しても勝利することが難しいとき以外は採用は避けたいところだ。

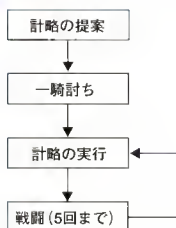
野 戦

攻撃軍に対して迎撃があった場合、野戦が発生する。野戦は両軍の参加武将が互いに攻撃しあい、どちらかの軍勢の戦意が0になるか、総大将が撃破されるか、もしくは一方が退却すると決着がつく。もしも、両軍が攻撃を5回ずつし終わっても決着がつかなかった場合は時間切れとなり、双方退却となる。戦意が低下して総大将が自ら退却した場合を除き、敗軍は総崩れになって敗走し、追撃を受けてしまう(52ページ参照)。戦闘終了後、攻撃計画に参加した武将は戦功に応じて経験が上昇する。

また、野戦の解決前に双方の武将同士による一騎討ちが発生することがある(P50参照)。一騎討ちの結果は、双方の戦意に影響を与えるほか、一騎討ちで敗北した武将が総大将だった場合、その軍は敗走してしまう。

なお、迎撃側が野戦に敗れた場合、敵の捕虜になった武将は解放されても直後の都市の防衛戦に参加できない。

野戦解決の手順



野戦での計略

野戦が開始される際、戦闘に参加している総大将以外の武将から計略を提案される場合がある。許可すると武将は野戦から外れて予備武将となり、計略を実行する機会をうかがう。計略をしかけるまでの時間は武将の知謀値が高いほど早くなる。

計略には全部で6種類あり、実行武将と相手総大将の知謀の値によって威力が変わってくる。計略を実行すると、武将は再び予備武将に戻り、さらに計略の機会をうかがい続ける。また、計略が失敗した際に計略予備の武将が離脱することがある。

計略の種類

急撃の計	敵軍勢の中央に突撃し、総大将を撃破する。敵軍勢は総崩れとなって敗走する
火計	敵陣に火を放つ。総大将と予備武将以外の敵の武将3人をランダムに選択し、離脱させる。敵の戦意も大幅に低下する
横撃の計	敵陣に側面から急襲する。総大将と予備武将以外の武将ふたりをランダムに選択し、離脱させる。敵の戦意も低下する
背伏の計	伏兵を使って攻撃する。総大将と予備武将以外の武将ひとりランダムに選択し、離脱させる。敵の戦意も低下する
大喝の計	味方武将が敵陣に向かって大喝し、相手の氣勢を削ぐ。敵軍勢の戦意を大幅に低下させる

野戦の解決

野戦では決着がつくまで攻撃側→防御側の順番で互いの軍勢を攻撃することになる。攻撃の直前にプレイヤーは部隊の戦闘方針に関する支持を出せるが、戦闘そのものは自動的に進行する。また、戦闘に際しては、武将の武勇値が攻撃力に、統率値が防御力になり、対戦は自動的に決定される。

なお、計略の実行のため予備になっている武将は野戦には参加しない。敵の攻撃を受けることもなく、計略の対象にもならないが、軍勢が敗走してしまった場合は共に退却することになる。

野戦時のコマンド

強襲	相手の軍勢に対し、強力な攻撃をしかける。攻撃力が上がるため、敵軍に与える損害が多くなるが、そのぶん味方の被害も大きくなる。敵より戦力が格段に大きい場合や、相手部隊を早急に撃破したい際に使うといいだろう
防御	守りを固め、敵の攻撃を防ぐ。防御力が上がるため敵の攻撃による被害は減るが、自軍の攻撃によって相手に与える損害も少なくなる。敵より戦力が少ない際は防御を選択して被害を減らし、時間切れを狙っていくといいだろう
後詰	計略予備に回っている武将を呼び戻し、戦線に復帰させる。呼び戻した武将を再び計略予備につかせることはできない。味方の武将が撃破されて離脱し、前線の戦力が低下してしまった場合に使うと便利なコマンドである

戦意について

野戦に際して注意すべきことは、全軍の戦意である。戦意は戦闘中に低下し、極端に低くなると退却し、さらに0になると全軍が敗走してしまう。高い戦意を確保するためには、総大将の兵の練度が高くなければならない。練度が低い武将が総大将となっている場合は必ず戦闘の前に練兵を行ない少なくとも50以上の練度にするようしよう。

また、戦闘の前に行なわれる一騎討ちに敗北した場合のほか味方部隊が撃破されても戦意は低下する。従って、兵数が少ない武将を頭数をそろえる意味だけで連れて行くのは危険だ。兵数が少ない武将は籠城時を除いて戦闘に参加させないようにしたい。ただし、部隊のなかで知謀値がもっとも高い武将(部隊が5人以上の場合は2番目に高い武将まで)はこの限りではない。知謀値の高い武将は計略予備に回るが、予備武将は戦闘に参加せず、敵の攻撃を受けないためである。





一騎討ち



一騎討ちとは野戦に参加している武将同士がそれぞれ名乗りをあげ、1対1の戦いを行なうものである。一騎討ちが発生する条件は、両軍に君主以外で一騎討ちが可能な武官の武将がいること、またその武将が戦略の予備武将になっていないことの2点。ただ、一方もしくは両方の軍の兵数が多い場合、もしくは武官がいてもいずれも武勇値が低い者ばかりの場合は一騎討ちが発生しにくい。

一騎討ちは、カードバトルで行なわれる。一騎討ちが開始されると、まず攻撃側と防御側に分かれ、先に攻撃側が手札を出し、次に守備側が手札を出すことになる。そして、その後お互いの手札を公開して結果を出す。攻撃の結果、武将の体力がなくなったら一騎討ちは負けで、敗戦側の武将は敵に捕らわれるか死亡する。

一騎討ち後、勝利した軍の戦意は上昇、敗れた軍の戦意は低下し、野戦となる。一騎討ちに総大将が出て敗れると、その時点で軍勢は敗走し、野戦は終了してしまう。

一騎討ちに使用する札

攻撃	2枚以上で使用可能
攻撃側のみ使用可能。敵に攻撃を行ない、武勇値に応じて体力を減少させる。多い枚数で出せば出すほど命中率と攻撃力が上昇する	
必殺	3枚以上で使用可能
攻撃側のみ使用可能。敵に強力な攻撃を行ない、武勇値に応じて体力を減少させる。多い枚数で出せば出すほど命中率と攻撃力が上昇する	
牽制	2枚以上で使用可能
攻撃側でも守備側でも使用可能。攻撃側で使った場合、相手が牽制の札を出していた場合のみ攻撃を行なう。守備側で出した場合は相手の攻撃や必殺をかわしつつ反撃する。多い枚数で出せば出すほど、攻撃側なら命中率と攻撃力、守備側なら反撃できる確率と攻撃力が上昇し、成功すれば攻守が入れ替わる	
防御	2枚以上で使用可能
守備側のみ使用可能。敵の攻撃を防ぎ、ダメージを軽減する。多い枚数で出せば出すほど守備力が上昇する	
回避	2枚以上で使用可能
守備側のみ使用可能。敵の攻撃を回避する。回避に成功すればダメージを受けない。多い枚数で出せば出すほど回避率が上昇する	
逃走	2枚以上で使用可能
攻撃側でも守備側でも使用可能。一騎討ちを中止し、脱出する(一騎討ちは敗北となる)。7回目以降に配られる	
間合	1枚以上で使用可能
攻撃側でも守備側でも使用可能。場に何の手札も出ることができない際にいる。間合を出した際は、同時にいらぬ手札を捨てることが可能だ。また、攻撃側がこの札を出すと、自動的に攻守が入れ替わる	

一騎討ちの結果

防御側札	攻撃側札				
	攻撃	必殺	牽制	逃走	間合
防御	防御側ダメージ軽減	防御側ダメージ軽減	効果なし	攻撃側逃走	攻守交替
回避	防御側回避成功ならダメージなし。失敗なら防御側ダメージ	防御側回避成功ならダメージなし。失敗なら防御側ダメージ	効果なし	攻撃側逃走	攻守交替
牽制	防御側牽制成功なら攻撃側ダメージ攻守交替。失敗なら防御側ダメージ	防御側牽制成功なら攻撃側ダメージ攻守交替。失敗なら防御側ダメージ	防御側ダメージ	攻撃側逃走	攻守交替
逃走	防御側逃走成功なら逃走。失敗ならダメージ	防御側逃走成功なら逃走。失敗ならダメージ	防御側逃走	攻撃側逃走	防御側逃走
間合	防御側ダメージ	防御側ダメージ	効果なし	攻撃側逃走	攻守交替

一騎討ちのタイプ

武将は一騎討ちの際にどのような手札がくるか6つのタイプに分けられる。これからくる手札の傾向がわかれば、一騎討ちをより有利に進められるだろう。

各タイプの特徴

平均型	6回目までは攻撃カードが多め、牽制カードがやや多めで、7回目以降は必殺カードがやや多めに配られる
攻撃型	6回目までは攻撃カードが圧倒的に多く、7回目以降になると攻撃がやや減る分、他のカードが配られやすくなる
必殺型	6回目までは攻撃カードが多め、牽制と必殺カードがやや多めで、7回目以降は必殺カードがより多めに配られる
防御型	6回目までは攻撃カードが多め、牽制と防御カードがやや多めで、7回目以降は必殺カードがやや多めに配られる
牽制型	6回目までは攻撃と牽制カードが多めで、7回目以降もその傾向は続く
回避型	6回目までは攻撃が多め、牽制と回避カードがやや多めで、7回目以降は攻撃カード率がやや下がるが同じ傾向が続く

一騎討ちの戦い方

一騎討ちで大事なコツはまず、敵の出すカードの種類を予想することだ。例えば、敵が4~5枚のカードをまとめて出したら、それはほぼ「攻撃」か「必殺」である。その場合は「防御」を出すのがもっとも無難だろう。もし一気に5枚のカードをきってきたら、次の手番で同じカードを出してくる確率は低くなる。敵の出した手札が一枚だけだったら、それは確実に「間合」である。

このように敵の出すカードに対応したカードを出せば、武勇値に差がある相手とも勝負になるはずだ。またカードを出す際には、その枚数も工夫したほうがいい。もちろんできるだけ一気に多い枚数を出したほうが効果があるのだが、それは最後のとどめとして。敵の体力を徐々に減らすには、長く攻撃を続けられるようにカードを出すほうがいいからだ。

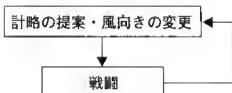
もしもなかなか一騎討ちに勝てないようなら、ゲームのメニュー画面→「各種設定画面」にある練習モードで鍛えよう。

水軍戦

水路を通じて侵襲してくる軍勢に対し迎撃が行なわれると、水軍戦が発生する。ただし、迎撃側に水軍力がない場合、水軍戦は起こらず防御側は籠城か退却しか選べなくなる。水軍戦は両軍の水軍力を総動員して行なわれる。

水軍戦は、まず陣形を選択してから開始される。その後は自動的に戦闘が進行し、一方が退却すると戦闘が終了となる。

水軍戦の解決手順



水軍戦における戦闘力

水軍戦における戦闘力は、野戦時における戦闘力とは計算の方法が異なる。勝敗は保有する艦艇によって左右され、武将の能力や率いている兵数は重要ではない。艦船ごとの戦闘力は以下の表を参照のこと。攻撃拠点の都市の規模によっては出撃できない艦船があるので注意が必要だ。なお、艦船にはそれぞれ武将が乗艦し、その能力は計略の実行の際に関係する。

艦船表

艦種	戦闘力	乗船する武将の最低官位	出撃可能都市
闘艦	150	偏将軍	大都市
蒙衝	100	中郎将	中都市以上
走舸	50	無官	小都市以上



水軍戦での計略

水軍戦での計略は2種類あり、実行されるといずれも自動的に解決される。計略の提案には、武将が4人以上おり、なおかつそのなかに知謀値が20以上の武将が含まれている必要がある。

水軍戦の計略の種類

火計	知謀値25以上の武将がいる場合に提案されることがある。敵の艦船に火を放ち、大損害を与える
潜計	知謀値20以上の武将がいる場合に提案されることがある。潜水兵が敵の艦船を攻撃し、損害を与える

陣形の選択

水軍戦では、まず自軍艦隊の陣形を選択する。各陣形はそれぞれ戦闘の際に有利・不利が設定されており、陣形の種類は以下のとおりである。なお、戦闘が開始後は陣形を変更できない。

雁行陣



- 鉤行陣に対して有利
- 単横陣に対して不利

旗艦を最後尾にして、雁が群れをなすように艦艇を並べてV字型に陣形を組む

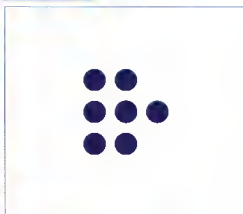
鉤行陣



- 鉤行陣に対して有利
- 雁行陣に対して不利

旗艦の左右に艦艇を並べて配置し、楔形に陣形を組む

錐行陣



- 単横陣に対して有利
- 鉤行陣に対して不利

かき型に艦艇を並べ、一点突破をこころみる攻撃型の陣形を組む

単横陣



- 雁行陣に対して有利
- 錐行陣に対して不利

横一列に艦艇を並べ、敵を包囲しようとする陣形を組む

水軍戦の勝敗

水軍戦ではお互いを攻撃しあい、どちらかの戦意がなくなるまで戦い続ける。戦意は損害を受けるごとに減少し、損害が50パーセントを超えるとちょうど0になる。戦意がなくなった側は敗北となり、退却しなければならない。水軍戦には追撃がないため、捕虜になる武将はいない。戦闘が終了すると、両軍の艦艇の被害を確認する。敗北した側の艦艇は沈没しやすくなっている。

侵攻側が勝利した場合は野戦と同様に、その後に攻城戦が行なわれるが、迎撃側が勝利した場合、戦闘はそこで終了する。



攻城戦



野戦や水軍戦で迎撃側が敗れた場合、もしくは迎撃がなかった場合は攻城戦となる。攻城戦では、攻撃側が城に籠城する敵に対して攻撃を行なう。攻撃によって城が落城した場合、籠城していた守備側のすべての武将が捕虜となる。守備側が勝利した場合、攻撃側は退却する。なお、攻城戦が行なわれた都市では治安値が低下する。

攻撃側

攻撃側は、強襲によって敵城の守備力を0にするか、包囲によって敵の兵糧を0にすれば勝利となる。ただし、包囲は3回までしかできず、落城させられなかった場合は、退却しなくてはならない。また、総大将が敗走、死亡した場合も攻撃側の退却となる。いずれの場合も追撃はない。

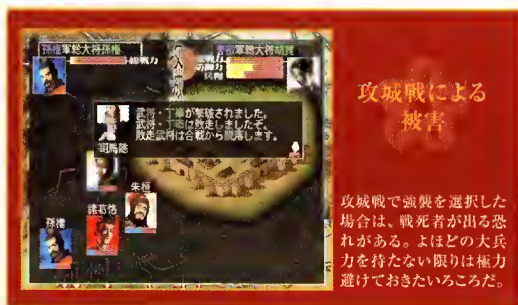
攻城戦開始直前には、戦闘に参加している武将から計略の提案をされることがある。計略が成功すると、4種類の計略からどれかが実行される。ただし、もし失敗した場合は、計略をこのみた武将が敗走してしまう可能性があるのが注意が必要だ。なお、野戦と違って総大将も計略を提案することがある。計略を実行した武将はその後予備武将にはならず、攻城戦に加わる。

攻城戦時のコマンド

強襲	軍勢を使って城を攻撃し、城壁防御力を低下させる。戦闘に参加した武将が死亡する可能性がある
包囲	敵の城を軍勢で取り囲んで兵糧攻めにする。攻撃側、守備側ともに兵の損害は出ない。3回まで可
退却	攻城戦を中止して退却する。戦闘は終了するが、守備側による追撃はない

攻城戦時の計略の種類(攻撃側)

離間の計	敵武将ひとりが降伏して捕虜になる。城が落城することもある
坑道の計	穴を掘って城壁を超え、城内に兵を送り込む。城壁防御力、もしくは兵糧が大幅に低下する
内応の計	城内に内応者が現れ、備蓄兵糧が焼き払われる
罵声の計	敵武将を挑発して一騎討ちに応じさせる。籠城側のもっとも武勇が高い武官が計略を行なった武将と一騎討ちをする



籠城側

籠城側にはコマンドの選択はないが、戦闘開始直前には攻撃側と同様に計略の提案がある。計略は籠城側のものから実行され、計略を実行した武将は城の守備に戻る。

攻城戦時の計略の種類(籠城側)

空城の計	城を空に見せかける。攻撃側の軍勢は疑念を抱いて退却し、攻城戦はそこで終了する
火計	敵陣に火を放つ。総大将と予備武将以外の敵の武将三人をランダムに選択し、離脱させる
側面攻撃	敵陣を側面から奇襲する。総大将と予備武将以外の敵の武将ふたりをランダムに選択し、離脱させる
伏兵	伏兵を使って敵を攻撃する。総大将と予備武将以外の敵の武将ひとりをランダムに選択し、離脱させる
後方攪乱	敵陣の後方に混乱を発生させる。敵の軍勢が疲労し、戦闘能力が若干低下する

攻城戦のコツ

高い城壁防御力を持つ城を落とすにはコツがある。まず敵の兵糧が少なければ、1ターンに何度も攻撃軍を差し向けて包囲し、兵糧を減らして落城させるという手がある。

十分な兵糧を備えている場合は、敵に籠城させないという手段が有効だ。わざと敵と同程度の兵力で攻め込めば、敵は迎撃に出てくる。この部隊を野戦で破って敵の兵数を下げ城を攻撃すればいい。ほとんどの場合は降伏してくるはずだ。

どうしても城を落とせないのなら、その都市の周りを占領し、孤立させてしまうというやり方もある。他君主は都市が孤立すると、武将をすべて脱出させるので、無血占領が可能となる。



追撃と捕虜説得



野戦で軍勢が敗走した場合、敗北側の武将は追撃を受けて捕虜になる可能性がある。また、攻城戦で城が落城した場合は、籠城側の武将は全員が捕虜になる。

戦闘が終了した際に、攻撃側は捕らえた捕虜に対して自陣営に加わるよう説得ができる。説得は3回まで可能だが、忠誠値が高い武将や敵君主の親族の武将は味方にならない。説得に失敗し解放された捕虜は、敵国の首府へと送られたり野に下る。解放された捕虜の忠誠値は低下している。





戰史英雄之章





洛陽炎上

190年冬



献帝を擁立して実権を握った董卓は、暴虐の限りを尽くす。
袁紹率いる連合軍は董卓を長安に追いやるが、求心力を失って解散、混乱は加速していく。
後漢王朝は傾いて天の利をなくし、三国時代の幕が開けようとしていた。



後漢王朝を牛耳る宦官を除こうとした外戚の何進は、189年、ついに各地に向け檄を飛ばした。この檄に応じ諸侯が上洛。司隸校尉の袁紹により宦官は誅滅され、小帝は涼州の董卓によって擁護された。しかし董卓は暗愚な小帝を廃し、献帝を立て実権を掌握すると暴虐の限りを尽くす。

董卓の専横に憤った曹操は、同調する諸侯を集めて反董卓連合軍を結成し盟主に袁紹を担ぐ。しかし董卓は連合軍の機先を制し腹心の呂布に連合軍を足止めさせると、洛陽を徹底的に破壊・略奪し、長安遷都を敢行する。洛陽侵食はしたものの目的を失った反董卓連合軍は、これを機に諸侯同士の反目によって解散。各地に散った諸侯たちは、各々独

立した勢力を旗揚げする。

渤海太守・袁紹はさっそく領土拡大に転じ、韓馥を脅して地味豊かな冀州を奪う。また、曹操は刺史不在となっていた兗州を本拠とする。その他、董卓との戦いで武名を轟かせた孫堅は長沙に、西涼の雄・馬騰は涼州、鮮卑征伐に功多い公孫瓚は幽州にと、皆野心を抱きつつ中原を狙った。

漢王室の一門に連なる劉表は荊州、劉焉は益州で独立勢力を保ち、また一介の浪人にすぎない劉備は配下を引き連れ宛親戚々と敵愾の機会をうかがう。そして、長安にはまだ侮れぬ力を持つ董卓がいる。

戦乱の時代が、まさにこれからのはじまろうとしていた。

勢力分布圖



配下武將一覽

董卓

王允	王昌	王方	賈詡	郭汜
郝萌	魏越	魏統	牛輔	高順
侯成	蔡邕	鍾繇	徐榮	徐晃
宋憲	張繡	張濟	鄭泰	董承
董晏	樊稠	伏完	楊彪	楊奉
李傕	李儒	呂布		

袁紹

袁遺	袁譚	顏良	趙義	高幹
審配	田豐	文醜	逢紀	

袁術

袁胤	閻象	秦綏	韓胤	韓浩
紀靈	張勳	陳紀	雷薄	

公孫瓚

王門	閔靖	嚴綱	公孫越	趙雲
田楷				

孫堅

韓當	黃蓋	吳景	周泰	朱治
祖茂	孫河	孫靜	程普	

曹操

王楷	樂進	夏侯淵	夏侯惇	任峻
曹休	曹洪	曹仁	張遼	典韋
李乾	李通			

劉備(放浪)

關羽	簡雍	張飛		
----	----	----	--	--

劉表

伊籍	王威	蒯越	蒯良	韓福
韓嵩	黃祖	黃忠	蔡瑁	向朗
張允	杜襲			

劉焉

王商	王謀	何宗	嚴顏	吳懿
張任	劉璋			

陶謙

尹礼	牟登	臧霸	曹豹	陳珪
糜竺				

馬騰

閻行	韓遂			
----	----	--	--	--

中立

于禁	王叡	王匡	王子服	王脩
王忠	王当	王朗	何夔	華歆
郭貢	郭國	賈齊	桓階	韓遂
韓馥	橋瑁	許貢	許攸	虞翻
嚴白虎	公孫度	耿武	皇甫嵩	孔融
吳敦	崔琰	朱偽	昌霸	薛悝
沮授	孫觀	張衡	張燕	張郃
張楊	張魯	陳宮	陳琳	程昱
杜畿	鮑信	楊松	楊任	李休
劉虞	劉岱	劉辟	盧植	

君主	狀態	首府	都市數	農業	商業	公金	武將	總兵數
董卓	群雄	長安	14	8000	400	10000	29	147224
袁紹	群雄	南皮	3	6800	400	3500	10	38000
袁術	群雄	宛	3	5100	300	2300	10	34500
公孫瓚	群雄	薊	2	2800	200	2500	7	21750
孫堅	群雄	臨湘	3	2700	100	2500	10	23250
曹操	群雄	陳留	1	2000	100	2300	13	24500
劉備	放浪		0	0	0	0	4	—
劉表	群雄	襄陽	4	8800	500	3500	13	48150
劉焉	群雄	成都	3	3600	200	2700	8	28450
陶謙	群雄	彭城	4	10200	500	3000	7	27750
馬騰	群雄	街亭	2	2400	100	1400	3	13500



官渡之戦

200年冬



戦乱の世のなか、数々の群雄が姿を消していく。
天下の趨勢は、献帝を擁する曹操と河北の雄・袁紹の二大勢力によって握られていた。
200年、黄河流域に軍勢を進めた両軍は、官渡の地においてついに激突した。



栄華を誇った董卓も192年、司徒の王允が謀った呂布の裏切りによって殺害される。これにより後漢朝廷はさらに混乱を極めることとなった。

兗州を拠点に勢力を伸ばした曹操は、青州黄巾賊の勢力を吸収して強大な軍勢力を獲得。父を徐州刺史・陶謙の不始末により殺されると、征伐の兵を徐州に進める。しかし、陳宮の裏切りによって本拠の兗州が呂布に奪われ、徐州からの退却を余儀なくされる。

一時は曹操に追い詰められ、呂布の登場に助けられた形の陶謙だったが、194年に死去する。勢もは放浪して賓客の身だった劉備が継ぐが、そこへ曹操に追われた呂布が現れ、

隙を見て徐州を奪う。呂布は、玉璽を抱き皇帝を自称した袁術と盟するが、袁術は199年に曹操に敗れ滅亡。呂布も四面楚歌、ついに曹操によって討ち取られる。

河北に目を移すと、覇道を突き進む袁紹によって公孫瓚が滅亡。冀州に加え幽州も併呑した袁紹は、中原を臨むべく曹操と対峙することとなる。

力のない群雄が次々と淘汰され姿を消していくなか、孫堅の子・孫策ははじめ袁術のもとに身を寄せていたが、195年に独立。江東を制圧し父譲りの武名を轟かせる。また、辺境の劉琮と馬騰、そして荊州の劉表などは依然として勢力を保ちつつ中立を守っていた。

國 布 分 力 勢



君主	狀態	首府	都市數	農業	商業	公金	武將	總兵數
袁紹	群雄	鄴	29	61000	3500	17000	32	238000
孫策	群雄	吳	12	12000	700	4000	30	72000
曹操	群雄	許昌	32	60000	3400	10000	62	145650
劉備	群雄	涪	6	11000	700	3000	8	36000
劉表	群雄	襄陽	14	21000	1200	5000	18	102500
劉璋	群雄	成都	11	12000	700	3500	10	65000
馬騰	群雄	陳倉	9	9400	500	2500	6	47500

配下武將一覽

袁紹

袁遺	袁熙	袁尚	袁譚	王脩
王門	郭圖	顏良	許攸	牽招
高幹	高柔	公孫恭	公孫康	公孫度
高覽	崔琰	朱靈	焦触	審配
辛毗	辛評	沮授	張郃	張南
陳琳	田豐	文醜	逢紀	呂曠
呂翔				

孫策

袁耀	賀齊	韓當	虞翻	黃蓋
吳景	胡綜	顧雍	周泰	周瑜
朱治	淳于丹	蔣欽	徐奕	宋謙
孫河	孫權	孫邵	孫靜	太史慈
孫絃	張昭	陳武	程普	董襲
李肅	凌操	呂範	呂蒙	

曹操

尹札	于禁	王子服	王忠	王朗
何曼	賈詡	郭嘉	樂進	夏侯淵
夏侯恩	夏侯惇	桓階	韓浩	魏統
吉本	賈都	許褚	嚴幹	嚴象
侯成	孔融	吳敦	司馬懿	司馬朗
荀彧	荀攸	昌霸	鍾繇	徐晃
曹宣	任峻	薛梯	曹休	宋憲
曹洪	曹純	曹仁	臧霸	孫觀
張既	趙雲	張繡	張遼	陳珪
陳登	程昱	田疋	董承	杜畿
杜襲	伏完	滿寵	毛玠	楊彪
李典	李通	劉辟	劉曄	梁習
呂虔				

劉備

關羽	簡雍	周倉	孫乾	張飛
糜竺	糜芳			

劉表

伊籍	王威	王綏	蒯越	蒯良
韓嵩	甘寧	魏延	黃祖	黃忠
蔡瑁	向朗	張允	潘濬	文聘
楊儀	李嚴			

劉璋

王商	王謀	王累	何宗	嚴顏
吳懿	卓膺	張松	張任	

馬騰

閻行	韓遂	侯選	馬超	龐德
----	----	----	----	----

中立

袁胤	閻圖	王当	王凌	王靈
華歆	許貢	張衡	張燕	張魯
鄧嶠	楊松	楊任	李休	



赤壁之戦

208年冬



袁紹を滅亡させ、向かうところ敵なしとなった曹操。
位人臣を極め次に狙うは南方。荊州及び東呉の地であった。
荊州の劉琮は戦わずして降る。だが、“江東の虎”の子孫権は徹底抗戦を決意した。



一大決戦となった官渡の戦いは、袁紹陣営からの寝返りもあり、兵糧基地を奇襲で焼くなどして曹操軍の大勝利となった。袁紹は失意のうちに202年に病没、袁家は長男の袁譚と三男の袁尚が後継者の座をめぐる激しく争い、分裂してしまう。曹操はこの後継者争いに巧みに取り入り、206年についに袁家を滅亡させることに成功した。

河北を制した曹操は、ついで荊州に狙いを定めた。おりしも208年、荊州刺史の劉表はこの世を去り、その後を継いだ劉琮はあえなく曹操に降伏してしまう。曹操に徐州を追われ、荊州の劉表のもとに身を寄せていた劉備は、三顧の礼によって軍師・諸葛亮を得たが、荊州を下して押し寄せる曹操軍に

攻撃されて敗走、東呉との盟を結ぶべく夏口へ逃れた。

その東呉では着実に勢力を伸ばしていた孫策が、200年に刺客の前に倒れる。後を継いだ孫策の弟・孫権は、父の仇となる荊州の黄祖を討ったのち専守防衛に努めていたが、劉琮を降伏させ、荊州を手に入れた曹操が次に狙うのは江東の地であった。孫権陣営では曹操に対して徹底抗戦か、はたまた降伏するかと国論が二分することになる。しかし孫権は、右腕と頼る周瑜や使者として訪れた劉備軍の軍師・諸葛亮の説得によってついに抗戦を決意。208年、長江の流れを挟んで対陣した両軍によって、決戦の火蓋がまさに斬って落とされようとしていた。

國 布 分 力 勢



君主	狀態	首府	都市數	農業	商業	公金	武將	總兵數
孫權	群雄	柴桑	19	38000	2200	15000	47	234500
曹操	群雄	鄴	78	193000	10900	65000	93	337500
劉備	群雄	巴丘	2	2400	100	3400	18	63000
劉璋	群雄	成都	14	20100	1100	7500	20	100700
馬超	群雄	冀	13	13000	700	4500	9	55100

配下武將一覽

孫權

袁耀	賀齊	閻沢	韓當	甘寧
虞翻	嚴畯	黃蓋	胡綜	顧雍
周泰	周瑜	朱桓	朱然	朱治
淳于丹	蔣欽	諸葛瑾	徐盛	蔣綜
宋謙	孫邵	孫韶	孫靜	孫瑜
張溫	張紘	張昭	張承	陳武
程普	丁奉	董襲	馬忠	潘璋
步騭	李異	陸績	陸遜	李肅
留贊	凌統	呂岱	呂範	呂蒙
魯肅				

曹操

韋康	殷署	尹礼	于禁	閻溫
王粲	王脩	王忠	王当	王凌
王靈	王朗	溫恢	蒯越	何夔
賈逵	華歆	賈詡	郭昭	樂進
郭淮	夏侯淵	夏侯衡	夏侯尚	夏侯惇
桓階	韓浩	韓嵩	吉本	許都
嚴幹	嚴匡	牽招	高柔	公孫恭
公孫康	吳質	吳敦	崔琰	蔡瑁
司馬懿	司馬朗	朱靈	荀彧	荀攸
蔣濟	鍾繇	徐奕	徐晃	曹仁
徐宣	徐邈	辛毗	薛悌	曹休
曹洪	曹純	曹彰	曹真	曹仁
臧霸	曹丕	蘇則	孫觀	張允
張燕	張既	趙儼	張郃	張遼
陳矯	陳珪	陳登	陳琳	程昱
田子	杜襲	杜襲	傅幹	伏完
文聘	滿寵	毛玠	楊脩	楊彪
楊阜	李典	李通	劉瓛	劉曄
梁習	呂虔			

劉備

伊籍	霍峻	閔羽	閔平	簡雍
魏延	周倉	向朗	諸葛亮	孫乾
趙雲	張飛	糜竺	糜芳	楊儀
劉琦	劉封			

劉璋

王商	王甫	王謀	王累	王連
何宗	嚴顏	吳懿	黃權	張裔
張松	張任	張翼	法正	孟達
雷銅	李恢	李嚴	劉循	

馬超

閔行	韓遂	侯選	程銀	馬玩
馬岱	龐德	楊秋		

中立

閔匪	張衡	張魯	楊松	楊任
李休				



漢中王劉備

219年夏



赤壁敗戦の傷癒えた曹操は、後背の憂いを除くため長安で馬超と戦う。
そのころ、劉備は荊州に勢力をのぼし、さらに益州、漢中をも手に入れる。
諸葛亮の語った、『天下三分の計』が実現された瞬間でもあった。



曹操が去った荊州では、劉備が荊州4郡を落とすと、孫権も江陵を手に入れる。劉備を危険視する周瑜は210年に病死。後任の魯肅は劉備との協調路線をとったため、荊州は劉備と孫権によって分割統治されることになった。

211年、劉備は張魯を討伐してほしいという劉璋の要請を受けて益州に入る。しかしすぐに背き、214年に成都を陥落させて劉璋を降した。ここに北に曹操、東呉に孫権、そして益州蜀の地に劉備という諸葛亮の『天下三分の計』が実現を見たのである。

赤壁の戦いで一敗地にまみれた曹操は、敗兵をまとめて中原へ戻る。そして戦いの傷が癒えるやいなや、馬超・韓遂の

連合軍の攻撃によって陥落した長安を奪回すべく、再び遠征を敢行する。馬超の人なみはずれた武勇と西涼の勇猛な兵に苦戦した曹操だったが、215年、潼関の戦いで馬超と韓遂を伸違いさせたくえで撃破に成功。韓遂は曹操に降り、西涼へ逃れた馬超はのちに劉備に合流することとなる。

曹操はこの勢いをもって漢中に進出し張魯を下すと、魏王を名乗った。これに対し漢室の末裔を自称する劉備は怒り、218年に漢中に出兵、両軍が激突する。定軍山の戦いで劉備の武將黄忠が魏の夏侯淵を斬って勝利を取めると、功臣を失って戦意をなくした曹操は漢中から撤退、劉備は漢の高祖劉邦にならって漢中王に即位するのだった。

國 布 分 勢



配下武將一覽

孫權

袁耀	賈齊	韓綜	闕沢	韓當
甘寧	虞翻	嚴圭	嚴峻	吾榮
胡綜	顧雍	周泰	周魴	朱桓
朱規	朱然	朱治	淳于丹	程欽
諸葛瑾	徐盛	薛綜	鮮于丹	宋謙
孫邵	孫韶	孫紹	孫靜	太史享
張溫	張昭	張承	丁奉	馬忠
潘璋	步騭	李異	陸績	陸遜
李肅	留贊	凌統	呂岱	呂範
呂蒙				

曹操

殷署	于禁	閻行	閻圃	王脩
王肅	王忠	王昶	王凌	王朗
溫恢	何晏	何夔	賈逵	華歆
賈詡	郭照	郭淮	夏侯衡	夏侯尚
夏侯惇	郭比能	桓階	毋丘興	韓浩
韓嵩	趙濟	許緒	去卑	嚴幹
嚴匡	秦招	高柔	侯選	胡質
吳質	吳敦	司馬懿	朱靈	蔣濟
鍾繇	徐奕	徐晃	徐庶	徐宣
徐邈	辛毗	薛悌	全琮	曹休
曹洪	曹彰	曹植	曹真	曹仁
臧霸	曹丕	蘇則	張衛	張既
趙儼	張郃	張遼	張魯	陳矯
程昱	程銀	田疋	鄧艾	杜畿
杜襲	傅幹	文聘	龐德	滿寵
楊秋	楊彪	楊阜	楊僕	李休
劉琮	劉曄	梁習	呂虔	

劉備

阿会喃	伊籍	尹默	王士	王平
王甫	王謀	王連	何祗	何宗
閔羽	閔策	閔平	簡雍	魏延
金環三結	嚴顏	吳懿	黃權	高翔
費忠	吳班	沙摩柯	周倉	祝融夫人
蔣琬	向寵	向朗	諸葛均	諸葛亮
申儀	申耽	秦宓	宗預	卓膺
趙雲	張裔	張飛	張苞	張翼
趙雲	董荼那	馬謖	馬岱	馬忠
馬超	馬良	潘濬	費禕	糜竺
糜芳	傅彤	法正	孟獲	孟達
孟優	楊儀	李恢	李嚴	李豐
劉循	劉璋	劉封	廖化	廖立

中立

公孫恭 公孫康

君主	狀態	首府	都市數	農業	商業	公金	武將	總兵數
孫權	群雄	建業	23	52000	2900	12000	47	257500
曹操	諸侯	許昌	84	240000	14000	30000	85	515600
劉備	諸侯	成都	36	56000	3000	9000	66	383500



出師上表

228年冬



時は流れ、曹操、関羽、張飛、そして劉備が世を去った。
英雄たちの時代は終わりを告げ、三国は新たな局面を迎える。
天下の帰趨が強大な魏へと流れていくなか、諸葛亮の最後の挑戦がはじまる。



三国鼎立になったのち、219年に荊州を守る関羽は樊城を攻めて魏の手禁を破る。しかし、孫権配下の呂蒙により荊州を奪われ、さらに自身も捕らえられて命を落とす。関羽の復讐に燃える劉備は、漢の滅亡を聞くと自ら蜀漢の皇帝に即位。さらに臣下の反対を押し切り、大軍で呉に攻め込む。しかし夷陵で大敗を喫し、222年、諸葛亮に後事を託し白帝城にて病没。劉禪がその後を継ぐ。

一方、魏では220年に曹操が死去、後を継いだ子の曹丕は、献帝から皇位を譲り受けて魏を建国し初代皇帝に即位する。さらに曹丕は、相争う呉蜀の疲弊を見て223年、大軍を率いて呉に遠征を敢行。しかし濡須で呉の朱桓に破れ、

さらに224年、225年と呉に遠征を繰り返すもことごとく失敗し、226年に在位わずか6年で崩御。魏の2代目皇帝として曹丕の子曹叡が立った。

魏の南征に不安を感じた孫権は、蜀とその同盟を復活させることを決意。これにより東方の安全が確保されたため、蜀は益州南方で発生した大規模な反乱の鎮圧軍を編成、これに成功し国力を増す。そして227年、諸葛亮は劉禪に『出師の表』を上奏、大儀をもって魏の討伐軍を興す。

時代を築いた傑物が次々と世を去り、英雄たちの時代は終わりを告げようとするなか、最後の率領-諸葛亮の北伐が開始される。

勢力分布圖



配下武將一覽

孫權

袁耀	關沢	虞翻	嚴圭	嚴陵
吾榮	胡綜	顧雍	周訪	朱桓
朱奕	朱然	淳于丹	諸葛恪	諸葛瑾
徐盛	薛綜	全琮	孫韶	孫紹
孫登	太史享	張溫	張昭	張承
丁奉	潘濬	潘璋	步騭	陸遜
李肅	留贊	凌統	呂岱	呂範

曹叡

殷署	王肅	王双	王昶	王凌
王朗	何晏	賈逵	華歆	郭脩
郝昭	郭淮	夏侯衡	夏侯霸	夏侯楙
軻比能	毋丘儉	韓高	韓綜	管輅
去卑	嚴匡	黃權	高柔	公孫淵
公孫恭	胡質	吳質	司馬懿	司馬師
司馬昭	蔣濟	鍾繇	徐庶	徐宣
徐邈	申儀	申耽	辛毗	曹休
曹洪	曹植	曹真	曹爽	趙儼
張虎	張郃	陳矯	田子	杜襲
卑衍	傅幹	滿寵	孟達	楊阜
楊僕	李休	梁習		

劉禪

閔宇	王平	何祗	閔興	閔策
魏延	姜維	郤正	吳懿	高翔
吳班	祝融夫人	蔣琬	譙周	向寵
向朗	諸葛喬	諸葛均	諸葛亮	宗預
卓膺	趙雲	張裔	張苞	張翼
馬謖	馬岱	馬忠	費禕	孟獲
孟優	楊儀	楊戲	李恢	李嚴
李豐	劉循	廖化	廖立	

君主	狀態	首府	都市數	農業	商業	公金	武將	總兵數
孫權	諸侯	建業	33	80000	4500	12000	36	296500
曹叡	皇帝	洛陽	82	252000	14000	26000	59	496900
劉禪	皇帝	成都	28	43000	2300	10000	40	295498

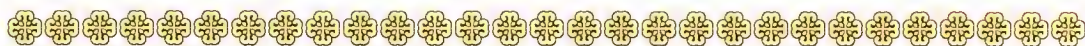
曹操～曹叡



君主の曹操・曹丕・曹叡以下、常に優れた人材が集まる。

地勢も戦史2以降は生産力が高く有利な位置を占め、

大陸統一にもっとも近い君主だと言えるだろう。



曹操陣営の最大の特徴は、その人材の豊富さだ。まずは何とんでも君主の曹操の各能力値がずば抜けて高いのは見過ごせない。政治値が高いので、命令点の持ち点が全君主中で最高。統率値、知謀値も登場全武将のなかでもトップクラスなので、大軍を擁し練度を高めれば野戦において大きく有利になるはずだ。

曹操を守護する親族武将にも優秀な者が登場する。特に戦史1から登場する曹仁、曹洪、夏侯惇、夏侯淵らは、知謀値や政治値こそ平均レベルだが、武勇値と統率値が高いため実戦に強い。段を上げ、高い官位を任じることで大兵力を率いさせるようにしたい。

そしてさらに、曹操には曹丕や曹叡、夏侯淵には夏侯霸など、年数がたつにつれて彼らの子孫が統々と親族武将として登場してくる。その数は他君主に比べ圧倒的に多く、しかも優れた能力を持っている者が多い。

文官に関しては、戦史1こそそれらしい人物が見当たらないが、戦史2以降は知謀30を誇る賈詡を筆頭に、荀彧、荀攸、程昱、郭嘉、さらに司馬懿と多士濟々で、人材に困ることはまずないだろう。また、戦史2以降は献帝を擁しているため、丞相と大將軍を任じることによって、命令点の持ち点がさらにはね上がる。このように、どこにも死角が見当たらないのが曹操陣営なのだ。

では、各戦史別に初期状況と攻略法を紹介しよう。

まず戦史1では、支配都市が陳留しかない。内政は後回しにし、周囲の中立都市を埋めて勢力拡大に努めよう。優れた人材が現われる許昌や陳といった都市は早めに抑

える。また、周辺の大都市を確保するのも重要だ。特に冀州の大都市は袁紹の手が伸びないうちに確保したい。ある程度力がついたら、徐州の陶謙と戦う。袁紹は公孫瓚が減びてから相手にしても遅くはない。

戦史2では、すでに有力な勢力を中原に築き、しかも献帝を擁している。開始時には丞相と大將軍が不在なので、まず最初に10段の程昱を丞相に、同じく10段の楊彪を大將軍の官位につけておくこと。ふたりは戦場には出さずに後方に置いたほうが安全だろう。序盤は袁紹、劉備、劉表、馬騰のうちいずれかふたりの君主と不戦条約を結び、残りの君主との戦いに専念したいところだ。

戦史3ではすでに河北を統一した状態である。目障りな劉備をまず屠り、次は孫権と戦う。水軍力に不足を感じるのなら、可能な限り陸路づたいに進撃し、敵の水路越しの攻撃に対してはひたすら籠城して耐えよう。戦史2同様、程昱を大將軍か丞相に任命するのを忘れないこと。また、最前線にいる武将のうち張郃や張遼など、統率、知謀ともに優れている武将には高い官位を与えておき、野戦の際には総大将とすることも重要だ。

戦史4では、人材、地勢ともに最高である。呉か蜀の一方と結び、残った一方を攻めて少しずつ敵領を削りとりければ、それほど苦もなく勝利できるはずだ。呉蜀を相争わせればいいだけなので、初心者には最適である。

戦史5でも方針は戦史4と同じでいい。君主が曹叡に交代しており、君主の能力自体は曹操の代より落ちているが、皇帝になっているため命令点の減少は少ない。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	曹操	群雄	43	1	2300	24500	13	0	×	×	★★★★☆	★★★☆☆	★☆☆☆☆
2	曹操	群雄	43	32	10000	145650	62	0	○	×	★★★★★	★★★★★	★★★★☆
3	曹操	群雄	57	78	65000	337500	93	400	○	×	★★★★★	★★★★★	★★★★★
4	曹操	諸侯	57	84	30000	515600	85	0	○	×	★★★★★	★★★★★	★★★★★
5	曹叡	皇帝	50	82	26000	496900	59	0	×	×	★★★★★	★★★★☆	★★★★★

孫堅～孫策～孫権



最強の水軍力を持ち、どの戦史でも江東に安定した勢力を築ける。

孫家三代の歴代君主の能力も高く、また優れた親族にも恵まれている。

天然の要害、長江に守られた呉は河北の列強にひけをとらない。



孫家の陣営は、どの戦史でもはじめても間違いなく揚州、荊州に勢力をのぼすことになる。長江が流れるこの地域の都市は水路によって連絡されていることが多い。ひとたび長江を渡って侵入しようという勢力があっても強力な水軍力を持つ孫家ならば、水軍戦に持ち込めれば必ずといっていいほど敵を撃退できる。長江の流れは、どのような城壁よりも東呉の地を外敵から守ってくれるのだ。もし他君主が水軍力を増強しているようなら、こちらから先に攻撃をしかけて早めに潰してしまうこと。常に全君主中で最大の水軍力を持つところがけていれば、他君主は長江以南の地に指一本触れることができないはずだ。

孫家は曹操ほどではないが、親族武将の人数が多く、それぞれが高い能力を持つ。孫堅、孫策のふたりは寿命が短いものの、後継者の孫権の能力は父や兄よりも高く、さらに非常に長い寿命を持っているため、後継者に関する心配はまったくないといっていだろう。また、周瑜や陸遜など、ずば抜けた能力を持つ親族が次々と加わるので、軍の中心となるべき人材にも事欠かない。

なお、孫堅、孫策の代までは君主の政治値が低いため、命令点の持ち点がやや少ない。称号が群雄や諸侯の状態では、内政に回す命令点が不足するはずだ。しかし、国内の整備は政治値が高い孫権の代になればいくらでもできるようになる。序盤に開発するのは生産力の高い大都市だけに絞り、長期計画で国内の整備に取り組むといだろう。

以下に各戦史別の攻略法を紹介する。

戦史1では、すぐ北にいる劉表と最初から交戦状態である。だが、劉表に対しては自分から攻めることはせずに守りに徹し、まずは揚州、荊州の中立都市を獲得したほうがいいだろう。揚州、荊州には優秀な文官が多く出現する。孫堅が最初から連れている武将たちは皆武官なので、まずは文官の確保が重要だ。特に揚州の中心地である建業の確保は早期に行ない、孫策や周瑜が配下に加わったら本格的に劉表との戦いをはじめ、荊州を入手するといだろう。その後は北上して激戦地の中原に割って入るか、逆に中原の勢力とは同盟を結び、益州、ついで涼州と雍州に進出するか2通りの戦略が考えられる。

戦史2では、君主が孫策に交代し、配下には張昭、張紇や顧雍など、戦史1では見られなかった政治値の高い人材が最初から配下に加わっている。武官たちも相変わらず健在なので、まずは戦史1同様、揚州、荊州の中立都市を確保し、ついで劉表と戦うようにしたい。河北の勢力とは争わずに同盟関係を維持し、その間に益州を確保、最後に中原に残った大勢力と決戦、という流れが望ましいだろう。

戦史3では、君主は孫権となる。孫権自身は戦闘に向かないので、周瑜や陸遜に高い官位を与えて総大将とし、前線の指揮を任せよう。開始時に結んでいる劉備との同盟関係は極力維持し、曹操と戦うほうがいい。

戦史4、戦史5でも、基本的な戦略は戦史3と変わらない。やはり蜀と結び、北上して魏と戦いたい。ただし、呂蒙の死後は優秀な人材の確保がむずかしいので、これらの武将の在命中に勝負をつけたいところだ。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	孫堅	群雄	18	3	2500	23250	10	320	×	×	★★★★☆	★★★☆☆	★★★☆☆
2	孫策	群雄	16	12	4000	72000	30	400	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
3	孫権	群雄	37	19	15000	234500	47	800	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
4	孫権	群雄	37	23	12000	257500	47	800	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
5	孫権	諸侯	49	33	12000	296500	36	800	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆

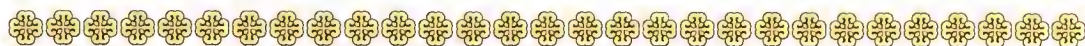
劉備～劉禪



関羽、張飛をはじめ勇猛な将は多い。

戦史3までは勢力が小さく、周囲を強豪に囲まれているため生存が困難だ。

コツをつかんだ上級者向けの君主といえるだろう。



劉備の特徴は、全君主中で唯一、放浪状態になれるということだろう。称号が群雄の状態までなら、すべての支配都市を失っても野に下り、期を見て再び旗揚げすることが可能なのだ。ただし、放浪中は人材の登用ができず、また兵力の増強も一切図れない。したがって、一度放浪状態になってしまうと勢力を立て直すにはかなりの時間がかかってしまうことになる。もし群雄から放浪状態になったなら、中立都市での旗揚げはあきらめ、史実の劉備と同様に勢力が大きい君主の従属君主として再起するのが望ましい。

戦史1と戦史2では人材が決定的に不足している。関羽や張飛など武勇値が高い武将は何人かいるのだが、知謀と政治に優れた武将がいない。さらに、曹操や孫権の陣営に比べると親族武将が小粒で、人数も少ない。優秀な人材を輩出する荊州などの地域を確保し、人材発掘をしないとあとあと苦しくなってくるはずだ。戦史3からは諸葛亮や龐統、馬良らが加わるため、なんとか列強と肩を並べるくらいに陣容にはなるが、それでも文官の絶対数の少なさに泣かされるだろう。

また、劉備の後継者も問題だ。継承権を持つ劉禪、劉封のふたりのうち、正式な嫡子の劉禪の能力が低すぎる。劉備の寿命が尽きる225年前後までには統一を済ませておかないと苦しいが、戦史4以降ではそれも無理。世代交代して劉禪が君主になってしまったら、内政に使う命令点の不足に最後まで悩まされることになる。

劉備はどの戦史でも地勢的に不利な位置におり、人材も優れているのはごく一部で、全体的に乏しい。辛めの難

度を楽しみたい上級者向けの君主だ。

戦史1の劉備は、最初から放浪状態である。開始時には幽州にいるが、旗揚げするにも付近の地は生産力が乏しい。かといって中原に移動しようとしても、そのあいだに他の君主に目ぼしい都市を占領されてしまう。さらに、勢力の強い君主の隣で挙兵してもすぐに攻め込まれて一蹴される恐れがある。もっとも安全なのは、大きな君主の従属君主になることだろう。序盤なら袁紹が曹操に従属するのがいい。ただし、支配都市が少ない君主に従属しようとしても断られてしまうので注意すること。

戦史2では徐州に勢力を持っている。しかし、北に袁紹、西に曹操、南に孫策と列強に囲まれており、地勢的には最悪といっている。袁紹、孫策とは開始時に不戦条約が結ばれているが、本当に同盟関係が必要なのは曹操である。まずは曹操と「不戦」を結んで安全を確保しながら内政で国力を蓄え、北上ないし南下を試みたい。

戦史3では劉備は荊州南部にいる。しかし、この地は開始直後から曹操の侵攻を受けるため非常に危険である。特に、迎撃しても戦力的に不利な水軍戦となる巴丘や臨湘を守るのは非常に困難。周囲の中立都市や、西の益州への早急な進出が必要となるだろう。

戦史4以降になると、劉備は蜀の地に確固たる勢力を築いている。いずれの場合も孫権との同盟関係を維持しつつ、魏を攻撃するのが理想だ。劉禪が皇帝となっている戦史5では開始直後に大將軍が不在なので、早急に趙雲か魏延を大將軍に任命して命令点の持ち点を増やそう。

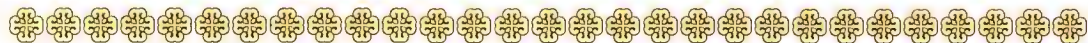
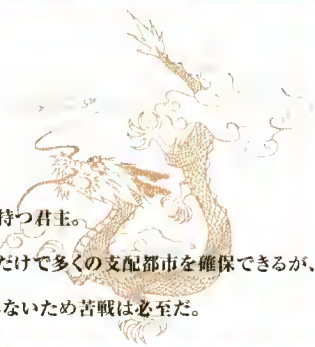
戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	劉備	放浪	0	0	0	412	4	0	×	×	★★★☆☆	★★★☆☆	☆☆☆☆☆
2	劉備	群雄	28	6	3000	36000	8	0	×	×	★★★☆☆	★★★★☆	★★★★☆
3	劉備	群雄	28	2	3400	63000	18	200	×	×	★★★☆☆	★★★★☆	★★★★☆
4	劉備	諸侯	37	36	9000	383500	66	400	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
5	劉禪	皇帝	31	28	10000	295498	40	0	×	○	★★★☆☆	★★★★☆	★★★★☆

劉焉～劉璋



中原から遠く離れた益州の地に勢力を持つ君主。

周囲の中立都市を占領しを埋めていくだけで多くの支配都市を確保できるが、生産力が低く、人材も二線級しか集まらないため苦戦は必至だ。



劉焉、劉璋が勢力を持つ益州は、激戦地区の中原からはかなり距離があるため、独自の勢力を築きやすい。戦史1から戦史3にかけては、益州にはかなりの数の中立都市があるので、まずこの確保が第一となる。しかし、たとえ益州を完全に支配したとしても、これらの地は農業、商業ともに低く、さらに治安も最低レベルのため、非常に治めにくい。また、人材面でもさほど恵まれていない土地なので、専守防衛を続けていると時が過ぎれば過ぎるだけ他国と差をつけられ、ジリ貧になってしまう。それでも、戦乱を避けて内政に力を注げるのは他君主に比べ有利な点だといえる。中都市以上の都市を優先的に開発し、時間をかけて経済力と動員力を蓄えるといいだろう。

問題は、他君主と戦争になった場合である。武勇、統率に優れている武将は数名いるが、知謀値が高い者が不足している。配下の武将のなかで頼りになるのは呉懿、嚴顔、張任、黄權といったあたりだが、それでも知謀が20を超える者がいないため、これらの武将を総大将にしても敵の計略が脅威になる。国力が高まったらまず荊州方面に進出し、のちに出現する優秀な人材を確保したい。戦史2までの荊州の劉表が相手なら、配下の武将の能力に関しては互角程度なので、勝機は充分にあるはずだ。

もうひとつの問題は、劉焉の後継ぎの劉璋の能力の低さである。劉焉に比べ政治値が格段に劣るため、劉璋が後継ぎに際し命令点が大きく低下する。とはいえ劉焉は195年前後には死亡してしまうため、戦史1からはじめて場合でも世代交代は避けられない。

戦史1では、劉焉が君主である。周囲に敵は存在せず、中立都市を占領していけば序盤で広い支配地域を確保できる。ただし、張魯が支配する漢中だけは勢力が大きいので、侵攻するのは後回しでいい。無血占領できる地域がなくなったら馬騰と同盟し、劉表と戦って荊州を手に入れよう。人材豊富な荊州の確保は、人的資源の乏しい劉焉にとって重要だ。また、逆に劉表と結び、馬騰、ついで董卓と戦うのも悪い方法ではない。前述した通り、戦史が開始されて数年すると劉焉が死亡し、劉璋が後継ぎになる。このときまでに董卓の首府を奪って献帝を手に入れることができれば、命令点の持ち点を大幅に上昇させられる。劉璋の低い政治値を少しでもカバーできるのだ。

戦史2になると劉焉はすでに死去しており、君主が劉璋の状態から開始される。董卓はすでに滅亡し、献帝は中原の曹操が擁しているため、戦史1と違って北に進出するメリットはあまりない。馬騰と結び、まず劉表と戦うといいだろう。ただし、劉璋軍には水軍がない。水軍建造には費用と時間がかかるので、中途半端に水軍を作ることはせずに進撃は陸地づたいに絞ること。なお、戦史2から配下に加わっている張松は知謀値21を持つ優秀な武将だが、忠誠に不安が残るので、太守に任命したり官位を与えたりして少しでも忠誠値を上げておくといいだろう。

戦史3では、荊州には曹操の軍勢が入っている。優秀な武将を揃えた曹操軍と戦うのは不利なので、先に马超と戦いたいところだ。なお、この戦史では、張松のほか法正、孟達のふたりの忠誠値にも注意しておきたい。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	劉焉	群雄	27	3	2700	28450	8	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆
2	劉璋	群雄	12	11	3500	65000	10	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆
3	劉璋	群雄	12	14	7500	100700	20	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

馬騰～馬超



西涼の豪族たちをまとめ、一大軍閥を作り上げた辺境の雄。

謀臣の少なさと生産力の低さは致命的だが、

勇猛果敢な武將たちを率い、精強な兵で中原をうかがう。



馬騰～馬超は戦史1～3に登場し、いずれの場合も雍州、涼州を本拠とする。背後に敵がいなかったため位置的には有利だが、本拠地周辺の土地はごくまれに交易のイベントによる収入がある程度で、農業、商業ともに低く、国力は全君主のなかでも最低ランクといっていいただろう。また、雍州と涼州は治安が低いうえ異民族の反乱が頻発する。しかし、馬騰、馬超ともに政治値が低く命令点が少ないため、満足な内政ができない。さらに配下の武將の人数自体が少ないので、1ターンにできる行動にも制限がある。

以上のように、本拠地が辺境で、国境を接する君主が少ないということ以外には、あまり馬騰、馬超を選択する際に有利な点は見当たらない。難度的には最高レベルで、生き残ること自体が難しいのだ。何より深刻なのは人材不足で、序盤の支配都市からは優秀な武將が出現しない。国力も低く人材にも恵まれていないため、劉焉と同じく時間がたてばたつだけ不利になっていく。

ただし、優れている点がひとつだけある。それは、配下の武將の武勇値と兵の練度が高いということだ。馬騰が生き残っていくためには、その戦闘力をもってなんとか他君主の治める土地を切り取っていくしかないのである。武將の高い武勇を活かすためには、わざと小規模な戦いを行ない、一騎討ちを狙って発生させるといいただろう。ただし、野戦においては配下に知謀値が高い武將がいなかったため、敵の計略に対して致命的に弱い。龐徳のように知謀値が高めの武將に高い官位を与えて総大将にし、少しでも敵の計略への対抗策を立てておくことも重要になってくる。

戦史1では、まず最初に国境を接することになる君主は董卓か劉焉である。このうち、董卓軍は配下の武將の知謀が平均的に低めなので、組みしやすい相手だといえる。長安などの大都市を奪って経済力を増すのはもちろんのこと、敵將を降して配下を増やし、戦力上昇を狙いたいところだ。さらに、董卓の首府を奪えば敵帝を手に入れることができるため、命令点の欠如を少しでも補うことが可能である。ただし、序盤の馬騰軍は深刻な戦力不足に悩まされている。戦史1開始時には配下の武將が君主を含めてもわずか3人しかいない。馬超、馬休、馬鉄、馬岱がそれぞれ親族武將として加わるので、序盤は守りに徹して攻め寄せる董卓軍をなんとか凌ぎ、親族武將が何人か生まれてくるのを待ってから敵領土への進出を考えたほうがいいのかも。なお、親族武將がひとりもない状態で馬騰が戦死すると、滅亡になってしまうので注意すること。

戦史2では、武將数が7名にまで増える。しかし、長安には董卓に代わって曹操の軍勢が入っている。知謀値の高い武將がいなかった馬騰の軍は、曹操軍とともに戦うと非常に苦しい。序盤は曹操と結んでおくのが賢明だ。南下して中立都市を獲得したのちに劉璋と戦い、ついで荊州に進出して人材の確保に努めるのがいいだろう。

戦史3になると、君主が交代して馬超になる。とはいえ戦い方は戦史2のときと同じで、曹操と同盟したのちに南下して益州を狙うのが安全だ。しかし、配下の武將が増えて戦力が増しているので、一気に長安を攻め落としてしまうという強攻策をとっても面白いかもしれない。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武將	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	馬騰	群雄	10	2	1400	13500	3	0	×	×	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆
2	馬騰	群雄	10	9	2500	47500	6	0	×	×	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆
3	馬超	群雄	9	13	4500	55100	9	0	×	×	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆	★☆☆☆☆
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

袁紹



曹操軍にも見劣りしない優秀な武將を配下に持ち、
強大な軍勢力を背景に勢力をのばす河北の雄。
惜しむらくはその短命と、決定的な後継者の不在だろうか。

戦史1〜2に登場。冀州を本拠地とする。史実では曹操に官渡の戦いで敗れ去った袁紹だが、その勢力は並み居る列強のなかでも最高レベルにある。生産力および兵の動員力に優れる河北を本拠としているのも大きな強みで、さらに人材にも恵まれている。

ただし、袁紹には大きな欠点がある。それは袁紹自身の寿命が205年あたりで尽きてしまうということだ。第一の後継者には三男の袁尚が選ばれるが、袁紹と比べると政治値がかなり劣るため、世代交代すると命令点の持ち点が大きく下がってしまうのである。

戦史1では、まず北方の公孫瓚が邪魔になる。しかし、序盤は自分から攻めることはせず、最初は冀州周辺の中立勢力を攻撃して大都市を手に入れたい。国力を高めたのちに公孫瓚を滅ぼして後背の憂いを断ち、一気に中原へと進出するのがいいだろう。

戦史2では、序盤から曹操との対決になる。曹操軍の計略の成功率の高さは驚異的なので、張郃や沮授など知謀に優れる武將に高い官位を授け、総大将として戦わせるといいだろう。小競り合いを繰り返して曹操軍の武將を捕らえ、勢力を弱らせてから一気に打ち破りたい。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	袁紹	群雄	34	3	3500	38000	10	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆
2	袁紹	群雄	34	29	17000	238000	32	0	×	×	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆

劉表



混乱する中原にほど近い荊州の地にて中立を守り続けた劉表。
荊州は優秀な人材が多数出現するので、粘り強く守れば光が見える。
あとは劉表自身に残された時間こそが問題か。

戦史1〜2に登場。荊州に本拠を持つ。いずれの戦史でも四方を君主に囲まれているが、荊州は生産力が高く、さらに登場する人材にかけては全国一と言っても過言ではない。荊州に現われる在野の武將を次々と登用していけば、劉表陣営は人材の宝庫となるだろう。

劉表自身は210年近辺になると寿命が尽きて死亡する。しかし、劉表の親族武將のなかには後継者の資格を持つ者がいないため、劉表が死亡すると滅亡してしまうのだ。210年が近づいてきたら、毎ターン必ずセーブしておき、劉表が死亡したら前のターンからやり直すようにしよう。

戦史1では、まず南にいる孫堅と戦争になる。勇猛な孫堅軍の武將に対しては不利を強いられるが、敵には知謀値が高い武將がいないので、蒯良、蒯越の計略に望みをかけたい。ただし、水軍戦は厳禁。水路で迎撃しなければならない場合は籠城すること。孫堅を滅亡させたら、次は董卓を狙って献帝の奪取を図るか、劉焉を攻撃して益州を手に入れたいところだ。

戦史2では、まず序盤に荊州南部の中立都市を手に入れることが重要。呉の孫策とはできればことを構えず、益州へと進撃するほうが楽に勢力を拡大できるだろう。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	劉表	群雄	30	4	3500	48150	13	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆
2	劉表	群雄	30	14	5000	102500	18	320	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★☆☆☆

董卓



配下の武將に優れた者が集い、行政の中心地に本拠を構える。
 献帝を擁した董卓は、戦史1ではもともと天下統一に近い存在だ。
 善政をしき、徳を広めれば後世の悪評を覆せるかもしれない。



戦史1のみに登場。豊かな地を抑え、序盤から大勢力を誇る。また、最初から献帝を持っているので配下の武將を高い官位につけることが可能である。開始直後には丞相も大將軍も不在なので、段の値が10以上ある王允、蔡邕、楊彪のうちいずれかふたりをこのふたつの官位につけ、命令点持ち点を上昇させておきたい。

知謀値が低い武將が総大将になると敵の計略に対してもろくなる。総大将にしたい武將には高い官位を与えておくこと。統率と知謀を兼ね備えた賈詡、張繡、王允などが総大将に向いているだろう。

戦争をする準備が整ったら、まずは南陽の袁術を滅亡させて玉璽を奪いたい。玉璽には武將を裏切りにくする効果があるので、配下の武將の忠誠値が低い董卓はぜひ入手しておきたいところだ。その後は武將の能力が劣る馬騰や劉表などを狙っていくといいだろう。

なお、董卓はだいたい200年前後に寿命が尽きる。しかし、董卓陣営には後継者の資格を持つ親族武將がいないため、君主死亡と同時に滅亡してしまう。200年が近くなったら1ターンごとにセーブしておき、君主が死亡したら保存したところからやり直さないと統一は難しいだろう。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武將	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	董卓	群雄	15	14	10000	147224	29	0	○	×	★★★★★	★★☆☆☆	★★★★☆
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

陶謙



豊かな徐州の地を治めるも、周囲には曹操をはじめ列強が集う。
 君主陶謙の老齢も懸念すべき事項のひとつだ。
 危険な地は捨て置いて、新たな新天地を求めるのが吉か。



戦史1のみに登場。本拠地の徐州はなかなか高い生産力を有している。さらに、周辺には中立都市が広がっているため、勢力拡大は難しい。ただし、西には曹操、北には袁紹がいる。いずれも優れた武將を擁する強豪で、貧弱な武將しかいない陶謙軍では戦闘になった際にかなうべくもないだろう。

もともと安全な勢力拡大法は、南方に進出して豫州、揚州を支配下に収めることだ。曹操や袁紹に攻められて都市を失っても、南進を繰り返して長江より南へ渡ってしまえば容易に侵攻されなくなる。ただし、長江を越えて進撃す

るには水軍が必要になる。揚中や皖、居巢など長江に接している都市を占領したら、早急に水軍を建造しておくといいだろう。ただし強大な水軍力を持つ孫堅との戦いになった際は、迷わず龍城を選ぶこと。水軍戦では勝ち目がないからだ。

なお、陶謙には世継ぎとなる武將がひとりもないため、君主が死亡した時点で滅亡してしまう。しかも、陶謙自身の寿命は200年くらいで尽きてしまうのだ。それまでに統一を成し遂げるのは至難の業。195年を超えたら、毎ターン必ずセーブをしておくこと。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武將	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	陶謙	群雄	25	4	3000	27750	7	0	×	×	★★★★☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

公孫瓚



北の外れ、幽州に勢力を持つ公孫瓚。

中原に進出するためには冀州の袁紹を打ち破らなくてはならない。

序盤の苦境さえ乗り切れば、勢力拡大も夢ではないが……。

戦史1のみに登場。本拠とする幽州は決して豊かな地ではないが、後背に敵がいらないというのは利点といえるだろう。ただし、君主の公孫瓚の政治値が低いと命令点の持ち点は少ない。配下に政治値が高い武将がひとりもないのも難点だ。開始直後、まず本拠の薊のすぐ北にある漁陽を攻め、中立武将の盧植を配下に加えておきたい。盧植は非常に優れた武将なので、高い官位を与えて総大将として用いるといいだろう。また、襄平の公孫度も、配下にすればあとと優秀な親族武将が加わるので、仲間にしておいて損はない。

公孫瓚にとって最大の問題は、冀州にいる袁紹の存在だろう。開始してすぐに袁紹との戦闘がはじまるはずだ。優れた武将を多く持つ袁紹に対しては、確実に苦戦を強いられる。相手の計略を防ぐ意味でも、知謀値が高めの盧植や公孫瓚自身を総大将とし、兵力を総動員して袁紹に当たるべきだ。武勇値の高い趙雲の一騎討ちにも期待したいところである。

公孫瓚の寿命は215年くらいまで。後継者の公孫越は220年くらいまでだ。他の寿命が短い君主と同様、215年くらいになったら早めにセーブしておきたい。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	公孫瓚	群雄	18	2	2500	21750	7	0	×	×	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

袁術



名家出身で、功名心と自尊心ばかりが大きい袁術。

身の程もわきまえずに皇帝を名乗ったあげく、悲惨な最期を遂げる。

愚劣な君主を天下統一に導くことは、果たして可能か？

戦史1のみに登場。配下の武将を裏切りにくする伝国の玉璽を最初から保有する。本拠の宛周辺は豊かな土地だが、開始時点ですでに董卓、劉表と国境を接しているため、戦略上はあまりいい位置ではない。

董卓は必ずといっていいほど大兵力で侵攻してくるが、優れた武将がいらない袁術軍では支えきれないことが多い。生き残りを図るなら宛は捨て、新野と章陵に全武将を移しておき、豫州方面に進出していきたい。董卓に侵攻されるのが確実な宛の守備兵も、無駄にならないようどこかに移動させておくといだろう。

袁術の弱点は、君主の能力の低さに尽きる。政治力が全君主中最低で、命令点の持ち点はわずか6点でしかない。さらに統率や知謀が低いと、君主が野戦に参加することは絶対に避ける必要がある。どこか安全な場所がない限り、足を引っ張る存在でしかないのだ。また、配下の武将も曹操や董卓と戦うには力不足。

宛からの脱出に成功し、豫州で一大勢力を築くことができたなら、なんとか先が見えてくる。周囲の君主、特に孫堅と曹操とは不戦条約を結んで時間を稼ぎ、そのあいだに優秀な人材の確保に努めよう。

戦史	君主	状態	命令点	都市	公金	兵数	武将	水軍	帝	玉璽	将来性	人材	国力
1	袁術	群雄	6	3	2300	34500	10	0	×	○	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

試 shiwan 玩

サンプルプレイ

『鄭問之三國誌』を遊び尽くすために選ばれた君主。それは……

戦史3「赤壁之戦」の群雄、劉備である。

曹操と孫権という2つの大国と隣接しながら、乱世を生き抜くコツとは？



プロローグ



まず劉備の勢力と、周囲の状況について確認をしてみる。

支配都市は首府の巴丘と臨湘という2つの小都市のみだ。しかし南と西には中立都市がいくつかあり、なかでも中都市・公安は隣接しているためすぐにでも手に入れたい。外交関係は孫権とは「不戦」だが、曹操と「交戦」関係にあり、警戒すべきは烏林と江陵の曹操軍ということになる。人材を見るとまず軍師として諸葛亮がおり、武将には関羽、張飛、趙雲といった一騎当千のつわものがそろっており、しかもゲーム開始直後、謀臣の龐統と老将軍・黄忠が加入するので、見栄えは悪くない。

問題は公金の少なさだ。小都市が2つだけという現状なので、収入は期待できない。とにかく公金がなくては攻撃ができないどころか、迎撃さえも不可能なので、はじめの戦略としては、公金を使わないようにして領土拡大をすることになる。



一人前の群雄になるまで



開始直後、さっそく曹操の計略により巴丘の治安値と城壁は見るとも無残な状態に下げられる。しかも、「不戦」のはずの孫権からも関羽の忠誠値を下げる計略がかけられる。史実のように周瑜が我が軍を警戒しているのだろうか？ これは早いうちにこの地から脱出して、西へ向かったほうがよさそうだ。

公金節約のため練兵のみしか行わず、巴丘には龐統ひとり置いて臨湘に撤退する。

戦略フェイズには、兵の少ない黄忠に益揚を攻めさせ逃げ道を確保。公安は糜竺に攻めさせる。大軍ではないので公金の消費も少なく抑えられた。あとは曹操の大軍を早期発見することに望みを託すことにする。

作戦フェイズ。幸運にも劉備が最初の実行君主になり、中立都市であった益揚と公安を占領。するとその後、さっそく曹操が大軍を擁して巴丘を攻撃してきた。しかし、大軍であったため早期発見に成功し、龐統から「堅壁清野の計」が進言される。巴丘の農地は荒れるが、しばらくはこの手で逃げまくるよりしかたがない。

次ターンにさっそく主力を公安に移し、なおも西進策をとりつづける劉備一行であった。

中立都市の獲り方

ゲームスタート時の状況は、戦史や選択君主によってまちまちだが、特に早い時代のシナリオの場合、大陸にはどの群雄にも統治されていない中立都市があちこちに点在している。これらの都市は、武将ひとりでの攻め落とすことが可能なので、隣接していれば積極的に占領していくべきだ。

都市開発の順序と目安

もともと未統治の中立都市は、まったくと言っていいほど開発がなされていない。その都市が交戦中の敵都市に隣接していなければならないが、もし隣接している場合は、占領後さっそく内政をしておかなければならない。

内政の順序は、城壁→兵糧→治安。目安としては城壁値が70、兵糧値が30以上あれば、一回の籠城は乗り越えられる。治安値は50以上にはしておきたい。

占領都市の判断

敵の都市を攻撃し占領しようとする場合、目的は明確にすべきである。単に守備する武将がおらず空いている都市だから、というのは絶対にいけない。

ゲーム開始直後に都市を占領する目的として、以下の3つがあげられる。1つは都市を占領することによって、敵の補給線を切るため。2つめは、その都市の守りが手薄なのに守備兵数がやたら多く、その兵を奪い取るため。3つめは、交戦中の大国から逃げるためである。

戦史3の劉備でプレイする場合だが、曹操から身を守るために、西へ西へと中立都市を占領していかなければならないというわけだ。



曹操はとにかく劉備を追い、孫権は決して助けてくれないのが、この戦史3「赤壁之戦」開始直後の劉備の運命だ。とにかく西へ移動せよ！

劉備の決断

なんとか巴丘を落とした曹操は、勢いに任せて臨湘、益陽、武陵と劉備を追ってくる。これに対して、公安の城壁を高く積み上げつつも夷道まで引いた劉備に、格好のチャンスがやってきた。西陵攻撃の作戦中に軍師・諸葛亮から襄陽への奇襲作戦が献策されたのである。しかも曹操軍は補給線が細く伸びた状態で、もし烏林をとれば完全に孤立状態となる。これが決戦の時なのではないか？ 劉備決断の瞬間である。

本拠を構え、蜀道に乗り出す

曹操怒涛の進撃は、劉備軍の烏林占領によって止んだ。それどころか、補給線が切れ動くに動けなくなった曹操軍は、櫓の歯が欠けるようにして荊州から撤退をはじめ。無人の都市には「劉」の旗が翻った。

諸葛亮の献策した奇襲も見事にはまり、荊州最大の都市・襄陽が劉備軍の前に陥落。ここに曹操、孫権に続き、劉備が一人前の群雄として中原を狙うひとりとなったのだ。

そしてまた「曹操敗れる」の報は、孫権の元へも届く。総崩れとなった曹操軍を追って、豫州と徐州に孫権の大軍がなだれ込む。遷都なったばかりの曹操の首府・寿春が落ちるのにそう時間はかからなかった。

中原か天下三分か

苦しみられた曹操に煮え湯を飲ませて意気の上がる劉備であったが、その勢力はまだ荊州の南半分だけでしかない。武将の絶対数が足りないため、孫権のように曹操を中原から河北へと追上げる力はない。兵数だけは曹操の忘れ物を分捕って揃えてはいるが、相変わらずの公金不足ときている。洛陽までならなんとか行けそうな気もするが……ここはぐっとこらえつつ、ひとまず孫権の影に隠れてとりあえずは内政に励むことにする。

とはいっても西に目を向ければ、成都まで武将がひとりもない。劉璋はどうやら北伐をはじめ、雍州へと遠征中のようなのである。無人の都市を占領することほど楽なものはないので、今ならちゃっかり益州をいだけそう、とくれば話は早い。楊儀らの文官部隊で、何の問題もなく白帝城を無血占領する。

奇襲攻撃をねらう

知謀値が高い武将が配下にいると、支配都市から敵国への攻撃計画立案の際、奇襲攻撃が提案されやすくなる。ただし、奇襲が提案されるかどうかは、攻撃計画立案ごとに完全にランダムなので、そうあてにはできないのが実情だ。

ただし、発生する確率を上げる方法ならある。それは、まず知謀値の極めて高い(25以上)武将を君主と共に首府におくことである。それは奇襲の提案をするのは、攻撃をかけようとする都市か、首府にいる武将からだからだ。つまり、同ターンで複数の攻撃計画を立てるならば、首府にいた方が各都市の攻撃ごとに奇襲チェックに引っかかる、すなわち奇襲の発生する確率が高くなるというわけだ。

中立都市は兵糧攻めに

武将や兵数が多い中立都市は、勢力拡大のためにはぜひとも手に入りたいはずである。しかし、そういう都市は城壁も高いためまともに攻め落とそうとすれば、かなりの犠牲を払ってしまう。そんな中立都市を攻略するには、何度も攻撃をかけて包囲し、兵糧攻めにするのが一番の策だ。中立都市は攻めこんでも絶対に迎撃してこないの、攻撃する武将はひとりでもいいし、兵数も気にしなくていい。この方法なら、時間はかかるが城壁値を下げずに無血入城を果たすことができる。



戦史3の南郷は、とてつもなく強い中立都市だ。ここは張魯の率いる新興宗教の五斗米道の総本山。落とすのは厄介だが、武将は魅力的。

「交戦」にならない侵略の方法

「交戦」状態になるのは、軍と軍の戦闘が行なわれた場合である。だから、敵の都市を占領しようと軍を出しても、敵軍と戦闘にならず都市を無血占領してしまえば、その君主とは「交戦」にはならないのである。ただしもしも攻撃軍が見つかり、敵の迎撃部隊がでてきしてしまうと、「交戦」状態になってしまう。

能城の注意点

支配都市が多くなると、やむをえずひとりの武将で守らねばならない都市も出てきてしまう。しかし城壁が最大の数値近くであれば、よほどの大軍で攻めこめられない限り籠城戦で守りとおせるはず。もし敵の攻撃を受けたら、直後の内政で城壁を上げておくようにしたい。またひとりて都市を守る場合、守備武将からの計略の提案は絶対に許可してはならない。それはもしも計略が失敗して敵に捕縛されてしまうと、即座にその都市は陥落となってしまふからだ。



呉の地へ電光石火の一撃

一時は入蜀を考えたものの、地味乏しい益州に軍を進めるよりも、荊州の経営を優先させることとする。孫権軍の怒涛の進軍に圧された曹操は、荊州にまで手が回らないようだ。宛を落とす荊州統一に成功すると、戦略上の要地であるこの地にこれまで貯めておいた莫大な資金をつぎ込み、城壁と兵糧を十分に満たす。太守には馬良を任命し、本格的な内政を実行に移すことにした。

さて、内政重視とはいえ、武辺者の行き場を探してやるくらいでなければ、乱世の英雄にはなれない。しかし、北にある司隸や兗州はまだ曹操軍の守りも固く、うかつに手出しして大事な武將を失うのは得策ではないだろう。そこで目をつけたのが揚州だ。孫権は同盟に安心しきって曹操領内の奥ふかくまで侵攻しており、前線に多くの武將を配備しているため、揚州の各都市は無人の放置状態だ。「不戦」期間が終わるやいなや、この機を逃さず背後から電光石火の勢いで呉の国に攻め入り、建業目指して電撃戦を実行に移した。

手薄な江夏に軍勢を差し向けると、さっそく諸葛亮からの提言がくる。「ここは武昌に奇襲をかけてみましょう……」「諾」。なんなく2つの都市を占領すると、あとは建業まで関羽の赤兎馬を道案内に進軍は続くのだった。途中の各都市では将を失った兵たちが合流し、軍勢は2万、3万と膨れ上がった。建業陥落の報が襄陽に届くのにはそれから1年。その頃孫権は曹操との雌雄を決すべく、曹操の首府・南皮を囲んでいた。

仁義を捨てて覇道を往く

揚州を併呑し江南に基盤を置いた劉備は、瑞兆よろしく建業に遷都。版図が広がったことにより、めでたく呉王となった。また、命令点の持ち点も増えることとなった。

そして一時は盟友とした孫権を、曹操との挟み撃ちに追いこむべく北上を開始する。もはや仁義などはない。覇道を往くのみである。孫権が曹操から奪った都市は、まだ万全の防御体制にはなく、劉備軍の進軍する様は、まさに蹂躪の一言につきた。南皮を落としそこを首府とした孫権と、孫権に追われ洛陽に逃れた曹操を、たちまち劉備軍は包囲した。漢室の復興まではあとなわずかだ。



前線の都市の内政策とは

大都市を占領したら、すぐに周囲の中小都市には手を出さず、そこを前線の都市にするのが理想的だ。なぜなら城壁の最高値が高く1度や2度の攻撃ではびくともしないからである。そこに政治力と忠誠度の高い武將をおき、首府にいく武將たちと共同で優先的に開発をしよう。はじめは城壁値と兵糧値を上げ、つぎに治安と農業に絞って開発する。ある程度開発し終わったら、毎ターン開発と徴兵を繰り返す、予備の兵を確保するといふ。

外交ははじめ隣国と誼を通じ、のちに「遠交近攻」

小国の君主でプレイする場合は、隣国とはできるだけ「不戦」同盟を結ぶようにする。あえて戦いを挑んでも国力の低いうちは勝ち目が薄い。こういった場合は外交を最大限に利用して友好度を上げ、できることならば大同士が交戦するように仕向けたい。覇権争いの尻目に領土を拡張して軍備を増強し、時が来たら一気に背後をつくのだ。

捕虜武將は解放しよう

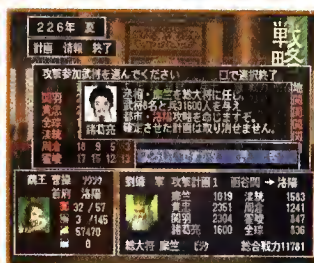
戦いに勝つと、敵の武將を捕虜とする場合があるが、敵国の国力が低い場合は忠誠値がよほど低いことがわかっていない場合を除き、説得せずに解放してしまおう。そうすると、敵君主の配下に戻らずに野に下る可能性が高いのだ。序盤からこの作戦で戦えば、多くの武將を擁する大国であっても徐々に戦力を削りることが可能だ。

敵君主の寿命を待つ

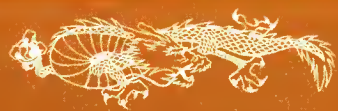
消極的な戦略ではあるが、相手君主の血縁親族の命を狙い、君主自身の寿命を待つのも、このゲームで勝つための攻略法だ。ちなみに、君主が死に後継者がいなくて滅んでしまうと、その国が支配していた都市はすべて中立都市に戻り、配下武將は全員野に下る。

敵の首府はじっくりと攻める

敵の首府は城壁も高く、守備兵も多い。しかしだからと言って負けた場合のことを考えずに、大軍で決戦を挑もうとするのは絶対に避けるべきだ。攻撃計画を数回に分けて立案し、攻撃部隊を分けて波状攻撃を仕掛けるほうが効果がある。3~4人の部隊で攻め進撃戦に誘い出し、公金ををどんどん使わせてもいいし、体よく籠城戦にでもなれば包囲して兵糧攻めにしよう。とにかくコツコツと攻め崩すようにしたい。



敵の首府に迫った際、一気に全軍で攻めこむことは危険なことではない。もし敗けようものならば、包囲は解け反撃をうからだ。



中國世界文庫



三国志の

SAN GUO JI DI SHI JIE

世界



古代の中国において、都市とは城塞都市であり、即ち小国家を表す。

城壁を囲い、市街地もろとも覆い尽くすという国家の発想は、

初の中国統一を果たした秦の始皇帝時代に、「万里の長城」という形となった。

つまり、万里の長城の内側はすべて秦帝国なのである。

秦はまた中国の全土に郡県制を敷き、全国を36郡(後に48郡)に分け統治する、中央集権体制を確立。

しかしこの画期的な中央集権体制にも、やはり欠点はあった。

求心力たる皇帝が力を持てば強力な体制であるが、いったん国家が腐敗をきたせば、

地方は独自に封建制を敷いて中央政府に叛旗を掲げるのである。

三国時代のはじまりが、まさにそうであった。



幽州

あまたの王朝がその勢力範囲の最北端として定めた地、幽州。
春秋戦国時代には独立国家「燕」が覇を唱える。
しかしこの地を治めようとする者は、つねに北夷の脅威に悩まされ続けた。



都市一覧

都市 Lv1	5				
広武	襄平	代	陽楽	柳城	
都市 Lv2	3				
漁陽	薊	范陽			
都市 Lv3	0				
関	0				



地勢

中国最北端の地。土地は枯れ、冬には雪が深く、過酷な環境となる。また、さらに北には大小数多くの騎馬民族が存在し、しばしば国境を侵した。総称して北夷と呼ばれるこれらの異民族には歴代の王朝も手を焼き、後漢の光武帝をはじめ多くの皇帝が札を尽くした懐柔策をとっている。

幽州の行政の中心地は、北方の大都市、薊。後漢末にこの地に勢力を持った群雄の本拠となった。また、北東部の遼東郡には、父子3代に渡ってこの地を治めた公孫氏が存在した。

戦史

後漢末にこの地を治めていたのは幽州刺史の劉虞だった。しかし、劉虞は公孫瓚によって討たれ、その公孫瓚も袁紹に滅ぼされた。

袁紹の死後はその子袁熙がこの地を治めるが、曹操に攻められ、弟の袁尚や烏丸族の蹋頓らとともに抵抗するも敗戦、袁氏も207年に滅亡する。

その後幽州は魏の版図となるが、237年に遼東の公孫淵が魏に反旗を翻す。公孫淵は毌丘儉の率いる魏の討伐軍を破るが、司馬懿に敗れ、遼東公孫氏は238年に滅亡した。

人物

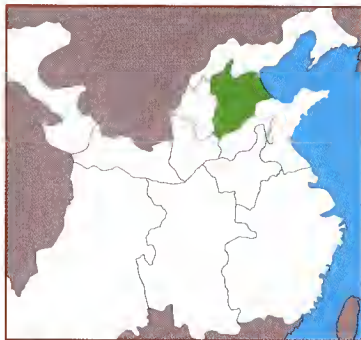
中原から遠く離れた最北の地ででありながら、幽州は後漢末から三国時代にかけて優れた人物を輩出している。

蜀の劉備と張飛はいずれもこの地の出身。呉を長らく支えた名将、程普と韓当も生国は幽州である。群雄の公孫瓚や、遼東に勢力を持った公孫度の一族もこの地の出身だ。

また、のちに魏の尚書郎まで昇進する徐邈は薊の、魏の誇る名将張遼は広武の出身。ほかには、烏丸の蹋頓、鮮卑の軻比能といった異民族系の武将もこの地に登場する。

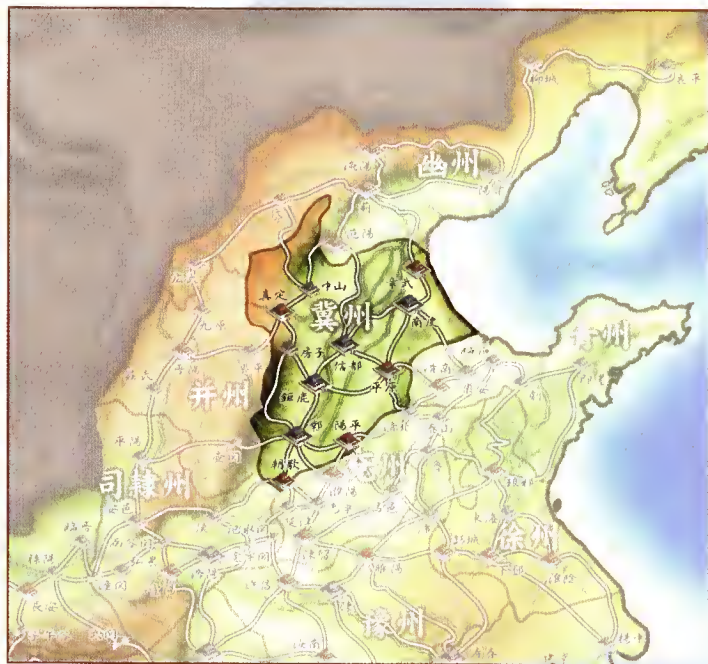
冀州

黄河の下流域にあたる冀州は、古代中華文明発祥の地である。
母なる黄河は、ときとして牙をむき人々を飲み込むこともあったが、
肥沃な黄土を運んだために農業が発達し、十分な豊かさをもたらした。



都市一覧

都市 Lv1	2				
中山	房子				
都市 Lv2	5				
章武	真定	朝歌	平原	陽平	
都市 Lv3	4				
鄆	鉅鹿	信都	南皮		
関	0				



地勢

黄河の氾濫によって、養分を多く含む黄土がもたらす恩恵は大きく、冀州には一大農業地帯が広がる。北方にあるため気候は厳しいが、それを補って余りある豊かさを持つ地である。

後漢末の混乱期にあっても治安が安定していたため、鄆や信都、鉅鹿などの大都市を擁することができた。そのため州全体の人口は非常に多く、兵の動員力や経済力は全国中でも屈指の州といえる。この地を本拠として覇を握るならば、揺るぎない勢力を保つことができるはずである。

戦史

渤海の太守だった袁紹は、幽州の公孫瓚と結託し191年に刺史の韓馥から冀州を奪う。しかし、冀州分割の約を反故にしたため公孫瓚は怒って軍を動かし、界橋で両者は激突。激戦の末、袁紹が大勝をおさめた。

199年、さらに袁紹は軍を公孫瓚の本拠地易京に進める。難攻不落の城塞を抗道の計によって落城させ、滅亡させる。

袁紹の死後袁家は分裂。204年には本拠地の鄆を曹操軍が攻撃、守將審配がよく守るが、内応によって陥落した。

人物

華北に勢力をはった袁紹は、地元の名士を好んで重用した。田豊、沮授、審配、高覽など、その配下のほとんどがこの地の生まれである。

また、曹操の配下にも冀州出身者は多く、楽進や華歆、崔琰、さらに袁紹の配下を経由した張郃や呂曠、呂翔などがこれにあたる。蜀を長らく支えた名将趙雲や、山賊の黒旗軍の首領として大きな勢力を持った張燕も常山は真定が出身といわれる。

変り種としては、古い師として高名を馳せた管輅も平原出身である。

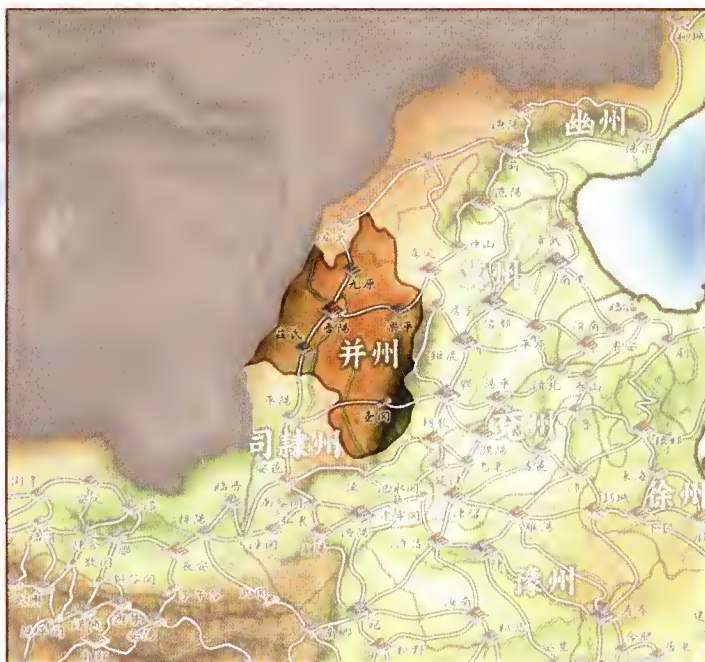
并州

万里の長城を北に配し、深い山と荒涼とした大地が広がる辺境の地。
さしたる大都市もなく、経済や農業の発展が乏しいのは、
中原を征した者が、この地を北夷の侵入を妨げる大地としたためか。



都市一覧

都市 Lv1	3
九原 兹氏 楽平	
都市 Lv2	1
晋陽	
都市 Lv3	0
関	1
壺関	



地勢

深い山々に囲まれた地形のため、農業に適さず産業はふるわない。春秋戦国時代になると「趙」がこの地を本拠としたが、それは北方異民族と手を結んだ連合政権である。行政の中心である晋陽こそ大きな都市だが、基本的に州の人口自体が少なく、治めるのが難しい州とされる。

後漢末になると、この地は中央政府から派遣される官吏や配置される軍勢も少なくなる。すると鮮卑、西羌などの北方騎馬民族がたびたび侵入し、略奪を止める術はまったくなかった。

戦史

并州は後漢末から数度に渡って、北方の異民族である鮮卑の侵入を受けた。また188年になると韓暹と李樂が率いる山賊、白波軍が出現。并州で独立勢力を保ち、その強大さに手を焼いた朝廷はみすみす放置するしかなかった。

その後、并州は袁紹の支配下に入り、袁紹の甥高幹がこの地を治めた。袁紹の死後、高幹はいったん曹操に降ったものの、205年に反乱。壺関に籠もって抵抗するが、李典と楽進に攻められて敗走、荊州へと逃げ去った。

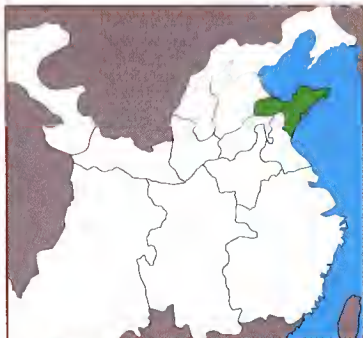
人物

後漢末の并州を代表する出身者は、武勇を誇った呂布だろう。彼は太原郡九原の生まれである。その呂布を使って董卓を殺し、一時的に権力を握った王允も太原郡の出身だ。

また、并州は曹丕の代以降の魏を支えた賢臣を多数輩出している。王允の甥の王凌、司空まで昇進する王昶、揚州刺史や魏郡太守を歴任した温恢などは、全員太原郡の晋陽や九原の出身だ。さらに、漢中を30年の長きに渡って守り続け、諸葛亮や姜維と戦った郭淮も太原郡陽曲の出身である。

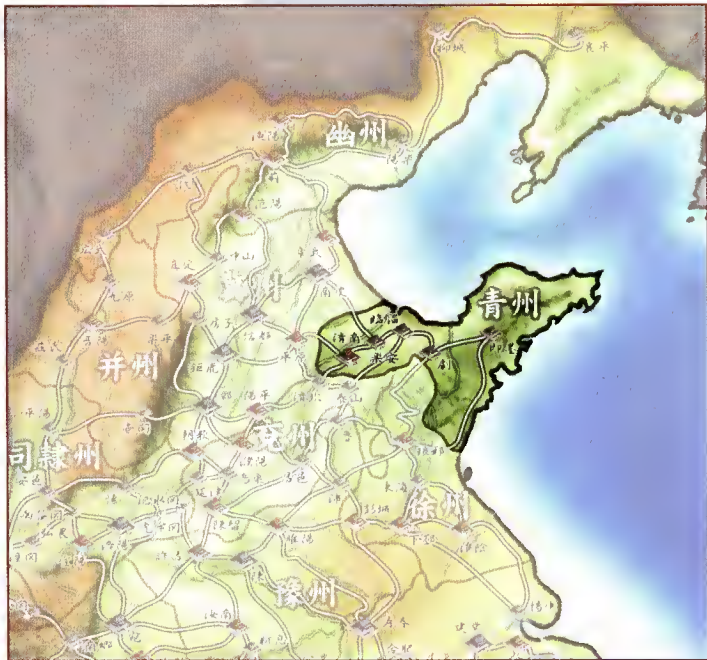
青州

春秋戦国時代に、「斉」の名宰相管仲を生んだ半島之地。
 中原にも近く、また背後に海の恵みを持つため、古来知識人が多く出た。
 漢室が衰え人々の思想が惑うと、宗教集団の勢力が増したのもそのためか。



都市一覧

都市 Lv1	4
劇 即墨 楽安 臨淄	
都市 Lv2	1
済南	
都市 Lv3	0
関	0



地勢

中国の東端にある山東半島一帯の州。平野こそ少ないが、海を隔てた対岸に幽州や朝鮮半島があり、交易船の出入りは活発だったようだ。春秋戦国時代になると、臨淄を首府とした「斉」が興り大いに栄えている。

後漢末になるとこの地にも黄巾賊が発生し、その精強さから特に「青州黄巾賊」と呼ばれる一大勢力を築いた。

のちに曹操により黄巾賊が平定され騒乱の不安が去ると、本来の平和が訪れ、以後中原の戦乱に巻き込まれることはなかった。

戦史

後漢末の青州での戦史は、強大な黄巾賊と漢軍の争いに終始する。100万を超える軍勢を持つといわれた青州黄巾賊は、さらに黒山賊とも結んで青州の大地を荒らし回った。

北海の太守として赴任した孔融が、黄巾賊に十重二十重に囲まれるという惨状となり青州を去ると、もはやこの地を治めようという者が出ないかと思われたが、青州黄巾賊はのちに曹操に敗れ、懐柔吸収される。これが20万の精兵「青州軍」となり、曹操の覇権を勢力に後押しした。

人物

後漢末から三国時代にかけて活躍した青州出身の人物で、もっとも高名なのは孫策配下の猛将、太史慈だろう。彼は、半島部の東萊郡生まれである。ほかには太史慈と同じく呉の臣としてのちに丞相まで昇る孫邵、劉備の使者として活躍した孫乾などがある。このふたりはともに孫姓なので、もしかすると親族かもしれない

また、魏の臣では文才に優れた呉質と、はじめ袁家に仕え、曹操の前で袁紹の罪を諫めて豪気を認められた王脩がいずれも青州出身だ。

徐州

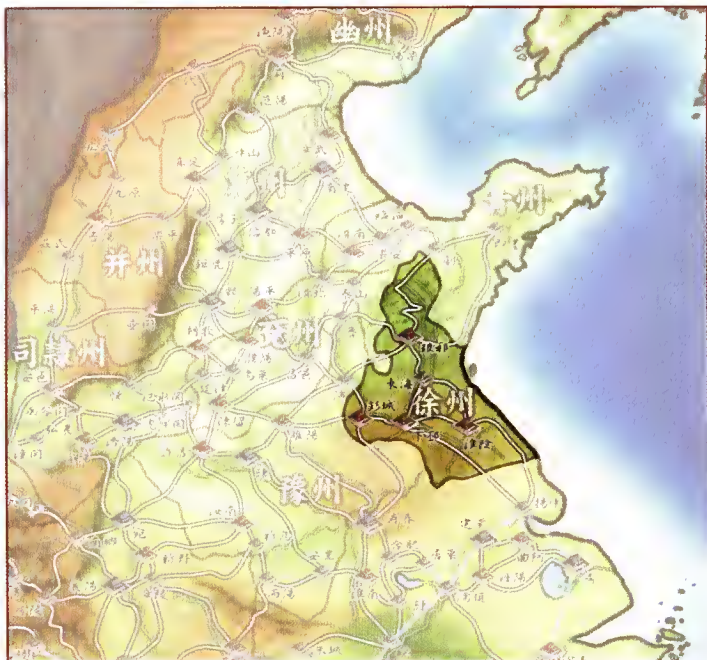
Shu じょしゅう Jyu

黄河と長江、中華を蕩蕩と流れるふたつの大河が⁴出会う土地。
漢の高祖、劉邦を育み、三国時代の珠玉の一族、諸葛を世に送る。
中原の穀倉地帯として在る、果てしない水田地帯は今も変わらない。



都市一覧

都市 Lv1	1
東海	
都市 Lv2	4
下邳 彭城 琅邪 淮陰	
都市 Lv3	0
関	0



地勢

黄河と長江とにはさまれた徐州は、気候も温暖で農業が盛んな地である。大都市こそないが、中規模の都市が多く点在するのは、華北と華南の交通の要衝として主要な交易路があったため。そのため富豪も多く、群雄たちのバックボーンとなった者も少なくない。

しかし平野部ばかりということは、拠点を構えるにはあまり適していないということでもある。劉邦の最大のライバルであった項羽、三国史上随一の剛勇を誇る呂布、ともにこの地で包囲戦の末敗れているのだ。

戦史

後漢末、徐州の黄巾賊は、184年に長沙の孫堅による討伐軍が鎮圧し、その後は徐州刺史として派遣された陶謙によって平和を保っていた。しかし193年に曹操の侵攻を受けると一転して戦禍に巻き込まれる。

曹操が呂布に本拠地の兗州を奪われたため撤退し、時を合わせて陶謙が194年に死去すると、客将として招かれていた劉備が代わって治めた。しかし、劉備はその後呂布に実権を奪われ、その呂布も198年曹操に下邳で捕らわれて斬られた。

人物

徐州といえば、後漢末から三国時代にかけて優れた人物を続々と輩出した諸葛氏の一族が有名である。蜀の諸葛亮をはじめ、呉の諸葛瑾、魏の諸葛誕、諸葛緒など、三国すべての国で重く用いられた者を出した。

ほかには、魏に仕えて三公を歴任した王朗や、同じく三公まで昇進した陳矯が東海の生まれ。また、呉の武将徐盛は琅邪、地元の富豪で劉備に付き添って入蜀する糜竺、糜芳の兄弟とその妹で劉備の側室となった糜夫人は東海の出身である。

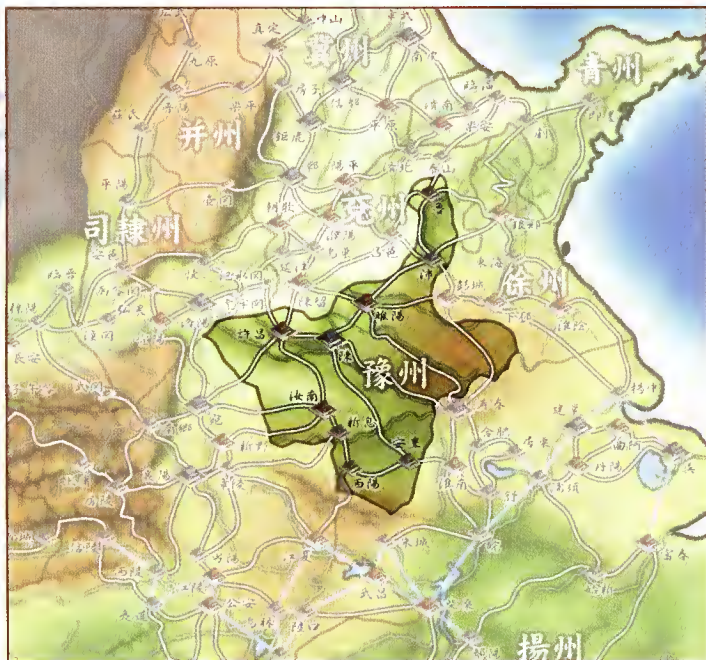
豫州

古代より中国の中心地として栄え、人々が中原と敬った地。
古には「韓」「楚」、そして三国時代には「魏」が都を定める。
名士、名君も数多く輩出し、中華の中華たる州。



都市一覧

都市 Lv1	5
安豊 新息 西陽 沛 魯	
都市 Lv2	3
許昌 汝南 睢陽	
都市 Lv3	1
陳	
関	0



地勢

後漢の首都洛陽のある司隸のすぐ東に位置し、陳や許昌といった大都市が集中している潁川郡は、人口が多く、また優秀な人材を数多く輩出する。人的資源では中国屈指の州といっても過言ではないだろう。

また土地が豊かで生産力が高く交通の便も良いため、春秋戦国時代には潁川郡に「韓」、汝南郡に「楚」など、版図こそ小さいものの、豊かな経済力に裏打ちされた王朝が開けた。

曹操も「魏」を興すと許昌に首府を定め、中世には「宋」が燕を首都とした。

戦史

後漢末に黄巾賊の発生をみたが、曹操や孫堅によって討伐され、その後は混乱がなかった。曹操が一大勢力を持つと、自らの故郷にほど近い許昌に献帝を迎え入れている。

190年代後半になると、汝南に劉辟らを頭目とする山賊が現れ沛にやってきた劉備と結ぶが、200年に曹操の討伐を受けて壊滅。劉備も荊州へと逃れた。その後は平安が続くが、218年に許昌で吉本を首謀者とする曹操への反乱が発生。しかし王必と厳匡の活躍により平定されている。

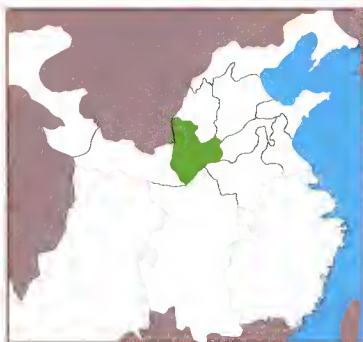
人物

古代中国史上、多くの人材を輩出してきた豫州からは、後漢末にも優秀な人物が集中して登場している。曹操をはじめ曹仁や夏侯惇などの曹操一門は皆この地の出身。袁紹や袁術も豫州汝南の生まれである。

また、魏の都として栄えた許昌からは、魏を支える功臣が多数生まれている。王佐の才をうたわれた荀彧とその甥の荀攸や、郭嘉、辛毗、鍾繇、楊脩、趙儼などは、全員許昌の出身。ほかにも、劉備を諸葛亮に引き合わせた徐庶が、潁川郡の出身である。

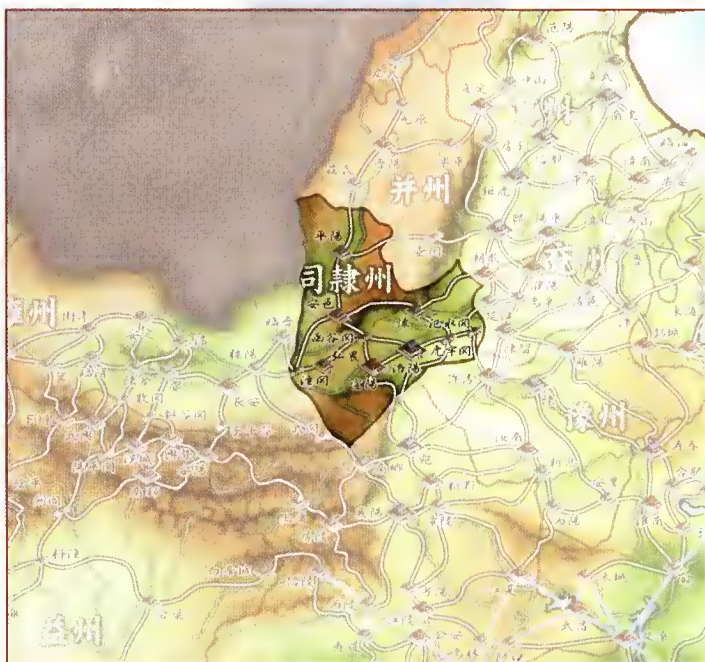
SU しれい 隸 RI

後漢の王道楽土の象徴となる都、洛陽を擁する中原の中心地。
しかし董卓による長安遷都によって、栄華を極めた街は一転、略奪と破壊の修羅場となる。
洛陽を蘇えらせ、再び楽土を建設する者が覇者としてふさわしい。



都市一覧

都市 Lv1	4			
安邑	懷	弘農	平陽	
都市 Lv2	1			
宣陽				
都市 Lv3	1			
洛陽				
関	4			
函谷関	虎牢関	潼関	汜水関	



地勢

後漢王朝の都、洛陽を擁する州。古代中国の時代から天下獲りを意味する「中原の覇」の「中原」とは、この司隸を中心とした周辺地域を指す。都の周辺には敵からの攻撃に備えて四方に関が設置されており、それが汜水関、虎牢関、函谷関、潼関である。

洛陽は長らく後漢行政の中心地であったが、190年に董卓によって略奪と破壊がなされ、犬や鶏の姿すら見ない廃墟と化してしまった。しかし264年に司馬炎が晋を建国すると、その都として定められている。

戦史

董卓の専横を見かねた諸侯は、190年に袁紹を盟主として反董卓連合軍を結成、挙兵した。先鋒の孫堅が快進撃を続けると、危機を感じた董卓は長安への遷都を敢行。その後、連合軍の進撃は董卓軍の徐榮や呂布の活躍により鈍るが、191年には孫堅が洛陽への入城に成功する。しかし、連合軍は内紛により解散してしまう。

200年には、州の南東部で曹操と袁紹によって官渡の戦いが行なわれた。曹操はここで袁紹を破り、中原に覇を唱えることとなる。

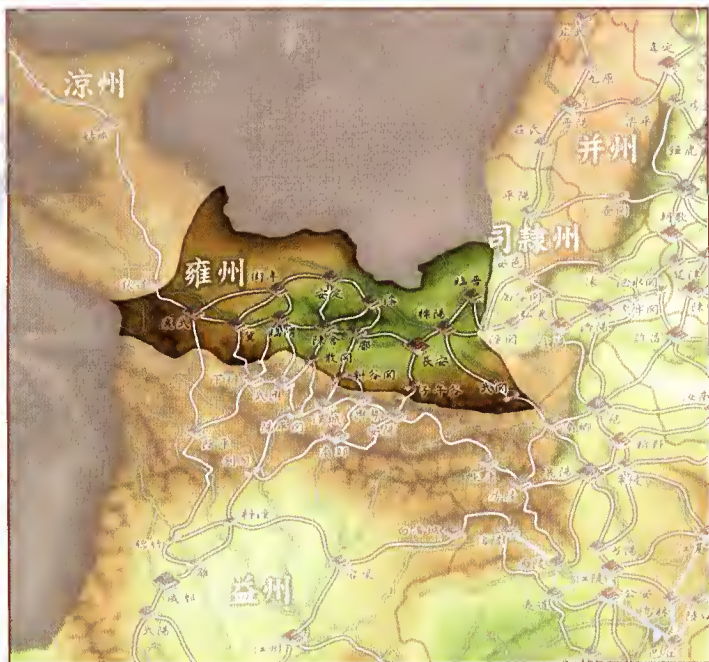
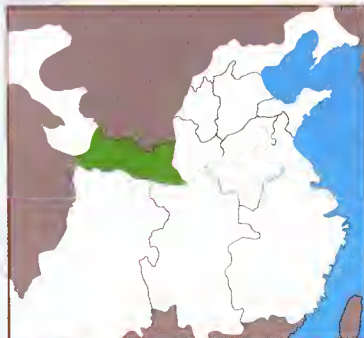
人物

洛陽の周辺からは、後漢の忠臣が数多く生まれている。黄巾賊の討伐で活躍、劉備や公孫瓚の師でもある盧植や、三公として落日の後漢を支えた楊彪、献帝の勅命を受けて曹操に対して反乱を起こした董卓や伏完といった人物は皆洛陽周辺の生まれ。さらに三国志随一の英雄、蜀の関羽も司隸東部の河東郡の出身だ。

また、魏に仕え、のちに晋を建国する司馬氏の一族も洛陽の出身。晋の名將で、建業を落として呉を降伏させた王濬も弘農の生まれである。

雍州

古代帝国「秦」、高祖劉邦が建国した「漢」王朝の都を擁する州。
実質的に「中原」の影響力が及ぶ最西端の地である。
これより先は辺境とされ、西方異民族と中華文明の交流で栄えた。



都市一覧

都市 Lv1	10			
安定	街亭	冀	漆	襄武
陳倉	郿	臨渭	臨晉	棧陽
都市 Lv2	1			
長安				
都市 Lv3	0			
関	4			
散関	子午谷	斜谷関	武関	

地勢

司隸の西に位置し、「関中」とも称される。長安は険しい山に囲まれた天然の要害で、前漢の首府が置かれていた。また、秦王朝の都の咸陽もここ雍州にあった。

雍州は大陸西方から延々と続く交易地の終点であり、中世になるとシルクロードによる漢洋折衷文化が多く見られた地である。

ちなみに長安には、異民族の侵入を防ぐために強固な城壁が築かれていた。そのため羌族らの攻撃を受けたとしても、簡単には落城しなかったという。

戦史

董卓の死後、雍州は曹操の勢力範囲となる。しかし211年に馬超と韓遂により関中が制圧されると、曹操は自ら征伐軍を指揮する。精強を誇る西涼騎馬軍団に一時は圧されるが、謀臣賈詡の策で鎮圧。雍州からいったんは戦禍が遠のいた。

しかし蜀建国後は、諸葛亮の北伐が始まると様相は一変。228年街亭、同年陳倉、229年武都・陰平、231年祁山、234年五丈原と激戦が続く。だが、司馬懿らの働きで蜀の攻撃が成功することはなかった。

人物

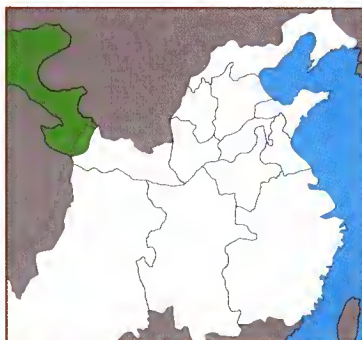
董卓の本拠地涼州にほど近いせいか、李儒、樊稠、李傕、張済など董卓が上洛した際に連れていた配下の武将は雍州出身の者が多い。また、西涼に勢力を持った群雄の馬騰も雍州の生まれ。皇甫嵩も雍州安定郡の出身である。

213年に馬騰の子馬超が反乱を起こした際に涼州を守った魏の韋康、閻温、殷署らも雍州の出身だ。

ほかには蜀の謀臣として活躍した法正や、魏の蜀の降参謀で大將軍まで昇進した姜維が天水郡の出身である。

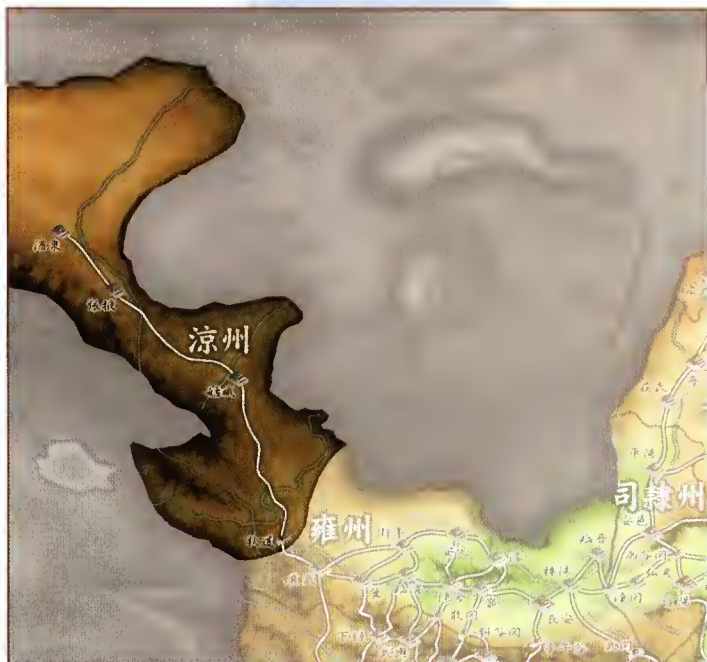
R400 涼州 R400

中国最西端の地。中原からあまりにも離れすぎているために、
この地にまで朝廷の権力を及ぼすのは難しい。
派遣された役人は、中央よりも西域の騎馬民族の意向を重要視したとさえいわれる。



都市一覧

都市 Lv1	3	
姑臧	酒泉	張掖
都市 Lv2	0	
都市 Lv3	0	
関	1	
狄道		



地勢

険しい山に囲まれ、盆地状に広がる原野が果てしなく続くという地勢上、この地の人々は馬なくしての生活は考えられなかった。そのため優秀な馬産地となり、人々も皆馬術に優れ、兵の精強さは群を抜いていたという。

西方との交易の重要な中継点でもあるが、西方騎馬民族の羌族の勢力が非常に強く、しばしば領域を侵すことがあった。そのため前漢をはじめとして以後、あまたの王朝は婚姻などを利用して羌族との協調を図り、大事な交易ルートを守った。

戦史

後漢末、この地の異民族討伐で名をあげた董卓は、大將軍何進の激に応じて上洛。その後、涼州で大きな勢力を持ったのは馬騰と韓遂である。このふたりはときには手を結び、ときには争いつつ虎視眈々と中原を狙った。

211年には馬騰の子馬超が韓遂と結び、曹操に対し大規模な反乱を起こす。反乱軍は涼州を抑え、雍州にまで進出したものの、やがて鎮圧された。馬超は213年にも背くが、武威太守毋丘典や郝昭、夏侯淵らの活躍で鎮圧され、身ひとつで漢中へ逃れた。

人物

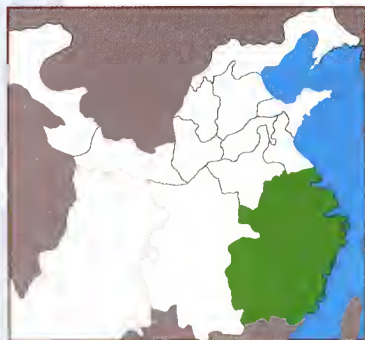
騎馬民族の影響が強いというその土地柄のせいか、涼州出身者には騎兵の統率に優れた猛将が多い。後漢末の朝廷を牛耳った董卓や、その配下の郭汜、張繡、たびたび長安を脅かした群雄の韓遂、荊州で関羽と激戦を繰り広げた龐徳などだ。もちろん三国志とゆかりのある胡族の武将も多く、その代表に治無戴がいる。

また、猛将に従い策を進言した謀将として、董卓や張繡に従い、のちに曹操のもとで活躍した賈詡、蜀に降って費禕を暗殺した郭脩などがある。

揚州

ようしゅう

悠久なる大河長江を戴き、幸多く人多く広大な地。
母なる長江の流れは、揚州を外敵から守る羊水のようであり、
それゆえこの地に拠って立つ者は、中原とは相容れない独自性を持った。



都市一覧

都市Lv1	12
皖 居巢 合肥 始新 濡須	
朱城 舒 西昌 東冶 南昌	
鄱陽 揚中	
都市Lv2	5
曲阿 柴桑 丹陽 富春 淮南	
都市Lv3	3
建業 興 壽春	
関	0



地勢

長江の流域を中心とした広大な州。
長江のもたらす恵みにより、平野部は
肥沃な大地が広がり農業が栄え、また、
沿岸の都市では船による交易が盛ん
に行なわれている。

中原からこの地に兵力を送るには
大規模な船団が必要なため、中原と
異なる文化が育まれてきた。特に長江
の下流域は「呉」と呼ばれ、春秋戦国
時代には王朝が栄えた。しかし南部
の辺境の地だけは後漢末になっても開
発が進んでおらず、「山越」と呼ばれる
南蛮系異民族の反乱が頻発していた。

戦史

197年、袁術が長江北部に勢力をは
り皇帝を自称するが、曹操の討伐を受
け2年後にあえなく死亡。一時揚州は
空白地帯となる。これを察知した孫策
は、呉に進出し地盤固めに成功する。

208年に荊州を併呑した曹操の大軍
が南下すると、孫策の後を継いだ孫権
との間で赤壁の戦いが勃発。しかし、
曹操は頼みの荊州水軍を火計で焼か
れるなどして退いた。

その後、圧倒的な国力を持つ魏に
対して呉はよく戦い、280年に降伏す
るまで勢力を保ち続けた。

人物

長沙太守の孫係は呉郡富春の人だ
った。その子孫係は呉に本拠を置い
たため、孫家に仕えた者は揚州の出
の者が多い。賀齊、虞翻は会稽出身。
朱治は建業、周泰は淮南の生まれで
ある。また、水軍都督として赤壁の大
勝を得た周瑜は廬江、夷陵で劉備を
破った陸遜は居巢の豪族の子である。

ほかにも、周瑜の後継者として活躍
した魯粛、丞相まで昇進した顧雍、後
継と凌統の親子、その武勇を孫権に
愛された朱然、丁奉らが揚州建業の
出身となっている。

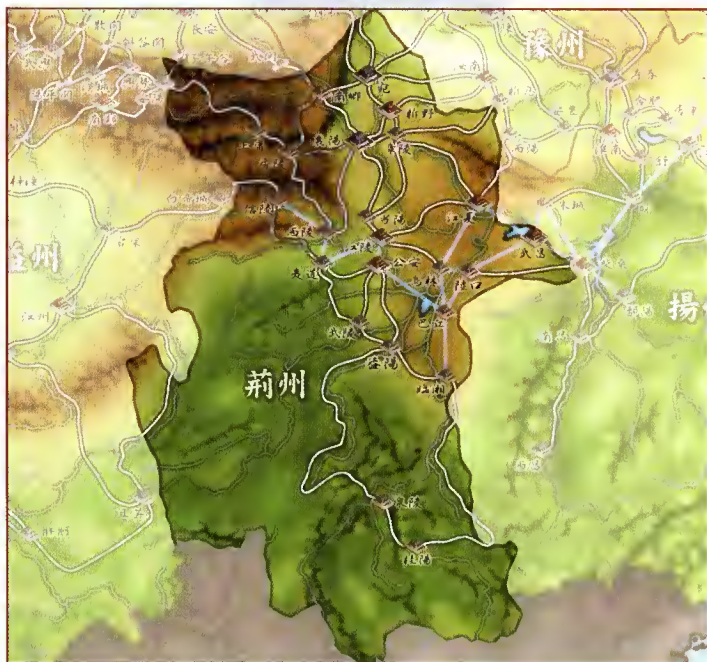
荆州

後漢末の混乱期を、刺史劉表の賢政によって戦乱を知らずに過ぎた地。
戦乱を避けた人々により、文化と栄華、知識のすべてがこの地に種を落とす。
静寂は長江の緩やかな流れのように、永久に続くかと思われたが……。



都市一覧

都市 Lv1	16				
夷道	烏林	益陽	桂陽	上庸	
章陵	信陵	西陵	泉陵	当陽	
南郷	巴丘	武陵	房陵	陸口	
臨湘					
都市 Lv2	5				
公安	江夏	江陵	新野	武昌	
都市 Lv3	2				
宛	襄陽				
関	0				



地勢

司隸のすぐ南部に位置し、長江の支流が数多く流れるため土地は豊かで産業の盛んな州。

後漢末に反乱が多発したが、荊州刺史として赴任した劉表が混乱を鎮め、戦禍によって荒廃する中原に近いにも関わらず、平穏な日々が続いた。

劉表は諸侯が激しい争いを続けるなかで中立を保ち、広く賢者を招き大都市の襄陽を中心地として賢政をした。そのため、中原の戦乱を避けて移住した民が多数流入し、人的資源にも富むことになった。

戦史

劉表は208年に死去するまで荊州をよく治めた。その間に長沙太守の孫堅と小競り合いがあったが、192年に劉表配下の黄祖が、孫堅を敗死させる。

劉表の死後、子の劉琮は曹操に降伏。荊州は曹操のものとなるが、赤壁の戦いで曹操が敗れた後は孫権と劉備によって分割統治された。

劉備入蜀の際、荊州を守った関羽は219年樊城の戦いで曹仁に敗れ、さらに孫権に捕らわれて斬られる。劉備は仇討ちとして222年に呉を攻めるが、夷陵で陸遜に大敗した。

人物

劉表は地元の名族と結びつきを深め、自らの政治的基盤を固めた。蔡瑁や、蒯良と蒯越の兄弟などはすべて荊州の有力な豪族の出身である。

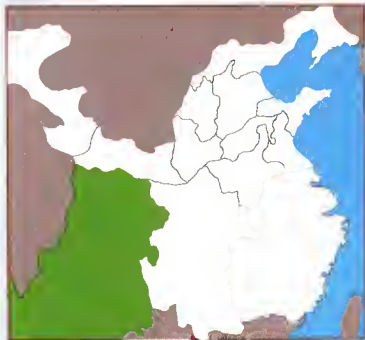
赤壁の戦いに前後して、劉備もこの地で多くの人材を得る。黄忠、魏延、霍峻、李嚴、費禕、楊儀ら蜀建国の重臣たちは皆この時期に配下となった。

また、襄陽には司馬徽を中心とした名士が身を寄せていたため、そのもとには龐統や馬良、馬謖など地元の者だけでなく他州出身の有能な者も集まっていたのである。

益州

えきしゅう

前漢の高祖、劉邦はこの地から覇を求め、漢中王を名乗る。
険しい山々に囲まれた益州は攻めるに難く、守るに易い土地であった。
だが、千里の沃野が広がるといわれた「天府の地」はここにはない。



都市一覧

都市 Lv1 15

安陽	陰平	雲南	下辨	漢城
建寧	興勢	江陽	且芸	荊州
宕渠	南広	白帝城	武興	武陽

都市 Lv2 2

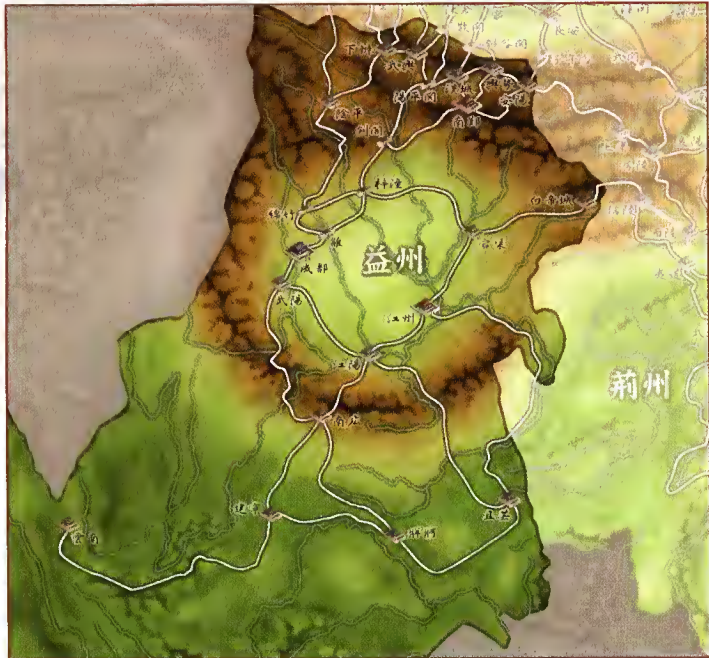
江州 南鄭

都市 Lv3 1

成都

関 5

剣閣 梓潼 綿竹 陽平関 雒



地勢

中国の南西に位置する州。この地方を総称して蜀ともいう。高い山に囲まれ、中原から隔離されて独自の文化が育った。益州には北の雍州か東の荊州から入るしかないが、雍州からは崖沿いに作られた「栈道」と呼ばれる道を通過する必要があるため、軍の移動、補給は非常に難しかった。

蜀は決して豊かな地ではない。諸葛亮が天下三分の計で劉備に入蜀を勧めたのも、曹操、孫権が揺るぎない勢力を保っていた状況下ではほかに選択肢がなかったためかもしれない。

戦史

188年に益州牧となった劉焉は、中原との連絡を故意に絶ち独立する。その後、蜀の地は子の劉璋が引き継ぐが、211年に劉備に降伏している。

215年、曹操は漢中に侵入、張魯を追う。しかし、劉備が219年に漢中へ進出し配下の黄忠が夏侯淵を斬るなどして大勝、魏から漢中を奪取した。

その後は魏、蜀の戦いは雍州や涼州で行なわれていたが、263年に魏の鄧艾が間道を踏破、電撃的に蜀に入る。成都を攻められた後主劉禪は降伏し、蜀は滅亡した。

人物

劉焉はほとんど配下の者をひきつれずに益州に赴任した。したがって、この地を治めるにあたって登用した者はすべて現地出身だ。王謀、張任、嚴顔、黄權、王累、張松らである。

益州出身者は劉備の入蜀後に活躍した者も多い。王平と張翼はともに江陽出身。使者として働いた秦宓が綿竹の出身である。

『演義』に登場する異民族の将も益州近辺の出身とされている。羌の徹里吉や趙吉、南蛮の沙摩柯や、孟獲とその弟孟優らがこれにあたる。



州別都市一覽

三国時代の中国は15の“州”に分かれており、

ゲームではその中の13州を舞台としている。

ここから紹介する州別都市一覽は、

その州別に都市を分け、規模や戦史別のデータなど

あらゆる都市の情報をまとめたものである。

都市攻略の際には必ず参考になるはずだ。



所屬州	都市名	都市統	Lv	水軍	洪水	騒乱	戦史1						戦史2							
							農業		商業	治安	城壁	兵糧	農業		商業	治安	城壁	兵糧		
幽州	漁陽	ギョヨウ	2	—	—	異民	1460	A	90	B	39	60	90	2750	B	165	B	55	60	20
	薊	ケイ	2	—	—	異民	2000	A	120	B	40	102	51	2750	A	165	B	55	60	20
	広武	コウブ	1	—	—	異民	640	B	35	C	21	60	38	1100	C	55	C	55	28	10
	喜平	ジョウヘイ	1	—	—	異民	740	B	40	C	27	60	29	1100	C	55	B	55	28	10
	代	ダイ	1	—	—	異民	770	B	40	C	37	60	35	1100	C	55	C	55	28	10
	范陽	ハンヨウ	2	—	—	異民	1300	B	75	B	44	60	39	2750	B	165	B	55	60	20
	陽秦	ヨウラク	1	—	—	異民	800	B	40	C	40	48	24	1100	C	55	C	55	28	10
	柳城	リュウジョウ	1	—	—	異民	970	B	45	C	41	60	43	1100	C	55	C	55	28	10
冀州	鄆	ギョウ	3	—	—	黄巾	2090	A	120	B	42	60	75	4500	A	270	A	75	113	50
	鉅鹿	キョロク	3	—	—	黄巾	1660	A	140	B	31	70	50	5500	A	330	A	55	88	35
	章武	ショウブ	2	—	—	黄巾	790	B	65	B	34	40	30	2750	A	165	B	55	60	20
	真定	シンテイ	2	—	—	黄巾	2400	B	150	B	37	80	86	2750	A	185	B	55	60	20
	信都	シント	3	—	—	黄巾	1430	A	135	B	45	70	77	5500	A	330	A	55	88	35
	中山	チュウザン	1	—	—	黄巾	580	B	25	B	16	30	65	1100	C	55	C	55	28	10
	朝歌	チョウカ	2	—	—	黄巾	1160	B	60	B	29	40	34	2250	B	135	B	45	77	34
	南皮	ナンヒ	3	—	—	黄巾	4000	A	240	B	40	100	50	5500	A	330	A	55	88	35
	平原	ヘイゲン	2	—	—	黄巾	2000	B	120	B	40	68	34	2250	B	135	B	45	77	34
	房子	ボウシ	1	—	—	黄巾	1320	C	65	B	16	60	57	1100	C	55	C	55	28	10
并州	臨平	ヨウヘイ	2	—	○	黄巾	600	C	45	B	44	40	16	2250	B	135	B	45	77	34
	九原	キュウゲン	1	—	—	異民	1160	C	60	C	22	50	25	1100	C	55	C	55	28	10
	遼東	コカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70	25	—	—	—	—	—	68	30
	茲氏	ジシ	1	—	—	異民	1130	C	60	C	26	50	23	900	C	45	C	45	38	16
	晉陽	シンヨウ	2	—	—	異民	1310	A	75	B	35	60	72	2750	A	185	B	55	60	20
青州	楽平	ラクヘイ	1	—	—	—	1240	C	65	C	11	40	72	1100	C	55	C	55	28	10
	劇	ゲキ	1	—	—	黄巾	370	B	15	C	15	30	11	900	C	45	C	45	36	16
	済南	セイナン	2	—	○	黄巾	1270	A	90	B	10	40	14	2250	A	135	B	45	77	34
	即墨	ソクボク	1	—	—	黄巾	180	B	10	C	13	30	12	900	C	45	C	45	36	16
	楽安	ラクアン	1	—	○	黄巾	550	B	30	C	12	20	37	1100	C	55	C	55	28	10
徐州	臨淄	リンシ	1	—	—	黄巾	340	B	20	C	10	30	11	900	C	45	C	45	36	16
	下邳	カヒ	2	—	—	—	3000	B	150	B	40	51	51	2500	A	150	A	50	68	31
	東海	トウカイ	1	—	—	—	1200	C	50	B	40	24	24	800	C	40	C	40	24	14
	彭城	ホウジョウ	2	—	—	—	3000	B	150	B	40	51	51	2500	A	150	A	50	68	31
	琅邪	ロウヤ	2	—	—	—	3000	B	150	B	40	51	51	2000	A	120	B	40	51	31
兗州	淮陰	ワイイン	2	—	—	—	1950	A	120	B	20	50	82	2500	B	150	B	50	68	31
	烏巢	ウソウ	1	—	—	黄巾	750	B	35	B	26	30	19	1000	C	50	B	50	40	20
	延津	エンシン	1	—	○	黄巾	820	B	40	B	23	30	26	1000	C	50	B	50	40	20
	昌邑	ショウユウ	1	—	—	黄巾	630	B	30	B	38	30	17	1000	C	50	B	50	40	20

都市データの見方

所屬州	都市名	都市レベル	Lv	水軍	洪水	騒乱	戦史1	農業	商業	治安	城壁	兵糧
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬

① 所屬州

その都市が所属している州名。

② 都市名

その都市の名称。所属する州別で分類している。

③ 都市レベル

都市の大きさ。数値は1〜3で分けられており、1は小都市、2は中都市、3は大都市で「-」は関を表す。この数値は都市における最大農業値、最大商業値、最大城壁値、最大兵糧値、最大兵数を決定する。(詳しくは40ページ参照)

④ 水軍

○印のある都市では水軍を建造できる。

⑤ 洪水

○印のある都市は洪水が発生する恐れがある。

⑥ 騒乱

騒乱の中でも黄巾賊と異民族の騒乱が発生する都市にはそれぞれ「黄巾」「異民」と表記。「-」は山賊の騒乱しか発生しない。

⑦ 戦史別初期値

各戦史ごとの農業値、商業値、治安値、城壁値、兵糧値の初期値。農業値と商業値については、都市コマンドで「農業」「商業」を行った際の数値の伸びやすさを3ランクに分けて表している。ランクはA〜Cで、Aは数値が伸びやすく、Cは伸びにくいという意味。

戦史3						戦史4						戦史5						都市名			
農業	商業	治安	城壁	兵糧		農業	商業	治安	城壁	兵糧		農業	商業	治安	城壁	兵糧					
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	B	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	漁陽
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	蓟
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	C	80	40	20	広武
1400	C	70	B	70	38	18	1650	C	82	B	40	70	20	1800	C	90	B	90	40	20	襄平
1400	C	70	C	70	38	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	代
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	80	85	43	范陽
1400	C	70	C	70	38	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	C	90	40	20	陽楽
1400	C	70	C	70	36	18	1400	C	70	C	70	56	24	1800	C	90	C	90	40	20	柳城
7000	A	420	A	70	113	50	8500	C	510	A	85	125	63	9000	C	540	A	90	125	63	鄴
7000	B	420	C	70	113	50	8500	C	510	C	85	125	63	9000	C	540	B	90	125	63	鉅鹿
3500	C	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	章武
3500	C	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	63	真定
7000	B	420	C	70	113	50	8500	C	510	A	85	125	63	9000	C	540	A	90	125	63	信都
1400	C	70	B	70	38	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	中山
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	B	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	朝歌
7000	B	420	C	70	113	50	8500	B	510	B	85	125	63	9000	C	540	A	90	125	83	南皮
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	B	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	平原
1400	C	70	C	70	36	18	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	80	B	90	40	20	房子
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	C	90	85	43	陽平
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	九原
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	38	—	—	—	—	—	75	43	壺関
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	茲氏
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	青陽
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	C	90	40	20	楽平
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	劇
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	C	90	85	43	濟南
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	即墨
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	楽安
1400	C	70	C	70	38	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	80	B	80	40	20	臨淄
2000	B	120	C	40	68	43	3000	B	180	B	60	34	43	3500	B	210	B	70	102	51	下邳
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	東海
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	B	90	85	43	彭城
3500	B	210	C	70	77	34	4250	C	255	C	85	85	43	4500	C	270	C	90	85	43	琅邪
2000	A	120	C	40	68	43	3000	B	180	C	60	34	43	3500	B	210	B	70	102	51	淮陰
1400	C	70	B	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	烏巢
1400	C	70	B	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	A	90	40	20	延津
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	昌邑

所屬州	郡市名	都市誌	Lv	水軍	洪水	騒乱	戦史1						戦史2								
							農業		商業		治安	城壁	兵糧	農業		商業		治安	城壁	兵糧	
兗州	済北	セイホク	1	—	○	黄巾	800	B	40	B	40	32	16	1000	C	50	B	50	40	20	
	泰山	タイザン	1	—	—	黄巾	540	B	25	C	10	50	21	1000	C	50	B	50	40	20	
	陳留	チンリウ	2	—	—	黄巾	2000	A	120	B	40	102	68	3000	B	180	A	60	68	25	
	潁陽	ボクヨウ	2	—	○	黄巾	1230	A	75	B	39	40	77	2500	A	150	A	50	85	43	
豫州	安豊	アンホウ	1	—	—	—	680	B	35	B	29	30	17	1200	C	60	C	60	32	12	
	許昌	キョショウ	2	—	—	黄巾	860	A	55	B	45	30	24	3000	C	180	A	60	68	25	
	汝南	ジョナン	2	—	—	黄巾	1150	A	80	C	12	40	72	2500	A	150	B	50	85	43	
	新息	シンソク	1	—	—	黄巾	600	B	30	B	36	30	15	1000	C	50	C	50	40	20	
	睢陽	スイヨウ	2	—	—	—	1360	A	90	B	45	40	45	2500	A	150	A	50	85	43	
	西陽	セイヨウ	1	—	—	黄巾	790	B	40	B	27	30	15	1000	C	50	C	50	40	20	
	陳	チン	3	—	—	黄巾	1550	A	90	B	43	50	68	6000	A	360	A	60	100	37	
	沛	ハイ	1	—	—	—	850	B	40	B	46	40	22	800	B	40	C	40	24	14	
	魯	ロ	1	—	—	—	700	B	30	B	45	40	22	1000	C	50	B	50	40	20	
	司隸	安邑	アンユウ	1	—	—	異民	1600	C	80	B	33	40	65	1000	C	50	B	50	40	20
懷		カイ	1	—	○	—	1460	C	70	B	40	40	30	1000	C	50	C	50	40	20	
函谷関		カンコクカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	30	—	—	—	—	—	60	22	
弘農		コウノウ	1	—	—	—	700	C	30	B	25	32	16	1200	C	60	B	80	32	12	
虎牢関		コロウカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	14	—	—	—	—	—	60	22	
宣陽		センヨウ	2	—	—	黄巾	1750	A	90	B	46	68	34	3000	B	180	B	60	68	25	
潼関		ドウカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	30	—	—	—	—	—	75	38	
汜水関		ハンスイカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	14	—	—	—	—	—	60	22	
平陽		ヘイヨウ	1	—	—	異民	780	B	35	B	31	30	78	1000	C	50	C	50	40	20	
洛陽		ラクヨウ	3	—	—	—	1000	B	60	B	5	25	8	6000	B	360	B	60	100	37	
安定		アンテイ	1	—	—	異民	1150	C	60	B	36	30	29	260	B	13	C	10	20	10	
街亭		ガイテイ	1	—	—	異民	1200	C	50	B	40	24	12	1100	C	55	C	55	32	16	
冀		キ	1	—	—	異民	1200	C	50	C	40	24	12	1100	C	55	C	55	32	16	
散関		サンカン	—	—	—	異民	—	—	—	—	—	120	30	—	—	—	—	—	80	10	
子午谷	シゴコク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	30	—	—	—	—	—	70	10		
雍州	漆	シツ	1	—	—	—	700	C	30	B	25	32	16	290	B	15	C	20	30	10	
	斜谷関	シャコクカン	—	—	—	異民	—	—	—	—	—	120	30	—	—	—	—	—	60	10	
	襄武	ジョウブ	1	—	—	異民	880	C	45	C	34	40	21	1100	C	55	C	55	32	16	
	長安	チョウアン	2	—	—	—	1750	B	90	B	34	68	34	2500	A	150	B	50	85	43	
	陳倉	チンソウ	1	—	—	異民	700	C	30	B	25	32	16	1400	C	70	C	70	56	20	
	郿	ビ	1	—	—	異民	700	C	30	C	25	32	16	1400	C	70	C	70	58	20	
	武関	フカン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	30	—	—	—	—	—	70	10	
	臨渭	リンイ	1	—	—	異民	1000	C	50	C	39	40	19	1100	C	55	C	55	32	16	
	隴首	リンシン	1	—	—	—	1040	C	50	B	43	30	43	460	B	23	C	22	30	14	
	陳倉	レキヨウ	1	—	—	—	700	C	30	B	25	32	16	1000	C	50	B	60	40	20	
	涼州	姑臧	コゾウ	1	—	—	異民	1040	C	50	B	57	30	35	1100	C	55	C	55	32	16
		酒泉	シュゼン	1	—	—	異民	160	C	10	C	22	60	12	230	B	11	C	9	30	10
		張掖	チョウエキ	1	—	—	異民	420	C	20	C	36	60	16	1100	C	55	C	55	32	16
		狄道	テキドウ	—	—	—	異民	—	—	—	—	—	40	12	—	—	—	—	—	80	30
揚州	皖	カン	1	○	—	—	550	C	25	C	46	30	34	600	C	30	B	30	28	12	
	曲阿	キョクア	2	○	—	—	930	A	60	B	28	40	64	530	A	26	B	10	60	35	
	居巢	キョソウ	1	○	—	—	1230	C	60	C	44	30	31	600	C	30	C	30	28	12	
	建業	ケンギョウ	3	○	—	—	1210	A	65	B	33	50	36	1500	A	90	A	30	88	30	
	呉	ゴ	3	○	—	—	1220	A	65	B	30	60	89	1500	A	90	A	30	88	30	
	合肥	ゴウヒ	1	—	—	黄巾	280	B	10	B	21	30	10	1000	C	50	B	50	40	20	
	柴桑	サイソウ	2	○	—	—	1200	A	75	B	41	40	61	1500	A	90	A	30	60	25	
	始新	シンシン	1	—	—	—	270	B	20	B	37	30	14	600	C	30	B	30	28	12	
	濡須	ジュシュ	1	○	—	黄巾	430	B	20	B	22	20	19	600	B	30	B	30	28	12	
	寿春	ジュシュン	3	—	—	黄巾	3320	A	180	C	35	60	56	5000	A	300	A	50	125	63	
	朱城	シュジョウ	1	○	—	—	610	C	30	C	44	30	24	600	B	30	B	30	28	12	
	舒	ジョ	1	—	—	—	890	C	45	B	42	30	37	1000	C	50	B	50	40	20	

戰史3						戰史4						戰史5						都市名			
農業	商業	治安	城壁	兵糧		農業	商業	治安	城壁	兵糧		農業	商業	治安	城壁	兵糧					
1400	C	70	C	70	38	18	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	濟北
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	泰山
3500	B	210	A	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	陳留
3500	B	210	B	70	77	34	4250	C	255	B	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	濮陽
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	安豐
7000	B	210	A	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	許昌
3500	C	210	B	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	汝南
1400	C	70	B	70	36	18	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	新息
3500	B	210	A	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	睢陽
1400	C	70	B	70	36	16	1400	C	70	B	70	56	24	1400	C	70	B	70	48	24	西陽
7000	B	420	A	70	113	50	8500	C	510	A	85	125	63	9000	C	540	A	90	125	63	陳
1400	C	70	B	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	沛
1400	C	70	B	70	38	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	魯
1400	C	70	B	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	安邑
1400	C	70	B	70	36	18	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	懷
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	43	—	—	—	—	—	75	38	函谷關
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	弘農
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	38	—	—	—	—	—	75	38	虎牢關
3500	B	210	B	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	90	85	43	宣陽
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	43	—	—	—	—	—	75	38	潼關
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	38	—	—	—	—	—	75	38	汜水關
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	C	90	40	20	平陽
7000	B	420	B	70	113	50	8500	C	510	A	85	125	63	8000	C	540	A	90	125	63	洛陽
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	C	85	40	20	1400	C	70	C	70	48	24	安定
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	C	85	40	20	1400	C	70	C	70	48	24	街亭
1200	C	60	C	60	32	12	1400	C	70	C	70	58	24	1200	C	60	C	60	48	24	冀
—	—	—	—	—	60	23	—	—	—	—	—	105	45	—	—	—	—	—	90	45	散關
—	—	—	—	—	100	32	—	—	—	—	—	105	45	—	—	—	—	—	100	38	子午谷
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	C	85	40	20	1400	C	70	B	70	48	24	漆
—	—	—	—	—	100	27	—	—	—	—	—	105	45	—	—	—	—	—	90	45	斜谷關
1200	C	60	C	60	32	12	1400	C	70	C	70	56	24	1200	C	60	B	60	48	24	蕤武
2000	A	120	B	40	68	43	3000	B	180	A	60	34	43	3500	C	210	A	70	102	51	長安
1200	C	60	B	60	32	12	1400	C	70	B	70	56	24	1230	C	62	B	61	40	20	陳倉
1200	C	80	B	80	32	12	1400	C	70	B	70	56	24	1400	C	70	B	70	48	24	郿
—	—	—	—	—	68	30	—	—	—	—	—	75	38	—	—	—	—	—	75	38	武關
1200	C	60	C	60	32	12	1400	C	70	C	70	56	24	1200	C	60	B	60	48	24	臨渭
1400	C	70	C	70	36	16	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	臨晉
1400	C	70	B	70	36	16	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	榑陽
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	姑臧
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	C	85	40	20	1800	C	90	C	90	40	20	酒泉
1200	C	60	C	60	32	12	1700	C	85	B	85	40	20	1800	C	90	B	90	40	20	張掖
—	—	—	—	—	60	23	—	—	—	—	—	75	38	—	—	—	—	—	90	45	狄道
800	C	40	B	40	44	24	1000	C	50	B	50	48	24	1200	C	60	B	60	48	24	皖
3000	B	180	B	60	77	43	3500	B	210	B	70	85	43	4000	C	240	B	80	85	43	曲阿
800	B	40	B	40	44	24	1400	C	70	B	70	56	24	1200	C	60	B	60	48	24	居巢
6000	A	360	A	60	113	63	7000	A	420	A	70	125	63	7999	B	480	A	80	125	63	建業
6000	A	360	A	60	113	63	7000	B	420	A	70	125	63	8000	B	480	A	80	125	63	吳
800	B	40	B	40	32	20	1400	C	70	B	70	56	24	1400	C	70	B	70	48	24	合肥
3000	B	180	A	60	77	43	3500	B	210	A	70	85	43	4000	C	240	A	80	85	43	柴桑
1200	C	60	B	60	36	20	1400	C	70	A	70	40	20	1600	C	80	A	80	40	20	始新
1200	C	60	B	60	36	20	1000	C	50	B	50	48	24	1800	C	80	B	80	40	20	濡須
7000	A	420	A	70	113	50	8500	B	510	A	85	125	63	9000	C	540	A	90	125	63	壽春
1200	C	60	B	60	36	20	1400	C	70	B	70	40	20	1600	C	80	B	80	40	20	朱城
800	B	40	B	40	44	24	1000	C	50	B	50	48	24	1200	C	60	B	60	48	24	舒

所属州	都市名	都市誌	Lv	水軍	洪水	騒乱	戦史1						戦史2							
							農業		商業		治安	城壁	兵糧	農業		商業		治安	城壁	兵糧
揚州	西昌	セイシヨウ	1	—	—	—	380	C	20	B	45	40	37	390	C	19	C	16	30	10
	丹陽	タンヨウ	2	—	—	—	830	A	40	C	47	40	38	1500	A	90	A	30	60	25
	東冶	トウチ	1	—	—	異民	350	C	15	C	20	40	69	400	C	20	C	7	20	12
	南昌	ナンシヨウ	1	—	—	—	420	C	20	B	45	40	36	440	C	22	C	13	50	15
	鄱陽	ハンヨウ	1	○	—	—	640	C	30	B	41	30	29	600	B	30	C	30	28	12
	宜春	フシュン	2	○	—	異民	1130	B	60	B	43	40	56	1500	B	90	B	30	60	25
	豫中	ヨウチュウ	1	○	—	異民	320	B	15	B	36	30	23	600	C	30	C	30	28	12
	淮南	ワイナン	2	—	—	黄巾	1090	A	60	C	33	30	14	2500	B	150	B	50	85	43
荊州	夷道	イドウ	1	○	—	異民	250	C	10	C	26	20	19	150	B	10	C	16	20	10
	烏林	ウリン	1	○	—	—	170	C	10	C	32	20	14	800	C	40	B	40	40	20
	益陽	エキヨウ	1	—	—	異民	900	C	45	C	45	40	20	530	B	26	C	15	20	15
	宛	エン	3	—	—	—	3000	A	180	C	30	75	37	5000	A	300	A	50	125	63
	桂陽	ケイヨウ	1	—	—	異民	440	C	20	C	17	50	26	350	C	18	C	7	30	12
	公安	コウアン	2	○	—	—	2000	A	120	B	50	50	65	2000	A	120	A	40	85	43
	江夏	コウカ	2	○	—	—	2000	A	120	B	40	94	42	2000	A	120	A	40	85	43
	江陵	コウリョウ	2	○	—	—	2000	A	120	B	40	94	42	2000	A	120	A	40	85	43
	襄陽	ジョウヨウ	3	—	—	—	4000	A	240	B	40	138	100	5000	A	300	A	50	75	32
	上庸	ジョウヨウ	1	—	—	—	670	B	35	B	38	40	26	800	C	40	B	40	40	20
	摩陵	ショウリョウ	1	—	—	—	600	C	30	C	30	24	12	800	B	40	B	40	40	20
	新野	シンヤ	2	—	—	—	1500	A	90	C	30	51	25	2000	A	120	B	40	85	43
	信陵	シンリョウ	1	○	—	異民	770	B	35	C	37	30	26	280	B	14	C	15	20	10
	西陵	セイリョウ	1	○	—	異民	480	B	25	C	21	20	23	260	B	13	C	17	20	10
	象陵	センリョウ	1	—	—	異民	330	C	15	C	15	50	19	340	C	17	C	7	30	10
	当陽	トウヨウ	1	—	—	—	800	C	40	C	40	44	20	800	B	40	B	40	40	20
	南郷	ナンゴウ	1	—	—	—	770	C	30	B	39	30	31	800	B	40	B	40	40	20
	巴丘	ハキョウ	1	○	—	異民	900	B	45	C	45	40	20	800	C	40	B	40	40	20
	武昌	ブシヨウ	2	○	—	—	1540	B	65	B	39	20	16	2000	C	120	A	40	85	43
	武陵	ブリョウ	1	—	—	異民	220	C	10	C	11	40	23	130	C	10	C	12	30	10
	房陵	ボウリョウ	1	—	—	—	650	B	35	B	41	40	17	800	B	40	C	40	40	20
	陸口	リクコウ	1	○	—	—	930	C	50	B	39	20	14	800	C	40	B	40	40	20
	臨湘	リンシヨウ	1	○	—	異民	900	C	45	C	45	40	20	580	B	29	C	36	30	10
益州	安陽	アンヨウ	1	—	—	—	1490	C	70	C	24	80	80	1720	C	86	B	59	60	73
	陰平	インハイ	1	—	—	異民	430	B	20	C	39	40	15	420	B	23	C	6	20	10
	雲南	ウンナン	1	—	—	異民	230	B	10	C	32	60	12	60	B	10	C	8	30	10
	下辨	カベン	1	—	—	異民	450	B	20	C	38	40	17	460	B	23	C	10	50	17
	漢城	カンジョウ	1	—	—	—	1890	C	90	B	63	80	80	1840	C	92	B	57	80	30
	剣閣	ケンカク	—	—	—	異民	—	—	—	—	60	12	—	—	—	—	—	120	43	
	連率	ケンネイ	1	—	—	異民	230	B	10	C	38	60	12	60	B	10	C	8	30	10
	江州	コウシュウ	2	—	—	—	1180	A	60	B	39	40	19	3000	B	180	A	60	60	29
	興勢	コウセイ	1	—	—	異民	580	B	25	C	38	40	14	1610	C	80	C	36	80	75
	江陽	コウヨウ	1	—	—	—	870	B	45	C	37	40	15	1200	C	60	B	60	28	14
	梓潼	シカン	—	—	—	異民	—	—	—	—	60	26	—	—	—	—	—	120	43	
	且芸	シャラン	1	—	—	異民	230	B	10	C	33	60	12	60	B	10	C	8	30	10
	成都	セイト	3	—	—	異民	3000	A	180	B	30	88	42	3000	A	180	A	30	100	100
	葭葭	ソウカ	1	—	—	異民	230	B	10	C	39	60	12	60	B	10	C	8	30	10
	宕渠	トウキョ	1	—	—	—	510	B	25	C	42	40	19	1200	C	60	B	80	28	14
	南広	ナンコウ	1	—	—	—	1220	C	60	C	42	40	16	1200	C	60	B	60	28	14
	南郡	ナンテイ	2	—	—	—	3570	B	165	B	80	170	170	4800	C	230	A	88	100	165
	白帝城	ハクテイジョウ	1	—	—	—	680	B	30	C	41	40	19	1200	C	60	C	60	28	14
	武興	ブコウ	1	—	—	異民	560	B	25	C	44	40	23	300	B	15	C	14	20	13
	武陽	ブヨウ	1	—	—	異民	600	B	60	B	30	28	14	1200	C	60	B	60	28	14
	綿竹	メンチク	—	—	—	異民	—	—	—	—	60	22	—	—	—	—	—	—	120	43
	陽平関	ヨウヘイカン	—	—	—	異民	—	—	—	—	100	28	—	—	—	—	—	—	80	11
	雒	ラク	—	—	—	異民	—	—	—	—	57	28	—	—	—	—	—	—	120	43

戦史3						戦史4						戦史5						都市名			
農業		商業	治安	城壁	兵糧	農業		商業	治安	城壁	兵糧	農業		商業	治安	城壁	兵糧				
1200	C	60	C	60	36	20	1400	C	70	B	70	40	20	1600	C	80	B	80	40	20	西昌
3000	B	180	A	60	77	43	3500	B	210	A	70	85	43	4000	C	240	A	80	85	43	丹陽
1200	C	60	C	60	38	20	1400	C	70	B	70	40	20	1800	C	80	B	80	40	20	東冶
1200	C	60	C	60	36	20	1400	C	70	B	70	40	20	1600	C	80	B	80	40	20	南昌
1200	C	60	B	60	36	20	1400	C	70	A	70	40	20	1600	C	80	A	80	40	20	鄱陽
3000	B	180	B	60	77	43	3500	B	210	A	70	85	43	4000	C	240	A	80	85	43	富春
800	B	40	B	40	44	24	1000	C	50	B	50	48	24	1200	C	60	B	60	48	24	揚中
2000	A	120	B	40	68	43	3000	B	180	B	60	34	43	3500	C	210	B	70	102	51	淮南
180	C	10	C	22	50	17	1600	C	80	C	80	48	16	1600	C	80	B	80	40	20	夷道
800	B	40	B	40	32	20	1200	C	60	B	80	56	24	1600	C	80	B	80	40	20	烏林
810	B	40	C	21	50	56	1000	C	50	B	50	48	24	1600	C	80	B	80	40	20	益棚
7000	B	420	A	70	113	50	8500	B	510	A	85	125	63	8000	C	540	A	90	125	63	宛
330	C	16	C	16	50	22	1000	C	50	B	50	48	24	1600	C	80	B	80	40	20	桂陽
1580	A	77	A	60	30	112	3000	B	180	A	80	119	51	4000	C	240	A	80	85	43	公安
2000	A	120	A	40	68	51	2500	A	150	A	50	102	51	3000	B	180	A	60	102	51	江夏
2000	A	120	A	40	68	43	3000	B	180	A	80	119	51	3000	B	180	A	60	102	51	江陵
4000	A	240	A	40	100	63	6000	A	360	A	60	50	63	7000	A	420	A	70	150	75	襄陽
800	C	40	B	40	32	20	1600	C	80	B	80	48	16	1400	C	70	B	70	48	24	上庸
1400	C	70	B	70	36	16	1400	C	70	B	70	56	24	1400	C	70	B	70	48	24	寧陵
3500	B	210	B	70	77	34	4250	C	255	A	85	85	43	4500	C	270	A	80	85	43	新野
270	B	13	C	18	50	22	1600	C	80	C	80	48	16	1200	C	60	B	60	48	24	信陵
390	B	19	C	21	50	30	1200	C	60	C	60	56	24	1200	C	60	B	60	48	24	西陵
230	C	11	C	19	50	16	230	C	11	B	45	50	20	1600	C	80	B	80	40	20	泉陵
1400	C	70	B	70	36	16	1200	C	60	B	80	56	24	1200	C	60	B	60	48	24	當陽
1400	C	70	B	70	36	16	1400	C	70	B	70	56	24	1800	C	90	B	90	40	20	南郷
1200	C	60	B	60	64	36	1000	C	50	B	50	48	24	1600	C	80	B	80	40	20	巴丘
2000	A	120	A	40	94	51	3500	B	210	A	70	85	43	4000	C	240	A	80	85	43	武昌
210	C	10	C	20	30	21	1200	C	60	C	60	56	24	1600	C	80	B	80	40	20	武陵
800	B	40	C	40	32	20	1200	C	60	B	60	56	24	1400	C	70	B	70	48	24	房陵
800	C	40	B	40	44	24	1000	C	50	B	50	48	24	1600	C	80	A	80	40	20	陸口
1200	C	60	B	60	64	36	1400	C	70	B	70	40	20	1600	C	80	A	80	40	20	臨湘
840	C	42	A	62	40	55	1600	C	80	B	80	48	16	1200	C	60	A	80	48	24	安陽
1000	C	50	C	50	40	20	1200	C	60	C	60	56	24	1800	C	80	B	45	40	20	陰平
110	B	10	C	9	70	10	1600	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	45	40	20	雲南
420	B	21	C	11	50	26	1200	C	60	C	60	56	24	1600	C	80	B	49	40	20	下辨
1030	C	50	A	80	40	67	1600	C	80	A	80	48	16	1600	C	80	A	63	40	20	漢城
—	—	—	—	—	120	75	—	—	—	—	—	90	30	—	—	—	—	—	75	38	刺閣
110	B	10	C	10	70	12	1600	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	60	40	20	遼寧
3500	B	210	A	70	51	26	4000	C	240	A	80	102	34	4000	C	240	A	72	85	43	江州
620	B	31	B	45	40	41	1600	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	52	40	20	興勢
1400	C	70	B	70	24	12	1600	C	80	A	80	48	16	1600	C	80	A	60	40	20	江陽
—	—	—	—	—	120	75	—	—	—	—	—	90	30	—	—	—	—	—	75	38	梓潼
1400	C	70	C	70	24	12	1600	C	80	C	80	48	16	1600	C	80	B	44	40	20	且芸
7000	A	420	A	70	75	37	8000	B	480	A	80	150	50	8000	B	480	A	82	125	63	成都
1000	C	50	C	50	40	20	1600	C	80	C	80	48	16	1600	C	80	B	45	40	20	潯河
1400	C	70	B	70	24	12	1600	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	51	40	20	宕渠
1000	C	50	B	50	40	20	1600	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	56	40	20	南広
1450	A	72	A	87	170	170	4000	C	240	A	80	102	34	4000	C	240	A	67	85	43	南鄭
1000	C	50	C	50	40	20	1600	C	80	B	80	48	16	1200	C	60	B	60	48	24	白帝城
530	B	26	C	16	50	33	1200	C	60	C	60	56	24	1600	C	80	B	44	40	20	武興
1400	C	70	B	70	24	12	1800	C	80	B	80	48	16	1600	C	80	B	53	40	20	武陽
—	—	—	—	—	120	75	—	—	—	—	—	90	30	—	—	—	—	—	75	38	綿竹
—	—	—	—	—	110	16	—	—	—	—	—	90	30	—	—	—	—	—	75	38	陽平関
—	—	—	—	—	120	75	—	—	—	—	—	90	30	—	—	—	—	—	75	38	雒

後漢洛陽城

houhan royangon

栄華と盛衰を極めた都“後漢洛陽城”。その雄大なる姿。



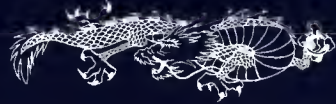
後漢の首府「洛陽」の俯瞰図。洛陽は北に黄河、南に洛河という地勢上の要地として、古代中国からひらかれてきた都市である。三国時代になると、董卓による長安遷都の際、宮殿や人家が焼かれ、墓陵も徹底的にあばかれたため、一時は廃墟同然になってしまった。しかし、その後魏の文帝(曹丕)がふたたび洛陽に都を定め、一大造営工事を開始。明帝(曹叡)の時代には、後漢時代と遜色のない都城となった。後の女王・卑弥呼の使者も復興なった頃の洛陽を訪れたのではないだろうかと考えられている。

後漢時代の洛陽城内には、行政の中枢機関である司徒府、司空府、太尉府などや、天子の学問所である明堂、天文台などの建造物をはじめ、貴族の邸宅が多数築かれていたとされており、現在でも発掘調査が続いている。ちなみに現在の洛陽城跡は市街地からはずれ、いかにも中国らしい田園地帯の光景が広がる中にひっそりと残っている。

※この俯瞰図では、都市全体の面積に対し宮殿の面積を広く描いてあるが、これは演出のためである。



文武人物之章



登場武将一覧 BUSYOU DOJO

開者として中華統一を果たすための第一歩、それは……。敵味方問わずたくさんの武将と出会い、個々の能力を知り把握しておくことである。そのためにはこの登場武将一覧が必ず役に立つので、存分に活用して欲しい。



武将データの見方

阿会喃 アカイナン														
『演義』に登場した南蛮の洞の長のひとり。南蛮王孟獲に召し出されて蜀軍と戦うが、諸葛亮の策の前に敗北。のちに孟獲に殺されて斬られる。														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇	統	知	政	健
185	215	且芸	60	15	7	5	1	17	8	8	8	8	8	8
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
未 (5)	未 (5)	未 (1)	劉備 (5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500/50	500/50	500/50	3500/32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1 武将プロフィール

その武将の名前と、『三國志正史』及び『三國志演義』から抜粋したプロフィール。

2 武将登場データ

その武将の生まれた年や登場する都市などのデータ。各項目の意味は以下のとおり。

生……生まれた年。

登……武将が登場する年。戦史1のゲームスタート時に登場していない武将は、この年から登場するかどうかの判定がされる。そのため、必ずこの年になれば登場するとはいえない。

都市……その武将が登場する都市。ただし、親子関係のある武将は、その親のいる都市で登場する。「1」の武将は戦史1のゲームスタート時から登場しているということ。

寿……その武将のおおよその寿命。生まれた年からこの数値をプラスした年あたりで、その武将が寿命により死亡する確率が高い。武将が死亡するかどうかは、イベントや健康値といった要素も関係する。

3 武将基本能力値

その武将の固定能力値で数値の最小は1、最大は30。各項目の意味は以下のとおり。

武……武勇値。武将単体の武力を表し、数値が高いほど合戦や一騎討ちで有利になる。

統……統率値。武将が兵を率いる能力を表し、この数値が高いほど合戦で有利になる。

知……知謀値。武将の知謀能力を表し、この数値が高いほど計略の結果が有利になる。

政……政治値。武将の内政能力を表し、この数値が高いほど都市内政や外交の結果が有利になる。

健……健康値。武将本来の持つ健康値を表し、この数値が高いほど寿命になるまで死亡する確率が低い。

忠……最大忠誠値。武将の最大忠誠値を表す。この数値が高いほど他の君主に引き抜かれるにくく、また謀反を起こして独立したりする確率が低い。

騎……一騎討ちのタイプ。武官の武将が一騎討ちをした場合の、カード配分のタイプを表す。タイプは平均型、攻撃型、必殺型、防御型、牽制型、回避型の6種類。「1」の武将は一騎討ちをしない武官が文官。

4 戦史別所属君主データ

上段はゲームで用意された5つの戦史で、その武将がどの君主に属しているかを表す。属していない場合は、「中立」か「未登場」の場合である。カッコ内の数値はその時の段を表す。また下段は、各戦史での初期兵数と兵の訓練度である練度を表す。ちなみにその戦史で登場しない場合は、「-」となっている。

阿会喃 アカイナン														
『演義』に登場した南蛮の洞の長のひとり。南蛮王孟獲に召し出されて蜀軍と戦うが、諸葛亮の策の前に敗北。のちに孟獲に殺されて斬られる。														
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇	統	知	政	健
185	215	且芸	60	15	7	5	1	17	8	8	8	8	8	8
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
未 (5)	未 (5)	未 (1)	劉備 (5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500/50	500/50	500/50	3500/32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

韋康 イコウ														
荀武の推挙を受けて仕官、父韋融のあとをついで涼州刺史となる。馬超の反乱の際に涼州を守ったが、援軍が到着する直前に敗死した。														
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇	統	知	政	健
175	200	長安	75	6	9	7	13	19	18	—	—	—	—	—
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
未 (2)	未 (2)	曹操 (6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500/50	500/50	2400/52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

伊籍 イセキ														
蜀の幕僚のひとり。はじめは同僚の劉表に身を寄せていたが、劉表の死後、劉璋が曹操に降ると劉備を頼る。蜀ではのちに昭文將軍まで昇進する。														
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇	統	知	政	健
158	189	—	70	4	8	16	17	17	18	—	—	—	—	—
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
劉表 (2)	劉表 (3)	劉備 (4)	劉備 (6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1200/40	1500/60	3000/42	3000/56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

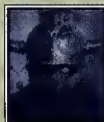
殷署 インショ														
魏の武将。211年の馬超と韓遂の反乱鎮圧後、涼州の兵を与えられて羌族と対峙。漢中での戦いや関羽に攻撃された曹仁の救援にも活躍した。														
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇	統	知	政	健
172	203	長安	55	10	11	12	9	14	20	—	—	—	—	—
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
未 (4)	未 (4)	曹操 (5)	曹操 (5)	曹操 (7)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500/50	500/50	2100/62	3150/54	3600/32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



井黙 インモク

蜀の臣。荊州の司馬徽のもとで学んだ後、劉備に従う。劉禪に「左氏伝」などを教え、最後は太中大夫の地位にまで昇って蜀を支えた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	210	草津	50	2	4	12	17	10	17	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (2)	-						
500/50	500/50	500/50	2000/60	-						



井礼 インレイ

呂布配下の特。独立勢力として泰山近辺を治めていたが、同僚の臧覇とともに呂布軍に参加。のちに曹操に降り、東莞太守に任命された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	—	65	5	6	7	12	16	13	平
1	2	3	4	5						
陶謙 (4)	曹操 (6)	曹操 (6)	—	—						
1200/50	1050/75	1200/17	—	—						



于禁 ウキン

もとの主人、鮪信とともに曹操軍に参加した。主要な戦いで戦功をたてたが、荊州で関羽との戦いに敗れて降伏し、そのことを恥じて病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	—	65	17	18	15	7	19	16	攻
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (7)	曹操 (8)	曹操 (12)	—						
1000/60	1200/95	4200/16	4900/61	—						

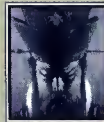


越吉 エツキツ

『演義』に登場。西羌の武将。諸葛亮の北伐に際して魏の要求に応じ蜀に出兵。戦車を用いて馬岱を破るが諸葛亮の策にはまり関興に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	218	姑臧	60	14	3	1	1	16	6	攻

1	2	3	4	5
未 (5)	未 (5)	未 (1)	未 (5)	—
500/50	500/50	500/50	500/50	—



袁遺 エンイ

後漢末の群雄のひとり。山陽太守、揚州刺史を歴任。勤勉な性格で、曹操も尊敬していたという。袁紹の従兄にあたり反董卓連合軍にも参加した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
150	189	—	55	4	8	20	5	12	20	同
1	2	3	4	5						
袁紹 (5)	袁紹 (7)	—	—	—						
2800/50	4500/60	—	—	—						



袁胤 エンイン

南陽の群雄、袁術の従弟。袁術に命じられて丹陽太守となるが、攻め寄せた孫策に追い払われる。袁術の死後はやむなく孫策に降った。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	—	50	5	9	8	7	11	19	—
1	2	3	4	5						
袁術 (6)	中立 (7)	—	—	—						
2250/40	3500/64	—	—	—						



閻宇 エンウ

蜀の右大將軍。宦官の黄皓が権力を握ると結託し、姜維に代わって自らが軍を統括しようと企む。蜀降伏時には永安城の守備についていた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
196	221	江陵	50	13	6	2	9	13	18	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	未 (2)	劉禪 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	2000/47						



閻温 エンオン

魏の武将。涼州を守っていたが、211年、馬超の反乱の際に捕らわれる。城内の民衆を降伏させるよう強要されるが拒否、馬超に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	200	張掖	55	5	6	8	4	12	23	-

1	2	3	4	5
未 (1)	未 (1)	曹操 (4)	-	-
500/50	500/50	1800/48	-	-



袁熙 エンキ

袁紹の次子。袁紹死後、あとを継いだ袁尚と曹操と戦うが敗れた。公孫康を頼るが裏切られ斬られた。妻の甄氏はのちに曹丕の正室となる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	193	南皮	50	10	10	13	16	12	14	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (5)	—	—	—						
500/50	3500/60	—	—	—						



閻行 エンコウ

西涼の武将。韓遂の配下。馬騰と戦った際は、馬超を討ち取る寸前まで追い詰める。のちに使者として曹操のもとに赴き、そのまま残った。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	189	—	65	19	5	9	9	20	17	—

1	2	3	4	5
馬騰 (3)	馬騰 (4)	馬超 (4)	曹操 (8)	—
1500/80	3500/90	2400/53	2450/50	—



袁術 エンジュツ

南陽の群雄で袁家の血筋。袁紹の従弟。反董卓連合軍に参加後、伝国の玉璽を手に入れ皇帝を名乗るが、曹操軍に敗れ逃亡中に憤死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
150	189	—	50	5	7	5	3	12	9	—
1	2	3	4	5						
袁術 (4)	—	—	—	—						
3500/40	—	—	—	—						



袁尚 エンシヨウ

袁紹の第3子。容姿端麗で袁紹に愛され、父のあとを継ぐが曹操と戦い敗北。兄の袁熙とともに公孫康のもとに身を寄せるが、袁切られ殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	194	南皮	55	15	15	9	10	14	17	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	—	—	—						
500/50	3000/60	—	—	—						



袁紹 エンシヨウ

冀州の群雄。反董卓連合軍の盟主。幽州の公孫瓚を滅ぼし、華北に一大勢力を築く。200年、官渡の戦いで曹操に敗れ北に2年後に病没した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
148	189	—	55	16	22	12	23	15	16	—
1	2	3	4	5						
袁紹 (7)	袁紹 (9)	—	—	—						
5000/50	5000/65	—	—	—						



閻象 エンシヨウ

南陽の袁術に仕えていた文官。孫策から玉璽を手した袁術が皇帝を名乗ろうとした際、たどり反対したのが聞かれ入れられなかった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
140	189	—	70	2	7	12	14	17	20	—
1	2	3	4	5						
袁術 (7)	—	—	—	—						
2250/40	—	—	—	—						



袁譚 エンタン

袁紹の長子。袁紹が世継ぎを明らかにせずに死んだため、第3子の袁尚と家督を争う。一時は曹操と結ぶが結局背き、攻められて敗死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	189	—	55	17	13	8	6	15	12	来
1	2	3	4	5						
袁紹 (3)	袁紹 (4)	—	—	—						
2000/74	3500/60	—	—	—						



閻圃 エンホ

漢中の張魯に仕えた賢臣。曹操の侵攻時は張魯を山中に逃がし、無益な戦いを避けた。曹操に降伏したのちは侯候に取り立てられている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	194	南鄭	55	4	9	15	17	12	18	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	中立 (3)	中立 (5)	曹操 (6)	—						
500/50	3000/99	1100/75	3150/48	—						



袁耀 エンヨウ

南陽の群雄、袁術の嫡子。袁術が皇帝と称した際には皇太子となった。徐州で軍兵した呂布との間で、婚姻話が持ち上がったこともある。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	194	汝南	60	4	9	8	5	14	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (2)	孫権 (3)	孫権 (4)	孫権 (4)						
500/50	1000/90	2000/59	2000/47	3000/54						



王威 オウイ

劉表配下の武將。劉表の死後、南下してくる曹操の隙をついて捕らえるという策を提言するが、あとを継いだ劉琮に容れられなかった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	—	70	5	8	7	3	17	18	平
1	2	3	4	5						
劉表 (4)	劉表 (5)	—	—	—						
2250/60	1750/60	—	—	—						



王允 オウイン

後漢の司徒。董卓のもとでも重用される。呂布を使って董卓暗殺に成功し実権を握るが、董卓の残党に討たれた。狭量な人物だったとされる。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
137	189	—	65	1	9	15	21	15	15	—
1	2	3	4	5						
董卓 (13)	—	—	—	—						
9000/30	—	—	—	—						



王淑 オウエイ

後漢末の荊州の刺史で、劉表の前任者。董卓討伐の兵をあげるが、仲が悪かった武陵太守の曹寅に、長沙の孫堅軍を差し向けられ、殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
154	189	—	60	7	10	2	6	15	18	—
1	2	3	4	5						
中立 (5)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



王楷 オウカイ

もとは陶謙や曹操に仕えていたが、反乱を起こした呂布の配下となる。曹操の攻撃を受けた際には袁術のもとへ赴き、救援の要請をした。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	60	6	8	4	1	14	12	-
1	2	3	4	5						
曹操 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1200/80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



王瑁 オウキョウ

何進に仕え、河内太守に昇進。反董卓連合軍に参加するが河陽津で大敗する。のちに曹操に敵対し討たれた。任侠をもって知られた人物だった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
143	189	-	55	5	10	5	7	12	18	回
1	2	3	4	5						
中立 (7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1000/60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



王粲 オウサン

「建安の七上」のひとりに数えられる文人。はじめ劉表に仕えるが資相な風貌から重用されず、劉琮が降伏後に曹操に仕え活躍した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	194	武関	45	3	6	16	18	9	17	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	劉表 (3)	曹操 (4)	-	-	-	-	-	-	-	-
500/50	1500/60	1800/16	-	-	-	-	-	-	-	-



王士 オウシ

蜀の臣。劉備に従って入蜀し、地方の官を経たのち、南蛮征伐の際に益州太守に任ぜられる。しかし赴任直前に異民族に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	207	雒	65	5	9	8	5	16	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	-	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	3000/58	-	-	-	-	-	-	-



王子服 オウシフク

後漢の將軍。献帝の勅命を受けて車騎將軍・董承や劉備らと謀り、曹操の暗殺を狙うが失敗。捕らえられて一族皆殺しにされた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
147	189	-	60	14	13	10	12	16	14	-
1	2	3	4	5						
中立 (6)	曹操 (8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1000/60	1500/55	-	-	-	-	-	-	-	-	-



王脩 オウシュウ

孔融に招かれて主簿を務めていたが、のちに袁紹、袁譚に仕える。袁家滅亡後は孔融の推挙を受けて曹操軍に加わり、魏郡太守などを歴任した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	-	65	3	9	10	10	15	23	-
1	2	3	4	5						
中立 (4)	袁紹 (6)	曹操 (6)	曹操 (9)	-	-	-	-	-	-	-
1000/60	3500/60	1800/19	2450/50	-	-	-	-	-	-	-



王肃 オウシュク

魏の臣。王朗の子。文才があり「尚書」や「詩経」に注釈を加えるなど、多くの著作を残した。広平太守を務めたのち、太常まで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
195	217	許昌	65	2	4	9	15	15	17	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	曹操 (2)	曹叡 (7)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	1400/48	3600/24	-	-	-	-	-	-



王浚 オウシュン

魏、晋の武将。晋建国時に巴郡太守となり、艦隊建造を指揮。呉との戦いでは長江沿いに侵攻した。敵艦隊を次々と破り建業一番乗りを果たす。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
206	227	弘農	80	15	15	14	11	23	22	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50	-	-	-	-	-	-



王商 オウショウ

劉焉配下の臣。その後も劉璋、劉備に仕えた。関中の马超が反乱を起こし協力を要請された際には、劉璋にこれを拒否するよう献策したという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	45	4	7	8	10	9	21	-
1	2	3	4	5						
劉焉 (3)	劉璋 (4)	劉備 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-
2450/74	3500/65	2800/17	-	-	-	-	-	-	-	-



王昌 オウショウ

董卓配下の武将。董卓の死後は李傕に従う。李傕と郭汜の権力闘争のさなか、命を狙われた使者をわざと逃がし、嘘の報告をしたという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
145	189	-	55	10	8	4	2	14	16	-
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3500/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



王双 オウソウ

魏の將軍。228年の陳倉城攻防戦で退却する蜀軍を追撃し返り討ちに会う。「演義」では身の丈9尺、大雄刀と鎖分銅を使う猛将に描かれている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	210	彭城	45	18	10	5	3	12	18	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50	4000/63					



王忠 オウチュウ

魏の武將。荊州の兵を奪って曹操に帰順、中郎將に任ぜられた。若い頃、顔えて人を食ったことがあり、のちに曹丕にそのことをからかわれた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	-	70	9	13	10	7	18	13	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (5)	曹操 (4)	曹操 (8)	-						
1000/60	1050/55	1800/62	2100/45	-						



王植 オウチヨウ

魏の臣。同郷の王凌とともに若いころからその才をもって名高かった。洛陽再建の任につき、兗州刺史を経て司空にまで昇進した。

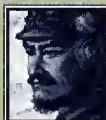
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	200	晋陽	85	15	18	11	18	25	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (6)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	1400/52	3600/42						



王当 オウトウ

山賊集団・黒山軍の頭目のひとり。のちに同じ黒山軍の頭目である張燕の配下となるが、曹操に降伏して取り立てられ、平北將軍に任ぜられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
145	189	-	65	12	6	2	2	18	12	-
1	2	3	4	5						
中立 (6)	中立 (6)	曹操 (8)	-	-						
1000/60	1200/54	2500/25	-	-						



王平 オウヘイ

始めは曹操に仕えるが、漢中征伐のおり蜀軍に降る。以後、その堅実な性格から諸葛亮の信頼を受け、蜀軍の重鎮として北伐のたびに活躍した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
179	207	江陽	70	17	15	20	4	20	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (5)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	500/50	3000/77	4500/65						



王術 オウホ

劉璋のもとで州書佐を務める。劉備の入蜀後は荊州に移り、夷陵の戦いで戦死。「演義」では妾城を守り関羽の死を聞き自殺する忠臣に描かれる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	200	雒	65	4	6	13	8	16	24	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (3)	劉備 (5)	-						
500/50	500/50	1600/19	3500/58	-						



王方 オウホウ

董卓配下の武將。董卓の死後は李傕と行動をとりにした。賈詡の献策に従って長安を攻撃した際は、城内になだれこんで殺戮の限りを尽くした。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
141	189	-	65	11	5	4	2	17	10	-
1	2	3	4	5						
董卓 (7)	-	-	-	-						
5000/30	-	-	-	-						



王課 オウボウ

蜀の臣。劉璋のもとでは巴郡太守を務める。劉備に仕えてからも重用され、劉禪の代には太常まで昇進して蜀の発展に尽くした。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	65	4	8	7	10	16	19	-
1	2	3	4	5						
劉焉 (3)	劉璋 (4)	劉璋 (4)	劉備 (5)	-						
2100/76	3500/65	2400/18	2000/57	-						



王門 オウモン

幽州の群雄、公孫瓚配下の武將。数々の戦いに参加するが、のちに公孫瓚と袁紹が戦った際に袁紹方へ寝返り、逆に公孫瓚を攻撃している。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	55	10	8	4	9	14	12	-
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (4)	袁紹 (6)	-	-	-						
1750/70	4000/60	-	-	-						



王凌 オウリョウ

司徒王允の甥。権力闘争に敗れた王允の死後は長安を脱出し、のちに曹操に仕えた。曹丕の代になると揚州、豫州の刺史として活躍した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	194	茲氏	85	12	12	11	14	24	16	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	中立 (7)	曹操 (4)	曹操 (7)	曹叡 (8)						
500/50	1400/74	1800/36	2450/52	3600/40						



王累 オウルイ

劉璋の従事。益州に劉備を迎え入れる策に反対し、門に自らを逆さ吊りにして諫めたが聞き入れられなかった。「演義」ではそのまま墜落死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	194	綿竹	65	4	8	17	16	16	24	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉璋 (3)	劉璋 (3)	—	—						
500/50	3000/65	1600/22	—	—						



王累 オウルイ

魏の臣。章康の配下として涼州を守備の任の際、馬超の反乱にあう。章康は殺されたが楊阜、姜叙らと挙兵し、うまく馬超の進軍を退けた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	199	下辨	50	10	8	10	7	12	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	中立 (6)	曹操 (5)	—	—						
500/50	1200/60	2100/58	—	—						



王連 オウレン

蜀の臣。はじめは劉璋に仕え、劉璋降伏後は劉備に従った。司馬校尉として蜀国内の塩業の発展に貢献、劉禅の即位後は丞相長史に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
164	200	宛	60	5	6	7	15	14	19	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (4)	劉備 (5)	—						
500/50	500/50	2400/17	3500/59	—						



王朗 オウロウ

会稽太守だったが孫策に迫られ、のち曹操に召し出された。228年に病没するまで三公を歴任。「演義」では諸葛亮に舌戦で敗れ憤死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	—	70	3	3	10	17	18	20	—
1	2	3	4	5						
中立 (4)	曹操 (6)	曹操 (6)	曹操 (9)	曹叡 (15)						
1750/30	1350/75	2400/16	3150/55	4000/48						



於大羅 オフラ

南匈奴の単于(王)の子。反董卓軍に参加後、黒山賊や袁術と連携して度々曹操と戦う。孫の劉淵は西晋を倒し、五胡十六国の漢を建国した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	平陽	50	18	10	8	1	14	7	—
1	2	3	4	5						
未 (7)	未 (7)	—	—	—						
500/50	500/68	—	—	—						



溫恢 オンカイ

魏の臣。地方官を歴任、すべての地で功績をあげて丞相主簿に任ぜられる。のちに揚州刺史などを経て涼州刺史になるが、赴任直前に死去。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	200	茲氏	45	3	5	8	18	9	23	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	曹操 (4)	曹操 (4)	—						
500/50	500/50	1800/13	2100/48	—						



何晏 カアン

何進の孫。魏に仕えるが、気取った性格を嫌った曹丕には重用されず、曹叡の代より活躍する。249年の政変時に曹真とともに処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	215	許昌	65	3	6	12	5	15	14	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (1)	曹叡 (4)						
500/50	500/50	500/50	1400/47	2400/43						



蒯越 カイエツ

もとは何進の部下。劉表に招かれ、荊州の賊の鎮圧に活躍する。その能力を曹操に認められて、荊州降伏後は光祿勳の位を授けられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	—	60	6	10	17	19	14	16	—
1	2	3	4	5						
劉表 (6)	劉表 (7)	曹操 (7)	—	—						
4000/70	4000/80	2100/15	—	—						



蒯良 カイヨウ

同郷の蒯越とともに劉表に招かれ、荊州の平定に貢献した。「演義」では蒯越の兄として描かれており、計略で長沙の孫堅を横死させている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	—	65	4	10	21	14	16	16	—
1	2	3	4	5						
劉表 (3)	劉表 (5)	—	—	—						
2100/60	1500/60	—	—	—						



何夔 カキ

魏の臣。淮南在任時に袁術に出仕を求められるが拒否する。曹操に仕官すると各地の太守を歴任。曹丕の代には成陽亭候を拜命した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	—	70	5	9	8	10	17	20	—
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (6)	曹操 (6)	曹操 (9)	—						
1000/30	900/75	1200/20	1400/48	—						



賈述 カキ

魏の重臣。法に厳しく、曹操、曹丕、曹叡の親子3代から信頼を得る。呉との戦いでたびたび戦功を重ねた後、228年に55歳で病没した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	207	臨淄	60	13	15	10	11	16	19	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹叡 (10)						
500/50	500/50	1200/40	2100/45	3600/39						



華歆 カキン

魏の重臣。孫権に仕えていたが、曹操の招きで魏に赴き、重職を歴任した。清廉潔白な人物と伝えられるが、「演義」ではなぜか悪役である。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	-	75	6	12	17	19	19	18	-
1	2	3	4	5						
中立 (7)	中立 (7)	曹操 (7)	曹操 (12)	曹叡 (15)						
1000/60	1400/76	2700/17	3150/44	4000/41						



賈詡 カク

打つ手に失策なし、と評された魏の謀臣。張繡に仕えていた際に曹操軍を破り、典韋と曹昂を敗死させる。曹操に仕官後は軍師として活躍。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	-	75	6	13	30	16	19	13	-
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	曹操 (7)	曹操 (8)	曹操 (13)	-						
4000/50	1500/55	3900/19	5250/51	-						



郭嘉 カクカ

才を買われて荀彧の推挙を受け、曹操の謀臣となる。優れた戦略眼を持ち、大局的な作戦をたてることを得意とした。烏丸征伐の際に陣没。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	194	許昌	40	8	16	27	23	8	25	-
1	2	3	4	5						
未 (4)	曹操 (5)	-	-	-						
500/50	1200/95	-	-	-						



郭貢 カクコウ

予州刺史。曹操が徐州の陶謙を攻撃中、隙を狙って曹操の本拠地に侵攻するが、守っていた荀彧の落ち着きぶりに恐れをなして退却する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	-	65	5	6	9	13	16	13	-
1	2	3	4	5						
中立 (7)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



郭汜 カクシ

董卓配下の武将。董卓死後は長安を攻め、王允を殺して実権を握る。献帝が長安を脱出したのちは勢力が衰え、最後は部下に殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
146	189	-	65	14	13	7	6	18	11	平
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	-	-	-	-						
4500/50	-	-	-	-						



郭脩 カクシュウ

はじめ魏の武将。西平で蜀の姜維に捕らえられて蜀臣となり、劉禅に左將軍に任ぜられる。しかし酒席で酔った賈禨を刺し殺し、自らも斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
204	227	始城	60	10	13	11	7	15	18	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	未 (2)	曹叡 (4)						
500/50	500/50	500/50	500/50	2400/47						



楽就 ガクシュウ

袁術配下の武将。197年、曹操との寿春攻防戦では、李豊や雷薄とともに攻め寄せた曹操軍と戦うが敗戦。捕らえられ、首を斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	-	65	9	8	3	1	17	14	-
1	2	3	4	5						
袁術 (6)	-	-	-	-						
2250/40	-	-	-	-						



霍峻 カクシュン

蜀の武将。はじめは劉表に仕え、劉琮降伏時に劉琮に従って入蜀、中郎将となる。軍才があったが若くして病没し、その死が惜しまれた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	202	江陵	40	17	15	12	13	10	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	-	-						
500/50	500/50	3000/46	-	-						



郝昭 カクショウ

知勇兼備の魏の名将。北夷征伐の戦功で出世。蜀軍の第2回北伐では、諸葛亮の策をことごとく打ち破り、わずかの守兵で陳倉を守りきった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	207	晋陽	65	14	12	9	12	18	24	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1200/37	2100/47	3600/37						



楽進 ガクシン

曹操の旗揚げ時から従う譜代の将。各地を転戦し、多くの戦功をあげる。晩年は合肥を守って呉と戦い、右將軍まで昇進。218年に病没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	-	60	17	18	11	7	17	22	攻
1	2	3	4	5						
曹操 (4)	曹操 (6)	曹操 (7)	-	-						
1200/80	3200/85	2700/17	-	-						



郭固 カクト

袁紹配下の謀臣。官渡の戦いでは積極案を提案するが、策を誤り張郃らの離反を招く。袁紹の死後は袁譚に従い、主人とともに曹操に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	-	65	5	9	21	15	16	18	-
1	2	3	4	5						
中立 (3)	袁紹 (6)	-	-	-						
1000/60	4000/60	-	-	-						



郝萌 カクホウ

董卓、ついで呂布に仕えた武将。曹操に降ろうとしたところを高順に殺された。『演義』では寿春からの帰還中に張郃に捕まり、曹操に斬られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	-	55	11	8	4	4	14	10	-
1	2	3	4	5						
董卓 (4)	-	-	-	-						
3500/50	-	-	-	-						



郭淮 カクワイ

魏の将。漢中での劉備との戦いに従軍、以後30年以上も西域に留まって蜀や羌族と戦い続け、地味ながらも魏の屋台骨を支えた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	207	平原	75	16	14	11	18	22	20	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (5)	曹操 (5)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	2100/43	2450/56	4500/64						



夏侯惇 カコウエイ

夏侯淵の第5子。幼いときから武勇と才能を愛される。13歳で父とともに従軍するが、父は定軍山の戦いで戦死。夏侯惇も漢中での戦いで戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
207	219	南郷	45	18	6	4	2	12	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	-	-						
500/50	500/50	500/50	-	-						



夏侯淵 カコウエン

曹操配下の将。夏侯惇の従弟。曹操の遠征にあたり、旗揚げ時から従軍、猛将として名をあげる。定軍山の戦いの際、蜀の黄忠に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	60	23	10	6	9	19	26	攻
1	2	3	4	5						
曹操 (3)	曹操 (5)	曹操 (7)	-	-						
1200/80	3200/95	2700/19	-	-						



夏侯恩 カコウオン

『演義』にのみ登場する武将で、曹操の側近。曹操に気に入られ、銘刀「青釭」を授かるが趙雲との一騎討ちに敗れ死亡。「青釭」も奪われる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	199	許昌	55	8	11	12	5	13	23	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (3)	-	-	-						
500/50	900/95	-	-	-						



夏侯衡 カコウコウ

夏侯淵の長子。父のあとを継ぎ曹操配下の武将として活躍、のち安寧亭侯を授かる。ただし、『演義』においては一切登場しない。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	207	許昌	65	12	10	9	7	18	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (6)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1200/17	2800/57	3600/38						



夏侯尚 カコウショウ

夏侯淵の甥。謀略術に優れ、曹操の冀州征伐に参軍して数々の戦功をあげる。曹丕の代になっても功多く、征南大將軍にまで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	204	陳留	45	15	13	10	11	12	23	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	曹操 (1)	曹操 (4)	-						
500/50	500/50	1200/22	1400/54	-						



夏侯惇 カコウトン

曹操の拳兵時から従軍した、勇敢かつ堅実さを併せ持つ名將。曹操とは親族で、夏侯淵の従兄。左目の眼帯は、呂布との戦いで矢を受けたためだ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	-	60	22	24	14	18	18	26	攻
1	2	3	4	5						
曹操 (4)	曹操 (7)	曹操 (8)	曹操 (15)	-						
3500/85	4000/95	2500/79	8000/82	-						



夏侯淵 カコウハ

夏侯淵の次子。249年に起こった司馬氏による政変の際、魏を出自して蜀に走り、以後は姜維を輔佐した。「演義」では夏侯淵の長子となっている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	227	長安	55	19	16	13	15	16	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叅 (6)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3200/40						



夏侯博 カコウボウ

夏侯惇の次子。戦死した夏侯淵の役職を受け継ぎ、漢中に赴任する。しかし、軍才がなくやがて解任された。「演義」では夏侯淵の養子である。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
205	227	居巢	65	9	7	7	8	17	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叅 (8)						
500/50	500/50	500/50	500/50	5200/38						



何祗 カシ

蜀の臣。貧しい家に育つが、その才能を認められて出世する。諸葛亮に抜擢されると成都の県令となり、その後も各地の太守を歴任した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	207	成都	50	6	9	7	10	11	21	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (3)	劉禪 (5)						
500/50	500/50	1200/22	2000/57	3500/59						



蛾遮塞 ガシヤサイ

北方の騎馬民族、羌族の首領のひとり。姜維の誘いに乗り、魏に対して反乱を起こすが、漢中を守る魏の武將、郭淮の迎撃を受けて敗走した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
196	227	狄道	50	14	11	7	4	13	9	-
1	2	3	4	5						
未 (5)	未 (5)	未 (1)	未 (5)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



賀斉 ガセイ

孫策、孫権に仕えた呉の武將。会稽の王朗や山越との戦いで活躍する。派手好みだったらしく、武器や防具には花文様が描かれていたという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	189	-	60	15	20	12	12	17	18	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	孫策 (5)	孫権 (5)	孫権 (10)	-						
1000/60	2000/90	3500/79	4500/78	-						



何宗 カソウ

蜀の臣。劉璋、ついで劉備に仕える。蜀平定後は従事祭酒に任ぜられ、劉豹とともに劉備に帝位につくよう勧める。最後は大鴻臚まで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	-	65	4	8	6	10	16	15	-
1	2	3	4	5						
劉焉 (4)	劉璋 (5)	劉璋 (4)	劉備 (6)	-						
1750/70	4000/65	2800/17	3500/60	-						



何比能 カヒノウ

鮮卑族の王。曹操が幽州を平定すると貢ぎ物を送るが、のち反乱を起こして曹操の征伐軍を招く。その後も独立を守るが、235年に暗殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
188	215	代	55	18	12	7	3	16	8	-
1	2	3	4	5						
未 (6)	未 (6)	未 (1)	曹操 (7)	曹叅 (7)						
500/50	500/50	500/50	3150/49	1600/37						



韓胤 カンイン

袁術の謀臣。袁術と呂布の娘の婚姻の交渉のため、呂布のもとへ使者として赴くが、突如婚姻は放棄される。しかも曹操のもとに送られ斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	65	6	8	14	11	16	18	-
1	2	3	4	5						
袁術 (5)	-	-	-	-						
1750/30	-	-	-	-						



関羽 カンウ

劉備の義弟で、三国時代きっての名將。顔良や龐徳など、数多くの勇將を討ち取る。劉備入蜀後は荊州をするが、呉の呂蒙の計略に敗れた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	65	27	12	12	13	21	30	必
1	2	3	4	5						
劉備 (3)	劉備 (5)	劉備 (6)	劉備 (9)	-						
108/50	3500/90	4000/99	7500/96	-						



桓階 カンカイ

はじめは孫堅の配下。孫堅が劉表との戦いで戦死した際は使者として遺骸を引き取る。その後退官するが、荊州を平定した曹操に召し出された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	60	4	6	7	14	14	25	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (5)	曹操 (3)	曹操 (7)	-						
1000/60	900/55	1200/15	1400/44	-						



韓暭 カンキ

劉表配下の武將。孫策が黃巣を攻撃してきた際に、劉表の命を受けて救援に向かう。孫策の軍勢と戦ったが敗れ、戦死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	55	10	7	7	3	14	18	-
1	2	3	4	5						
劉表 (5)	-	-	-	-						
2800/60	-	-	-	-						



卞丘儉 カンキウケン

魏の將で卞丘襲の子。幽州の烏丸族や高句麗の征伐に軍功をあげる。その後、255年に司馬氏の専横に反旗を翻すが、司馬師に討たれた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
208	227	安邑	65	16	13	17	9	19	17	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (3)						
500/50	500/50	500/50	500/50	2400/42						



卞丘襲 カンキウコウ

魏の臣で武威太守。のちに高陽郷侯を授かる。227年の西平・張掖の反乱で弱地に陥るが、駆けつけた金城の郝昭と魏平に救われた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	203	安邑	60	5	7	7	12	14	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (3)	曹操 (3)	-						
500/50	500/50	500/50	1400/43	-						



関興 カンコウ

関羽の子として蜀軍の中樞を担うべく、20歳で取り立てられる。しかし、その数年後に夭折した。『演義』では関羽の次子とされている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
210	228	公安	25	12	20	12	8	4	24	必
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉禪 (-)						
500/50	500/50	500/50	500/50	4500/88						



韓浩 カンコウ

魏の特。反董卓連合軍に袁術の配下として参加後、夏侯惇の配下となる。度重なる獻策を認められ、曹操も大きな信頼を寄せていたという。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	65	13	8	8	2	18	19	-
1	2	3	4	5						
袁術 (3)	曹操 (4)	曹操 (5)	曹操 (7)	-						
1500/30	1050/75	2100/31	2800/48	-						



関策 カンサク

『演義』や民間の伝承のみに登場する関羽の子で、第3子とされる。諸葛亮の期待を担って、南蛮征伐に活躍するがその後は登場しない。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
193	218	襄陽	50	19	12	13	2	14	25	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (1)	劉禪 (6)						
500/50	500/50	500/50	2000/97	4000/97						



韓遂 カンセイ

後漢末の西涼の群雄。西涼の豪族である馬氏らと結んで何度となく中央に対して反乱を起こす。215年、部下に裏切られてついに斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
150	189	-	70	16	19	8	17	20	10	平
1	2	3	4	5						
馬騰 (7)	馬騰 (8)	馬超 (9)	-	-						
5000/70	5000/95	5000/76	-	-						



韓嵩 カンスウ

劉表の家臣。曹操のもとに使者にたち帰還後、曹操を警めたために劉表に疑われ投獄される。荊州降伏後に救出され、曹操に重用された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	-	65	4	7	15	18	16	18	-
1	2	3	4	5						
劉表 (5)	劉表 (6)	曹操 (6)	曹操 (10)	曹叡 (15)						
2800/60	1750/60	2100/20	3150/46	3200/33						



関靖 カンセイ

公孫瓚配下の武將。袁紹との戦いの際、本拠地である易京が包囲されると、迎撃しようとする主君をおしとどめて龍城策を進言した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	-	60	9	5	6	2	15	18	-
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (4)	未 (4)	-	-	-						
1750/60	500/50	-	-	-						



韓遂 カンセン

後漢末に暴れ回った山賊・白波軍の頭目。長安から脱出してきた獻帝の護衛を努めて征東將軍になる。のちに背いて徐州で劉備に殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	60	14	11	7	2	16	18	攻
1	2	3	4	5						
中立 (6)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



韓綜 カンソウ

呉の武將。韓当の子。孫権の魏征討の際には武昌を守るが、そこでの放蕩が露見し、魏に逃亡。その後呉に攻め入るが、諸葛恪に敗れ斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	215	景陵	65	13	14	8	4	18	9	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	孫権 (1)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/47	3600/37						



關沢 カンタク

呉の臣。謙虚で誠実な人柄であったという。「演義」では赤壁の戦いの際、使者として曹操の幕僚を欺き、黄蓋の苦肉の策を成功させる。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	200	東冶	65	9	10	17	18	17	24	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (1)	孫権 (6)	孫権 (5)						
500/50	500/50	2000/57	3000/51	3500/67						



韓当 カントウ

呉の武將。孫氏3代に渡って仕えた忠臣。荊州の黄祖討伐や赤壁の戦いで戦功をあげるなど長く活躍し、223年には都督まで昇りつめた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	70	16	22	10	7	20	17	必
1	2	3	4	5						
孫堅 (4)	孫策 (6)	孫権 (6)	孫権 (10)	-						
1750/80	2000/90	4000/76	4000/79	-						



甘寧 カンネイ

荊州南部で義賊を気取っていたが、やがて劉表に帰順。黄祖の配下を経て孫権に仕える。粗獷な性格だが胆力に優れ、数々の軍功をたてた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	197	陸口	50	24	14	12	6	15	17	必
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉表 (3)	孫権 (4)	孫権 (6)	-						
500/50	1500/60	3500/90	3500/80	-						



韓馥 カンフク

董卓の推挙で冀州牧になるが、袁紹が旗揚げすると反董卓連合軍に加わる。のちに公孫瓚の侵攻を受けると袁紹に助けを求め、冀州を譲った。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
151	189	-	50	3	5	10	13	12	18	-
1	2	3	4	5						
中立 (6)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



関平 カンヘイ

関羽の子。父とともに劉備に従い各地を転戦する。最後は呉の潘璋に捕えられて関羽ともども斬られた。「演義」では養子となっている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
184	207	新野	55	18	9	8	7	16	26	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉備 (1)	劉備 (3)	-						
500/50	500/50	2000/64	2000/94	-						



簡雍 カンヨウ

劉備とは同郷で、関羽や張飛と同様に最古参の臣。おもに使者として活躍した。儉樸不遜であったが、人あたりのいい性格だったらしい。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	-	65	9	11	13	13	18	21	-
1	2	3	4	5						
劉備 (4)	劉備 (6)	劉備 (6)	劉備 (9)	-						
104/50	3000/90	2000/33	4500/58	-						



顔良 ガンリョウ

袁紹配下の武將。武勇に優れていたが、「性格が偏狭でひとりでは作戦を任せられない」と沮授に評されていた。白馬の戦いで関羽に斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	70	24	8	6	3	22	20	必
1	2	3	4	5						
袁紹 (4)	袁紹 (7)	-	-	-						
3500/76	5000/60	-	-	-						



管輅 カンロ

卜占の達人。許芝の推薦で曹操のもとに召された。容姿が醜く、大酒飲みだったとされる。「演義」では許都の火災や夏侯淵の戦死を言い当てる。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
208	224	平原	50	1	9	16	19	11	13	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	1600/42						



魏越 キエツ

董卓配下の武將。董卓の死後は呂布に従う。勇猛果敢な人物で、強大な勢力を誇った山賊・黒山軍の張燕と常山に戦い、これを打ち破っている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	65	10	3	7	1	17	18	-
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	-	-	-	-						
4000/50	-	-	-	-						



魏延 ギエン

劉備入蜀時から蜀に仕えた知勇兼備の将。諸葛亮の死後に命令に背き、馬岱に斬られた。『演義』では反骨の相を持つ悪役として描かれている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
178	199	新野	70	22	15	17	7	22	14	政
1	2	3	4	5						
未 (2)	劉表 (3)	劉備 (3)	劉備 (6)	劉禪 (10)						
500/50	1500/60	2000/86	4000/95	7500/94						



趙雲 キクエン

韓遂とともに、西平・金城に拠り魏に対して反乱を起こすが、夏侯淵と戦い敗走。215年に蔣石とともに裏切って韓遂を殺害し、魏に降った。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
172	207	姑臧	65	10	6	2	5	17	7	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	-						
500/50	500/50	500/50	1400/49	-						



趙興 キクギ

袁紹配下の武将。公孫瓚との戦いで敵將の嚴綱を斬るが、戦功におごって袁紹の怒りをかい殺された。『演義』では趙雲に討ち取られている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
157	189	-	60	13	11	6	2	16	13	-
1	2	3	4	5						
袁紹 (4)	-	-	-	-						
2450/70	-	-	-	-						



高紹 キシヨク

呂布配下の武将。曹操に下邳が包圍されると、呂布と陳宮を捕らえて降伏した。『演義』ではその後、白馬の戦いで顔良に討ち取られる。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
164	189	-	60	12	3	6	1	16	12	-
1	2	3	4	5						
董卓 (4)	曹操 (4)	-	-	-						
3500/80	1050/55	-	-	-						



高平 キツホン

後漢の太医令。218年に小府の耿紀らと謀って曹操打倒の反乱を起こすが失敗し、死亡した。『演義』では通称で吉平と呼ばれている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
160	189	長安	60	1	11	13	18	9	13	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (1)	曹操 (5)	-	-						
500/50	600/55	1200/25	-	-						



高興 キュウホ

董卓の娘婿。董卓暗殺の際、裏切った李粛の軍を迎撃して勝利する。しかしその後、董卓死亡の報が兵に伝わり軍が混乱、逃走中に殺害された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
162	189	-	55	9	6	6	3	13	15	-
1	2	3	4	5						
董卓 (4)	-	-	-	-						
3500/80	-	-	-	-						



姜維 キョウイ

諸葛亮から後継者と目され、後事を託された知勇兼備の将。魏の征蜀により劉禪が降伏すると、魏將の鍾会を誘い再び挙兵を試みるが失敗した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
202	226	冀	75	22	25	23	12	22	23	率
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	500/50	4500/88						



鍾会 キョウト

汝南で蜂起した黄巾軍の首領。劉備に従い曹操配下の蔡陽を討ち取るが、夏侯淵に斬られた。ちなみに『演義』で蔡陽を討ち取るのは関羽。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
168	192	新息	60	15	4	4	1	17	16	平
1	2	3	4	5						
未 (3)	曹操 (4)	-	-	-						
500/50	1050/55	-	-	-						



梁胡 キョウボウ

東郡太守。反董卓連合軍に参加するが、兵糧を巡って兗州刺史の劉岱と衝突し殺される。これが連合軍解散の一因となった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
146	189	-	65	13	12	10	7	18	18	平
1	2	3	4	5						
中立 (7)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



許都 キョコウ

呉郡太守。敵対していた孫策に攻められて敗死した。敵白虎のもとへ逃れ、のちに許都の食客が孫策の暗殺に成功した、という説もある。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	驍
158	189	-	60	3	6	7	9	14	20	-
1	2	3	4	5						
中立 (7)	中立 (7)	-	-	-						
1000/60	1400/62	-	-	-						



許楮 キヨチヨ

魏の武將。曹操の近衛の將で、特に関中での馬超との戦いで大活躍した。虎のように力が強いが、凡庸な外見から虎痴とあだ名されたという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	194	沛	65	28	9	5	2	21	24	必
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (4)	曹操 (5)	曹操 (6)	—						
500/50	900/95	2100/17	2450/62	—						



去卑 キヨヒ

西涼の騎馬民族、匈奴の右賢王。中央に赴いた南匈奴の単于(王)呼厨泉に代わり、曹操の命を受けて領土を治めることになった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	217	酒泉	55	17	5	4	1	15	8	—
1	2	3	4	5						
未 (6)	未 (6)	未 (7)	曹操 (7)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	1400/48	1600/33						



許攸 キヨユウ

袁紹配下の謀臣。曹操と同郷のため重用されず、官渡の戦いでは寝返って曹操を勝利に導いた。傲慢な性格から、曹操の怒りをかい殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	—	70	8	12	14	17	18	17	—
1	2	3	4	5						
中立 (5)	袁紹 (7)	—	—	—						
1000/60	4000/60	—	—	—						



紀靈 キレイ

袁術配下の武將。「演義」では袁術軍の中核として働き、関羽と一騎討ちをして引き分けたほどの豪の首。しかし、張飛によって討ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	—	60	17	13	6	5	17	15	防
1	2	3	4	5						
袁術 (5)	—	—	—	—						
2250/40	—	—	—	—						



金環三結 キンカンサンケツ

「演義」に登場する、南蛮の洞の長のひとり。孟獲に召し出されて阿会嘯らとともに蜀軍と戦うが、趙雲の槍の前に命を落とした。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	215	胖刺	55	12	3	1	1	14	8	攻
1	2	3	4	5						
未 (4)	未 (4)	未 (1)	劉備 (4)	—						
500/50	500/50	500/50	3000/21	—						



虔翻 クハン

呉の臣。もとは王朗に仕えていた。狭量な人物で、何度か孫権に逆らったため、交州へ流される。その地で学問に励み、数々の門下生を生んだ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	—	75	11	8	13	15	21	19	—
1	2	3	4	5						
中立 (3)	孫策 (5)	孫権 (3)	孫権 (9)	孫権 (8)						
1000/60	1750/90	2000/57	2000/44	3000/67						



卻正 ケキシ

劉禪の蜀で秘書郎の役職についた。「演義」では、黄皓らの讒言により成都に呼び戻された姜維を論じ、「保国安身の策」を授けて書中へ送り出す。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
203	227	成都	75	3	6	12	17	19	22	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉禪 (4)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3000/57						



嚴幹 ゲンカン

魏の臣。温厚な性格だが掣肘に通じ、人々から高い評価を得ていた。各地の太守を歴任後に益州刺史、五官中郎將を経て永安太僕に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	193	長安	65	6	8	7	15	16	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (3)	曹操 (2)	曹操 (5)	—						
500/50	900/75	1200/20	2100/44	—						



嚴顔 ゲンガン

劉璋、ついで劉備に仕えた武將。巴郡太守のときに劉備の征蜀が開始。張飛に論されて、蜀將となった。「演義」では老將として描かれている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	—	80	17	13	17	10	24	19	必
1	2	3	4	5						
劉焉 (5)	劉璋 (8)	劉璋 (8)	劉備 (13)	—						
2450/70	4000/65	2400/47	4500/94	—						



嚴匡 ゲンキョウ

魏の武將。典農中郎將。218年の吉本や耿紀らの反乱に際しては、丞相長史の王必とともに賊軍にあたり、これを撃退することに成功した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	206	許昌	60	7	8	12	17	15	20	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	曹操 (3)	曹操 (3)	曹叡 (5)						
500/50	500/50	1200/24	1400/47	2400/27						



嚴圭 ゲンケイ

呉の武將。濡須守備の任につく。魏の曹仁が配下の武將常影に命じて濡須の中洲を攻撃させた際、軍を率いて出陣しこれを打ち破った。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	215	朱城	65	7	5	6	5	16	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (4)	孫權 (3)	孫權 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/49	4500/52						



嚴綱 ゲンコウ

公孫瓚配下の武將。袁紹との戦いで騎兵を率いて先鋒を務めるが、敵將の趙義の策にはまって大敗を喫する。自身も趙義に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	—	55	4	15	6	9	12	18	—
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (5)	—	—	—	—						
2000/70	—	—	—	—						



嚴峻 ゲンシュン

呉の臣。「詩経」「書経」「三礼」に通じた俊才。「演義」での諸葛亮との舌戦では「文字いしりはくされ罰者のすること」と切り捨てられる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	207	彭城	80	1	3	10	15	20	19	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫權 (3)	孫權 (3)	孫權 (5)						
500/50	500/50	2000/59	3000/47	3000/62						



牽招 ケンショウ

袁紹、袁尚に仕えた臣。袁尚の敗走後は曹操に降って取り立てられる。袁譚との戦いでは烏丸族と交渉して袁譚への支援を取りやめさせた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	194	鉅鹿	75	12	11	8	5	21	21	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	袁紹 (3)	曹操 (5)	曹操 (5)	—						
500/50	3000/60	2100/33	2450/49	—						



嚴象 ゲンショウ

曹操軍の臣。胆力に溢れ、博識知られる。荀武の推挙によって出仕し、袁術討伐に従軍。のち揚州刺史となるが孫策配下の李衡に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	194	長安	60	2	4	7	8	13	18	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	曹操 (3)	—	—	—						
500/50	900/75	—	—	—						



阮籍 ゲンセキ

魏から晋にかけて活躍した文人。「竹林の七賢」のひとり。嫌う相手と接する際に白眼をむいて応対したことから「白眼視」の故事を生んだ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
210	234	許昌	55	7	10	16	13	13	16	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



嚴白虎 ゲンハクコ

後漢末の呉郡の独立勢力。孫策と江東の地を巡って争った。「演義」では「東呉の徳王」を称して孫策と戦うが敗れ、部下だった重襲に殺される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
148	189	—	65	17	10	6	5	19	12	攻
1	2	3	4	5						
中立 (7)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



呉懿 ゴイ

蜀の武將。はじめ劉焉に仕え、劉備の入蜀後は蜀軍の重鎮として活躍する。妹が劉璋、劉備の妻となったので、ふたりとは義兄弟にあたる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	189	—	70	15	13	17	16	20	15	平
1	2	3	4	5						
劉焉 (3)	劉璋 (5)	劉璋 (5)	劉備 (11)	劉禪 (8)						
2100/70	4000/65	3500/64	4500/66	7000/73						



黄蓋 コウガイ

呉の武將。孫堅の代から仕えた忠臣。赤壁の戦いでは敵に降ると見せかけ、曹操軍の船団を火計で焼き払う。呉軍大勝の立役者となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	—	60	20	18	14	8	18	27	率
1	2	3	4	5						
孫堅 (5)	孫策 (8)	孫權 (8)	—	—						
2000/76	1500/90	4500/99	—	—						



高幹 コウカン

袁紹の甥。鄴の陥落時に曹操に降伏し、すぐに背くが李典と楽進に敗れ逃亡。最後は荊州に向かう途中で捕えられて殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	—	70	18	18	8	6	19	12	同
1	2	3	4	5						
袁紹 (4)	袁紹 (6)	—	—	—						
2450/70	4500/60	—	—	—						



黄権 コウケン

はじめ劉璋の配下。劉備の入蜀に最後まで反対する。その後は劉将となり、夷陵の大敗で進退窮まると、兵に降るのを潔しとせず餓に降伏した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	200	宕渠	70	9	15	18	12	18	19	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (4)	劉備 (6)	曹叡 (9)						
500/50	500/50	2400/37	4000/64	6400/41						



高柔 コウジュウ

袁紹の甥、高幹の従弟。曹操に取り立てられると長らく魏の重臣として貢献。249年の司馬氏による政変では司馬氏側につき、曹爽の兵を抑えた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
174	198	南皮	90	10	16	15	15	25	17	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	曹操 (5)	曹操 (6)	曹叡 (9)						
500/50	3000/60	2100/39	2800/49	3600/36						



高順 コウジュン

呂布配下の武将。「臨陣将」と呼ばれる700騎の精鋭を率いる猛将で、高潔で忠義に厚い人物だったとされる。下邳落城の際、曹操に斬られた。

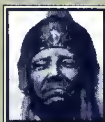
生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	55	21	12	11	2	16	16	率
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	-	-	-	-						
4000/80	-	-	-	-						



高翔 コウショウ

蜀の武将。諸葛亮の北伐に従軍し戦功をあげる。231年の第4次北伐では、魏延らとともに司馬懿の軍を破り、その後右將軍にまで昇進した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	215	雒	60	12	11	9	10	16	19	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	劉備 (3)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	500/50	2000/58	7000/92						



侯成 コウセイ

呂布配下の武将。下邳籠城の際に城内からの裏切りを阻止するが、酒を飲んだことを呂布にとがめられる。その後、呂布と陳宮を捕らえ降伏した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	-	55	14	12	7	7	15	12	平
1	2	3	4	5						
董卓 (4)	曹操 (5)	-	-	-						
3500/80	1050/55	-	-	-						



侯選 コウセン

涼州の豪族で、「関中の十部」のひとり。211年の馬超と韓遂の反乱に参加するが敗戦、漢中に逃れる。その後曹操に降伏した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	198	姑城	65	13	8	9	12	18	17	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	馬騰 (2)	馬超 (4)	曹操 (6)	-						
500/50	2000/90	2400/75	2800/48	-						



黄祖 コウソ

劉表の配下で江夏太守。江夏が孫堅に襲われた際、蒯良の策により孫堅を討ち取る。その後、孫権との戦いに敗れ捕らえられて殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	65	15	13	9	12	18	12	率
1	2	3	4	5						
劉表 (6)	劉表 (7)	-	-	-						
4000/70	4000/80	-	-	-						



公孫越 コウソンエツ

公孫瓚の従弟。使者として袁術のもとへ赴き、同盟を取り付けた。その後、袁術の命で孫堅とともに袁紹軍と戦うが、敗れて戦死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	189	-	55	12	12	7	9	14	25	攻
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (5)	-	-	-	-						
4000/64	-	-	-	-						



公孫淵 コウソンエン

公孫康の長子。燕王を称して魏の属下から独立する。237年には册丘侯の軍を撃退するが、238年に司馬懿の侵攻を受けて殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
198	227	襄平	60	13	14	8	3	16	15	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	1600/41						



公孫慈 コウソンキョウ

公孫度の次子。公孫康が死んだとき、長子の公孫淵がまだ幼少であったため、後を継ぐ。228年公孫淵に当主の座を奪われた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	200	襄平	55	7	11	7	4	13	17	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	袁紹 (3)	曹操 (6)	中立 (6)	曹叡 (7)						
500/50	3000/65	2400/25	2800/25	3600/31						



公孫康 コウソンコウ

公孫度の長子。曹操に追われた袁尚、袁熙が逃れてくると一時かくまうが、ふたりが遼東を奪おうとしていることを知り殺害した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	200	襄平	65	15	15	15	7	18	16	防

1	2	3	4	5
未 (3)	袁紹 (3)	曹操 (7)	中立 (8)	—
500/50	3000/85	2700/45	3150/45	—



公孫瓚 コウソンサン

後漢末の群雄。鮮卑族の討伐で名をあげ、反董卓連合軍に参加。さらに劉虞から幽州を奪って袁紹と戦うが敗れた。眉目秀麗な人物とされる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	—	55	20	18	14	12	16	14	防

1	2	3	4	5
公孫瓚 (7)	—	—	—	—
2500/70	—	—	—	—



公孫度 コウソントク

遼東太守。同郷の徐榮の推挙を受け、董卓から遼東の太守に任ぜられる。公孫氏は以後3代に渡り、異民族の侵入を退けて遼東を守り通した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
150	189	—	55	15	14	8	3	15	18	—

1	2	3	4	5
中立 (7)	袁紹 (7)	—	—	—
1000/60	5000/70	—	—	—



黄忠 コウチュウ

もとは劉表の部下だったが、赤壁の戦い後劉備の配下となる。定軍山の戦いでは魏の宿将夏侯淵を斬るなど、数々の武勲をたて220年死去した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
150	189	—	75	23	14	10	13	23	18	必

1	2	3	4	5
劉表 (5)	劉表 (8)	未 (8)	劉備 (14)	—
2450/60	1750/60	500/50	7500/94	—



欧武 コウブ

韓馥配下の臣。冀州を狙う袁紹に危機感を抱き、主人に諫言するが聞き入れられなかった。「演義」では袁紹の命を狙うが頑良に斬られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
140	189	—	70	6	8	7	10	18	19	—

1	2	3	4	5
中立 (7)	—	—	—	—
1000/60	—	—	—	—



皇甫嵩 コウホスウ

黄巾賊討伐に活躍した、後漢の将軍。董卓が実権を握っても潔い態度で許される。その後も漢朝復興に尽力するが及ばず、失意のうちに病死。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
146	189	—	50	14	24	16	11	13	22	回

1	2	3	4	5
中立 (6)	—	—	—	—
1000/60	—	—	—	—



孔融 コウユウ

「建安の七士」のひとりで、孔子の子孫。英才をもって知られたが、曹操に対し批判を繰り返したために疎まれ、最後は処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	—	65	2	9	7	12	15	11	—

1	2	3	4	5
中立 (5)	曹操 (6)	—	—	—
1000/60	600/55	—	—	—



高覽 コウラン

袁紹配下の武將。官渡の戦いで張郃とともに官渡攻撃を担当する。郭図の讒言により敗北の責任を負わされそうになり、曹操に投降した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	191	章武	55	16	14	8	5	15	18	攻

1	2	3	4	5
未 (4)	袁紹 (4)	—	—	—
500/50	4000/60	—	—	—



孔景 コケイ

孫堅の義弟。孫堅をよく輔佐するが、その死後は袁術を輔る。しかし、袁術が皇帝を自称すると、これを見限り甥の孫策に合流した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	—	50	5	8	4	4	11	19	—

1	2	3	4	5
孫堅 (4)	孫策 (7)	—	—	—
3000/76	3500/90	—	—	—



吾綰 ゴサン

呉の武將。水軍を率い、呂範や賀斉とともに魏の曹休を破る。のちに呉の後継者問題で孫和の廃嫡に反対して孫権の怒りをおかい、処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	215	富春	70	9	13	19	7	18	18	—

1	2	3	4	5
未 (3)	未 (3)	未 (1)	孫権 (3)	孫権 (5)
500/50	500/50	500/50	2000/52	3500/68



胡質 コシツ

魏の武将。曹丕の代に荊州刺史となり、樊城で呉の朱然を撃退する戦功をあげる。また数多くの治水工事を行ない、農業の発展に貢献した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	215	寿春	75	10	12	15	16	20	17	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (2)	曹叅 (7)						
500/50	500/50	500/50	1400/44	3600/45						



呉質 コシツ

魏の臣。曹操の後継者問題では曹丕の側にたち、相談役として活躍した。いくつかの献策を進言して、曹丕の立場を有利にすることに成功している。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	200	済北	55	6	7	13	2	13	16	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹叅 (8)						
500/50	500/50	1200/22	2100/45	3600/32						



胡綜 コソウ

呉の臣。文才に溢れた人物で、14歳で孫策に仕える。以後、孫策から孫権の代にかけて、呉の公式文書の作成や機密文書の処理を担当した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
183	197	安豊	60	9	8	11	6	15	21	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	孫権 (3)	孫権 (4)	孫権 (4)						
500/50	1500/90	2000/89	3000/48	3000/66						



呉敦 ゴトン

もとは泰山の山賊。賊頭に從って開陽に進出すると、呂布に協力して曹操と戦う。呂布の死後は曹操に降って許され、利城太守に任ぜられた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	65	8	8	7	9	17	11	-
1	2	3	4	5						
中立 (3)	曹操 (4)	曹操 (4)	曹操 (5)	-						
1000/60	1050/55	1200/23	2100/43	-						



呉班 ゴハン

蜀の武将。呉懿の親族。夷陵の戦いでは馬超とともに呉懿の李異を破る。劉備の没後は諸葛亮の北伐に従軍した。「演義」では渭水で戦死する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	207	陳留	70	14	15	9	8	20	18	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	劉備 (3)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	500/50	3000/68	7500/88						



顧雍 コヨウ

呉の重臣。蔡邕に学問と琴を学ぶ。合肥県令や会稽太守を歴任し、225年には丞相となる。厳格な人物で、酒好きの孫権は苦手としていたという。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	194	呉	75	1	2	15	17	18	22	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (2)	孫権 (3)	孫権 (5)	孫権 (10)						
500/50	1000/90	2000/66	2000/50	7500/59						



崔琰 サイエン

魏の臣。はじめ袁紹に仕えていたが重用されず退官。その後曹操に召し出される。しかし曹操にも疎んじられ、死を賜った。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	70	3	5	4	9	17	16	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	袁紹 (6)	曹操 (6)	-	-						
1000/60	3000/60	1800/11	-	-						



蔡邕 サイボウ

荊州の豪族。劉表の後継者問題で、甥の劉琮を推し曹操に降伏。「演義」では赤壁の戦いの際に内通を疑われて曹操に処刑された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	-	60	17	18	9	7	17	14	平
1	2	3	4	5						
劉表 (3)	劉表 (5)	曹操 (7)	-	-						
3000/70	4000/80	2700/17	-	-						



蔡邕 サイヨウ

後漢を代表する学者で、文学のほかに数学や天文学、音楽に造詣が深かった。董卓から厚遇を受け、その死を嘆いたために王允に処刑された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
113	189	-	80	1	1	12	19	20	18	-
1	2	3	4	5						
董卓 (13)	-	-	-	-						
3500/50	-	-	-	-						



蔡融 サクユウ

陶謙配下の武将。ならず者を集めて拳兵。陶謙のもとに身を寄せたあとも、兵糧を横領するなど暴虐の限りを尽くす。最後は住民に殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	-	55	12	3	1	1	14	1	-
1	2	3	4	5						
陶謙 (3)	-	-	-	-						
2100/70	-	-	-	-						



沙摩何 サマカ

南蛮王。劉備に召し出されて夷陵の戦いに参加するが、呉の陸遜の軍に敗れて戦死した。演義では甘寧を討ち取るものの、周泰に殺される。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
175	218	建寧	55	16	4	2	1	15	5	-
1	2	3	4	5						
未 (6)	未 (6)	未 (1)	劉備 (7)	-						
500/50	500/50	500/50	4000/85	-						



司馬懿 シバイ

魏の謀臣。諸葛亮の幾度の北伐を耐え忍び、249年の政変で魏の大権を握ると、晋建国の礎を築く。曹操は、終始その才を賞成したという。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
179	198	宜陽	75	15	29	28	26	22	15	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (1)	曹操 (4)	曹操 (9)	曹叡 (13)						
500/50	600/55	1800/56	4500/80	9000/83						



司馬懿 シバキ

水鏡先生の名で知られる隠者。劉備に諸葛亮を推薦した。人物鑑定で名高く、諸葛亮のほかに龐統、徐庶など名だたる賢者と親交があった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
173	208	宛	40	1	15	19	23	1	24	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (10)	-	-						
500/50	500/50	500/50	-	-						



司馬師 シバシ

魏の武将。司馬懿の長子。政変を画策し、曹爽を除くのに成功すると魏の重鎮につく。父の死後はその役職を引き継ぎ、完全に実権を掌握する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
208	227	洛陽	50	14	27	22	24	13	15	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	1600/55						



司馬昭 シバシヨウ

魏の武将。司馬懿の次子。父や兄の死後、邪魔な魏帝を廃すと、264年に晋王となる。しかし翌年に病死。晋建国は子の司馬炎に託すことに。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
211	228	洛陽	55	14	26	19	25	15	14	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	1600/54						



司馬朗 シバロウ

魏の臣。司馬懿の兄。各地の県令を歴任したのち中央に転出、兗州刺史にまで昇進する。217年、夏侯惇とともに対呉戦に出陣中、病没した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
171	195	懷	50	3	6	8	11	10	22	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (1)	曹操 (3)	-	-						
500/50	600/55	1200/15	-	-						



周倉 シュウソウ

『演義』のみに登場する蜀の武将。もとは山賊であったが関羽配下となる。主人を崇拝し、関羽が斬られたことを知ると、麦城で自刎して果てる。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
165	197	宜陽	65	18	9	5	3	19	25	政
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉備 (1)	劉備 (2)	劉備 (4)	-						
500/50	2000/90	2000/96	3000/99	-						



周泰 シュウタイ

呉の武将。孫策が袁術に身を寄せた際に配下となる。その後は孫権の近衛の将として活躍。主人を守るために負った傷が体中にあったという。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
168	189	-	60	22	17	14	6	18	23	政
1	2	3	4	5						
孫堅 (2)	孫策 (5)	孫権 (5)	孫権 (10)	-						
1000/59	2000/90	3500/92	4500/87	-						



周魴 シュウホウ

呉の武将。海賊の征伐で名をあげ、昭義將軍に昇進する。その後は鄱陽太守を長く務め、228年には呉の投降で魏の曹体を驚き大勝した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
180	215	鄱陽	65	7	12	18	17	16	21	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (3)	孫権 (4)	孫権 (3)						
500/50	500/50	500/50	3000/46	3000/82						



周瑜 シュウユ

呉の武将。曹操との徹底交戦を唱え、赤壁の戦いで曹操軍を破り呉の危機を救う。『天下二分の計』を唱えて富国強兵策を進めるが、210年病死。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	勇
175	194	居巢	40	17	25	28	19	10	29	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (4)	孫権 (7)	-	-						
500/50	1500/90	4500/98	-	-						



朱桓 シュカン

呉の武將。軍才に優れ、鶴との戦いで戦功をあげた。気位が高く気難しい人物であったが、部下を大事にし、兵には人気があったという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	200	呉	60	19	10	8	4	18	16	-
1	2	3	4	5						
朱 (1)	朱 (1)	孫權 (4)	孫權 (6)	孫權 (7)						
500/50	500/50	3000/70	4000/51	4500/82						



朱軌 シュキョ

呉の武將。幼いころから文武両道を修め、呂蒙の後継者として期待される。しかし、孫和の廃嫡に反対したために孫權に疎まれ、死を賜った。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	215	呉	65	17	12	13	7	19	19	-
1	2	3	4	5						
朱 (2)	朱 (2)	朱 (1)	孫權 (3)	孫權 (8)						
500/50	500/50	500/50	2000/81	7000/67						



祝融夫人 シュクユウフジン

南蛮王孟獲の妻。「演義」にのみ登場。飛刀(手裏剣)の名手で、蜀との戦いでは張飛らを倒すが諸葛亮の策に苦しむ。最後は蜀に帰順した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	215	建寧	65	13	3	1	1	18	13	必
1	2	3	4	5						
朱 (3)	朱 (3)	朱 (1)	劉備 (3)	劉備 (5)						
500/50	500/50	500/50	2000/23	3000/50						



朱孺 シュシュン

黄巾の乱の鎮圧で功をなした、後漢末の武將。董卓が実権を握ってからも中央に残るが、董卓暗殺後、政敵であった郭汜に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
142	189	-	55	16	13	11	16	15	19	同
1	2	3	4	5						
中立 (9)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



朱然 シュゼン

呉の武將。朱治の養子。呂蒙の死後に、その後任として陸遜を輔佐し荊州攻略に活躍した。「演義」では夷陵の戦いで趙雲に打ち取られている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	200	建業	70	16	12	17	6	20	20	-
1	2	3	4	5						
朱 (1)	朱 (1)	孫權 (3)	孫權 (5)	孫權 (7)						
500/50	500/50	2000/66	3000/46	4500/73						



朱治 シュチ

呉の武將。孫堅を助けて活躍、以後3代に渡って孫家を盛り立てた忠臣。おもに山越や蛮族などを相手に戦功を重ね、安国將軍に任ぜられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	-	70	12	15	13	8	19	21	-
1	2	3	4	5						
孫堅 (4)	孫策 (7)	孫權 (7)	孫權 (11)	-						
1500/60	1750/90	4500/70	4500/45	-						



朱靈 シュレイ

魏の武將。もとは袁紹に仕えていたが、曹操の徐州攻勢の際に増援として派遣され、そのまま曹操に従う。曹丕の代に後將軍にまで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	194	平原	60	13	12	7	5	16	19	-
1	2	3	4	5						
朱 (1)	袁紹 (3)	曹操 (3)	曹操 (5)	-						
500/50	3000/60	1200/18	2450/46	-						



荀彧 ジュンイク

魏の謀臣。大局的な戦略考案や、人物推挙にも才能を発揮する。曹操が魏王となるとこれに反対して遠ざけられ、失意のうちに病死したという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	191	許昌	55	6	11	25	26	13	19	-
1	2	3	4	5						
朱 (3)	曹操 (6)	曹操 (8)	-	-						
500/50	1050/95	2500/32	-	-						



淳于丹 ジュンウタン

「演義」のみに登場する呉の將。関羽の仇討ちのため呉領になだれこんだ劉備軍の様子を見るために夜襲をかけるが、見破られ敗死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	197	臨湘	55	18	10	7	8	16	18	-
1	2	3	4	5						
朱 (1)	孫策 (3)	孫權 (3)	孫權 (5)	孫權 (6)						
500/50	1500/90	2000/50	3500/45	4000/60						



荀攸 ジュンユウ

魏の謀臣。荀彧の甥。董卓暗殺を企て失敗、投獄されるが脱出後に曹操に仕える。緻密な策略の立案に功があり、魏建国後は尚書令となる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	195	洛陽	60	10	16	23	18	15	20	-
1	2	3	4	5						
朱 (4)	曹操 (7)	曹操 (7)	-	-						
500/50	900/75	2400/19	-	-						



持統 ショウエン

蜀の賢臣。諸葛亮から厚く信頼され、北伐に際しては補給の任にあたる。諸葛亮の死後は姜維とともに後事を託され、大司馬まで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	215	泉陵	50	13	14	21	26	13	19	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	3000/58	4000/64						



鍾会 ショウカイ

魏の武將。鍾繇の子。征蜀戦に参加し蜀を滅ぼす。しかし内に秘めた野望を姜維に見破られ反乱を起こすことに。最後は部下に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
225	249	許昌	55	15	22	23	16	15	12	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	未 (2)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



持欽 ショウキン

呉の武將。合肥で張遼の猛攻を受けた孫権を助け、その後も閩羽討伐で水軍を指揮するなど幾多の活躍をする。荊州攻略後、まもなく病没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	194	寿春	50	20	16	10	7	14	20	平
1	2	3	4	5						
未 (2)	孫策 (4)	孫権 (4)	孫権 (7)	—						
500/50	1750/90	3000/64	4000/49	—						



譙周 ショウシュウ

始め蜀、のち晋に仕えた臣。成都に魏軍が迫ると劉禪に降伏を勧める。経済学や文学に優れ、「三国志」正史の著者である陳寿の師でもある。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
201	227	梓潼	75	7	8	15	12	20	18	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	未 (1)	未 (3)	劉禪 (4)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3000/62						



焦触 ショウショク

袁紹配下の武將。袁紹の死後は袁熙に従う。しかし、曹操との戦いのなか張南とともに袁熙に背いて曹操に降伏した。列侯に封ぜられている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	194	信都	60	11	9	5	7	14	11	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	—	—	—						
500/50	3000/60	—	—	—						



蔣済 ショウセイ

魏の臣。閩羽が干禁を破って許都に迫った際、制気になり還都を考える曹操を、司馬懿とともに諫めた。その後も魏帝3代に仕え、太尉となる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	207	寿春	70	5	9	20	15	17	20	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (3)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1200/26	1400/47	3600/30						



向寵 ショウチョウ

蜀の武將。向朗の甥。堅実な性格で諸葛亮に信頼され、「出師の表」にもその名を見ることができる。210年、蛮族征伐中に戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	209	襄陽	65	12	14	10	6	18	19	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/62	4500/62						



呂範 ショウハ

後漢末の山賊の頭目。呂布、ついで劉備に従う。曹操軍を何度も撃破するが、夏侯淵、干禁の軍に包囲されてついに降伏、斬首された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	—	60	8	5	6	1	15	8	—
1	2	3	4	5						
中立 (3)	曹操 (4)	—	—	—						
1000/60	1050/55	—	—	—						



鍾繇 ショウヨウ

魏の重臣。荀彧の推挙を受けて仕官する。後方の任務が多かったため目立たない存在だったが、曹叡の代には太傅になった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
151	189	—	85	3	4	16	20	22	19	—
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	曹操 (7)	曹操 (7)	曹操 (11)	曹叡 (15)						
3500/50	1200/75	2700/66	4550/45	4000/38						



向朗 ショウロウ

蜀の武將。はじめは劉表に仕えるが、のち劉備に従って入蜀。諸葛亮の北伐にも参加する。諸葛亮の死後は左將軍にまで昇進し、247年に病没。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
167	189	—	85	2	5	10	14	22	17	—
1	2	3	4	5						
劉表 (1)	劉表 (3)	劉備 (4)	劉備 (6)	劉禪 (7)						
1400/60	1500/60	3000/13	4000/59	3000/47						



徐才 ジョエイ

董卓配下の武将。中郎将。反董卓連合軍との戦いでは、精強な騎兵を率いて曹操軍を破った。『演義』ではこの戦いで夏侯惇に討ち取られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
147	189	-	60	11	12	7	8	16	15	攻
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3500/80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



徐才 ジョエイ

魏の臣。孫策に礼遇されたが、その死後は曹操に仕えた。丞相長史として関中の混乱を鎮めた後、曹操の南征時には後方の留守を任された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	199	東冶	65	4	8	12	13	16	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	曹操 (6)	曹操 (6)	-	-	-	-	-	-	-
500/50	1500/90	2400/50	2800/43	-	-	-	-	-	-	-



諸葛恪 ショカツカク

呉の臣。諸葛瑾の長子。陸遜の死後に大將軍となる。一時は対魏攻略に成功するが独断がすぎ、過度の肅清を行なったため孫峻に除かれた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
203	227	呉	60	13	20	22	16	16	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	孫権 (1)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	500/50	2000/70	-	-	-	-	-	-



諸葛恪 ショカツキョウ

蜀の武将。諸葛瑾の次子だが、諸葛亮の養子となる。才に溢れ未来を囑望された。しかし、228年に25歳の若さで病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
204	227	呉	30	7	7	9	12	5	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉禪 (3)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	500/50	3000/58	-	-	-	-	-	-



諸葛均 ショカツキン

諸葛瑾、諸葛亮の弟。兄の諸葛亮とともに劉備に仕官し、長水校尉まで昇進する。『演義』では三顧の礼の際、2度目の応対役として登場している。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
188	213	襄陽	55	8	14	17	12	13	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (5)	劉禪 (10)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	500/50	2000/61	3500/59	-	-	-	-	-	-



諸葛瑾 ショカツキン

呉の臣。諸葛亮の兄。内政面のみならず軍事面にも才能を発揮、呉の発展に力を尽くした。而長な風貌は、誠実に温和な性格を引きだした。

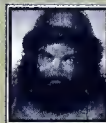
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
174	204	呉	70	8	10	19	28	18	24	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫権 (3)	孫権 (3)	孫権 (5)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	2000/78	3500/49	7000/84	-	-	-	-	-	-



諸葛亮 ショカツリョウ

蜀の臣。三国時代最高の軍師。劉備に迎えられ「天下三分の計」を説く。劉備の死後は、魏攻略の出兵を続けるが、五丈原にて陣没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	207	襄陽	55	1	28	26	30	12	23	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	劉備 (4)	劉備 (8)	劉禪 (14)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	3000/74	4500/78	9999/99	-	-	-	-	-	-



徐晃 ジョコウ

魏の将。はじめ楊奉に仕えていたが、曹操に従って以来、227年に病没するまで軍の主力として長らく活躍。『演義』では孟達に討ち取られている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
167	189	-	70	21	13	8	7	21	21	必
1	2	3	4	5						
董卓 (2)	曹操 (4)	曹操 (6)	曹操 (9)	-	-	-	-	-	-	-
2000/50	3500/85	2400/16	4500/80	-	-	-	-	-	-	-



徐庶 ジョシヨ

劉備に仕官するが、曹操の荊州侵攻時に策により母を人質にとられてしまう。諸葛亮を推薦して以後は曹操に仕えたが、曹叡の代に病没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	207	南郷	60	11	14	24	13	16	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹叡 (7)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	1200/41	2100/59	2800/49	-	-	-	-	-	-



徐盛 ジョセイ

呉の武将。劉表との戦いや、魏や蜀との戦いで戦功を重ねて安東將軍に昇進。221年の曹丕の親征に対しては、偽の城壁を築いて敵を撃退した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	200	江夏	50	18	15	18	9	14	18	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (5)	孫権 (7)	孫権 (7)	-	-	-	-	-	-
500/50	500/50	3500/57	3500/51	4500/79	-	-	-	-	-	-



徐宣 ジョセン

魏の臣。分け隔てのない公正な人事を執り行い、名声を得る。曹操、曹丕、曹叡の3代に渡って仕え、魏の発展に貢献、「柱石の臣」と呼ばれた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
167	194	蒲須	70	4	7	10	14	17	20	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (1)	曹操 (6)	曹操 (5)	曹叡 (8)						
500/50	600/75	2400/18	2450/46	3600/27						



徐邈 ジョバク

魏の臣。曹操が河北を平定した際に出仕。曹操が魏王になると尚書郎となった。西域との交易に功績があり、司空に任ぜられるが固辞した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	204	劇	80	5	8	9	15	21	19	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (3)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1200/20	1400/48	3600/39						



申儀 シンギ

張魯に仕えていた武將。申耽の弟。兄とともに魏、蜀、魏と渡り歩いた。『演義』では魏を裏切ろうとした孟達を討って昇進している。

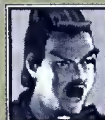
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	215	上庸	65	8	8	5	8	17	13	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (6)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	4000/47	3600/47						



任峻 ジンシュン

曹操配下の武將。曹操の挙兵当時から従う古参で、戦の際には後方での補給任務を担当する。のちに功績を讃えられて都亭侯に封じられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
154	189	—	50	4	7	7	18	11	20	—
1	2	3	4	5						
曹操 (5)	曹操 (6)	—	—	—						
1200/70	1050/95	—	—	—						



申耽 シンタン

漢中の張魯に仕えた武將。張魯降伏後は曹操のもとで働くが、劉備の漢中侵攻時に降り、その後さらに魏に走って孟達とともに劉封を追放した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	212	上庸	60	14	9	12	10	16	13	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (3)	劉備 (6)	曹叡 (8)						
500/50	500/50	500/50	4000/45	3600/49						



審配 シンハイ

袁紹配下の臣。袁紹軍の中核となり、袁紹の死後は袁尚を輔佐。鄧の陥落時に曹操に捕らえられ斬られた。忠義の士だが剛直で独断的だった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	—	60	16	19	20	18	17	22	—
1	2	3	4	5						
袁紹 (4)	袁紹 (8)	—	—	—						
1400/70	5000/60	—	—	—						



辛毗 シンヒ

魏の臣。辛評の弟。剛直な性格が災いしたせいか、三公にまでは昇進していないが、的確な諫言で信頼を得ていたという。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	200	許昌	70	12	10	16	17	19	17	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	曹操 (4)	曹操 (6)	曹叡 (8)						
500/50	3000/60	1800/36	2100/46	3600/36						



辛評 シンヒョウ

袁紹配下の謀臣。魏の辛毗の兄。袁紹の死後は袁譚を支持、袁尚派の審配に家族を皆殺しにされた。『演義』では袁譚に忠誠を疑われ憤死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	194	陽平	55	13	11	14	13	14	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (4)	—	—	—						
500/50	3500/60	—	—	—						



秦宓 シンフク

蜀の臣。呉との戦いに反対し投獄されるがのちに釈放される。呉の使者張温を舌戦で負かすなど才能を発揮し、最後は太常卿にまで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	214	綿竹	40	3	5	15	19	7	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (3)	—						
500/50	500/50	500/50	2000/55	—						



沈友 シンユウ

呉の臣。孫権に礼をもって迎えられ。優れた戦略眼を持ち、荊州併合をはじめ多くの献策を連言するが、讒言を信じた孫権により処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	201	揚中	40	5	6	18	15	7	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	—	—	—						
500/50	500/50	—	—	—						



孫策 セツソウ

呉の臣。孫權に召し出されて交州を平定する。「私戦」という作品集を残した優秀な文人。「演義」では赤壁の戦い直前の舌戦で、諸葛亮に敗れる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
179	207	合肥	65	4	8	13	18	16	18	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	孫權 (3)	孫權 (4)	孫權 (3)						
500/50	500/50	2000/59	3000/45	3000/72						



孫策 セツテイ

魏の臣。兗州の従事を務めていた際、呂布の攻撃を程昱とともにしのぎきる。その後も優秀な官吏として活躍、曹丕の代に関内侯に封じられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	-	70	6	9	7	12	18	22	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (5)	曹操 (5)	曹操 (9)	-						
1000/60	900/95	1800/21	2100/49	-						



鮮于丹 センウタン

呉の武将。呂蒙や陸遜に従って蜀との戦いで数々の軍功をあげ、その後も各地を転戦する。226年には険しい淮道を踏破、高城を陥落させた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
183	215	曲阿	60	11	8	9	5	16	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	孫權 (1)	-						
500/50	500/50	500/50	2000/48	-						



全琮 センソウ

呉の特。親王2代に渡って孫權に仕え、数々の戦いで軍功をたてた。孫權の娘を妻として娶る。「演義」では陸遜の副将として曹休を破っている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	215	富春	65	19	14	16	6	19	18	-
1	2	3	4	5						
未 (4)	未 (4)	未 (1)	曹操 (4)	孫權 (7)						
500/50	500/50	500/50	2100/47	4500/71						



曹安民 ソウアンミン

曹操の配下。曹操の甥にあたるといわれている。南陽の張繡攻略戦の際に、曹操に従って出陣するが、降伏したはずの張繡に襲われて戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	196	陳留	50	6	10	8	7	11	22	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	-	-	-	-						
500/50	-	-	-	-						



曹叡 ソウエイ

魏の第2代皇帝。即位後すぐに呉に親征するなど、積極的に軍を動かす。諸葛亮の死後、北伐の脅威がなくなると失政を重ね、239年病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
205	226	洛陽	40	9	24	18	20	8	26	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (3)						
500/50	500/50	500/50	500/50	8000/55						



曹休 ソウキユウ

魏の特。曹操の甥。曹操について各地を転戦した。魏建國後は呉との戦いで功績があったが、228年呉の周訪に破れたのちに病没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	189	-	60	16	20	14	11	17	22	-
1	2	3	4	5						
曹操 (2)	曹操 (5)	曹操 (5)	曹操 (10)	曹叡 (12)						
800/80	2400/95	1800/16	4500/72	8500/73						



宋憲 ソウケン

呂布配下の武将。曹操に下邳の城が包囲されると、侯成らと呂布を捕らえ、降伏する。「演義」ではその後、袁紹軍の顔良に打ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	-	55	16	13	9	7	15	15	-
1	2	3	4	5						
董卓 (3)	曹操 (5)	-	-	-						
3000/80	1050/55	-	-	-						



宋謙 ソウケン

呉の武将。勇猛で知られた。「演義」では赤壁後の合肥の戦いで、孫權の近衛の将を務め楽進の突撃を阻止するが、李典の矢を受け戦死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	196	建業	65	9	4	7	2	17	17	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	孫權 (4)	孫權 (6)	-						
500/50	1500/90	3000/63	3500/46	-						



曹昂 ソウコウ

曹操と劉夫人との長子。才気溢れ将来が期待されるが、南陽で張繡と賈詡の計略にはまり、窮地に陥った父を助けるために戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	196	陳留	55	14	17	12	12	15	28	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	-	-	-	-						
500/50	-	-	-	-						



曹洪 ソウコウ

曹操の従弟。旗揚げ時から曹操に付き従って各地を転戦する。曹丕には嫌われており、処刑されそうになるところを功績に免じて救われている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	70	14	18	13	15	20	30	平
1	2	3	4	5						
曹操 (3)	曹操 (6)	曹操 (7)	曹操 (12)	曹叡 (12)						
1200/80	3200/95	2700/22	3150/50	6800/27						



曹純 ソウジュン

曹仁の弟。南皮の戦いで袁譚を討ち、続く北方征伐でも顕顔を捕らえる活躍をする。騎兵戦を得意とし、指揮する騎兵は虎豹騎と呼ばれた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	194	陳留	40	13	14	13	12	9	22	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	曹操 (4)	曹操 (6)	-	-						
500/50	2800/95	2400/24	-	-						



曹彰 ソウショウ

曹操と卞皇后との次子。北方の烏丸族討伐戦など数々の戦功をたてたが、武勇一辺倒の人物であったためか、後継者争いからは外されていた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
189	207	許昌	35	21	16	15	3	10	27	必
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (6)	-						
500/50	500/50	1200/55	4000/70	-						



曹植 ソウシヨク

曹操と卞皇后との第3子。特に文才に優れ、曹操には格段に可愛がられる。曹丕との後継者争いに敗れると、封地を転々とされ232年に病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
192	215	許昌	45	8	13	18	21	10	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹叡 (8)						
500/50	500/50	500/50	1400/51	2800/7						



曹真 ソウシン

一族の子として曹操が引き取った養子。兵法に通じ、漢中で劉備を2度破ったほか呉との戦いでも戦功があった。「演義」では諸葛亮のやられ役。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	207	許昌	55	17	26	14	13	15	25	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (5)	曹叡 (13)						
500/50	500/50	1200/15	3500/75	9000/79						



曹仁 ソウジン

曹操の従弟。旗揚げ時から曹洪らとともに曹操に従って戦い続けた。堅実で粘り強いため守備戦に長け、曹操からの信頼も非常に高かった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	189	-	60	16	14	10	11	17	27	必
1	2	3	4	5						
曹操 (4)	曹操 (5)	曹操 (7)	曹操 (9)	-						
1200/80	3000/95	2700/21	5950/54	-						



曹爽 ソウソウ

曹真の子。魏の明帝曹芳の信任を受けていたが、帝の死後は横暴な振る舞いが多くなる。249年に司馬懿が政変を起こした際に誅殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
207	227	洛陽	65	13	22	8	11	18	23	同
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3600/46						



曹操 ソウソウ

三国時代随一の英雄。黄巾賊討伐で名をあげ、董卓失脚後は献帝を迎えて実権を把握する。有力群雄を滅ぼして中原を制し、魏王を称した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	-	70	14	30	23	29	20	24	防
1	2	3	4	5						
曹操 (6)	曹操 (9)	曹操 (10)	曹操 (15)	-						
5000/80	5000/99	6000/20	7000/99	-						



曹冲 ソウチュウ

曹操と環夫人との長子。曹操の子の中でもっとも優れた人物であったといわれ、曹操自身も世継ぎに考えていたが、若くして病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
196	207	許昌	30	9	17	24	27	5	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	-	-	-						
500/50	500/50	-	-	-						



臧覇 ソウハ

はじめは陶謙に仕えていたが、山賊になったのち呂布配下を経て曹操に帰順する。曹操には重く用いられ、執金吾まで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	-	70	15	13	12	10	20	13	攻
1	2	3	4	5						
陶謙 (4)	曹操 (5)	曹操 (7)	曹操 (8)	-						
2800/70	1200/75	3100/78	3150/46	-						



曹不 ソウヒ

曹操と卞皇后との長子。曹操の死後魏王につく。220年に献帝より帝位を譲り受け、魏の初代皇帝となる。武人としてより文人として名高い。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	207	許昌	45	16	28	15	25	12	25	回
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (5)	—						
500/50	500/50	1200/60	3500/72	—						



曹豹 ソウホウ

徐州に攻め寄せた曹操を迎え撃つが敗れる。陶謙の死後は、劉備を裏切り呂布を迎え入れた。『演義』では呂布の側面の父で、張飛に殺される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	189	—	50	13	2	3	2	13	11	平
1	2	3	4	5						
陶謙 (5)	—	—	—	—						
2800/70	—	—	—	—						



曹顔 ソウヨ

蜀の武将。張飛に従って蜀に入る。諸葛亮に取り立てられて参軍右中郎将に昇進。諸葛亮の死後には使者として呉にたち、孫権の心をつかむ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	213	章陵	70	8	6	7	3	18	20	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (2)	劉禪 (5)						
500/50	500/50	500/50	3000/62	3000/53						



沮授 ソジュ

袁紹配下の謀臣。数々の献策を提言するが容れられず、自身は官渡の戦いで曹操の捕虜となる。再三の説得にも応じなかったため処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
146	189	—	65	12	16	21	21	18	23	—
1	2	3	4	5						
中立 (6)	袁紹 (10)	—	—	—						
1000/60	4000/60	—	—	—						



蘇則 ソソク

魏の臣。品行方正な人物で、若いころから博識で知られる。西涼の各地の太守を歴任。曹丕の代では西平の反乱を討伐し、関内侯に封じられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
174	207	鄯	50	7	8	7	10	11	18	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	曹操 (3)	曹操 (5)	—						
500/50	500/50	1200/22	1400/46	—						



祖茂 ソボウ

孫堅配下の武将。董卓との戦いで窮地に陥った孫堅を救出した。『演義』では二刀を使う猛将として描かれ、孫堅の身代わりとなって死ぬ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	—	60	16	13	13	7	17	28	—
1	2	3	4	5						
孫堅 (4)	—	—	—	—						
1750/76	—	—	—	—						



孫河 ソンカ

孫堅配下の武将。もとは瑜姓だったが、孫姓を賜る。孫堅、孫策、孫権の3代に渡って仕え、常に最前線の任にあたった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	—	65	8	8	9	12	17	22	—
1	2	3	4	5						
孫堅 (2)	孫策 (4)	—	—	—						
1000/76	1500/90	—	—	—						



孫觀 ソンカン

魏の武将。当初は賊配下の山賊として暴れていたが、主人とともに曹操に帰順。青州刺史となった。のちに孫権との戦いで負傷し、死亡した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	—	60	4	5	6	8	14	22	—
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (5)	曹操 (4)	—	—						
1000/60	1050/50	1800/14	—	—						



孫乾 ソンケン

はじめ徐州の豪族だったが、劉備と出会ってから付き従い、簡雍とともに実務面を担当した。『演義』では劉備のもとで、特に使者として活躍する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	194	劇	50	6	8	16	17	11	17	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉備 (3)	劉備 (3)	—	—						
500/50	3000/90	2000/73	—	—						



孫堅 ソンケン

江東の猛虎と呼ばれた後漢末の群雄。反董卓連合軍では先鋒として、洛陽一番乗りを果たす。192年、江夏での黄祖との戦いで戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	—	50	29	21	15	12	15	25	攻
1	2	3	4	5						
孫堅 (11)	—	—	—	—						
5000/86	—	—	—	—						



孫權 ソンケン

孫堅の次子。兄、孫策の突然の死により孫家を継ぎ、賢臣たちの助けを得て曹操や劉備という英雄たちと闘を競う。229年に呉の帝となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	199	丹陽	75	18	25	12	25	22	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (2)	孫權 (7)	孫權 (8)	孫權 (12)						
500/50	1000/90	5000/92	5000/85	8000/80						



孫策 ソンサク

孫堅の長子。胆力溢れる人物で、一気に東呉を平定して江東に一大勢力を築く。しかし創業途中の200年、刺客の手にかかって不慮の死を遂げた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	194	曲阿	45	25	17	20	10	14	25	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (7)	-	-	-						
500/50	5000/95	-	-	-						



孫紹 ソンショウ

孫策の子。叔父の孫權をよく助け、呉の危風に尽くす。孫權が呉の帝位につくと呉候に任ぜられ、のちに上庸候となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
195	210	丹陽	60	5	5	6	2	14	22	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (5)	孫權 (2)	孫權 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/46	4500/77						



孫邵 ソンショウ

呉の臣。はじめは北海の孔融に仕えるが、江東に身を寄せ孫權に仕える。的確な献策を行なって重く取り立てられ、最後は丞相にまで昇った。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	192	曲阿	65	7	10	19	15	16	22	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	孫權 (4)	孫權 (7)	-						
500/50	1500/90	3000/81	4500/45	-						



孫韶 ソンショウ

孫河の甥。呉の鎮北將軍にまで昇進する。「演義」では鶴との戦いで徐盛の策を嫌い、独断で長江を渡り敵を打ち破るという快挙を成し遂げた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	206	皖	50	17	12	12	10	14	22	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫權 (3)	孫權 (4)	孫權 (7)						
500/50	500/50	3000/67	3000/44	4500/83						



孫静 ソンセイ

孫堅の弟。孫策、孫策、孫權の3代に仕えた。孫策の代では会稽攻略の先鋒を務めたこともあるが、ほとんどの場合は守備任務についていた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	-	60	10	17	14	10	15	24	-
1	2	3	4	5						
孫堅 (4)	孫策 (6)	孫權 (6)	孫權 (11)	-						
1750/76	2000/90	4000/62	3500/62	-						



孫登 ソントウ

孫權の長子。孫權が呉王になると東中郎將になり、ついで皇太子にたてられた。政治に才を見せるなど聡明だったが、孫權より先に病死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
209	228	建業	40	2	6	17	13	7	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	孫權 (4)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3000/5						



孫瑜 ソンユ

孫静の次子。人望があり、広く呉の人々に慕われた。周瑜の信頼も厚く、「天下二分の計」では、蜀の太守として推されている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
184	203	曲阿	40	16	15	17	10	10	23	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫權 (3)	-	-						
500/50	500/50	3500/69	-	-						



孫翊 ソンヨク

孫堅の第3子。勇敢な気性から、孫策死亡時には一時後継者として名が上がる。しかし粗暴なところがあり、恨みを持つ部下に暗殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	203	呉	45	10	6	5	4	10	22	-
1	2	3	4	5						
未 (5)	未 (5)	-	-	-						
500/50	500/50	-	-	-						



太史享 タイシキョウ

太史慈の子。呉の国政を支え越騎校尉にまで昇進する。「演義」では戦死した太史慈を哀れんだ孫權が、みずから引き取って育てている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
189	215	東冶	55	3	4	4	4	12	28	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	孫權 (3)	孫權 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/52	4000/69						



太史慈 タイシジ

呉の武将。北海で孔融を黄巾賊から救ったのち、揚州で孫策に帰順。呉きっての猛将として活躍した。演義では顔の張遼との戦いで戦死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	191	即墨	50	25	12	14	7	16	24	※
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	—	—	—						
500/50	1500/90	—	—	—						



卓膺 タクヨウ

蜀の武将。212年、劉備の入蜀にあたって黄忠とともに従軍した。『演義』では劉璋配下の武将として劉備と戦うが、張任の敗戦を聞き降伏する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	198	桂陽	70	8	8	13	14	18	17	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉璋 (3)	未 (3)	劉備 (5)	劉禪 (7)						
500/50	3000/65	500/50	3000/56	4500/64						



治無戴 チブタイ

涼州の北夷で、胡族の王。魏と友好関係を結んでいたが、247年に姜維に投降し、蜀の国内に移住した。のちに魏の郭淮と戦って敗れた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
205	227	酒泉	50	16	8	1	1	14	6	必
1	2	3	4	5						
未 (7)	未 (7)	未 (1)	未 (7)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



張允 チョウイン

荊州の劉表配下の武将。劉表の後継者争いでは劉琮を支持した。『演義』では、赤壁の戦いで蔡瑁とともに曹操に裏切りを疑われて斬られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	—	65	14	10	11	6	18	15	—
1	2	3	4	5						
劉表 (4)	劉表 (4)	曹操 (5)	—	—						
2450/60	1750/60	2100/16	—	—						



趙雲 チョウウン

蜀の武将。はじめは公孫瓚配下だったが、のちに劉備に従う。長阪橋の戦いで劉禪を助けるなど、229年に病死するまで蜀軍の中核として働いた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
137	189	—	75	27	11	10	8	24	27	攻
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (4)	未 (4)	劉備 (6)	劉禪 (10)	劉禪 (14)						
2000/86	500/50	3000/97	7000/99	8000/99						



張衛 チョウエイ

漢中の群雄、張魯の弟。215年、曹操の漢中攻略の際に陽平関に籠もって戦った。『演義』では陽平関を捨てて逃げた後、許都に討ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	—	70	15	10	5	3	20	25	—
1	2	3	4	5						
中立 (5)	中立 (5)	中立 (3)	曹操 (4)	—						
1000/60	4500/99	3200/75	3150/45	—						



張裔 チョウエイ

蜀の臣。劉備に従ってからは武器の製造などを担当。のちに反乱を起こした家族に捕縛され魏に送られるが、馬芝の働きで帰還した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	202	成都	55	4	5	5	20	12	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (6)	劉備 (8)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	1600/13	3000/59	4500/56						



張燕 チョウエン

強大な勢力を誇った山賊・黒山軍の頭目。反董卓連合軍に参加後、公孫瓚とともに袁紹と戦うが敗れ、のちに曹操に帰順。安国亭候になった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
143	189	—	60	16	15	9	3	17	12	—
1	2	3	4	5						
中立 (7)	中立 (9)	曹操 (9)	—	—						
1000/60	3150/87	2500/73	—	—						



張温 チョウオン

呉の臣。孫権に召し出されて224年に蜀に使者として赴く。その才は蜀の人間にも評価されたが、帰還後は孫権に遠ざけられるようになった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	207	呉	55	1	3	14	15	11	19	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫権 (5)	孫権 (3)	孫権 (8)						
500/50	500/50	3500/70	2000/52	2000/40						



張既 チョウキ

魏の武将。漢中を守り、馬騰を説得するなどの功績をあげた。『演義』では夏侯淵の推挙により召し出され、夏侯淵死後の長安をよく守り続けた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
154	189	臨晉	70	5	10	12	11	17	19	—
1	2	3	4	5						
未 (5)	曹操 (6)	曹操 (6)	曹操 (10)	—						
500/50	1050/95	1200/53	2100/47	—						



張熱 チョウケン

袁術配下の武將。197年、20万の大事を率いて呂布討伐の戦いに赴く。しかし、陳珪の策略にはまり同僚の韓馥、楊奉の裏切りにあって敗走した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	-	55	13	9	11	3	14	18	平
1	2	3	4	5						
袁術 (6)	-	-	-	-						
2250/40	-	-	-	-						



趙嚴 チョウゲン

魏の武將。荊州攻略に従ったのち、都督義軍として張遼や于禁らの軍を統括。関羽や呉との戦いで功績をあげ、曹芳の代に司空にまで昇進した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	198	許昌	75	12	13	14	18	21	19	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (1)	曹操 (3)	曹操 (6)	曹操 (13)						
500/50	600/75	1200/16	1400/60	2800/32						



張虎 チョウコ

魏の武將。張遼の子。張遼の死にあたり父の数々の功績を認められ、その後を継いで偏將軍に任ぜられた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
192	222	洛陽	60	15	13	12	8	17	18	攻
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	未 (2)	曹叡 (6)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3200/41						



張郃 チョウコウ

魏の武將。もとは袁紹の配下であったが官渡の戦いで降伏。兵法に通じた優れた将で、長らく魏を支えた。蜀との戦いのさなか、231年に戦死。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	70	22	21	18	11	22	18	攻
1	2	3	4	5						
中立 (5)	袁紹 (7)	曹操 (7)	曹操 (13)	曹叡 (8)						
1000/60	4500/60	2400/15	4000/75	7000/75						



張紇 チョウコウ

呉の重臣。孫策、孫権に仕えた。一度は曹操に召し出されて中央に赴くが、やがて呉に戻る。張昭とともに孫権の厚い信頼を得ていた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	195	東冶	45	1	6	12	27	8	18	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	孫策 (3)	孫権 (3)	-	-						
500/50	1500/90	2000/55	-	-						



張繡 チョウシュウ

董卓配下の武將、張濟の甥。のちに南陽で曹操と戦い、曹昂と典韋を戦死させる。官渡の戦いの直前に参謀の賈詡とともに曹操に投降した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
164	189	-	50	16	18	15	18	14	17	平
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	曹操 (6)	-	-	-						
4000/50	1350/55	-	-	-						



張承 チョウショウ

呉の臣。張昭の子。若いころから父譲りの才をもって知られ、孫権に仕官したのは南方異民族の討伐などにおいて功績をあげた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	204	建業	70	13	11	7	4	19	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (3)	孫権 (5)	孫権 (7)						
500/50	500/50	2000/56	3500/55	4500/72						



張昭 チョウショウ

呉の臣。孫策に招かれて陣営に加わり、孫策の死後も東呉の重鎮として張紇とともに国をよくする。曹操が南征すると、一時降伏を唱えた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	194	建業	80	1	7	14	27	20	19	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	孫策 (4)	孫権 (4)	孫権 (6)	孫権 (9)						
500/50	1750/90	3000/67	3000/56	4500/67						



張松 チョウショウ

劉璋配下の謀臣。暗愚な主君に不安を抱き、曹操、ついで劉備を益州に迎え入れるよう画策。しかしこれが劉璋に知られ、捕らえられて処刑された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	199	綿竹	55	2	4	21	7	12	9	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉璋 (3)	劉璋 (3)	-	-						
500/50	3000/65	1600/17	-	-						



張任 チョウジン

劉璋配下の武將。兵法をよく修め、劉備の蜀侵攻に臨しては誰に堪え、一年以上も持ちこたえる。敗れて捕らえられたが帰順を拒否して斬られた。

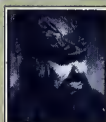
生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
148	189	-	70	20	18	16	8	21	26	率
1	2	3	4	5						
劉焉 (6)	劉璋 (9)	劉璋 (9)	-	-						
4000/76	4000/65	3500/66	-	-						



張済 チョウセイ

董卓配下の武將。王允を殺し呂布を追放する。献帝を長安から脱出させたのち、荊州攻撃中に戦死した。妻の離氏は曹操の妾となる。

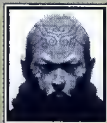
生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
149	189	—	53	15	11	13	4	15	16	回
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	—	—	—	—						
4000/50	—	—	—	—						



張南 チョウナン

袁紹配下の武將。袁紹の死後は袁熙に従うが、同僚の焦触とともに背いて曹操に投降する。袁熙と袁尚を烏丸族の領土へと追いやった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	199	南皮	60	9	8	5	1	15	18	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	—	—	—						
500/50	3000/60	—	—	—						



張邈 チョウバク

陳留太守。反董卓連合軍に参加。曹操の信頼を得ていたが、陳宮とともに背き呂布を荊州に迎える。のちに袁術に援軍の要請に行く際に戦死。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	—	63	13	12	5	6	18	15	—
1	2	3	4	5						
曹操 (5)	—	—	—	—						
1200/70	—	—	—	—						



張飛 チョウヒ

蜀の武將。劉備の旗揚げ時から付き従った。長阪橋の戦いでは手勢20騎で曹軍10万を食い止めた。夷陵の戦い直前に、部下に裏切られて死亡。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	189	—	70	28	10	8	5	23	30	必
1	2	3	4	5						
劉備 (2)	劉備 (4)	劉備 (4)	劉備 (9)	—						
100/50	3500/90	3000/99	7000/99	—						



張苞 チョウホウ

蜀の武將。張飛の長子。「演義」では父の死後、蛇矛を受け継ぎ、関興と義兄弟の契りを結ぶ。魏将郭淮との戦いのなか谷に転落、破傷風で死去。

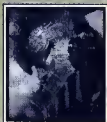
生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	219	成都	35	19	14	10	3	9	23	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (1)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/96	4500/94						



張楊 チョウヨウ

後漢末の群雄のひとり。献帝を長安から洛陽に戻す。呂布と組んだため行動をともにしたが、曹操との戦いのなか部下に裏切られて死亡。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
149	189	—	55	6	8	11	10	13	14	回
1	2	3	4	5						
中立 (6)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



張翼 チョウヨク

蜀の武將。劉備の入蜀後に諸葛亮に取り立てられて要職を歴任。蜀の滅亡後は、鍾会や姜維と魏への反逆を謀るが失敗して殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
189	208	江陽	80	16	10	13	17	24	18	平
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	劉璋 (3)	劉備 (4)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	1600/40	2000/80	4500/60						



張魯 チョウリョウ

魏の名将。呂布の麾下として活躍したのち、曹操に帰順した。人並み外れた武功と知謀の持ち主で、外様ながら重く用いられた。222年に陣没。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	194	広武	60	26	20	19	14	19	20	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (5)	曹操 (7)	曹操 (10)	—						
500/50	3500/85	2700/18	8500/82	—						



趙雲 チョウウン

劉備の征蜀中、関羽に従って荊州を守る。呂蒙の軍にはまり荊州を呉軍に奪われると、関羽らとともに脱出を図るが伏兵にあって斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
174	207	当陽	65	10	9	8	4	17	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (3)	劉備 (4)	—						
500/50	500/50	500/50	3000/53	—						



張魯 チョウロ

「五斗米道」という宗教の3代目の教祖で、漢中に独立勢力を維持する。215年に曹操の侵攻を受けて一時逃亡するが、のちに曹操に帰順する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	—	75	13	18	18	15	21	16	—
1	2	3	4	5						
中立 (7)	中立 (7)	中立 (7)	曹操 (13)	—						
1000/60	5000/99	3600/75	5600/48	—						



陳紀 チンキ

袁術配下の武将。領土問題で険悪な関係になった孫策に代わり九江に派遣された。「演義」では存存を守るが洛城し、曹操に斬首される。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
164	189	—	55	7	7	7	11	13	17	—
1	2	3	4	5						
袁術 (5)	—	—	—	—						
2000/30	—	—	—	—						



陳宮 チンキョウ

呂布配下の参謀。はじめは曹操に従ったが、呂布のもとに転じる。数々の厭策を行なうが、ついに曹操に捕らえられ、帰順を拒否して斬られた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	190	—	60	13	8	21	13	16	16	—
1	2	3	4	5						
中立 (4)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



陳矯 チンキョウ

魏の謀臣。徐州の陳登の友人。孫権の使者として中央に赴き、のちに曹操に召し出される。曹丕、曹操の代まで仕え、のちに司徒に昇進した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	207	東海	65	3	6	14	16	15	18	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	曹操 (6)	曹操 (4)	曹叡 (8)						
500/50	500/50	2400/17	2100/48	3600/27						



陳劭 チンキン

呉の武将。凌統と山越の蛮族を征伐に向かう。しかし、賊を包囲中に酒の席で凌統を侮辱したため、斬られて殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
191	203	始新	55	8	8	2	2	13	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	—	—	—						
500/50	500/50	—	—	—						



陳瑋 チンケイ

魏の臣。沛、のちに済北の相。呂布を除くために子の陳登とともに謀り、さまざまな策を用いて袁術と呂布の間を裂く。呂布の死後は曹操につく。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
147	189	—	70	1	2	15	11	16	14	—
1	2	3	4	5						
陶謙 (6)	曹操 (7)	曹操 (7)	—	—						
2800/70	1050/75	2100/11	—	—						



陳登 チントウ

魏の臣。陳瑋の子。徐州から呂布を除くため尽力した。文武ともに優れ、呉との戦いにも戦功があったが若くして病死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	194	下邳	40	7	12	13	10	8	13	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	曹操 (6)	曹操 (6)	—	—						
500/50	1350/75	2400/29	—	—						



陳武 チンブ

呉の武将。人望があり、孫権の代には偏將軍まで昇進する。215年、合肥の戦いで戦死。「演義」では濡須で、魏の崩壊に斬り殺されている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	195	舒	55	17	14	12	7	15	18	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	孫策 (4)	孫権 (6)	—	—						
500/50	1750/90	4000/63	—	—						



陳琳 チンリン

魏の臣。名文家として知られる「建安の七士」のひとり。袁紹に仕えていたが、その類まれな文才を認められて曹操に迎えられた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
148	189	—	70	2	2	12	18	17	11	—
1	2	3	4	5						
中立 (6)	袁紹 (7)	曹操 (7)	—	—						
1000/60	2000/60	2400/14	—	—						



程昱 テイイク

魏の謀臣。荀彧の推挙で曹操軍に加わる。計略を担当したほか、実際に兵を率いても実績を残す。延世術に長けた人物で、晩年は引退した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
141	189	—	80	6	10	24	19	22	15	—
1	2	3	4	5						
中立 (7)	曹操 (10)	曹操 (10)	曹操 (10)	—						
1000/60	1200/95	2400/15	1400/46	—						



程銀 テイギン

涼州の豪族で、「関中の十部」のひとり。211年の馬超と韓遂の反乱に参加するが敗戦、曹操に降伏した。「演義」では渭水の戦いで戦死する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	200	安邑	55	15	9	5	5	15	17	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	馬超 (3)	曹操 (6)	—						
500/50	500/50	1600/44	3150/44	—						



禰衡 テイコウ

後漢末の名士で、鼓の名手。巧みな弁舌をもって世に知られる。傲慢な人物で曹操の批判を繰り返したあげく、最後は江夏の黄祖に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	194	平原	50	1	1	1	1	10	7	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	-	-	-	-						
500/50	-	-	-	-						



鄭泰 テイタイ

董卓配下の臣。何進に仕えたが、諫言が容れられず退官。董卓に召し出され、議郎に任ぜられる。董卓暗殺計画が漏れて逃亡した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	40	6	6	17	14	8	17	-
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	-	-	-	-						
4000/50	-	-	-	-						



程普 テイフ

呉の武将。孫堅の代から仕え、呉軍のなかでは最年長の武将として尊敬されていた。赤壁の戦いは周瑜の副将として勝利に貢献する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	-	55	19	19	12	10	15	18	平
1	2	3	4	5						
孫堅 (4)	孫策 (4)	孫權 (7)	-	-						
1500/73	1750/90	4500/93	-	-						



丁奉 テイホウ

呉の武将。若年から活躍し、のちに魏の諸葛誕を破った功で大將軍まで昇進した。「演義」でも張遼を討ち取るなど、数々の軍功をたてている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	200	皖	90	20	17	16	9	28	18	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫權 (6)	孫權 (6)	孫權 (6)						
500/50	500/50	4000/88	3500/85	4000/94						



徹里吉 テツリキツ

「演義」のみに登場。チベットの遊牧民族である西羌の王。曹叡の代、諸葛亮の北伐に際して、郭淮からの依頼に応じて蜀に出兵し、魏を助けた。

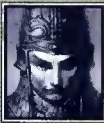
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	218	姑臧	60	16	10	10	1	17	6	攻
1	2	3	4	5						
未 (7)	未 (7)	未 (1)	未 (7)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



典章 テイン

曹操配下の武将。曹操の近衛の将として活躍する。張繡の裏切りで曹操が窮地に陥った際、獅子奮迅の働きで主君を救うが自身は戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	-	65	26	7	6	3	21	30	攻
1	2	3	4	5						
曹操 (4)	-	-	-	-						
800/80	-	-	-	-						



川礪 デンカイ

後漢末の群雄のひとり。青州刺史。界橋の戦いでは劉備とともに袁紹と戦う。その後、陳登の願いにより、曹操に攻められた陶謙を助けた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	-	55	10	9	7	8	14	18	平
1	2	3	4	5						
公孫瓚 (4)	-	-	-	-						
1750/70	-	-	-	-						



川豊 デンホウ

袁紹配下の謀臣。博学多才な人物で、数多くの諫言をする。官渡の戦いでは持久戦を唱えるが却下され、敗戦後に袁紹の怒りをかい死に。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
146	189	-	65	9	11	24	20	17	20	-
1	2	3	4	5						
袁紹 (6)	袁紹 (9)	-	-	-						
1400/70	2000/60	-	-	-						



川淳 デンジョ

魏の臣。劉備、公孫瓚に従ったのち曹操の配下に加わる。その後は地方の県令や太守を歴任、地味ながらも魏帝3代60年に渡って仕え続けた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	194	漁陽	85	14	8	11	13	25	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹操 (6)	曹叡 (7)						
500/50	900/75	1800/35	2800/45	3600/36						



鄒艾 トウガイ

魏の名将。司馬懿に見出されて昇進、のちに軍務にもつく。蜀との戦いで成都を落とし、大きな戦功を得るが、同僚の讒言に謀殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
197	232	章陵	70	16	20	25	16	20	20	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹操 (1)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	1400/50	500/50						



陶謙 トウケン

後漢末の群雄のひとり。徐州刺史。道義に反し感情に任せて行動したとされるが、『演義』では温厚な人物として描かれ、劉備に徐州を託す。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
132	189	—	65	5	14	12	17	16	12	—
1	2	3	4	5						
陶謙 (9)	—	—	—	—						
5000/60	—	—	—	—						



董卓 トウシュウ

呉の武將。黄祖との戦いで功績があり、偏將軍まで昇進した。曹操の濡須侵攻の際、暴風のなか最後まで船に乗って戦い続けたが溺死する。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	197	東冶	60	15	12	7	5	17	18	—
1	2	3	4	5						
朱 (1)	孫策 (2)	孫權 (6)	—	—						
500/50	1000/90	4000/65	—	—						



董承 トウショウ

後漢の車騎將軍で、獻帝の義理の叔父。曹操を除こうとした獻帝の勅命を受けて劉備や馬超らと曹操暗殺を謀るが失敗。一族皆殺しになった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
150	189	—	55	10	10	12	5	14	16	—
1	2	3	4	5						
董卓 (9)	曹操 (9)	—	—	—						
7000/50	2700/55	—	—	—						



董卓 トウタク

後漢末の群雄のひとり。何進の激に応じて上洛後、帝を擁し実権を握る。暴虐の限りを尽くしたが、王允の策にはまり呂布に殺害された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
139	189	—	60	19	16	10	7	18	6	—
1	2	3	4	5						
董卓 (10)	—	—	—	—						
9999/50	—	—	—	—						



馬騰 トウトツ

烏丸族の単于(王)。武勇盛んな人物で、袁熙、袁譚を保護して曹操と対峙する。しかし、207年に曹操配下の騎兵に捕らえられ、処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	194	広武	50	16	5	3	2	14	9	—
1	2	3	4	5						
朱 (5)	中立 (6)	—	—	—						
500/50	2700/56	—	—	—						



董卓那 トウトナ

『演義』にのみ登場する、南蛮の洞の長のひとり。孟獲に召し出されて阿会喃らとともに蜀軍と戦うが敗北。のちに孟獲に疑われて斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
183	215	且芸	50	13	7	5	1	13	8	防
1	2	3	4	5						
朱 (4)	朱 (4)	朱 (1)	劉備 (4)	—						
500/50	500/50	500/50	3000/29	—						



董旻 トウビン

董卓の弟で、左將軍。何進が殺された際には車騎將軍の何苗(何進の弟)を斬っている。董卓の死後に皇甫嵩に攻められて敗北し、殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
144	189	—	60	10	15	9	5	15	13	—
1	2	3	4	5						
董卓 (8)	—	—	—	—						
7500/50	—	—	—	—						



杜畿 トキ

魏の臣。河東太守として前線に兵糧を送るなど、おもに内政面で功績があった。のちに勅命によって皇帝の御座船を作るが、船が沈没し溺死。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	189	—	70	7	8	15	21	18	18	—
1	2	3	4	5						
中立 (4)	曹操 (5)	曹操 (5)	曹操 (10)	—						
1000/60	900/75	1800/26	2450/45	—						



杜襲 トシュウ

魏の謀臣。劉表の食客を経て曹操に仕官、張魯征伐のちは関中の守りにつく。諸葛亮の北伐に際しては曹真や司馬懿の輔佐をして活躍した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	197	—	70	9	9	18	20	18	18	—
1	2	3	4	5						
劉表 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹操 (7)	曹叡 (8)						
1200/59	600/55	1800/31	2450/46	3600/36						



馬玩 バガン

涼州の豪族で、『関中の十部』のひとり。211年の馬超と韓遂の反乱に参加するが敗北する。『演義』では、韓遂をかばって馬超に斬られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	207	狄道	55	15	6	5	2	15	18	平
1	2	3	4	5						
朱 (3)	朱 (3)	馬超 (3)	—	—						
500/50	500/50	1600/41	—	—						



馬休 バキユウ

馬騰の次子。父とともに上洛して蜀に住むが、211年に兄の馬超が反乱を起こしたため、曹操によって誅殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	200	姑臧	55	14	9	7	4	15	21	攻
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	—	—	—						
500/50	500/50	—	—	—						



馬謖 バシヨク

蜀の武將。馬良の弟。若年から俊才をもって知られ、諸葛亮に愛された。しかし228年の北伐で、魏の張郃に大敗し責任を問われて処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	215	襄陽	60	14	7	25	12	16	17	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (2)	劉禪 (6)						
500/50	500/50	500/50	2000/83	4000/98						



馬岱 バタイ

蜀の武將。馬騰の甥。武勇の誉れ高く、馬超に従って曹操と戦い、その後に劉備に降る。以後、蜀軍の中心的な役割を担うほど活躍した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	205	姑臧	70	18	14	13	5	21	19	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	馬超 (3)	劉備 (4)	劉禪 (9)						
500/50	500/50	1600/56	3000/93	5000/91						



馬忠 バチュウ

蜀の武將。鎮南將軍。諸葛亮の信頼が厚く、おもに遠征時の留守を守る。「演義」では南蛮征伐で初登場、北伐でも張郃を討ち取る活躍をした。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	215	梓潼	60	12	11	10	13	16	18	防
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	劉備 (4)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	500/50	2000/74	4500/92						



馬忠 バチュウ

呉の武將。荊州の戦いで城から脱出しようとした関羽親子を捕らえる。「演義」ではさらに黄忠をも討ち取るが、糜芳らに寝首をかれる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	200	曲阿	65	16	7	13	5	19	15	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫權 (3)	孫權 (4)	—						
500/50	500/50	2000/61	2000/54	—						



馬超 バチャウ

馬騰の長子。勇名は涼州から遠く益州にまで轟くほどの豪の首。211年に韓遂と結んで反乱を起こすが鎮圧され、劉備の配下となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	193	姑臧	50	28	10	6	6	16	22	率
1	2	3	4	5						
未 (3)	馬騰 (3)	馬超 (6)	劉備 (8)	—						
500/50	3000/90	5000/82	7000/99	—						



馬鉄 バテツ

馬騰の第3子。211年の馬超の反乱により、曹操によって誅殺された。「演義」では父や兄にさきがけて乱戦のなかで戦死している。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
188	204	姑臧	55	14	8	6	4	15	20	必
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	—	—	—						
500/50	500/50	—	—	—						



馬騰 バトウ

後漢末の群雄。西涼の反乱を鎮圧し征西將軍となる。その後中央に出仕するが、211年に長子の馬超が反乱を起こしたため処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	—	65	22	13	12	3	19	14	必
1	2	3	4	5						
馬騰 (7)	馬騰 (7)	—	—	—						
5000/80	5000/95	—	—	—						



馬良 バリョウ

蜀の臣。白い眉を持ち、兄弟のなかでもっとも優れていたため「白眉」の故事のもとになる。赤壁の戦い後から劉備を支え、蜀建國に貢献した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	205	襄陽	60	6	10	17	22	14	20	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	—						
500/50	500/50	500/27	2000/70	—						



潘濬 ハンシュン

呉の武將。赤壁の戦い後に劉備に従い、関羽の死後は孫權に降る。呉では武昌の守備にあたり、魏や蜀の侵攻に対しての守りを固めた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	197	武陵	70	10	8	12	12	19	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉表 (3)	未 (3)	劉備 (3)	孫權 (7)						
500/50	1500/60	500/50	2000/49	3500/77						



潘璋 ハンショウ

呉の武將。数々の戦いで戦功をあげ、右將軍にまで昇った。部下を殺して財を奪うなど無法なふるまいが多かったが、孫権は許していた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	200	濡須	65	17	12	9	13	19	14	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (3)	孫権 (6)	孫権 (8)						
500/50	500/50	3000/88	4000/51	5000/87						



樊稠 ハンチュウ

董卓配下の武將。右將軍。董卓の死後は李傕らと長安を占拠、王允を処刑して主人の仇を討つ。しかし、李傕と仲違いして謀殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
149	189	-	55	18	5	4	1	16	11	-
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	-	-	-	-						
4000/50	-	-	-	-						



費禕 ヒイ

蜀の臣。諸葛亮の死後は蜀の柱となり、大將軍として蜀を支えた。戦功にはやる姿を仰えてよく国を守ったが、253年魏の刺客の前に倒れた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
191	219	白帝城	70	9	18	17	26	18	20	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (1)	劉禪 (6)						
500/50	500/50	500/50	2000/61	4000/61						



卓衍 ヒエン

遼東の公孫淵配下の武將。237年の魏の征伐では司馬懿の軍を首山で破る。しかし、持久戦に持ち込まれ、おりしもの洪水もあって敗北した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	227	襄平	55	12	11	9	3	14	20	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	曹叡 (1)						
500/50	500/50	500/33	500/50	1600/33						



麋竺 ビジク

蜀の臣。もとは徐州の大富豪。陶謙に召し出されて出仕し、その死後は劉備に仕え、おもに内政面を担当する。妹は劉備の側室の糜夫人。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	189	-	65	5	11	15	18	16	19	-
1	2	3	4	5						
陶謙 (3)	劉備 (4)	劉備 (4)	劉備 (9)	-						
2100/70	3000/90	3000/60	4500/65	-						



麋芳 ビホウ

蜀の武將。糜竺の弟。兄とともに劉備に従い、数々の戦いに参加する。しかし関羽に反目し呉に降伏。その後蜀に戻るが許されず処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	191	東海	70	14	12	7	3	20	13	平
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉備 (2)	劉備 (3)	劉備 (3)	-						
500/50	2000/90	2000/57	2000/66	-						



傅幹 フカン

魏の臣。曹操のもとで幕僚を務め、まず参軍に任ぜられる。その後も曹操とともに各地を転戦し、最後は丞相府曹属に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	204	漆	55	5	7	16	15	12	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1200/22	1400/44	3200/30						



伏完 フクワン

後漢の献帝の后、伏皇后の父。214年に曹操によって皇后ともども殺される。「演義」では娘とともに曹操暗殺を企てるが失敗、処刑される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	60	1	1	3	9	14	14	-
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	曹操 (5)	曹操 (5)	-	-						
4000/50	1200/55	2100/22	-	-						



苻健 フケン

武都の異民族の王。236年、蜀の劉禅に命じられて部族の民とともに広都に移住する。その後蜀に背くが、251年に降伏して許されている。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	227	陰平	70	15	6	2	1	20	7	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	未 (1)	未 (3)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



傅彤 フユウ

蜀の武將。劉備に従って夷陵の戦いに参加、大敗後は殿を務めた。逃げ遅れて敵中に孤立し、呉の丁奉の降伏勧告を拒否して戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	205	新野	60	9	12	12	8	15	25	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (3)	劉備 (3)	-						
500/50	500/50	500/50	2000/61	-						



文醜 ブンシュウ

袁紹配下の武將で、顔良と並び称される猛将だった。しかし、白馬の戦いで荀攸の策にはまって戦死する。「演義」では関羽に斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	-	60	23	9	4	2	19	20	攻
1	2	3	4	5						
袁紹 (3)	袁紹 (7)	-	-	-						
3500/76	5000/60	-	-	-						



文聘 ブンヘイ

魏の武將。もと劉表の配下であったが、劉琮の降伏後は曹操に従う。魏では厚遇され、呉との戦いでの功績から後將軍に昇進した。

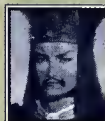
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	198	宛	55	16	16	8	12	16	21	防
1	2	3	4	5						
未 (1)	劉表 (1)	曹操 (6)	曹操 (7)	-						
500/50	1000/60	2400/20	3150/49	-						



逢紀 ホウキ

袁紹の謀臣。聡明で謀略を得意としていたが、同僚の田豊とは仲が悪かった。袁紹の死後は袁譚と袁尚の兄弟の争いに巻き込まれて殺される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	60	12	17	19	13	16	15	-
1	2	3	4	5						
袁紹 (5)	袁紹 (8)	-	-	-						
3000/68	5000/60	-	-	-						



鮑信 ホウシン

後漢末の群雄のひとり。済北の相。反董卓連合軍に参加後は曹操に協力する。青州黄巾賊との戦いのさなか、勇戦するも戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	-	55	8	9	6	12	13	20	-
1	2	3	4	5						
中立 (5)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						



法正 ホウセイ

蜀の臣。素行が悪く劉璋には嫌われたが、劉備のもとで活躍。漢中の戦いで黄忠とともに夏侯淵を討ち取っている。220年に病没した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	204	武興	45	6	16	19	17	10	8	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	劉璋 (3)	劉備 (7)	-						
500/50	500/50	1600/38	4500/77	-						



龐統 ホウトウ

蜀の謀臣。貧相な風貌の持ち主だが、諸葛亮と並び称される俊才。劉璋との戦いに従軍するが、その実力を発揮するまに誰の戦いで戦死した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
179	207	襄陽	65	7	18	29	19	16	23	-
1	2	3	4	5						
未 (4)	未 (4)	未 (4)	-	-						
500/50	500/50	500/50	-	-						



龐德 ホウトク

馬騰、馬超に仕えた武將。のちに魏に降り、于禁の配下として荊州の関羽との戦いで奮戦するが敗北。捕らえられ、降伏を拒否して斬首された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	191	襄武	60	24	17	15	12	19	19	必
1	2	3	4	5						
未 (4)	馬騰 (4)	馬超 (6)	曹操 (10)	-						
500/50	3500/90	4000/80	4500/72	-						



歩騭 ホシツ

呉の臣。孫權に召し出されて鄱陽太守となり、内政だけでなく武勳もあげた。孫權が皇帝になってからも重用され、陸遜の死後に丞相になる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
185	205	揚中	65	2	6	22	24	18	18	回
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫權 (5)	孫權 (6)	孫權 (7)						
500/50	500/50	3500/50	4000/46	4500/63						



満寵 マンチョウ

魏の臣。知勇兼備の名將。曹丕の代になると呉との戦いに専念するようになり、しばしば敵を破っている。「演義」では使者としての活躍が目立つ。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	191	昌邑	70	12	13	18	13	19	20	回
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (4)	曹操 (6)	曹操 (8)	曹叡 (9)						
500/50	1050/95	2400/16	3150/46	6000/47						



毛玠 モウカイ

魏の臣。曹操のもとでおもに人事を担当し、有能な人物を多数推挙した。だが嵇康の死に関し、不満を持ち、そのことがもとで免職になった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
158	192	陳留	60	4	7	10	18	14	18	-
1	2	3	4	5						
未 (2)	曹操 (2)	曹操 (4)	-	-						
500/50	600/75	1800/18	-	-						



孟獲 モウカク

南蛮王。『演義』にのみ登場する。蜀に反乱を起こして南蛮征伐を受けるが、連戦連敗で7度捕らえられたのち、ついに諸葛亮に心服した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
180	215	建寧	65	16	9	1	1	19	3	—
1	2	3	4	5						
未 (7)	未 (7)	未 (1)	劉備 (7)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	4500/33	3000/60						



孟達 モウタツ

蜀の武将。劉備の入蜀に貢献、宜都太守となる。しかし苦境に陥った關羽を見殺しにして敵に降伏。再び蜀に戻ろうとしたが、司馬懿に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	205	宕渠	55	22	15	16	10	17	11	政
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (4)	劉備 (5)	曹叡 (8)						
500/50	500/50	2400/56	3500/67	4500/65						



孟優 モウユウ

南蛮王孟獲の弟。『演義』にのみ登場。孟獲が2度目に捕らえられて以降に出てくるが、諸葛亮の敵ではなく幾度となく捕まら羽目となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	215	雲南	50	11	8	6	4	12	12	回
1	2	3	4	5						
未 (6)	未 (6)	未 (1)	劉備 (6)	劉禪 (6)						
500/50	500/50	500/50	4000/27	3000/48						



楊儀 ヨウギ

蜀の臣。内政の能力は高かったが偏狭な性格で、諸葛亮の死後も持統や費禕より重く用いられることはなかった。最後は平民に落とされ自殺した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
177	199	襄陽	60	9	3	15	17	15	13	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	劉表 (2)	劉備 (4)	劉備 (5)	劉禪 (7)						
500/50	1000/60	3000/56	3000/63	4500/56						



楊戲 ヨウギ

蜀の臣。才能を認められて次第に出世し、諸葛亮の死後も各地の太守などを歴任する。しかし大將軍の妾縁と仲が悪く、のちに罷免された。

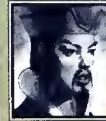
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
202	224	武陽	60	6	6	7	13	14	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉禪 (4)						
500/50	500/50	500/50	500/50	3000/59						



楊秋 ヨウシュウ

涼州の豪族で、『関中の十部』のひとり。211年の馬超の反乱に参加するが敗北し、曹操に降伏。その後、曹丕に関中の平定を命じられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	205	散関	60	15	3	1	2	17	17	必
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	馬超 (5)	曹操 (6)	—						
500/50	500/50	3500/76	3150/42	—						



楊脩 ヨウシュウ

魏の臣。楊彪の子。才気すぎるきらいがあるうえ、魏の後継者問題で曹操を支持する。結局、曹操は敗れ、罪を着せられて処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	200	滎陽	55	2	5	21	12	12	16	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (4)	—	—						
500/50	500/50	1800/19	—	—						



楊松 ヨウショウ

張魯配下の武将。『演義』にのみ登場。賄賂好きでたびたび買収され、主君を危機に陥れる。張魯が曹操に降伏後、ただひとり処刑された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	189	—	65	12	7	8	9	18	11	—
1	2	3	4	5						
中立 (3)	中立 (4)	中立 (5)	—	—						
1000/60	3500/99	2100/75	—	—						



楊任 ヨウジン

張魯配下の武将。曹操軍の侵攻時に陽平関を守るが、夜襲を受けて敗死した。『演義』では緒戦で曹操軍を破るが、最後は張郃に討ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	—	70	5	7	2	4	17	21	—
1	2	3	4	5						
中立 (3)	中立 (4)	中立 (4)	—	—						
1000/60	3500/99	1800/75	—	—						



楊彪 ヨウヒョウ

後漢末の武将。三公を歴任、董卓の専横にあっても帝を守り通す。だが、曹操が実権を握ると引退、曹丕に出仕を求められても固辞した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
142	189	—	85	3	4	11	16	22	19	—
1	2	3	4	5						
董卓 (10)	曹操 (10)	曹操 (9)	曹操 (12)	—						
5000/50	1200/55	1200/14	6300/45	—						



楊阜 ヨウフ

魏の臣。涼州を守り、馬超の反乱で韋康が殺されると復讐の機会をうかがって最後には撃退に成功する。曹叡の代には小府に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
173	201	冀	65	17	8	16	7	19	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	曹操 (4)	曹操 (6)	曹叡 (7)						
500/50	500/50	1800/61	2800/46	4500/68						



楊奉 ヨウホウ

もとは董卓配下の武将。董卓死後に李傕らと仲違いし、献帝を奉じて長安を脱出する。その後袁術、呂布と主を変え、最後は劉備に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	-	60	15	2	6	1	17	12	率
1	2	3	4	5						
董卓 (5)	-	-	-	-						
3000/50	-	-	-	-						



楊僕 ヨウボク

武部の異民族の王。劉禅の命を受けて蜀の領内に移住。同族の苻健とは違い、その後魏に降って一族とともに漢陽に移住した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	213	武興	60	14	4	1	1	16	11	-
1	2	3	4	5						
未 (6)	未 (6)	未 (6)	曹操 (7)	曹叡 (8)						
500/50	500/50	500/50	1400/45	3600/49						



雷銅 ライトウ

蜀の武将。218年武部に侵攻したが、曹操軍の反撃で敗死。「演義」では漢中侵攻時に張飛の副将として出陣し、張郃に討ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
175	205	武陽	55	18	7	9	5	16	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (3)	-	-						
500/50	500/50	1600/38	-	-						



雷薄 ライハク

袁術配下の武将。劉備に撃破された袁術が頼って落ちのひてくると、同僚の陳蘭とともに受け入れを拒否。袁術はその後に吐血して果てた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
157	189	-	55	14	4	3	6	15	14	-
1	2	3	4	5						
袁術 (5)	-	-	-	-						
4000/40	-	-	-	-						



李異 リイ

呉の武将。夷陵の戦いでは緒戦に敗れたが、その後に敗走する劉備を追撃した。「演義」ではこの戦いで関興に討ち取られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	205	柴桑	55	16	6	3	2	15	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (3)	孫権 (4)	-						
500/50	500/50	2000/59	3000/46	-						



李恢 リカイ

蜀の臣。はじめ劉璋に仕えていたが、劉備に帰順する。漢中にいた馬超を説得したほか、南蛮の異民族との戦いで功績をあげた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
176	203	建寧	60	10	13	17	13	15	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	劉璋 (4)	劉備 (5)	劉禅 (7)						
500/50	500/50	2400/36	3500/59	4500/56						



李傕 リカク

董卓配下の武将。董卓の死後、郭汜とともに長安を奪取、王允を殺害して実権を握る。しかし献帝を失って勢力が衰え、曹操に殺された。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
147	189	-	60	16	11	4	7	17	10	攻
1	2	3	4	5						
董卓 (6)	-	-	-	-						
4000/50	-	-	-	-						



李樂 リカク

河東の山賊・白波軍の頭目のひとり。献帝の長安脱出の際に、楊奉を助けて李傕を撃退している。その後は曹操に従い、征北將軍に任ぜられた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	191	弘農	40	12	7	8	9	9	14	防
1	2	3	4	5						
未 (7)	未 (8)	-	-	-						
500/50	500/55	-	-	-						



李休 リキウ

張魯配下の武将。司馬として主人を輔佐する。張魯が降伏すると曹操に取り立てられ、上党、鉅鹿の太守を歴任。最後は議郎にまで昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
162	189	-	75	3	7	6	10	19	18	-
1	2	3	4	5						
中立 (3)	中立 (4)	中立 (5)	曹操 (7)	曹叡 (7)						
1000/60	3500/99	2100/75	2800/45	3200/36						



陸績 リクセキ

呉の臣。鰓に衣着せぬ直言を孫權に疎まれて遠ざけられ、地方に左遷された。『演義』では赤壁直前の舌戦で諸葛亮に負かされる幕僚のひとり。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
187	207	居巢	35	3	6	16	14	5	20	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫權 (1)	孫權 (5)	—						
500/50	500/50	2000/63	3500/58	—						



陸遜 リクソン

呉の臣。荊州の関羽との戦いで功をあげ、夷陵の戦いでは劉備を破って呉を救う。大都督、丞相と要職を務めるが孫權に遠ざけられ、憤死。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
183	202	居巢	70	13	27	27	18	20	25	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫權 (3)	孫權 (7)	孫權 (9)						
500/50	500/50	2000/67	4000/89	4500/91						



李乾 リケン

曹操配下の武将。李典の叔父。曹操の旗揚げ時に協力し、黄巾賊や袁術との戦いで活躍する。呂布との戦いで、薛蘭らに殺された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
155	189	—	55	12	8	10	9	14	23	—
1	2	3	4	5						
曹操 (4)	—	—	—	—						
1200/70	—	—	—	—						



李嚴 リケン

蜀の臣。劉備崩御の際、諸葛亮とともに後事を託される。231年、北伐に際し兵糧輸送の任を立つて罷免された。『演義』では知勇兼备の名将。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
166	194	南郷	70	11	12	18	8	19	16	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	劉表 (5)	劉璋 (7)	劉備 (7)	劉禪 (9)						
500/50	4000/80	4500/67	4000/62	9000/59						



李儒 リジュ

董卓配下の謀臣。『後漢書』では小帝を殺害。『演義』では董卓の女婿で、楊虎の片棒を担ぐ小悪党として描かれる。董卓死後に処刑された。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
160	189	—	55	1	3	21	19	11	11	—
1	2	3	4	5						
董卓 (4)	—	—	—	—						
3500/50	—	—	—	—						



李肃 リシュク

呉の臣。人物鑑定に定評があった。孫權に取り立てられて人事を担当、のちに地方転出を願い出て桂陽太守となった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
145	198	草陵	70	11	8	10	9	19	17	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (1)	孫權 (4)	孫權 (8)	孫權 (8)						
500/50	1000/90	3000/56	3000/45	4500/60						



李典 リテン

魏の武将。古参の将として曹操とともに各地を転戦する。晩年は張遼とともに合肥を守って呉と戦った。字問を好み、謙虚な性格だったという。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
174	193	陳留	35	17	16	18	10	9	24	防
1	2	3	4	5						
未 (4)	曹操 (4)	曹操 (7)	—	—						
500/50	2800/85	2700/50	—	—						



李通 リトウ

魏の武将。手勢を連れて曹操軍に参加し、官渡の戦いなどで戦功をあげ、汝南太守に任命された。『演義』では西涼の戦いで馬超に殺される。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
169	189	—	45	21	13	14	5	13	26	—
1	2	3	4	5						
曹操 (5)	曹操 (6)	曹操 (7)	—	—						
800/80	3600/85	2400/81	—	—						



李豊 リホウ

蜀の武将。李厳の子。父をよく補佐し、李厳が失職し平民に落とされた際、諸葛亮は李豊に励ましの手紙を出している。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
190	215	武陽	65	2	4	2	17	15	23	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (2)	劉禪 (4)						
500/50	500/50	500/50	2000/58	3000/69						



劉焉 リュエ Wen

後漢末の群雄。漢王室の一門で、靈帝のとき益州牧に任ぜられる。野心家で張魯を漢中に派遣し益州を長安から遮断、独立勢力となった。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
139	189	—	55	6	15	16	18	13	12	—
1	2	3	4	5						
劉焉 (8)	—	—	—	—						
5000/70	—	—	—	—						



劉琦 リュウキ

劉表の長子だが生来病弱で、後継ぎの座を弟の劉琮に奪われる。その後、江夏守備の任につき、赤壁の戦いには劉備軍として従軍した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
181	200	襄陽	30	1	11	13	9	3	16	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	劉備 (4)	—	—						
500/50	500/50	3000/60	—	—						



劉惔 リュウグ

後漢末の群雄。漢王室の一門で、誠実な人柄から幽州の牧に昇進。一時袁紹らに皇帝に推される。のちに公孫瓚に殺されて幽州を奪われた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
134	189	—	60	3	6	7	10	14	17	—
1	2	3	4	5						
中立 (9)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



劉先 リュウサン

呉の武將。凌統の推薦で出仕、孫権からもその武功を評価されていた。幾度となく戦功をあげ左將軍に昇進するが、255年に魏との戦いで戦死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	207	東冶	85	16	8	7	5	25	19	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫権 (3)	孫権 (4)	孫権 (6)						
500/50	500/50	3000/78	3000/52	3500/66						



劉惔 リュウジュン

劉璋の子。劉備の蜀伐攻にあった際、張任とともに誰を守り、一年以上も耐え続ける。落城後、劉璋が降伏すると劉備に仕えた。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
183	205	成都	60	12	7	6	6	16	20	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	劉璋 (6)	劉備 (4)	劉禪 (8)						
500/50	500/50	4000/68	3000/68	3000/57						



劉秀 リュウショウ

劉焉の子。父の後を継いで益州を治めるが、治りに欠ける。劉備の侵攻を許し耐えきれずに降伏した。「演義」では暗愚で臆病な人物とされている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	—	60	6	14	12	8	14	16	—
1	2	3	4	5						
劉焉 (3)	劉璋 (5)	劉璋 (7)	劉備 (8)	—						
2100/70	5000/70	4000/29	4500/56	—						



劉惔 リュウゼン

劉備の子。蜀の第2代皇帝に即位するが、諸葛亮の死後、宦官を信用して国力を落とす。魏の侵攻を受けると、あっけなく降伏した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
207	223	成都	60	1	8	7	9	13	14	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	未 (1)	未 (2)	劉禪 (2)						
500/50	500/50	500/50	500/50	9999/53						



劉琮 リュウソウ

劉表の次子。母の蔡夫人の権力が強かったため、重臣の蔡瑁によって後継者に推される。しかし曹操が荊州に侵攻すると、戦わずに降伏した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
192	206	襄陽	55	5	9	14	11	12	18	—
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	曹操 (3)	曹操 (3)	—						
500/50	500/50	1200/23	1400/43	—						



劉岱 リュウタイ

後漢末の群雄。兗州刺史で、反董卓連合軍に参加後、青州黄巾賊と戦って戦死する。「演義」では曹操に従い、徐州の劉備と戦うが敗れている。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
153	189	—	50	11	9	8	3	12	20	攻
1	2	3	4	5						
中立 (6)	—	—	—	—						
1000/60	—	—	—	—						



劉備 リュウビ

蜀の初代皇帝。人徳をもって知られる英雄。旗揚げ後は領土を持たず各地を流浪するが、諸葛亮を得て荊州を確保。漢中王を経て蜀を建国する。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	189	—	65	17	10	11	19	19	15	防
1	2	3	4	5						
劉備 (4)	劉備 (7)	劉備 (7)	劉備 (11)	—						
100/50	5000/95	5000/94	8000/99	—						



劉表 リュウヒョウ

後漢末の群雄。190年荊州に刺史として赴任、實政をいた。優柔不断の性格から後継者問題に決着をつけないまま、208年病死した。

生	没	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
152	189	—	60	13	16	15	20	16	12	—
1	2	3	4	5						
劉表 (8)	劉表 (9)	—	—	—						
5000/60	2500/65	—	—	—						



劉翬 リュウヘキ

黄巾賊の將。汝南に一大勢力を築くが曹操に降伏、官渡の戦いでは袁紹方に寝返る。「演義」では劉備に従うが曹操軍の高覧に斬られる。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	189	—	55	15	5	4	1	15	8	平
1	2	3	4	5						
中立 (5)	曹操 (5)	—	—	—						
1000/60	1050/55	—	—	—						



劉封 リュウホウ

劉備の養子。荊州の関羽が苦境に陥った際に、援軍派遣を拒否し関羽を死なす。さらに孟達が魏に裏切った責任を取らされて自害した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
182	204	新野	55	15	14	10	5	15	13	攻
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	劉備 (3)	劉備 (4)	—						
500/60	500/50	2000/72	3000/83	—						



劉暉 リュウヨウ

魏の謀臣。漢王室の一門にありながら曹操、曹丕、曹芳の3代に渡って仕えた。孟達や公孫淵の離反を予言するなど、人を見る目が確かだった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
156	196	淮南	75	5	9	20	17	19	21	—
1	2	3	4	5						
未 (5)	曹操 (7)	曹操 (7)	曹操 (11)	—						
500/60	900/75	1200/26	1400/46	—						



廖化 リョウカ

蜀の武将。関羽の死後は呉に降るがのち蜀に帰順する。その後は北伐で活躍し、蜀滅亡まで戦い続けた。263年、洛陽に移住する途中で死去。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
189	215	襄陽	75	15	8	14	12	22	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (3)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	2000/89	4000/88						



梁習 リョウシュウ

魏の臣。曹操に召し出されて各地の県令を歴任し、并州刺史となる。以後21年間并州をよく治め、曹丕の代に申門亭侯。のち大司農に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	194	陳	65	6	6	12	23	16	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	曹操 (2)	曹操 (5)	曹操 (8)	曹操 (14)						
500/50	600/75	2100/21	3150/46	3600/33						



凌操 リョウソウ

呉の武将。孫策旗揚げ時から主力として戦い、主君をよく助けた。孫策の死後、江夏を攻めた際に、まだ黄祖の配下だった甘寧に射殺される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
171	195	呉	55	18	10	8	8	16	19	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (6)	—	—	—						
500/50	4000/90	—	—	—						



凌統 リョウトウ

呉の武将。凌操の子。歴戦で活躍を見せ偏将軍にまで昇進した。「演義」では父の仇の甘寧を憎むが、彼に助けられたのち親交を結ぶ。

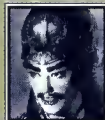
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
194	204	呉	50	19	11	12	8	14	19	—
1	2	3	4	5						
未 (2)	未 (2)	孫権 (4)	孫権 (5)	孫権 (6)						
500/50	500/50	3000/88	3500/86	4000/82						



廖立 リョウリツ

蜀の臣。麇統に劣らぬ才の持ち主と評された。劉禪には軽んじられ、朝政や先主への批判を行なったため庶民に落とされて流罪となった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
179	209	武陵	45	8	8	14	9	10	18	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	劉備 (4)	劉禪 (7)						
500/50	500/50	500/50	3000/77	3500/59						



呂布 リョケン

魏の武将。精兵を組織して山賊や黄巾賊の頭目に活躍、泰山太守となる。曹丕の代には徐州刺史を務め、地味ながらも長らく魏を支えた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
163	194	陳留	70	14	14	11	13	20	18	平
1	2	3	4	5						
未 (3)	曹操 (3)	曹操 (4)	曹操 (7)	—						
500/60	1200/95	1800/41	2450/47	—						



呂曠 リョコウ

袁紹配下の武将。袁紹の死後は袁尚に従うが、曹操に降伏。のちに袁譚に離反を促されるが拒否する。「演義」では趙雲に殺される。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
168	194	南皮	60	10	6	4	4	15	14	—
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	—	—	—						
500/50	3000/60	—	—	—						



呂翔 リョショウ

袁紹配下の武将。袁紹の死後に呂曠とともに曹操に降伏する。「演義」では呂曠の弟となっており、劉備との戦いで張飛に殺される。

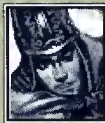
生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
170	194	南皮	65	10	7	3	4	17	14	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	袁紹 (3)	-	-	-						
500/50	3000/80	-	-	-						



呂岱 リョタイ

呉の武将。孫権の信頼を得て、おもに交州方面の賊の反乱鎮圧に功績をあげる。安南將軍、鎮南將軍に任ぜられた後、大司馬に昇進した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
161	200	淮陰	95	11	12	15	9	27	18	-
1	2	3	4	5						
未 (3)	未 (3)	孫権 (6)	孫権 (7)	孫権 (8)						
500/60	500/50	4000/87	4500/46	7500/74						



呂範 リョハン

呉の臣。孫策に従って江東平定に貢献する。赤壁の戦いでは曹操軍をよく防いだ。のち大司馬にまで昇進するが、印綬が届かぬうちに病死。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
165	194	西陽	65	9	10	15	10	17	18	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	孫権 (6)	孫権 (7)	孫権 (7)						
500/60	1500/90	4000/77	4500/47	4500/78						



呂布 リョフ

後漢末の武将。天下無双の武人で、三国時代最強と謳われる。裏切りに裏切りを重ねた末、各地を流転し、最後は下邳で曹操に敗れて斬られた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
159	189	-	60	30	15	1	1	20	8	必
1	2	3	4	5						
董卓 (7)	-	-	-	-						
5000/90	-	-	-	-						



呂蒙 リョモウ

呉の武将。周瑜の死後、軍を統率する。はじめ武勇一辺倒の将であったが、学問を修めて大きく成長し、関羽を討つなど数々の戦功をあげた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
178	194	新息	45	20	23	26	13	13	24	攻
1	2	3	4	5						
未 (1)	孫策 (3)	孫権 (5)	孫権 (10)	-						
500/50	1500/90	3500/90	4500/89	-						



魯淑 ロシュク

呉の臣。魯肃の子。武昌督に任ぜられ、そのち夏江督となる。父譲りの性格で、どの任地でも厳格な政治を執り行なった。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
200	235	建業	65	9	12	12	20	17	21	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)	未 (1)						
500/50	500/50	500/50	500/50	500/50						



魯肅 ロシュク

呉の臣。親交のあった周瑜によって推挙される。赤壁の戦いでは劉備と結んで呉を勝利に導く。217年に死去するまで蜀との友好に努めた。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
172	200	建業	50	13	20	23	28	13	24	-
1	2	3	4	5						
未 (1)	未 (1)	孫権 (5)	-	-						
500/50	500/50	3500/94	-	-						



盧植 ロシヨク

後漢末の高名な儒学者。禁書「後漢記」の改訂にあたったほか、黄巾賊討伐でも功があった。董卓の獻帝擁立に反対して罷免され、引退した。

生	登	都市	寿	武	統	知	政	健	忠	騎
147	189	-	45	15	24	18	16	12	20	-
1	2	3	4	5						
中立 (6)	-	-	-	-						
1000/60	-	-	-	-						

親族武将一覧

新たに登場する武将の中には、データと違う都市に登場する武将がいる。それは、親族として扱われる武将と同じ都市に登場するためだ。ここでそのような武将を一覧にした。

武将	読み	武将	読み	関係	登場年	掲載P
袁術	エンジュツ	袁耀	エンヨウ	子	194	100
袁紹	エンショウ	袁熙	エンキ	子	193	99
		袁尚	エンショウ	子	194	100
王允	オウイン	王凌	オウリョウ	甥	194	100
夏侯淵	カコウエン	夏侯尚	カコウショウ	甥	204	105
		夏侯衡	カコウコウ	子	207	105
		夏侯栄	カコウエイ	子	219	105
		夏侯霸	カコウハ	子	227	106
夏侯惇	カコウトン	夏侯楙	カコウボウ	子	227	106
関羽	カンウ	周倉	シュウソウ	師弟	197	115
		関平	カンヘイ	養子	207	108
		関策	カンサク	子	218	107
		関興	カンコウ	子	228	107
韓当	カントウ	韓綜	カンジュウ	子	215	108
高幹	コウカン	高柔	コウジュウ	従弟	198	112
公孫度	コウソンタク	公孫恭	コウソンキョウ	子	200	112
		公孫康	コウソンコウ	子	200	113
		公孫淵	コウソンエン	孫	227	112
司馬懿	シバイ	司馬師	シバシ	子	227	115
		司馬昭	シバショウ	子	228	115
司馬朗	シバロウ	司馬懿	シバイ	子	198	115
朱治	シュチ	朱然	シュゼン	養子	200	116
鍾繇	ショウヨウ	鍾会	ショウカイ	子	249	117
向朗	ショウロウ	向寵	ショウチュウ	甥	209	117
諸葛瑾	ショカツキン	諸葛恪	ショカツカク	子	227	118
諸葛亮	ショカツリョウ	諸葛均	ショカツキン	弟	213	118
		諸葛喬	ショカツキョウ	養子	227	118
申耽	シンタン	申儀	シンギ	弟	215	119
辛評	シンヒョウ	辛毗	シンヒ	弟	200	119
曹真	ソウジン	曹爽	ソウソウ	子	227	121
曹仁	ソウジン	曹純	ソウジュン	弟	194	121
曹操	ソウソウ	曹安民	ソウアンミン	甥	196	120
		曹昂	ソウコウ	子	196	121
		曹彰	ソウショウ	子	207	121
		曹真	ソウシン	養子	207	121
		曹冲	ソウチュウ	子	207	121
		曹丕	ソウヒ	子	207	122
		曹植	ソウシヨク	子	215	121
曹丕	ソウヒ	曹叅	ソウエイ	子	226	121
孫河	ソンカ	孫紹	ソンショウ	甥	206	123
孫堅	ソンケン	孫策	ソンサク	子	194	123
		孫翊	ソンヨク	弟	203	123
		孫登	ソントウ	子	228	123
孫權	ソンケン	孫瑜	シュユ	義弟	194	115

武将	読み	武将	読み	関係	登場年	掲載P
孫策	ソンサク	孫權	ソンケン	弟	199	123
		孫紹	ソンショウ	子	210	123
孫靜	ソンセイ	孫瑜	ソンユ	子	203	123
太史慈	タイシジ	太史享	タイシキョウ	子	215	123
張郃	チョウヒ	張苞	チョウホウ	子	219	126
張遼	チョウリョウ	張虎	チョウコ	子	222	125
陳珪	チンケイ	陳登	チントウ	子	194	127
糜竺	ビジク	糜芳	ヒホウ	弟	191	131
孟獲	モウカク	祝融夫人	シュウリョウフジン	妻	215	116
		孟優	モウユウ	弟	215	133
李乾	リケン	李典	リテン	甥	193	135
李嚴	リケン	李豊	リホウ	子	215	135
劉琦	リウキョウ	劉循	リウジュン	子	205	136
劉備	リウビ	劉封	リウホウ	養子	204	137
		劉禪	リウセン	子	223	136
劉表	リウヒョウ	劉琦	リウキ	子	200	136
		劉琮	リウソウ	子	206	136
魯淑	ロシュク	魯淑	ロシュク	子	235	138

諸葛一族の三国志

諸葛一族は、三国時代になり突然脚光を浴びた一族である。

そもそも「諸葛」という姓が歴史上に初めて登場するのは、前漢の元帝時代の司隸校尉・諸葛豐という人物である。彼は剛直な性格で、法を犯す者はたとえ高官であっても容赦せず、それが元で官位を剥奪されることになる。この人物の徹底した法家思想が、どこか諸葛亮と似たイメージをほうふつさせてくれる。

さて諸葛一族が三国時代を動かしたことを証明する一書に、「諸葛氏の兄瑾、弟誕、並びて令名あり。各々一國にあるが故、人によって曰く、蜀は龍を得たり、呉は虎を得たり、而して、魏はその狗を得たり」とある。記されている中で諸葛誕のみが「狗」というのはかなりひどいが、これは諸葛誕が叛乱を起こして殺されたため、このような酷評になってしまったのであろう。特に血縁のコネがあるわけでもなく、また実力がものをいう三国時代において、諸葛瑾は呉の大將軍に、弟の諸葛亮は蜀の丞相に、同郷の一族である諸葛誕は魏の司空の地位にまで昇りつめたわけだから、まさに時代を動かした一族といっても過言ではないだろう。

そんな諸葛一族ではあるが、活躍は一瞬でしかなかった。諸葛一族のその後を追ってみると、まず諸葛瑾の息子・諸葛恪は才多く、父諸葛瑾亡き後の呉の国政全般に関与するが、政權抗争に巻き込まれ一族もろとも横死してしまう。諸葛亮は諸葛瑾の次子・諸葛喬を養子とするが、25才の若さで早死し、実子・諸葛瞻は魏の征蜀軍と戦い息子・諸葛尚とともに敗死。「狗」と称された諸葛誕の孫・諸葛恢だけが司馬氏の東晋に仕え、功多く博陵亭侯に封じられ「髮黒き宰相」と称えられる人物となった。この人物だけが後世で活躍した唯一なのである。



登場年別武将一覧

登場年別武将一覧

新たに登場する武将を、登場年別に逆引きできるように一覧にしてある。もちろん戦史によっては、すでにいずれかの君主に属している武将もいるので、「登場武将一覧」と合わせて使ってほしい。

登場年	登場武将	読み	登場都市	読み	掲載P
189	於夫羅	オフラ	平陽	ヘイヨウ	103
	吉本	キツホン	長安	チョウアン	109
	張既	チョウキ	臨晋	リンシン	124
	高覽	コウラン	冀武	シヨウブ	113
191	荀武	ジュンイク	許昌	キョショウ	116
	太史慈	タイシジ	即墨	ソクボク	124
	龐芳	ビホウ	東海	トウカイ	131
	龐徳	ホウトク	襄武	ジョウブ	132
	滿寵	マンチョウ	昌邑	シヨウユウ	132
	李樂	リガク	弘農	コウノウ	134
	韓徳	キョウト	新息	シンソク	109
	孫邵	ソンショウ	曲阿	キョクア	123
192	毛玠	モウカイ	陳留	チンリョウ	132
	袁熙	エンキ	南皮	ナンヒ	99
	嚴幹	ゲンカン	長安	チョウアン	110
	馬超	バチョウ	姑臧	コゾウ	130
193	李典	リテン	陳留	チンリョウ	135
	袁尚	エンショウ	南皮	ナンヒ	100
	閻圃	エンホ	南郡	ナンテイ	100
	袁耀	エンヨウ	汝南	ジョナン	100
194	王粲	オウサン	武關	フカン	100
	王凌	オウリョウ	茲氏	ジシ	102
	王素	オウスイ	綿竹	メンチク	103
	郭嘉	カクカ	許昌	キョショウ	104
	許褚	キョチョ	沛	ハイ	110
	秦招	ケンショウ	鉅鹿	キョロク	111
	嚴象	ゲンショウ	長安	チョウアン	111
	顧雍	コヨウ	呉	ゴ	114
	周瑾	シュウキン	居巢	キョソウ	115
	朱靈	シュレイ	平原	ヘイゲン	116
	荀攸	シュウキ	壽春	ジュシュン	117
	焦触	シヨウショク	信都	シント	117
	徐宣	シュゼン	滎陽	ジュシュ	119
	辛評	シンヒョウ	陽平	ヨウヘイ	119
	曹純	ソウジュン	陳留	チンリョウ	121
	孫乾	ソンケン	劇	ゲキ	122
	孫策	ソンサク	曲阿	キョクア	123
	張昭	チョウショウ	建業	ケンギョウ	125
	張遼	チョウリョウ	広武	コウブ	126
	陳登	チントウ	下邳	カヒ	127
	權衡	デイクウ	平原	ヘイゲン	128
	田于	テンヨ	漁陽	ギョヨウ	128
	蹋頓	トウトツ	広武	コウブ	129
	李嚴	リゲン	南郷	ナンゴウ	135
	梁習	リョウシュウ	陳	チン	137
195	呂虔	リョケン	陳留	チンリョウ	137
	呂曠	リョコウ	南皮	ナンヒ	137
	呂翔	リョショウ	南皮	ナンヒ	138
	呂範	リョハン	西陽	セイヨウ	138
	呂蒙	リョモウ	新息	シンソク	138
	司馬朗	シバロウ	懷	カイ	115
	荀攸	ジュンイク	洛陽	ラクヨウ	116
	張鉉	チョウチュウ	東冶	トウチ	125
196	陳武	チンブ	舒	ジョ	127
	凌操	リョウソウ	呉	ゴ	137
	曹安民	ソウアンミン	陳留	チンリョウ	120
	宋謙	ソウケン	建業	ケンギョウ	120
197	曹昂	ソウオウ	陳留	チンリョウ	120
	賀正	リョウシュウ	淮南	ワイナン	137

登場年	登場武将	読み	登場都市	読み	掲載P
197	甘寧	カンネイ	陸口	リクコウ	108
	胡綜	コソウ	安豊	アンホウ	114
	周倉	シュウソウ	宜陽	センヨウ	115
	淳于丹	ジュンユタン	臨湘	リンショウ	116
198	董襲	トウシュウ	東冶	トウチ	129
	潘濬	ハンシュン	武陵	ブリョウ	130
	高柔	コウジュウ	南皮	ナンヒ	112
	侯選	コウセン	姑臧	コゾウ	112
	司馬懿	シバイ	宜陽	センヨウ	115
	卓膺	タクヨウ	桂陽	ケイヨウ	124
	趙雲	チョウゲン	許昌	キョショウ	125
	文聘	ブンペイ	宛	エン	132
199	李嚴	リシユク	章陵	ショウリョウ	135
	王靈	オウレイ	下辨	カペン	103
	夏侯恩	カコウオン	許昌	キョショウ	105
	魏延	ゲイエン	新野	シンヤ	109
200	徐奕	ジョエキ	東冶	トウチ	118
	孫權	ソンケン	丹陽	タンヨウ	123
	張松	チョウショウ	綿竹	メンチク	125
	張南	チョウナン	南皮	ナンヒ	126
	楊儀	ヨウギ	襄陽	ジョウヨウ	133
	韋康	イコウ	長安	チョウアン	98
	閻溫	エンオン	張掖	チョウエキ	99
	王昶	オウチャウ	晉陽	シンヨウ	102
201	王甫	オウホ	雒	ラク	102
	王達	オウレン	宛	エン	103
	溫恢	オンカイ	茲氏	ジシ	103
	閻汜	カンタク	東冶	トウチ	108
	黃權	コウケン	容樂	トウキョ	112
	公孫恭	コウソンキョウ	襄平	ジョウハイ	112
	公孫康	コウソンコウ	襄平	ジョウハイ	113
	呉異	ゴシツ	濟北	セイナン	114
	朱桓	シュカン	呉	ゴ	116
	朱然	シュゼン	建業	ケンギョウ	116
	徐盛	ジョセイ	江夏	コウカ	118
	辛毗	シンヒ	許昌	キョショウ	119
	程銀	テイギン	安邑	アンユウ	127
	丁奉	テイホウ	皖	カン	128
	馬休	バキョウ	姑臧	コゾウ	130
	馬忠	バチョウ	曲阿	キョクア	130
	潘璋	ハンショウ	滎陽	ジュシュ	131
	楊旌	ヨウシュウ	漁陽	ドウカン	133
	劉琦	リョウキ	襄陽	ジョウヨウ	136
	呂岱	リョタイ	淮陰	ワイイン	138
	魯肅	ロシュク	建業	ケンギョウ	138
202	沈友	シンユウ	攝中	ヨウチュウ	119
	楊奉	ヨウフ	冀	キ	134
	霍峻	カクジュン	江陵	コウリョウ	104
	張高	チョウエイ	成都	セイト	124
203	陸遜	リクソン	居巢	キョソウ	135
	殷署	インショ	長安	チョウアン	98
	毋丘興	カンキョウコウ	安邑	アンユウ	107
	孫權	ソンユク	曲阿	キョクア	123
	孫翊	ソンイク	呉	ゴ	123
	陳勳	チンキン	始新	シシン	127
	李恢	リカイ	建業	ケンギョウ	134
	夏侯尚	カコウショウ	陳留	チンリョウ	105
204	諸葛瑾	ショカヅキン	呉	ゴ	118
	徐徽	ジョハク	荊	ケイ	119

登場年	登場武将	読み	登場都市	読み	掲載P
204	張承	チョウショウ	建業	ケンギョウ	125
	馬鉄	バテツ	姑臧	コゾウ	130
	傅幹	フカン	漆	シツ	131
	法正	ホウセイ	武興	ブコウ	132
	劉封	リュウホウ	新野	シンヤ	137
	凌統	リョウトウ	呉	ゴ	137
205	馬岱	バタイ	姑臧	コゾウ	130
	馬良	バリョウ	襄陽	ジョウヨウ	130
	傅彤	フウウ	新野	シンヤ	131
	步騭	ホシツ	揚中	ヨウチュウ	132
	孟達	モウタツ	宕渠	トウキョ	133
	楊秋	ヨウシュウ	散關	サンカン	133
	雷銅	ライドウ	武陽	ブヨウ	134
	李異	リイ	樂桑	サイソウ	134
206	劉循	リュウジュン	成都	セイト	136
	嚴匡	ゲンキョウ	許昌	キョショウ	110
207	孫紹	ソンショウ	皖	カン	123
	劉琮	リュウソウ	襄陽	ジョウヨウ	136
207	王士	オウシ	雒	ラク	101
	王平	オウヘイ	江陽	コウヨウ	102
	王達	カキ	臨邛	リンシ	104
	郭昭	カクショウ	晋陽	シンヨウ	104
	郭淮	カクワイ	平原	ヘイゲン	105
	夏侯衡	カコウコウ	許昌	キョショウ	105
	何祐	カシ	成都	セイト	106
	閔平	カンヘイ	新野	シンヤ	108
	趙雲	キクエン	姑臧	コゾウ	109
	嚴畯	ゲンジュン	彭城	ホウジョウ	111
	吳班	ゴハン	陳留	チンリョウ	114
	蔣濟	ショウセイ	壽春	ジュシュン	117
	諸葛亮	ショカツリョウ	襄陽	ジョウヨウ	118
	徐庶	ジョシュ	南郷	ナンコウ	118
	蔣綜	セツソウ	合肥	ゴウヒ	120
	曹彰	ソウショウ	許昌	キョショウ	121
	曹真	ソウシン	許昌	キョショウ	121
	曹沖	ソウチュウ	許昌	キョショウ	121
	曹丕	ソウヒ	許昌	キョショウ	122
	孫則	ソノク	郿	ビ	122
	張溫	チョウオン	呉	ゴ	124
	趙雲	チョウルイ	当陽	トウヨウ	126
	陳矯	チンキョウ	東海	トウカイ	127
	馬玩	バガン	狄道	テキドウ	129
	龐統	ホウトウ	襄陽	ジョウヨウ	132
	糜橫	リクセキ	居巢	キョソウ	135
	留贊	リュウサン	東冶	トウチ	136
208	司馬徽	シバキ	宛	エン	115
	張翼	チョウヨク	江陽	コウヨウ	126
209	向寵	ショウチュウ	襄陽	ジョウヨウ	117
	廖立	リョウリツ	武陵	ブリョウ	137
210	尹默	インモク	章陵	ショウリョウ	99
	王双	オウソウ	彭城	ホウジョウ	102
	孫紹	ソンショウ	丹陽	タンヨウ	123
212	申耽	シンタン	上庸	ジョウヨウ	119
213	諸葛均	ショカツキン	襄陽	ジョウヨウ	118
	宗預	ソウヨ	章陵	ショウリョウ	122
214	楊僕	ヨウボク	武興	ブコウ	134
	龐參	シンフク	綿竹	メンチク	119
215	阿含咄	アカナン	且芸	ジャラン	98
	何晏	カアン	許昌	キョショウ	103
	何比能	カヒノウ	代	ダイ	106
	韓綜	カンソウ	泉陵	センリョウ	108

登場年	登場武将	読み	登場都市	読み	掲載P
215	金環三結	キンカンサンケツ	許昌	ソウカ	110
	嚴圭	ゲンケイ	朱城	シュジョウ	111
	高翔	コウショウ	桂	ラク	112
	吾榮	ゴサン	宜春	フシュン	113
	胡質	コシツ	壽春	ジュシュン	114
	周訪	シュウホウ	鄱陽	ハンヨウ	115
	朱模	シュモ	呉	ゴ	116
	祝融夫人	シュクユウフジン	建寧	ケンネイ	116
	蔣疾	ショウエン	泉陵	センリョウ	117
	申儀	シンギ	上庸	ジョウヨウ	119
	鮮于丹	センユタン	曲阿	キョクア	120
	全琮	ゼンソウ	宜春	フシュン	120
	曹植	ソウシヨク	許昌	キョショウ	121
	太史享	タイシキョウ	東冶	トウチ	123
	董奉那	トウトナ	且芸	ジャラン	129
	馬護	バショク	襄陽	ジョウヨウ	130
	馬忠	バチュウ	梓潼	シカン	130
	孟獲	モウカク	建寧	ケンネイ	133
217	孟獲	モウユウ	雲南	ウンナン	133
	李農	リホウ	武陽	ブヨウ	135
	廖化	リョウカ	襄陽	ジョウヨウ	137
	王康	オウシュク	許昌	キョショウ	101
	去卑	キョヒ	酒泉	シュセン	110
218	越吉	エツキツ	姑臧	コゾウ	99
	閔策	カンサク	襄陽	ジョウヨウ	107
	沙摩柯	サマカ	建寧	ケンネイ	115
	董里吉	テツリキツ	姑臧	コゾウ	128
219	夏侯榮	カコウエイ	南郷	ナンコウ	105
	張苞	チョウボウ	成都	セイト	126
	費禕	ヒイ	白帝城	ハクテイジョウ	131
221	閻宇	エンウ	江陵	コウリョウ	99
222	張虎	チョウコ	洛陽	ラクヨウ	125
223	劉祥	リュウゼン	成都	セイト	136
224	管輅	カンロ	平原	ヘイゲン	108
	楊彪	ヨウビ	武陽	ブヨウ	133
226	姜維	キョウイ	冀	キ	109
	曹叡	ソウエイ	洛陽	ラクヨウ	120
227	王濬	オウジュン	弘農	コウノウ	101
	郭脩	カクシュウ	姑臧	コゾウ	104
	夏侯霸	カコウハ	長安	チョウアン	106
	夏侯楙	カコウボウ	居巢	キョソウ	106
	蝦連塞	ガシャサイ	狄道	テキドウ	106
	毋丘俊	カンキウケン	安邑	アンユウ	107
	郤正	ゲキセイ	成都	セイト	110
	公孫淵	コウソンエン	襄平	ジョウヘイ	112
	司馬師	シバシ	洛陽	ラクヨウ	115
	鍾周	ショウシュウ	梓潼	シカン	117
	諸葛恪	ショカツカク	呉	ゴ	118
	諸葛喬	ショカツキョウ	呉	ゴ	118
	曹爽	ソウソウ	洛陽	ラクヨウ	121
	治無戴	チブタイ	酒泉	シュセン	124
	車衍	ヒエン	襄平	ジョウヘイ	131
	符健	フケン	陰平	インヘイ	131
	閔興	カンコウ	公安	コウアン	107
228	司馬昭	シバシロウ	洛陽	ラクヨウ	115
	孫資	ソウシ	建寧	ケンギョウ	123
232	鄧艾	トウガイ	章陵	ショウリョウ	128
234	阮籍	ゲンセキ	許昌	キョショウ	111
235	魯淑	ロシュク	建寧	ケンギョウ	138
249	鍾会	ショウカイ	許昌	キョショウ	117

都市別登場武将一覧

各都市別に、新たに登場する武将を逆引きできるように一覧にまとめた。「登場年別武将一覧」同様、「登場武将一覧」を参考にするとともに、「親族武将一覧」も合わせて参考にしてほしい。

登場都市	読み	登場年	登場武将	読み	掲載P
安豊	アンホウ	197	胡蝶	コソウ	114
安邑	アンユウ	200	程銀	テイギン	127
		203	毋丘興	カンキョウコウ	107
		227	毋丘俊	カンキョウケン	107
陰平	インヘイ	227	苻健	フケン	131
雲南	ウンナン	215	孟優	モウユウ	133
宛	エン	198	文聘	ブンヘイ	132
		200	王濬	オウレン	103
		208	司馬徽	シバキ	115
懐	カイ	195	司馬朗	シバロウ	115
下邳	カヒ	194	陳登	チントウ	127
下邳	カベン	199	王登	オウレイ	103
皖	カン	200	丁奉	テイホウ	128
		206	孫韶	ソンショウ	123
冀	キ	201	楊阜	ヨウフ	134
		226	姜維	キョウイ	109
曲阿	キョクア	192	孫邵	ソンショウ	123
		194	孫策	ソンサク	123
		200	馬忠	バチュウ	130
		203	孫瑜	ソンユ	123
		215	鮮于丹	センウタン	120
許昌	キョショウ	191	荀彧	ジュンイク	116
		194	郭嘉	カクカ	104
		198	趙雲	チョウゲン	125
		199	夏侯恩	カコウオン	105
		200	辛毗	シンヒ	119
		206	嚴匡	ゲンキョウ	110
		207	夏侯衡	カコウコウ	105
		207	曹彰	ソウショウ	121
		207	曹真	ソウシン	121
		207	曹冲	ソウチュウ	121
		207	曹丕	ソウヒ	122
		215	何晏	カアン	103
		215	曹植	ソウショク	121
		217	王肅	オウシュク	101
		234	阮籍	ゲンセキ	111
		249	鍾会	ショウカイ	117
居巢	キョソウ	194	周瑜	シュウユ	115
		202	陸遜	リクソン	135
		207	陸績	リクセキ	135
		227	夏侯楙	カコウホウ	106
漁陽	ギョウユウ	194	田疋	デンヨ	128
鉅鹿	キョロク	194	牽招	ケンショウ	111
緱	ケイ	204	徐邈	ジョバク	119
桂陽	ケイユウ	198	卓廣	タクヨウ	124
颍川	ゲキ	194	孫乾	ソンケン	122
建業	ケンギョウ	194	張昭	チョウショウ	125
		196	宋謙	ソウケン	120
		200	朱然	シュゼン	116
		200	魯肅	ロシュ	138
		204	張承	チョウショウ	125
		228	孫登	ソントウ	123
		235	魯淑	ロシュ	138
建寧	ケンネイ	203	李恢	リカイ	134
		215	祝融夫人	シュウユウフジン	116
		215	孟獲	モウカク	133
		218	沙摩柯	サマカ	115
呉	ゴ	194	顧雍	コヨウ	114
		195	凌操	リョウソウ	137

登場都市	読み	登場年	登場武将	読み	掲載P
呉	ゴ	200	朱桓	シュカン	116
		203	孫翊	ソンヨク	123
		204	諸葛瑾	ショカツキン	118
		204	凌統	リョウトウ	137
		207	張温	チョウオン	124
		215	朱提	シュキョ	116
		227	諸葛恪	ショカツカク	118
		227	諸葛番	ショカツコウ	118
公安	コウアン	228	糜興	カンコウ	107
江夏	コウカ	200	徐盛	ジョセイ	118
弘農	コウノウ	191	李樂	リカク	134
		227	王濬	オウシュン	101
合肥	ゴウヒ	207	薛綜	セツソウ	120
広武	コウフ	194	張遼	チョウリョウ	126
		194	蹋頓	トウトツ	129
江陽	コウヨウ	207	王平	オウヘイ	102
		208	張翼	チョウヨク	126
江陵	コウリョウ	202	霍峻	カクシュン	104
		221	閭宇	エンウ	99
姑臧	コソウ	193	馬超	バチョウ	130
		198	侯選	コウセン	112
		200	馬休	バキョウ	130
		204	馬鉄	バテツ	130
		205	馬岱	バタイ	130
		207	麴演	キクエン	109
		218	越吉	エツキツ	99
		218	徹里吉	テツリキツ	128
		227	郭備	カクシュウ	104
柴桑	サイソウ	205	李異	リイ	134
散關	サンカン	205	楊秋	ヨウシュウ	133
梓潼	シカン	215	馬忠	バチュウ	130
		227	譚固	ショウシュウ	117
茲氏	ジシ	194	王凌	オウリョウ	102
		200	温恢	オンカイ	103
始新	シンシン	203	陳動	チンキン	127
漆	シツ	204	傅幹	フカン	131
且芸	シャラン	215	阿会喃	アカイナン	98
		215	董奉那	トウトナ	129
濡須	ジュシュ	194	徐宣	ジョセン	119
		200	潘璋	ハンショウ	131
壽春	ジュシュン	194	蔣欽	ショウキン	117
		207	程潛	ショウセイ	117
		215	胡質	コシツ	114
朱城	シュジョウ	215	嚴圭	ケンケイ	111
酒泉	シュゼン	217	去卑	キョヒ	110
		227	治無戴	チブタイ	124
舒	ジョ	195	陳武	チンブ	127
章武	ショウブ	191	高覽	コウラン	113
襄武	ジョウブ	191	龐德	ホウトク	132
襄平	ジョウヘイ	200	公孫恭	コウソンキョウ	112
		200	公孫康	コウソンコウ	113
		227	公孫淵	コウソンエン	112
		227	卑衍	ヒエン	131
昌邑	ショウユウ	191	滿寵	マンチョウ	132
襄陽	ジョウヨウ	199	楊儀	ヨウギ	133
		200	劉璋	リュウキ	136
		205	馬良	バリョウ	136
		206	劉璋	リュウソウ	136
		207	諸葛亮	ショカツリョウ	118

登場都市	読み	登場年	登場武将	読み	掲載P
襄陽	ジョウヨウ	207	龐統	ホウトウ	132
		209	向寵	ショウチョウ	117
		213	諸葛均	ショカツキン	118
		215	馬謖	バショク	130
		215	麇化	リョウカ	137
		218	閔策	カンサク	107
上庸	ジョウヨウ	212	申耽	シンタン	119
		215	申儀	シンギ	119
章陵	ショウリョウ	198	李肅	リシュク	135
		210	尹默	インモク	99
		213	宗預	ソウヨ	122
		232	鄧艾	トウガイ	128
汝南	ジョナン	194	袁耀	エンヨウ	100
新息	シンソク	192	龔都	キョウト	109
		194	呂蒙	リョモウ	138
信都	シント	194	焦贛	ショウショク	117
新野	シンヤ	199	魏延	キエン	109
		204	劉封	リウホウ	137
		205	傅彤	フユウ	131
		207	閔平	カンヘイ	108
晉陽	シンヨウ	200	王綏	オウチョウ	102
		207	郝昭	カウショウ	104
成都	セイト	202	張裔	チャウエイ	124
		205	鄧循	リョウジュン	136
		207	何祗	カン	106
		219	張苞	チャウホウ	126
		223	劉禪	リウセン	136
		227	邵正	ゲキセイ	110
濟北	セイホク	200	呉質	ゴシツ	114
西陽	セイヨウ	194	呂範	リョハン	138
宜陽	センヨウ	197	周倉	シュウソウ	115
		198	司馬懿	シバイ	115
泉陵	センリョウ	215	韓綜	カンソウ	108
		215	蔣琬	ショウエン	117
將河	ソウカ	215	金環三結	キンカンサンケツ	110
即墨	ソクボク	191	太史慈	タイジ	124
代	ダイ	215	軻比能	カヒノウ	106
丹陽	タンヨウ	199	孫權	ソンケン	123
		210	孫紹	ソンショウ	123
長安	チャウアン	189	吉本	キツホン	109
		193	嚴幹	ゲンカン	116
		194	嚴象	ゲンショウ	111
		200	韋康	イコウ	98
		203	殷署	インショ	96
		227	夏侯霸	カウハ	106
		200	閭溫	エンオン	99
		194	梁管	リョウシュウ	137
陳留	チンリウ	192	毛玠	モウカイ	132
		193	李典	リテン	135
		194	曹純	ソウジュン	121
		194	呂虔	リョケン	137
		196	曹安民	ソウアンミン	120
		196	曹昂	ソウコウ	120
		204	夏侯尚	カウショウ	105
		207	吳班	ゴハン	114
狄道	テキドウ	207	馬玩	バガン	129
		227	姚逸塞	カシヤサイ	106
東海	トウカイ	191	糜芳	ヒホウ	131
		207	陳矯	チンキョウ	127
遼陽	ドウカン	200	楊脩	ヨウシュウ	133
宕渠	トウキョ	200	黃權	コウケン	112

登場都市	読み	登場年	登場武将	読み	掲載P
宕渠	トウキョ	205	孟達	モウタツ	133
		195	張紇	チャウコウ	125
		197	董襲	トウシュウ	129
		199	徐奕	ジョエキ	118
		200	閻沢	カンタク	108
		207	留贊	リウサン	136
南郷	ナンゴウ	215	太史享	タイシキョウ	123
		207	趙雲	チャウリイ	126
		194	李嚴	リゲン	135
		207	徐庶	ジョシュ	118
南郡	ナンゴウ	219	夏侯栄	カコウエイ	105
		194	閻圃	エンホ	100
南皮	ナンヒ	193	袁熙	エンキ	99
		194	袁尚	エンショウ	100
		194	呂曠	リョコウ	137
		194	呂翔	リョショウ	138
		198	高柔	コウジュウ	112
		199	張南	チャウナン	126
沛	ハイ	194	許褚	キョチヨ	110
白帝城	ハクテイジョウ	219	費禕	ヒイ	131
鄆陽	ハンヨウ	215	周勃	シュウボウ	115
鄆	ビ	207	蘇則	ソク	122
武陽	フカン	194	王禁	オウサン	100
武興	ブコウ	204	法正	ホウセイ	132
		213	楊僕	ヨウボク	134
富春	フシュン	215	吾粲	ゴサン	113
		215	全琰	ゼンソウ	120
武陽	フヨウ	205	雷銅	ライドウ	134
		215	李豊	リホウ	135
武陵	ブリョウ	224	楊戲	ヨウギ	133
		197	潘濬	ハンシュン	130
平原	ヘイゲン	209	廖立	リョウリツ	137
		194	朱靈	シュレイ	116
彭城	ヘイヨウ	194	權衡	ディコウ	129
		207	郭淮	カクワイ	105
平陽	ヘイヨウ	224	晉輅	カンロ	108
		189	於夫羅	オフラ	103
彭城	ヘイヨウ	207	嚴畝	ゲンシュン	111
		210	王双	オウソウ	102
綿竹	メンチク	194	王累	オウルイ	103
		199	張松	チャウショウ	125
揚中	ヨウチュウ	214	秦宓	シンフク	119
		201	沈友	シンユウ	119
陽平	ヨウヘイ	205	步騭	ホシツ	132
		194	辛評	シンヒョウ	119
維	ラク	200	王甫	オウホ	102
		207	王士	オウシ	101
陽	ラクヨウ	215	高翔	コウショウ	112
		195	荀攸	ジュンユウ	116
陽	ラクヨウ	222	張虎	チャウコ	125
		226	曹叡	ソウエイ	120
陽	ラクヨウ	227	司馬師	シバシ	115
		227	曹爽	ソウソウ	121
陽	ラクヨウ	228	司馬昭	シバショウ	115
		197	甘寧	カンネイ	108
臨瀛	リンシ	207	賈逵	カキ	104
臨湘	リンショウ	197	淳于丹	ジュンウタン	116
臨晉	リンシン	189	張既	チャウキ	124
淮陰	ワイイン	200	呂岱	リョタイ	138
淮南	ワイナン	196	劉曄	リウヨウ	137

鄭 明 之 三 國 志 公 式 兵 略 解

2001年12月14日 初版発行

発行人／浜村弘一
編集人／野田稔
編集長／坂本武郎
副編集長／澄田雅範
業務部／樽本義之

印刷／共立印刷株式会社

発行所／株式会社エンターブレイン
〒154-8528 東京都世田谷区若林1-18-10
TEL 03-5433-7850 (営業局)

■本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について(ソフトウェア及びプログラムを含む)、株式会社エンターブレインからの文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。

■本書の内容につきましてのご質問は、メールアドレスsupport@ml.enterbrain.co.jpで受け付けています。また、祝祭日を除く毎週月曜日から金曜日までの12時から17時のあいだに、カスタマーサポート部(電話03-5433-7868)でも受け付けます。いずれの場合も、ご返答までにお時間をいただく場合がございます。なお、ゲーム内容につきましてのご質問には一切お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

■“PS”マーク及び“Play Station2”は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

© 2001 GAME ARTS イラスト/鄭明
© 2001 ENTERBRAIN, INC.

本体価格はカバーに表示してあります
ISBN4-7577-0690-1
●1191415
Printed in JAPAN

STOFF

企画・編集 佐川博明(ファミ通書籍編集部)
構成・執筆 浜田勝己

デザイン・装丁 新矢山美子(ファミ通書籍編集部)
デザイン協力 双子屋工房
近藤勝(アイダックデザイン)
伊勢歩(アイダックデザイン)
渡辺亜紀(アイダックデザイン)
加地昭太(アイダックデザイン)

章扉筆文字 葛岡正昭(有限会社王山)
写真提供 オリオンプレス
中国語翻訳 翻訳工房くまざわ
制作協力 佐野亘(ファミ通書籍編集部)

題字 鄭明

監修／協力 株式会社ゲームアーツ

参考

三国志(上・中・下) 羅貫中作、小川環樹・武部利男訳 岩波少年文庫
ザ・三国志 羅貫中作、村上知行訳 第三書館
三国志全人名辞典『中国の思想』刊行委員会編著
三国志人物辞典 小出文彦監修 新紀元社
三国志武将画伝 立間詳介監修、瀬戸龍哉著 小学館
面白いほどよくわかる三国志 阿部幸夫監修、神保龍太著 日本文芸社
三国志新聞 三国志新聞編集委員会編 日本文芸社
歴史群像[中国戦史]シリーズ 真三国志(一～三) 学研
中国古典選 史記(一～二) 田中謙二、一海知義共著 朝日新聞社
中国古言百言百話8 十八史略 村山学著 PHP文庫
史記 中国古代の人びと 貝塚茂樹著 中公新書
別冊歴史読本特別増刊 中国4000年歴代王朝秘話 新人物往来社

國策有言

興兵討群凶

初期全盟

乃心在咸陽

軍合力不齊

臨諸而雁行

勢利使人爭

嗣還自趙魏

淮南嘉初

命正北方

為國則生
不為國則死

ファミ通責任編集のゲーム攻略本

7(セブン) モールモースの騎兵隊 オフィシャルガイドブック	1300円
EVE The Fatal Attraction オフィシャルガイド	1200円
F-ZERO FOR GAME BOY ADVANCE 超速パイロットマニュアル	1000円
Piaキャロットへようこそ!! 2.2 公式ガイドブック	1000円
ウェーブレース ブレーストーム ハイパー ライディングマニュアル	1100円
エースコンバット04 シャッタードスカイ オフィシャルガイドブック	1000円
エクソダスギルティーネオス 公式ガイドブック	1200円
エルドラドゲート第1巻～第5巻 公式ガイドブック	1300円
エンドネシア 公式ガイドブック カミハッケン	1200円
黄金の太陽～開かれし封印～パーフェクトナビ	1100円
鬼武者 解体真書	1300円
蚊 公式ガイドブック	950円
風のクロノア2・世界が望んだ忘れもの・オフィシャルガイドブック	1400円
グランツーリスモ3 A-spec 公式ガイドブック ザ・ベスト・ナビゲーター	1300円
グランディアII オフィシャルガイドブック	1200円
くるくるりん まるまる★まにある	950円
サカヅ(特大号) J.LEAGUE プロサッカークラブをつくろう! パーフェクトガイド～徹底解析編～	1400円
ジオニックフロント 機動戦士ガンダム0079 コンプリートガイド	1200円
シャドウ ハーツ 公式ガイドブック	1200円
首都高バトル0(ZERO) 公式ガイドブック	1300円
真・女神転生 公式パーフェクトガイド	1300円
真・女神転生 トレーディングカード カードサマナー公式ガイドブック	1100円
スーパーマリオアドバンスドキドキ!かんぺきガイド	800円
スーパーロボット大戦A パーフェクトバイブル	1200円
スーパーロボット大戦α 外伝 コンプリートガイド	1400円
スカイガンナー 公式ガイドブック	1200円
スターオーシャン ブルースフィア ファイナルガイド	1300円
ゼルダの伝説 ムジュラの仮面のすべて	1100円
ゼルダの伝説 ふしぎの木の实[～時空の章～]パーフェクトガイド	950円
ゼルダの伝説 ふしぎの木の实[～大地の章～]パーフェクトガイド	950円
正義の味方 オフィシャルガイド ～スーパーヒーロー大百科～	1100円
ソニックアドベンチャー2 パーフェクトガイド	1800円
ダビつく ダービー馬をつくろう! パーフェクトガイドブック	1400円
玉蘭物語2 ～滅びの蟲～ 公式ガイドブック	1300円
ティアリングサーガ ユトナ英雄戦記 オフィシャルコンプリートガイド	1300円
テイルズ オブ エターニア オフィシャルガイドブック	1400円
テイルズ オブ ファンタジア なりきりダンジョン オフィシャルガイドブック	900円
デビル メイクライ 解体真書	1300円
どうぶつの森 かんぺきガイドブック	1000円
トゥルーラブストーリー3 公式ガイドブック	1200円
ネオアトラス3 公式パーフェクトガイド	1300円
バイオハザード コード:ベロニカ 完全版 解体真書	1300円
バトルネットワーク ロックマンエグゼ 公式ガイドブック	1200円
バンジョーとカズーイの大冒険2 キラキラかんぺきガイド	1200円
ファイナルファンタジーII 公式コンプリートガイド	1000円
ファイナルファンタジーX ワールドガイド エボンの教えとスピラの人々	1300円
不思議のダンジョン 風来のシレンGB2 砂漠の魔城 公式パーフェクトガイド	1200円
ブレスオブファイアIV ～うつろわざるもの～ 公式ガイドブック 悟之書	1300円
ベルソナ2 公式ガイドブック 完全版	1300円
ボクと魔王の世界征服公式ガイド	1200円
ポケモンクリスタル ポケモン大百科	1000円
ポケモンスタジアム金銀 最強トレーナーズガイド	800円
マリオパーティ3 ふしぎとまけないガイド	1200円
リモココロン公式ガイドブック リモココロンを歩こ!	1200円
リリーのアトリエ～ザールブルグの錬金術士3～ 公式パーフェクトガイド	1300円
ルイージマンション かんぺきガイドブック	800円
ワリオランドアドバンス パーフェクトガイド	900円

* 記載いたしました価格は本体価格であり、消費税は含まれておりません。

茶天巴夏



9784757706903



1920076018008

ISBN4-7577-0690-1

C0076 ¥1800E

エンターブレイン
定価 本体1800円+税